

# 第2章

## 調査結果の分析 (高齢者一般調査)



## 第2章 調査結果の分析

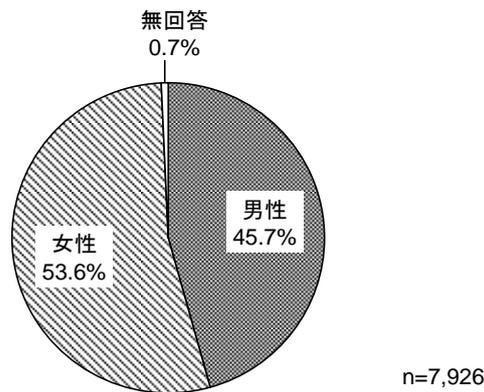
### 1. 調査対象者の属性

#### (1) 性別【単一回答】

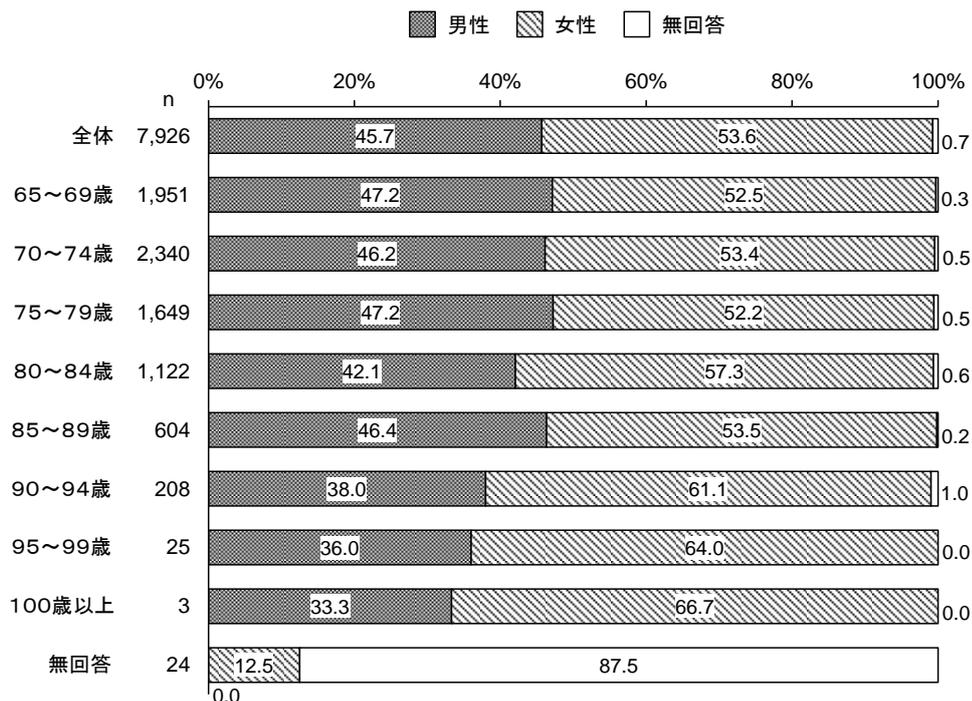
問1 ご本人の性別をお答えください

※現在の社会生活上の性別(自分がどちらの性として日常生活を送っているか)をお答えください

○本人の性別は、「男性」(45.7%)、「女性」(53.6%) となっています。



○年齢別にみると、概ね年齢が高くなるにしたがって、「女性」が多くなっています。

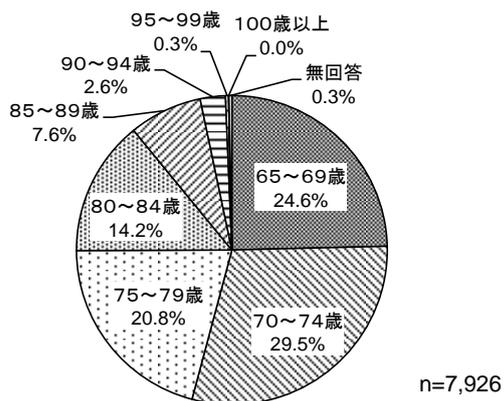


## 第2章 調査結果の分析

### (2) 年齢【単一回答】

問2 ご本人の年齢をお答えください

○本人の年齢は、「70～74歳」(29.5%)の割合が最も多く、次いで、「65～69歳」(24.6%)、「75～79歳」(20.8%)となっており、前期高齢者(65～74歳)が54.1%を占めています。なお、前回調査(令和元年度)では、「65～69歳」が28.6%、「70～74歳」が28.5%でした。



## 第2章 調査結果の分析

○調査区域別にみると、「65～69歳」の割合は根白石・南中山で38.2%と、他の調査区に比べて多く、「65～69歳」が最も少ない虹の丘・加茂・長命ヶ丘（18.5%）を19.7ポイント上回っています。

上段:件数 下段:%	調査数	65 ～ 69 歳	70 ～ 74 歳	75 ～ 79 歳	80 ～ 84 歳	85 ～ 89 歳	90 ～ 94 歳	95 ～ 99 歳	100 歳 以上	無 回 答
全体	7,926 100.0	1,951 24.6	2,340 29.5	1,649 20.8	1,122 14.2	604 7.6	208 2.6	25 0.3	3 0.0	24 0.3
調査区域										
五橋・上杉・木町通・花京院	451 100.0	125 27.7	125 27.7	77 17.1	64 14.2	43 9.5	13 2.9	2 0.4	—	2 0.4
双葉ヶ丘・葉山・台原	419 100.0	94 22.4	108 25.8	80 19.1	64 15.3	51 12.2	19 4.5	3 0.7	—	—
国見・国見ヶ丘・桜ヶ丘	430 100.0	87 20.2	137 31.9	93 21.6	65 15.1	27 6.3	20 4.7	—	—	1 0.2
大沢広陵・あやし・南吉成	420 100.0	115 27.4	119 28.3	85 20.2	64 15.2	30 7.1	5 1.2	1 0.2	—	1 0.2
東仙台・宮城野・榴岡	439 100.0	128 29.2	140 31.9	77 17.5	63 14.4	22 5.0	7 1.6	1 0.2	—	1 0.2
小松島・燕沢・鶴ヶ谷	448 100.0	93 20.8	128 28.6	83 18.5	83 18.5	37 8.3	20 4.5	1 0.2	—	3 0.7
岩切・高砂・福田町	435 100.0	103 23.7	134 30.8	101 23.2	56 12.9	27 6.2	12 2.8	1 0.2	—	1 0.2
河原町・大和蒲町・遠見塚	443 100.0	116 26.2	105 23.7	95 21.4	65 14.7	47 10.6	10 2.3	1 0.2	—	4 0.9
六郷・沖野・七郷	431 100.0	94 21.8	135 31.3	86 20.0	70 16.2	35 8.1	10 2.3	—	—	1 0.2
長町・郡山・富沢	446 100.0	136 30.5	138 30.9	73 16.4	51 11.4	30 6.7	15 3.4	2 0.4	1 0.2	—
愛宕橋・八木山・西多賀・山田	432 100.0	81 18.8	107 24.8	109 25.2	72 16.7	45 10.4	15 3.5	3 0.7	—	—
西中田・袋原・四郎丸	456 100.0	112 24.6	141 30.9	92 20.2	68 14.9	29 6.4	8 1.8	2 0.4	—	4 0.9
茂庭・秋保	419 100.0	111 26.5	138 32.9	91 21.7	45 10.7	24 5.7	7 1.7	2 0.5	—	1 0.2
泉中央・寺岡・高森	435 100.0	90 20.7	136 31.3	100 23.0	69 15.9	30 6.9	8 1.8	—	1 0.2	1 0.2
将監・松森・向陽台	452 100.0	101 22.3	133 29.4	113 25.0	55 12.2	36 8.0	12 2.7	1 0.2	1 0.2	—
南光台・八乙女	447 100.0	104 23.3	113 25.3	100 22.4	71 15.9	43 9.6	12 2.7	3 0.7	—	1 0.2
虹の丘・加茂・長命ヶ丘	460 100.0	85 18.5	153 33.3	117 25.4	63 13.7	30 6.5	9 2.0	—	—	3 0.7
根白石・南中山	458 100.0	175 38.2	148 32.3	77 16.8	33 7.2	17 3.7	6 1.3	2 0.4	—	—
無回答	5 100.0	1 20.0	2 40.0	—	1 20.0	1 20.0	—	—	—	—

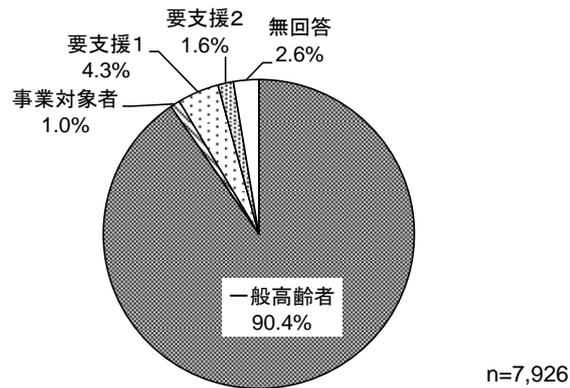
## 第2章 調査結果の分析

### (3) 要支援等の認定状況について【単一回答】

#### 問3 要支援等の認定状況について

※事業対象者、要支援、要介護の方は「介護保険被保険者証」に記載されています。

○回答者に占める要支援等認定者の割合は、「要支援1」(4.3%)、「要支援2」(1.6%)、「事業対象者」(1.0%)となっています。



○性別にみると、大きな差はみられませんでした。

上段:件数 下段:%	調査数	一般高齢者	事業対象者	要支援1	要支援2	無回答
全体	7,926	7,169	80	341	128	208
	100.0	90.4	1.0	4.3	1.6	2.6
問1 本人の性別						
男性	3,620	3,372	45	108	31	64
	100.0	93.1	1.2	3.0	0.9	1.8
女性	4,249	3,767	35	231	96	120
	100.0	88.7	0.8	5.4	2.3	2.8
無回答	57	30	—	2	1	24
	100.0	52.6	—	3.5	1.8	42.1

○年齢別にみると、年齢が高くなるにしたがって、「要支援1」、「要支援2」が多くなっています。

上段:件数 下段:%	調査数	一般高齢者	事業対象者	要支援1	要支援2	無回答
全体	7,926 100.0	7,169 90.4	80 1.0	341 4.3	128 1.6	208 2.6
問2 本人の年齢						
65～69歳	1,951 100.0	1,870 95.8	25 1.3	16 0.8	5 0.3	35 1.8
70～74歳	2,340 100.0	2,215 94.7	21 0.9	38 1.6	15 0.6	51 2.2
75～79歳	1,649 100.0	1,531 92.8	16 1.0	55 3.3	10 0.6	37 2.2
80～84歳	1,122 100.0	966 86.1	14 1.2	79 7.0	30 2.7	33 2.9
85～89歳	604 100.0	449 74.3	4 0.7	96 15.9	36 6.0	19 3.1
90～94歳	208 100.0	127 61.1	— —	48 23.1	24 11.5	9 4.3
95～99歳	25 100.0	11 44.0	— —	7 28.0	6 24.0	1 4.0
100歳以上	3 100.0	— —	— —	1 33.3	2 66.7	— —
無回答	24 100.0	— —	— —	1 4.2	— —	23 95.8

## 第2章 調査結果の分析

○調査区域別にみると、大きな差はみられませんでした。

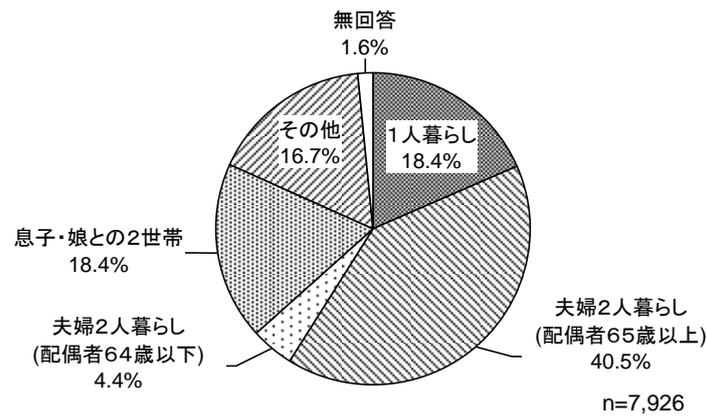
上段:件数 下段:%	調査数	一般高齢者	事業対象者	要支援1	要支援2	無回答
全体	7,926 100.0	7,169 90.4	80 1.0	341 4.3	128 1.6	208 2.6
調査区域						
五橋・上杉・木町通・花京院	451 100.0	400 88.7	7 1.6	23 5.1	8 1.8	13 2.9
双葉ヶ丘・葉山・台原	419 100.0	374 89.3	7 1.7	23 5.5	9 2.1	6 1.4
国見・国見ヶ丘・桜ヶ丘	430 100.0	394 91.6	3 0.7	16 3.7	8 1.9	9 2.1
大沢広陵・あやし・南吉成	420 100.0	381 90.7	6 1.4	18 4.3	3 0.7	12 2.9
東仙台・宮城野・榴岡	439 100.0	404 92.0	6 1.4	14 3.2	5 1.1	10 2.3
小松島・燕沢・鶴ヶ谷	448 100.0	407 90.8	2 0.4	20 4.5	10 2.2	9 2.0
岩切・高砂・福田町	435 100.0	387 89.0	7 1.6	20 4.6	9 2.1	12 2.8
河原町・大和蒲町・遠見塚	443 100.0	396 89.4	4 0.9	19 4.3	5 1.1	19 4.3
六郷・沖野・七郷	431 100.0	391 90.7	3 0.7	26 6.0	2 0.5	9 2.1
長町・郡山・富沢	446 100.0	402 90.1	4 0.9	20 4.5	8 1.8	12 2.7
愛宕橋・八木山・西多賀・山田	432 100.0	377 87.3	8 1.9	22 5.1	15 3.5	10 2.3
西中田・袋原・四郎丸	456 100.0	397 87.1	8 1.8	24 5.3	10 2.2	17 3.7
茂庭・秋保	419 100.0	385 91.9	2 0.5	9 2.1	6 1.4	17 4.1
泉中央・寺岡・高森	435 100.0	406 93.3	1 0.2	11 2.5	5 1.1	12 2.8
将監・松森・向陽台	452 100.0	416 92.0	3 0.7	24 5.3	3 0.7	6 1.3
南光台・八乙女	447 100.0	397 88.8	3 0.7	28 6.3	9 2.0	10 2.2
虹の丘・加茂・長命ヶ丘	460 100.0	423 92.0	3 0.7	15 3.3	5 1.1	14 3.0
根白石・南中山	458 100.0	427 93.2	3 0.7	9 2.0	8 1.7	11 2.4
無回答	5 100.0	5 100.0	—	—	—	—

2. 家族や生活状況について

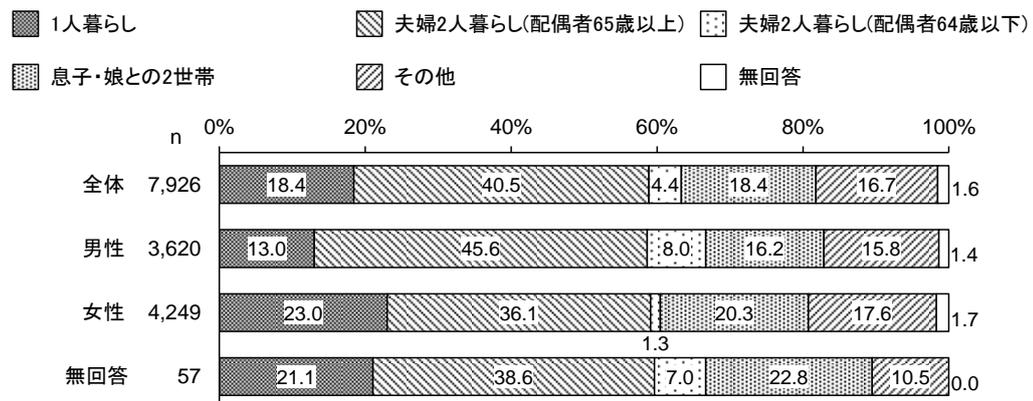
(1) 家族構成【単一回答】

問4(1) 家族構成をお教えてください

○家族構成は、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」（40.5%）の割合が最も多く、次いで「1人暮らし」（18.4%）、「息子・娘との2世帯」（18.4%）となっています。

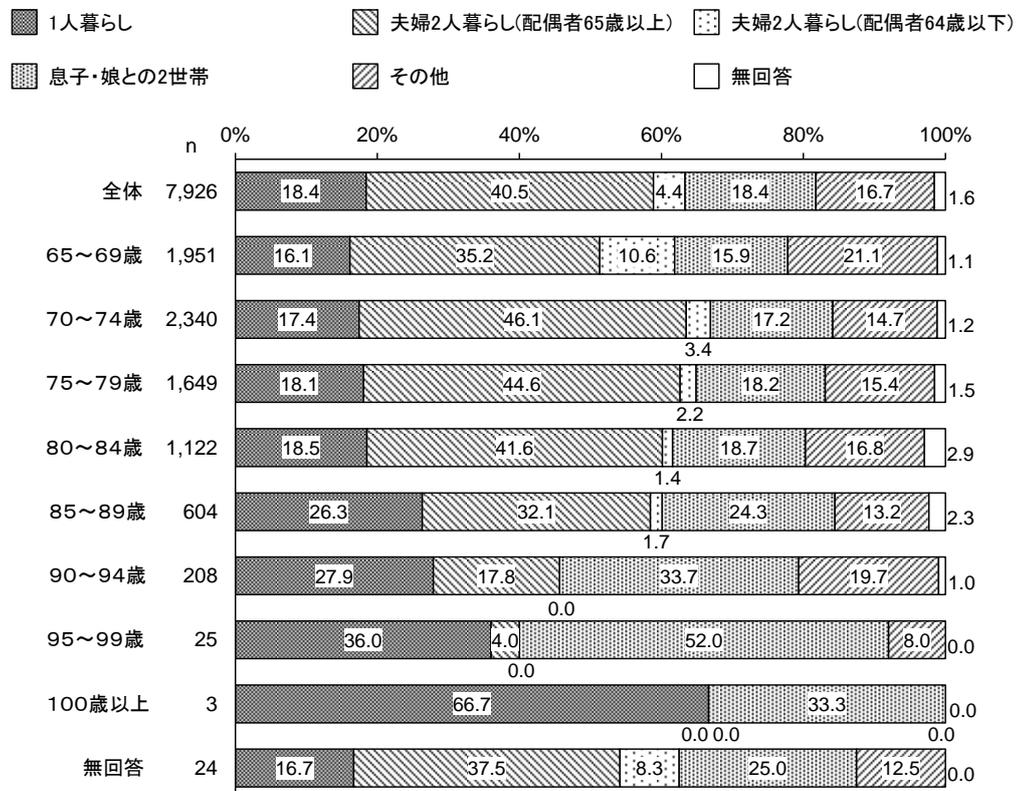


○性別にみると、「1人暮らし」の割合は、男性（13.0%）に比べて女性（23.0%）で多くなっています。

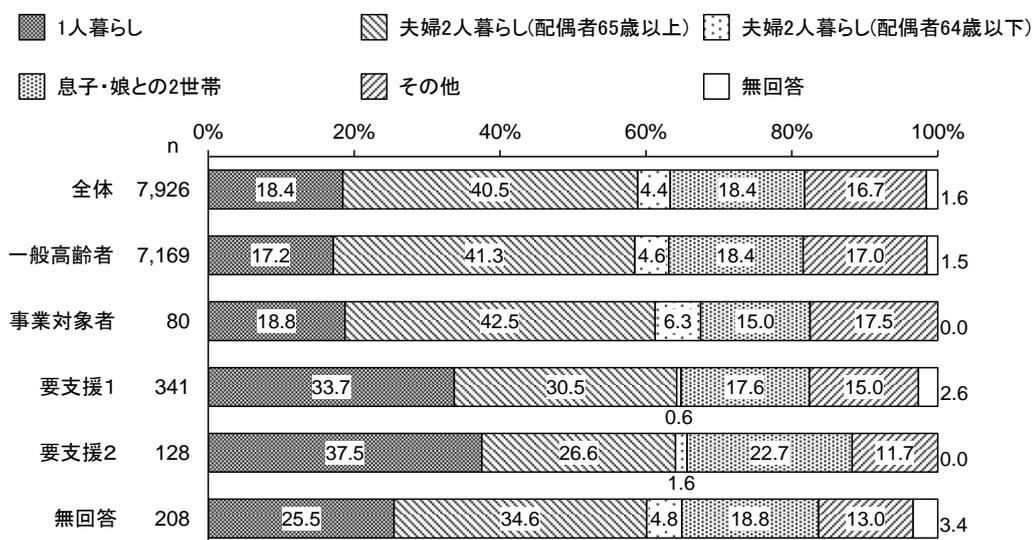


## 第2章 調査結果の分析

○年齢別にみると、年齢が高くなるにしたがって、「1人暮らし」と「息子・娘との2世帯」の割合が多くなっています。また、「夫婦2人暮らし」の割合は、年齢が高くなるにしたがって、少なくなっています。

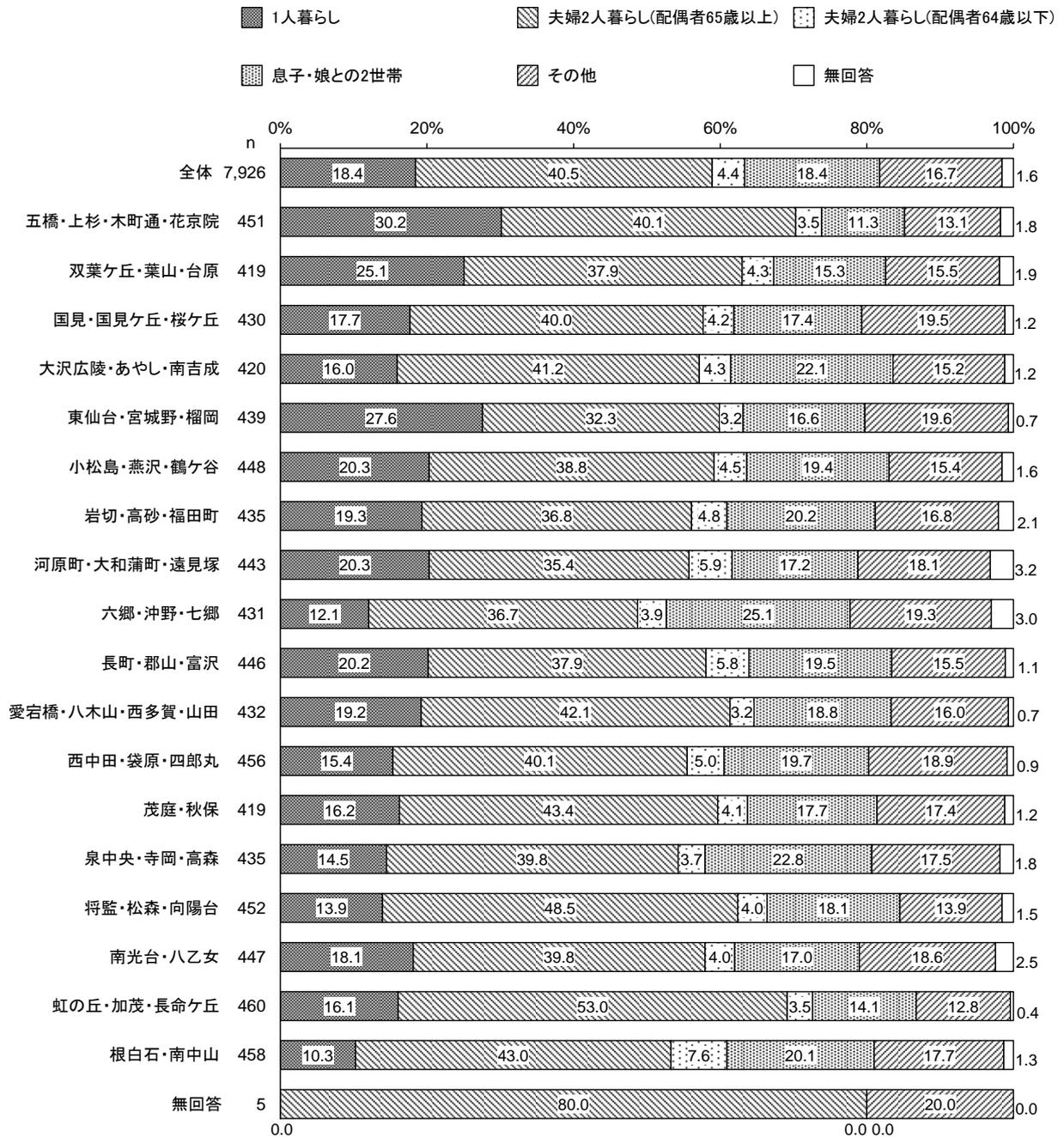


○要支援等の認定状況別にみると、要支援1、要支援2では「1人暮らし」が30%を超えて、一般高齢者、事業対象者に比べて多くなっています。



## 第2章 調査結果の分析

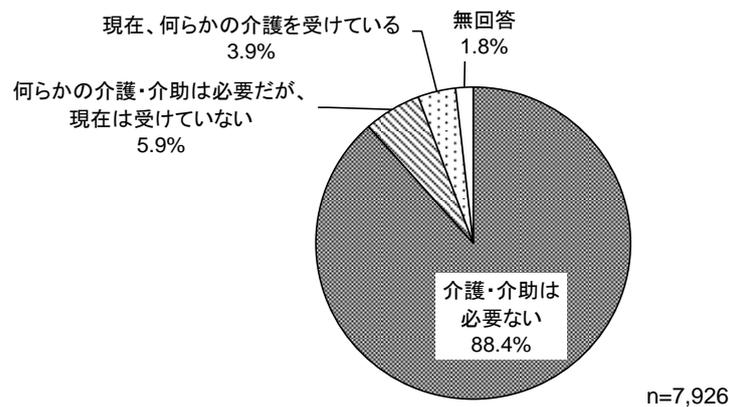
○調査区域別にみると、「1人暮らし」の割合は、五橋・上杉・木町通・花京院が30.2%、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」は、虹の丘・加茂・長命ヶ丘が53.0%と、他の調査区に比べて多くなっています。



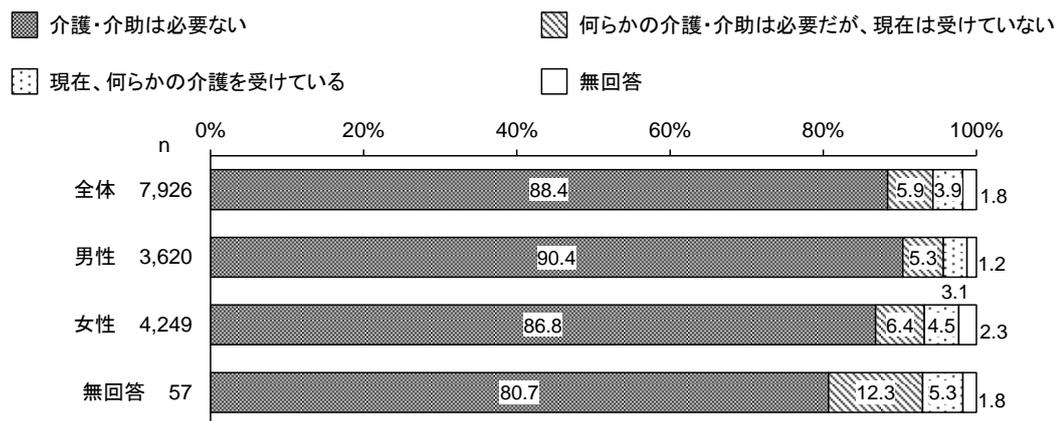
(2) 介護・介助の必要性【単一回答】

問4(2) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか

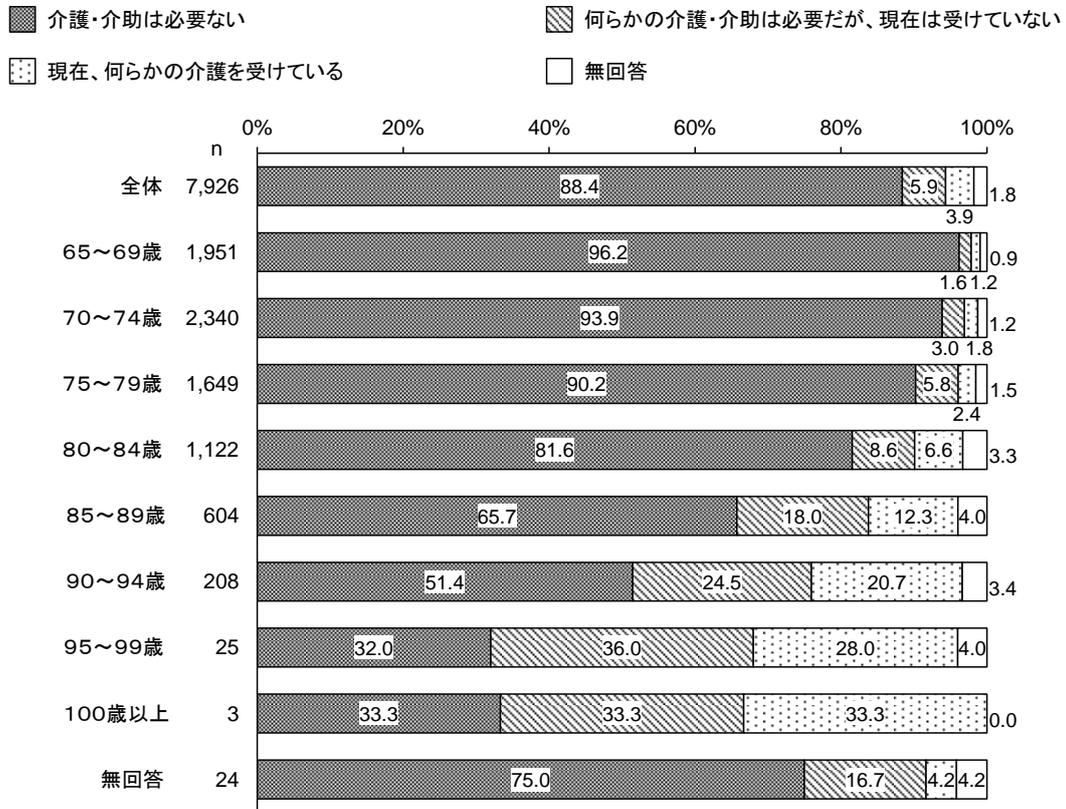
○介護・介助の必要性は、「介護・介助は必要ない」の割合が88.4%と最も多く、次いで、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」(5.9%)、「現在、何らかの介護を受けている」(3.9%)となっています。



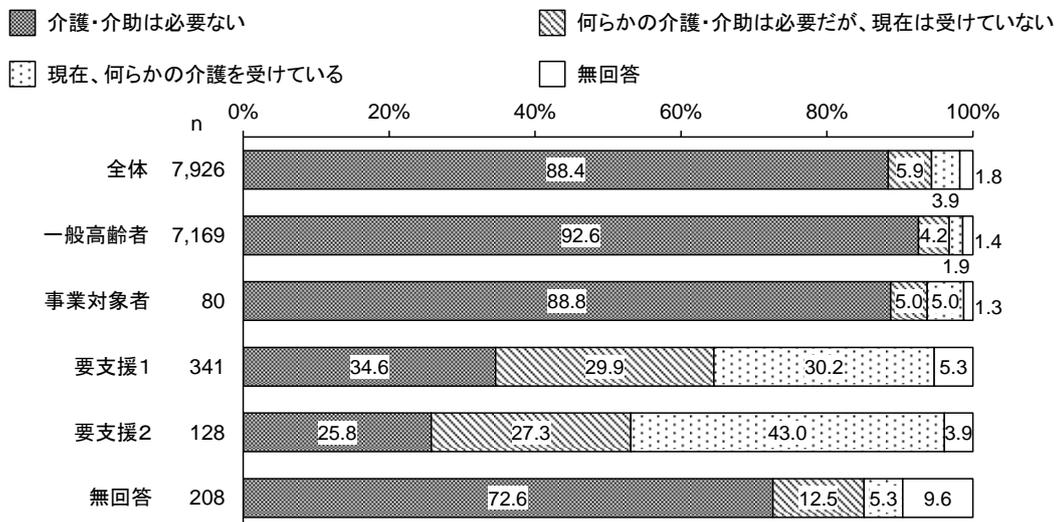
○性別にみると、大きな差はみられませんでした。



○年齢別にみると、年齢が高くなるにしたがって、「介護・介助は必要ない」の割合が少なくなり、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」、「現在、何らかの介護を受けている」が多くなっています。

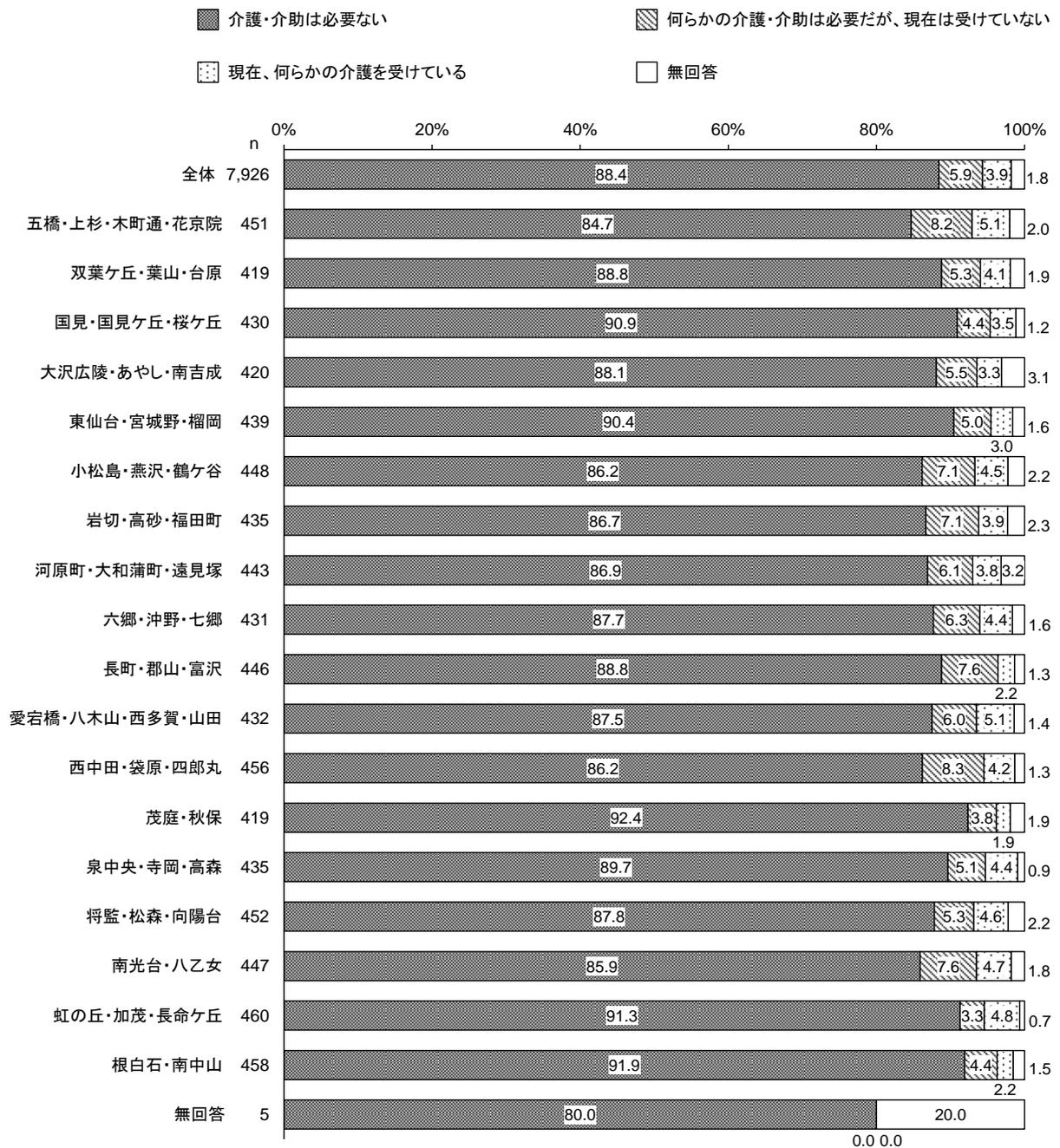


○要支援等の認定状況別にみると、要支援1、要支援2では「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」、「現在、何らかの介護を受けている」の割合が一般高齢者、事業対象者に比べて多くなっています。



## 第2章 調査結果の分析

○調査区域別にみると、大きな差はみられませんでした。

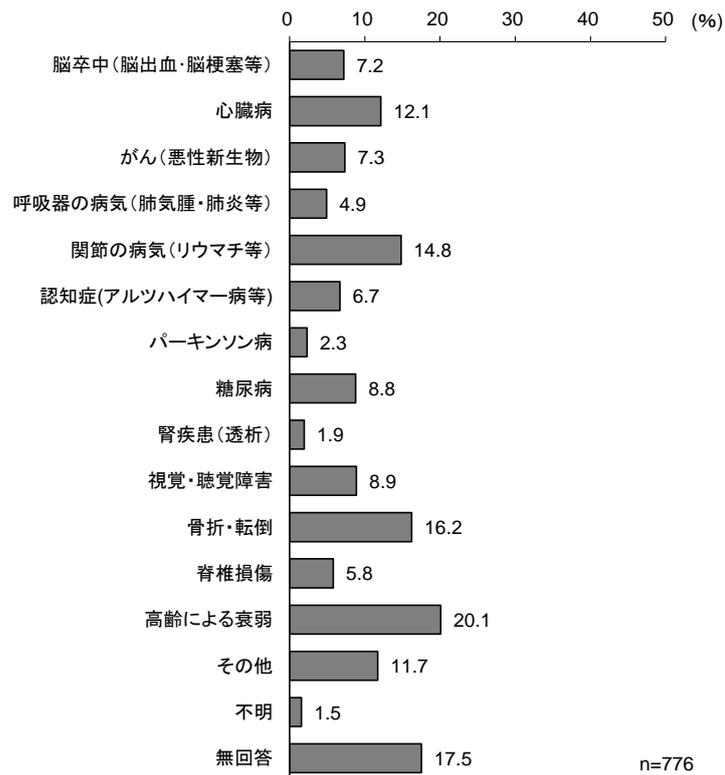


## (3) 介護・介助が必要となった主な原因【複数回答】

問4(3) 【(2)において「1. 介護・介助は必要ない」以外の方のみ】

介護・介助が必要になった主な原因はなんですか(いくつでも)

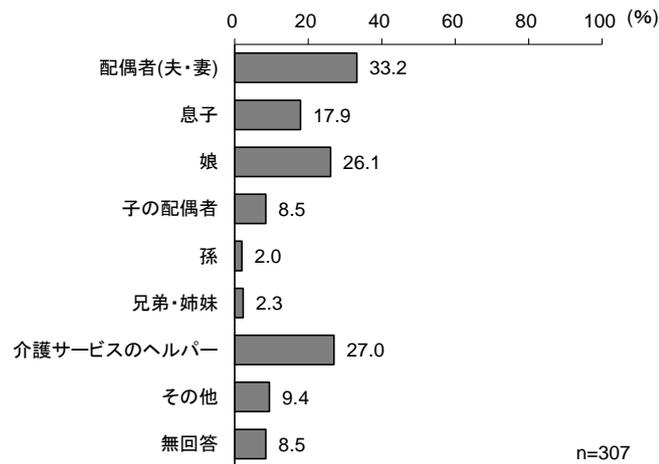
○介護・介助が必要になった主な原因は、「高齢による衰弱」(20.1%)が最も多く、次いで、「骨折・転倒」(16.2%)、「関節の病気(リウマチ等)」(14.8%)となっています。



(4) 主な介護者・介助者【複数回答】

問4(4) 【(2)において「3. 現在、何らかの介護を受けている」の方のみ】  
主にどなたの介護・介助を受けていますか(いくつでも)

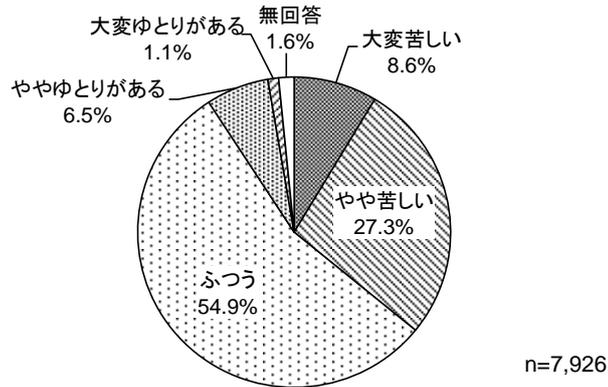
○主な介護者・介助者は、「配偶者(夫・妻)」(33.2%)が最も多く、次いで、「介護サービスのヘルパー」(27.0%)、「娘」(26.1%)となっています。



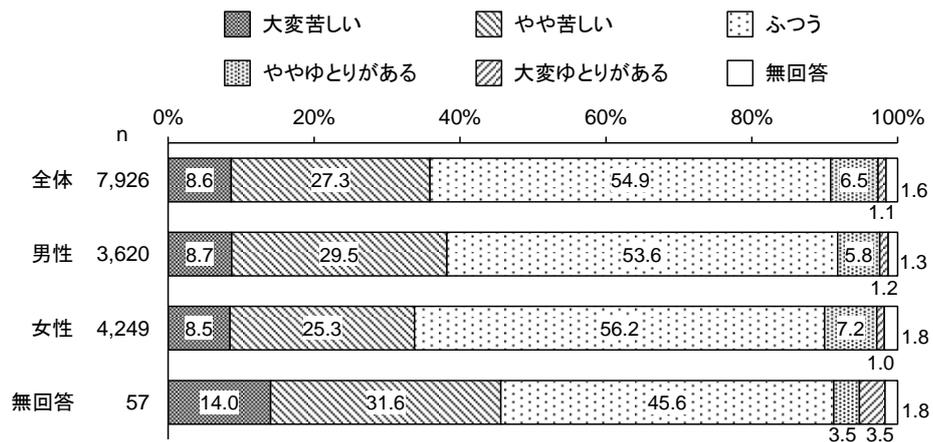
(5) 経済的な暮らしの状況【単一回答】

問4(5) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか

○経済的な暮らしの状況は、「ふつう」の割合が 54.9%と最も多く、次いで、「やや苦しい」(27.3%)、「大変苦しい」(8.6%)、「ややゆとりがある」(6.5%) となっています。

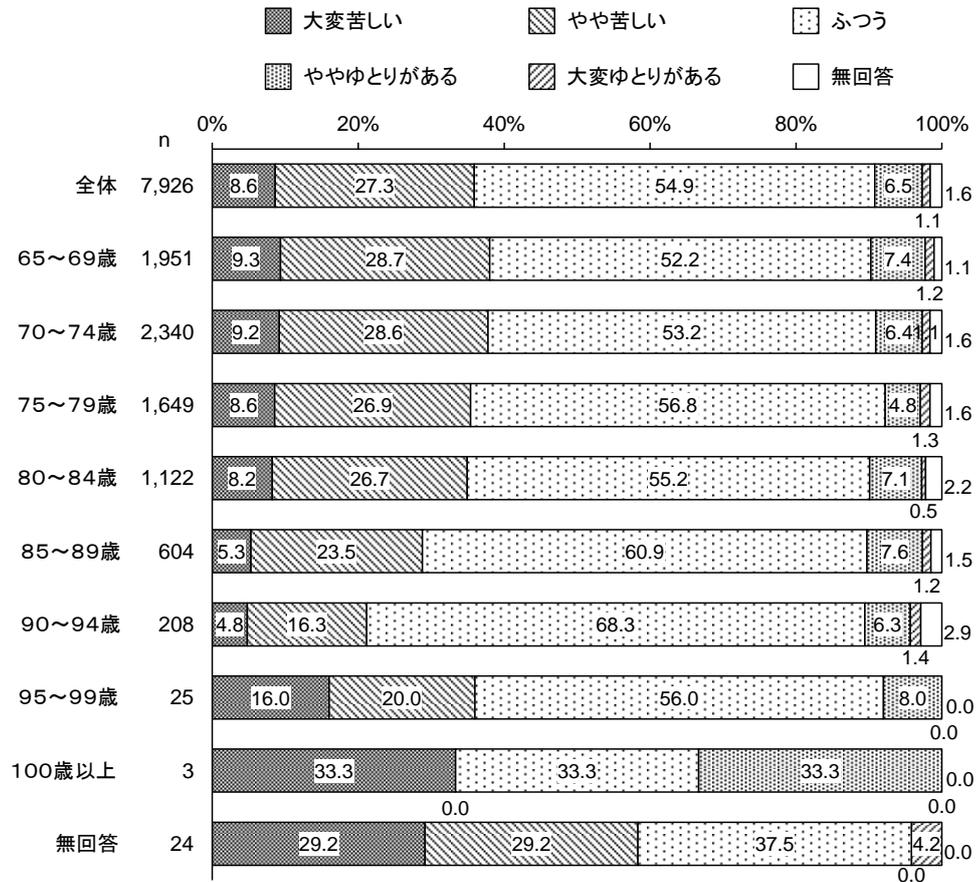


○性別にみると、大きな差はみられませんでした。

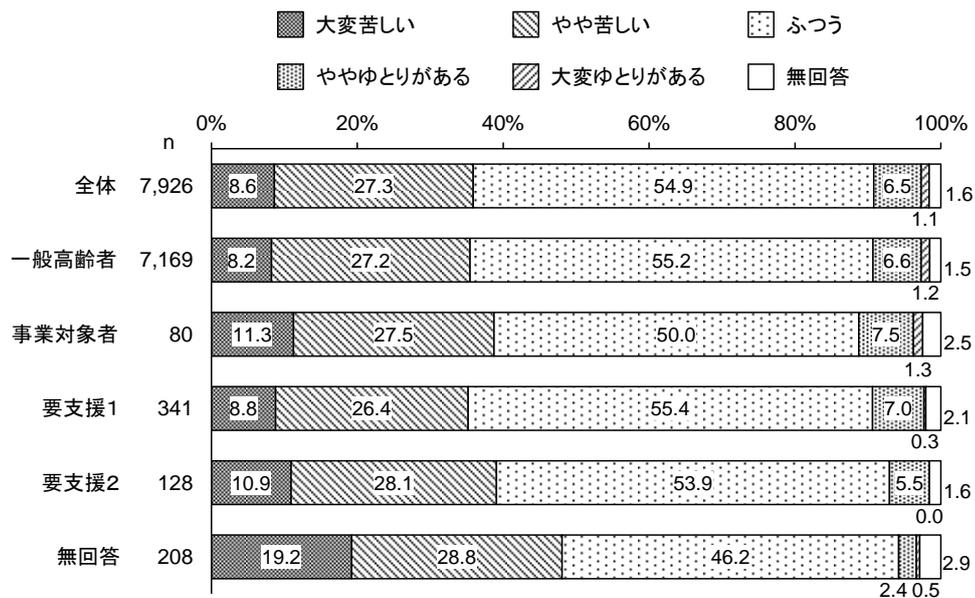


## 第2章 調査結果の分析

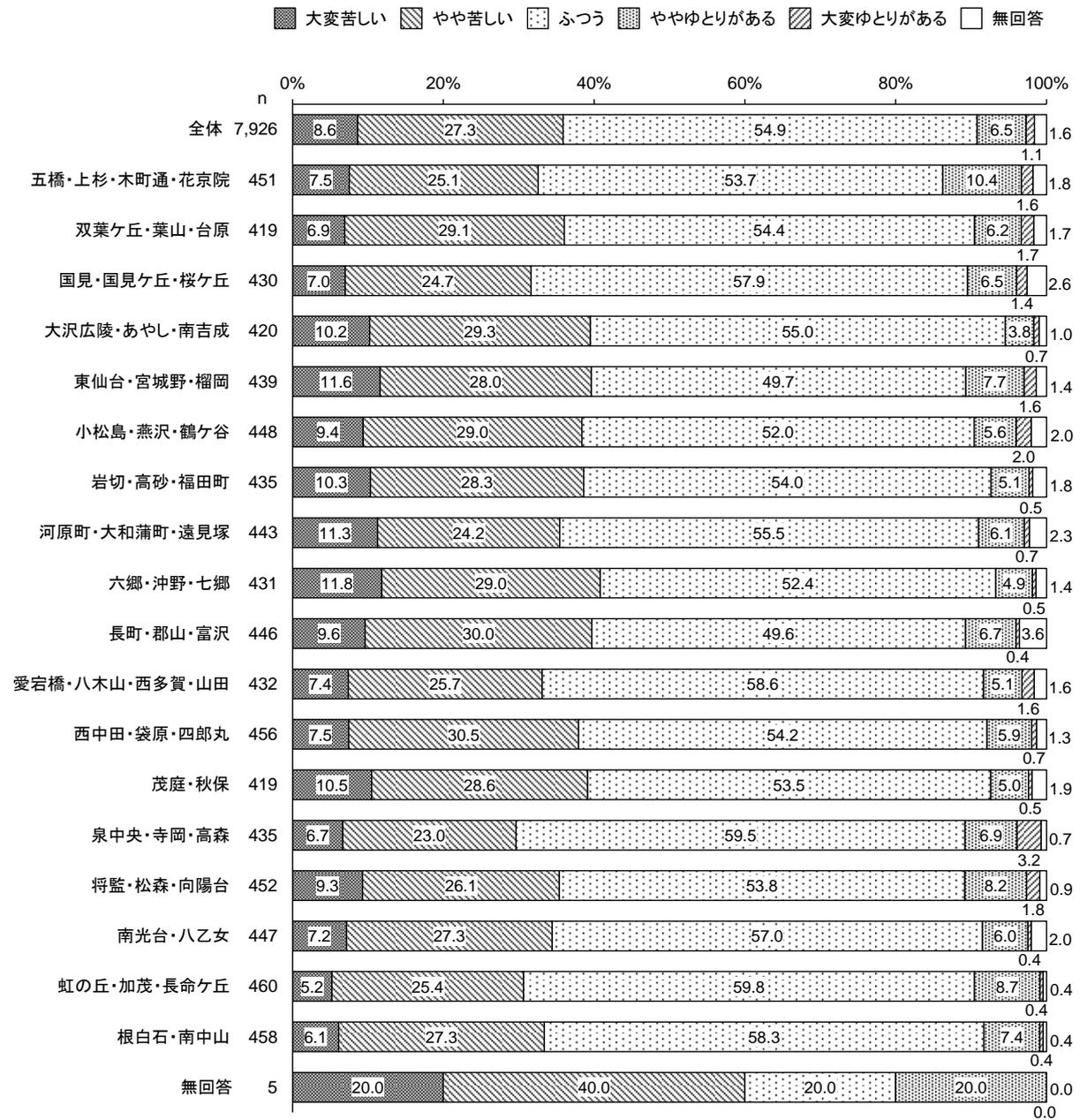
○年齢別にみると、概ね年齢が高くなるにしたがって、「大変苦しい」、「やや苦しい」の割合が少なくなっています。一方、95歳以上の年齢層では「大変苦しい」が増加に転じています。



○要支援等の認定状況別にみると、大きな差はみられませんでした。



○調査区域別にみると、「ふつう」の割合が最も多いのは虹の丘・加茂・長命ヶ丘で、59.8%となっています。また、「やや苦しい」は西中田・袋原・四郎丸で30.5%、「大変苦しい」は六郷・沖野・七郷で11.8%、「ややゆとりがある」は五橋・上杉・木町通・花京院で10.4%と、それぞれ最も多くなっています。

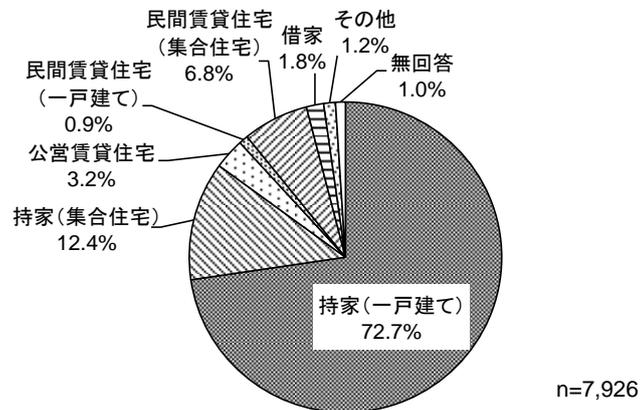


## 第2章 調査結果の分析

### (6) 住まいの状況【単一回答】

問4(6) お住まいは一人建て、または集合住宅のどちらですか

○住まいの状況は、「持家（一人建て）」の割合が72.7%と最も多く、次いで、「持家（集合住宅）」（12.4%）、「民間賃貸住宅（集合住宅）」（6.8%）となっています。



○要支援等の認定状況別にみると、大きな差はみられませんでした。

	調査数	持家（一人建て）	持家（集合住宅）	公営賃貸住宅	民間賃貸住宅（一人建て）	民間賃貸住宅（集合住宅）	借家	その他	無回答
上段：件数 下段：%									
全体	7,926	5,760	979	252	75	541	142	96	81
	100.0	72.7	12.4	3.2	0.9	6.8	1.8	1.2	1.0

問3 要支援等の認定状況

	調査数	持家（一人建て）	持家（集合住宅）	公営賃貸住宅	民間賃貸住宅（一人建て）	民間賃貸住宅（集合住宅）	借家	その他	無回答
一般高齢者	7,169	5,228	920	208	67	478	120	82	66
	100.0	72.9	12.8	2.9	0.9	6.7	1.7	1.1	0.9
事業対象者	80	60	6	3	1	5	4	—	1
	100.0	75.0	7.5	3.8	1.3	6.3	5.0	—	1.3
要支援1	341	240	30	21	5	22	10	7	6
	100.0	70.4	8.8	6.2	1.5	6.5	2.9	2.1	1.8
要支援2	128	94	9	7	1	8	4	4	1
	100.0	73.4	7.0	5.5	0.8	6.3	3.1	3.1	0.8
無回答	208	138	14	13	1	28	4	3	7
	100.0	66.3	6.7	6.3	0.5	13.5	1.9	1.4	3.4

## 第2章 調査結果の分析

○調査区域別にみると、「持家（一戸建て）」では虹の丘・加茂・長命ヶ丘、根白石・南中山が90%を超えて、他の調査区に比べて多くなっています。また、「持家（集合住宅）」では、五橋・上杉・木町通・花京院が51.2%と、他の調査区を大きく上回っています。

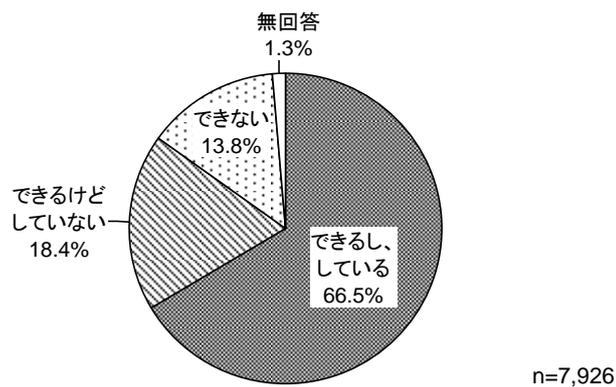
上段:件数 下段:%	調査数	持家 (一戸建て)	持家 (集合住宅)	公営 賃貸住宅	民間 賃貸住宅 (一戸建て)	民間 賃貸住宅 (集合住宅)	借家	その他	無回答
全体	7,926 100.0	5,760 72.7	979 12.4	252 3.2	75 0.9	541 6.8	142 1.8	96 1.2	81 1.0
調査区域									
五橋・上杉・木町通・花京院	451 100.0	127 28.2	231 51.2	9 2.0	3 0.7	58 12.9	10 2.2	6 1.3	7 1.6
双葉ヶ丘・葉山・台原	419 100.0	262 62.5	78 18.6	13 3.1	5 1.2	35 8.4	13 3.1	8 1.9	5 1.2
国見・国見ヶ丘・桜ヶ丘	430 100.0	332 77.2	48 11.2	7 1.6	6 1.4	19 4.4	8 1.9	6 1.4	4 0.9
大沢広陵・あやし・南吉成	420 100.0	359 85.5	8 1.9	11 2.6	8 1.9	14 3.3	8 1.9	9 2.1	3 0.7
東仙台・宮城野・榴岡	439 100.0	198 45.1	121 27.6	5 1.1	7 1.6	81 18.5	14 3.2	8 1.8	5 1.1
小松島・燕沢・鶴ヶ谷	448 100.0	302 67.4	39 8.7	41 9.2	5 1.1	35 7.8	14 3.1	6 1.3	6 1.3
岩切・高砂・福田町	435 100.0	307 70.6	35 8.0	32 7.4	3 0.7	43 9.9	4 0.9	3 0.7	8 1.8
河原町・大和蒲町・遠見塚	443 100.0	271 61.2	80 18.1	8 1.8	2 0.5	53 12.0	13 2.9	8 1.8	8 1.8
六郷・沖野・七郷	431 100.0	357 82.8	16 3.7	10 2.3	3 0.7	26 6.0	8 1.9	6 1.4	5 1.2
長町・郡山・富沢	446 100.0	236 52.9	123 27.6	15 3.4	4 0.9	48 10.8	9 2.0	5 1.1	6 1.3
愛宕橋・八木山・西多賀・山田	432 100.0	367 85.0	14 3.2	12 2.8	4 0.9	23 5.3	4 0.9	3 0.7	5 1.2
西中田・袋原・四郎丸	456 100.0	349 76.5	51 11.2	10 2.2	7 1.5	25 5.5	6 1.3	4 0.9	4 0.9
茂庭・秋保	419 100.0	313 74.7	54 12.9	31 7.4	2 0.5	6 1.4	4 1.0	6 1.4	3 0.7
泉中央・寺岡・高森	435 100.0	371 85.3	18 4.1	12 2.8	6 1.4	16 3.7	6 1.4	4 0.9	2 0.5
将監・松森・向陽台	452 100.0	396 87.6	6 1.3	17 3.8	1 0.2	18 4.0	8 1.8	3 0.7	3 0.7
南光台・八乙女	447 100.0	332 74.3	49 11.0	16 3.6	4 0.9	29 6.5	8 1.8	3 0.7	6 1.3
虹の丘・加茂・長命ヶ丘	460 100.0	430 93.5	8 1.7	1 0.2	4 0.9	10 2.2	2 0.4	5 1.1	0 0.0
根白石・南中山	458 100.0	448 97.8	—	—	1 0.2	2 0.4	3 0.7	3 0.7	1 0.2
無回答	5 100.0	3 60.0	—	2 40.0	—	—	—	—	—

3. からだを動かすことについて

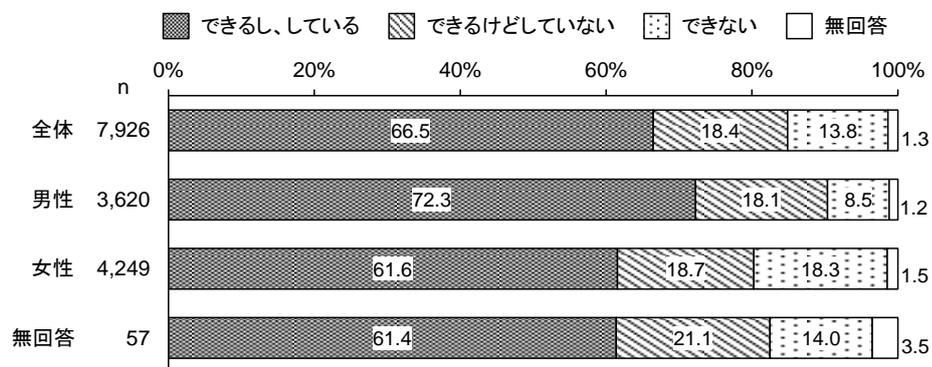
(1)階段での手すり等の利用状況【単一回答】

問5(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか

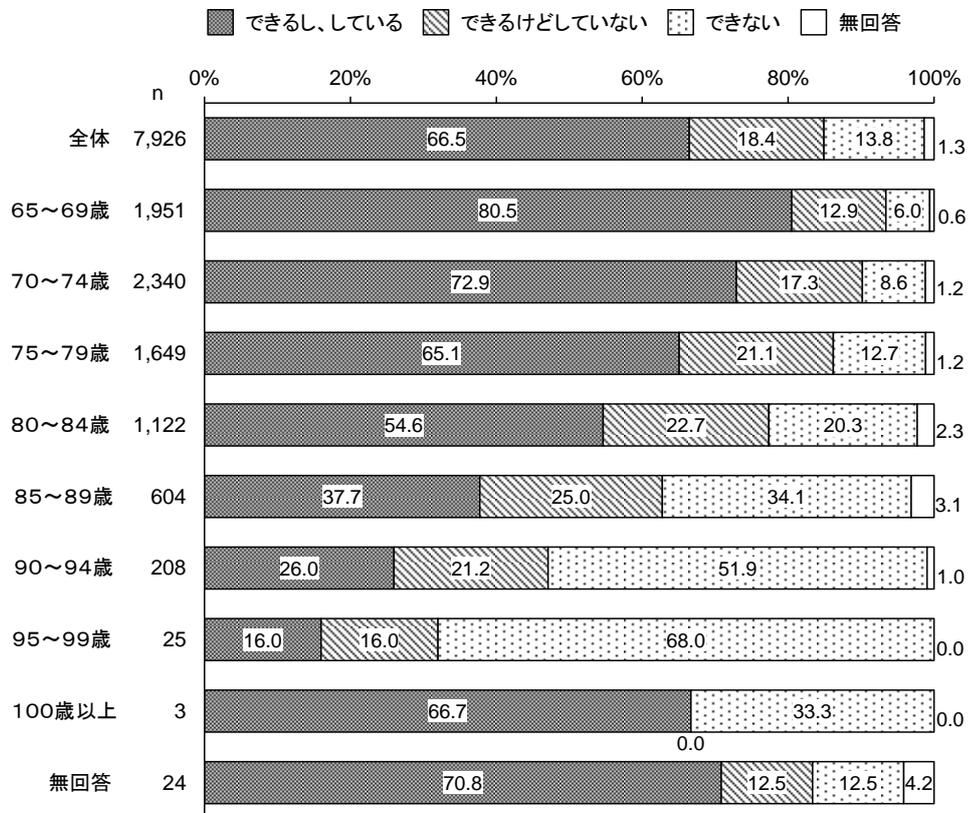
○階段を手すりや壁をつたわずに昇ることができるかについては、「できるし、している」の割合が66.5%と最も多く、次いで、「できるけどしていない」(18.4%)、「できない」(13.8%)となっています。



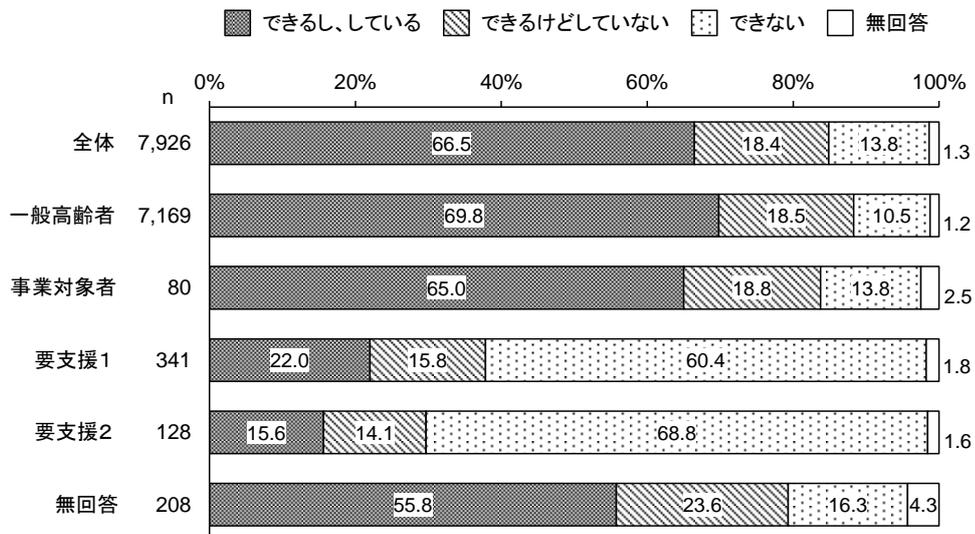
○性別にみると、「できない」の割合は女性(18.3%)が男性(8.5%)を9.8ポイント上回っています。



○年齢別にみると、年齢が高くなるにしたがって、「できるし、している」の割合が少なくなり、「できない」が多くなっています。

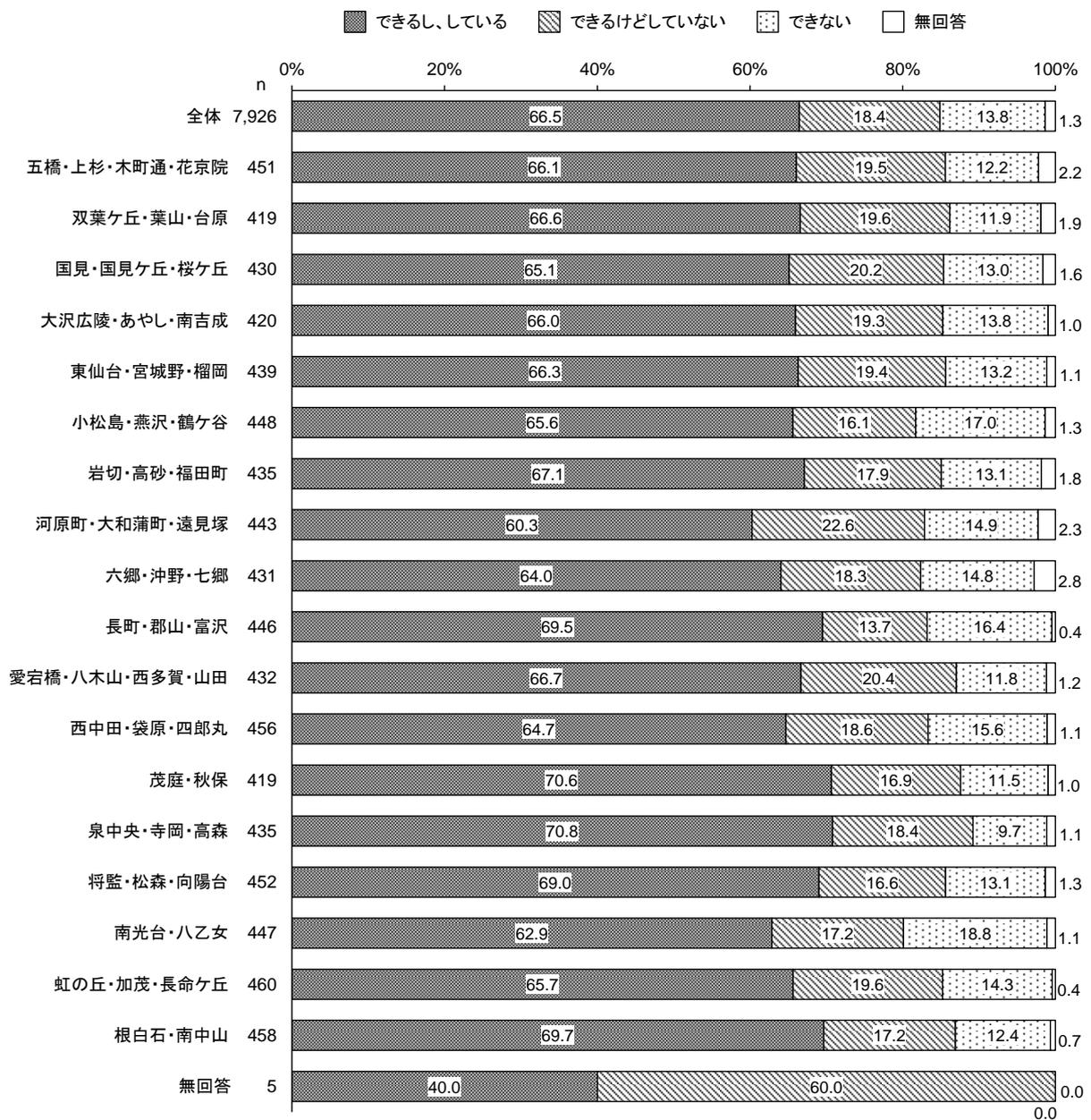


○要支援等の認定状況別にみると、要支援1、要支援2では「できない」が60%を超えて、一般高齢者、事業対象者に比べて多くなっています。



## 第2章 調査結果の分析

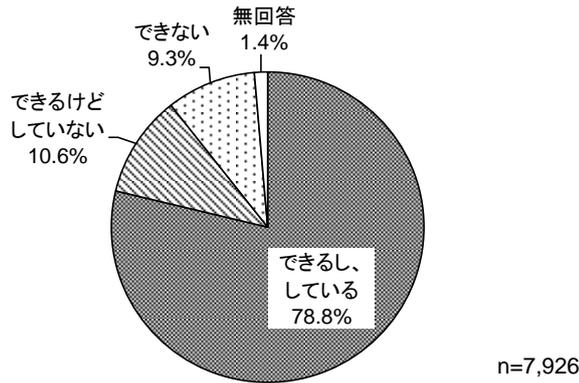
○調査区域別にみると、「できない」の割合は南光台・八乙女が18.8%と、他の調査区に比べて多くなっており、「できない」が最も少ない泉中央・寺岡・高森（9.7%）を9.1ポイント上回っています。



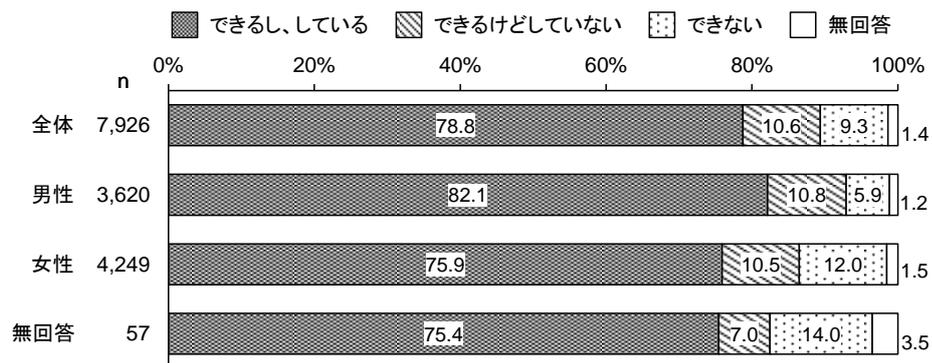
(2) 立ち上がり動作について【単一回答】

問5(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか

○椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっているかについては、「できるし、している」の割合が 78.8%と最も多く、次いで、「できるけどしていない」(10.6%)、「できない」(9.3%) となっています。

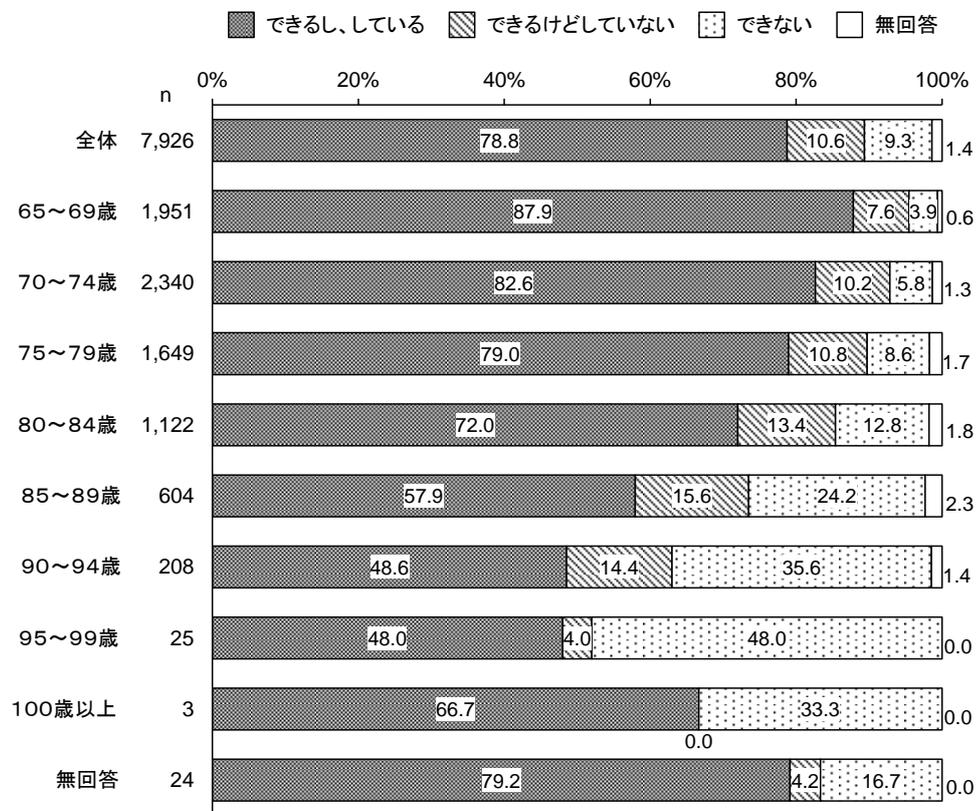


○性別にみると、女性では「できない」(12.0%)の割合が男性(5.9%)に比べて多くなっています。

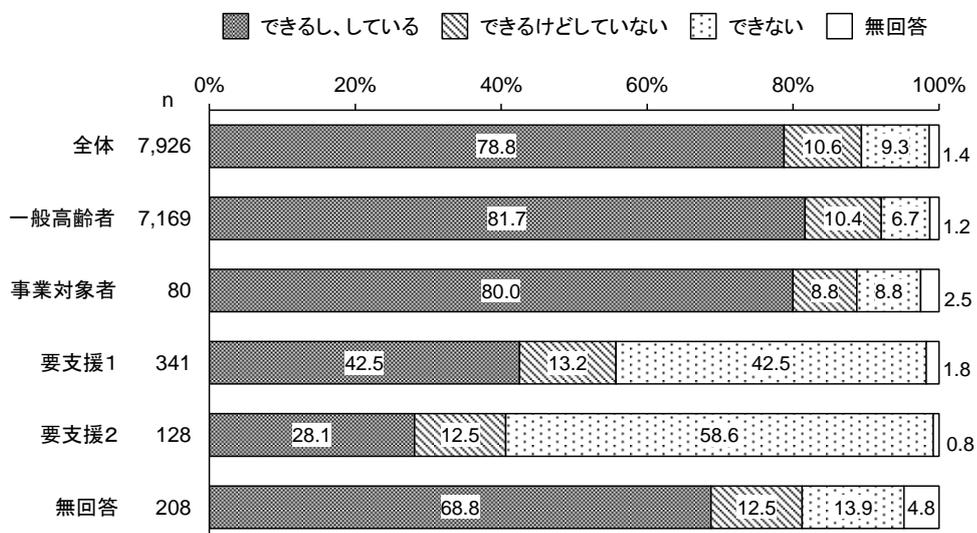


## 第2章 調査結果の分析

○年齢別にみると、年齢が高くなるにしたがって、「できるし、していない」の割合が少なくなり、「できない」が多くなっています。

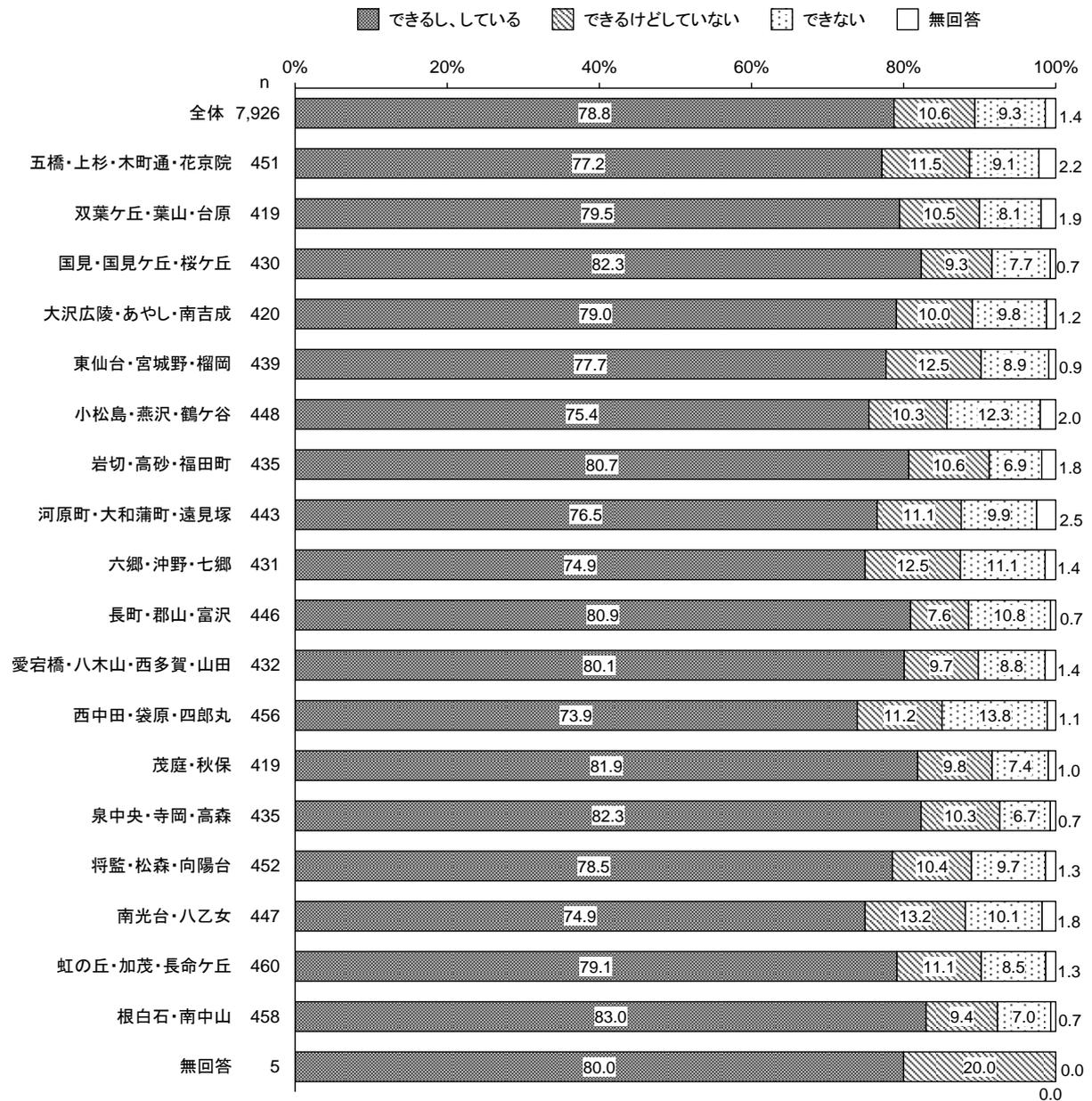


○要支援等の認定状況別にみると、要支援1、要支援2では「できない」の割合が多くなっており、要支援2では「できない」が58.6%と、一般高齢者（6.7%）、事業対象者（8.8%）を大きく上回っています。



## 第2章 調査結果の分析

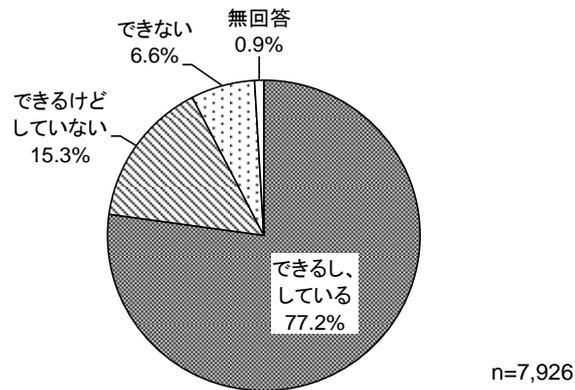
○調査区域別にみると、「できるし、している」の割合は根白石・南中山が83.0%、「できるけどしていない」は南光台・八乙女が13.2%、「できない」は西中田・袋原・四郎が13.8%と、他の調査区に比べて多くなっています。



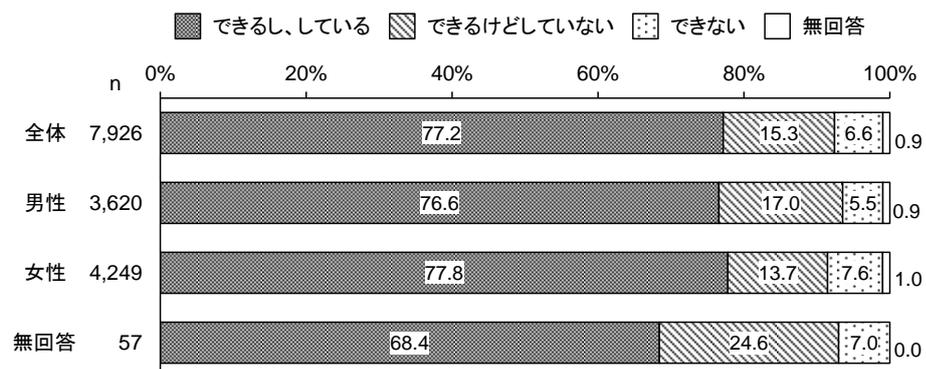
(3) 歩行について【単一回答】

問5(3) 15分位続けて歩いていますか

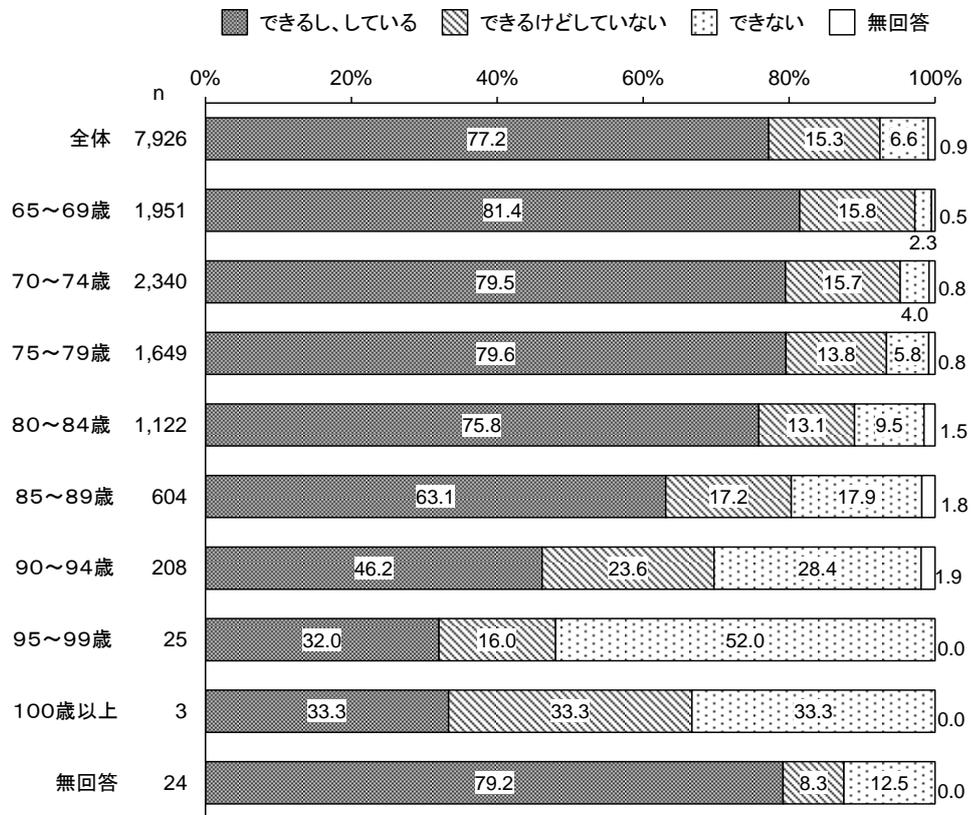
○15分程度継続した歩行については、「できるし、している」の割合が77.2%と最も多く、次いで、「できるけどしていない」(15.3%)、「できない」(6.6%)となっています。



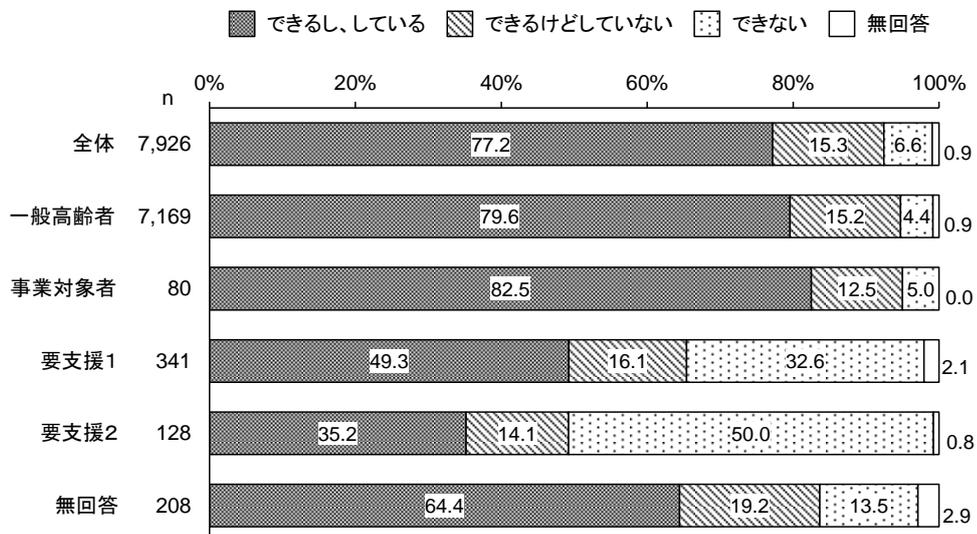
○性別にみると、大きな差はみられませんでした。



○年齢別にみると、年齢が高くなるにしたがって、「できるし、している」の割合が少なくなり、「できない」が多くなっています。

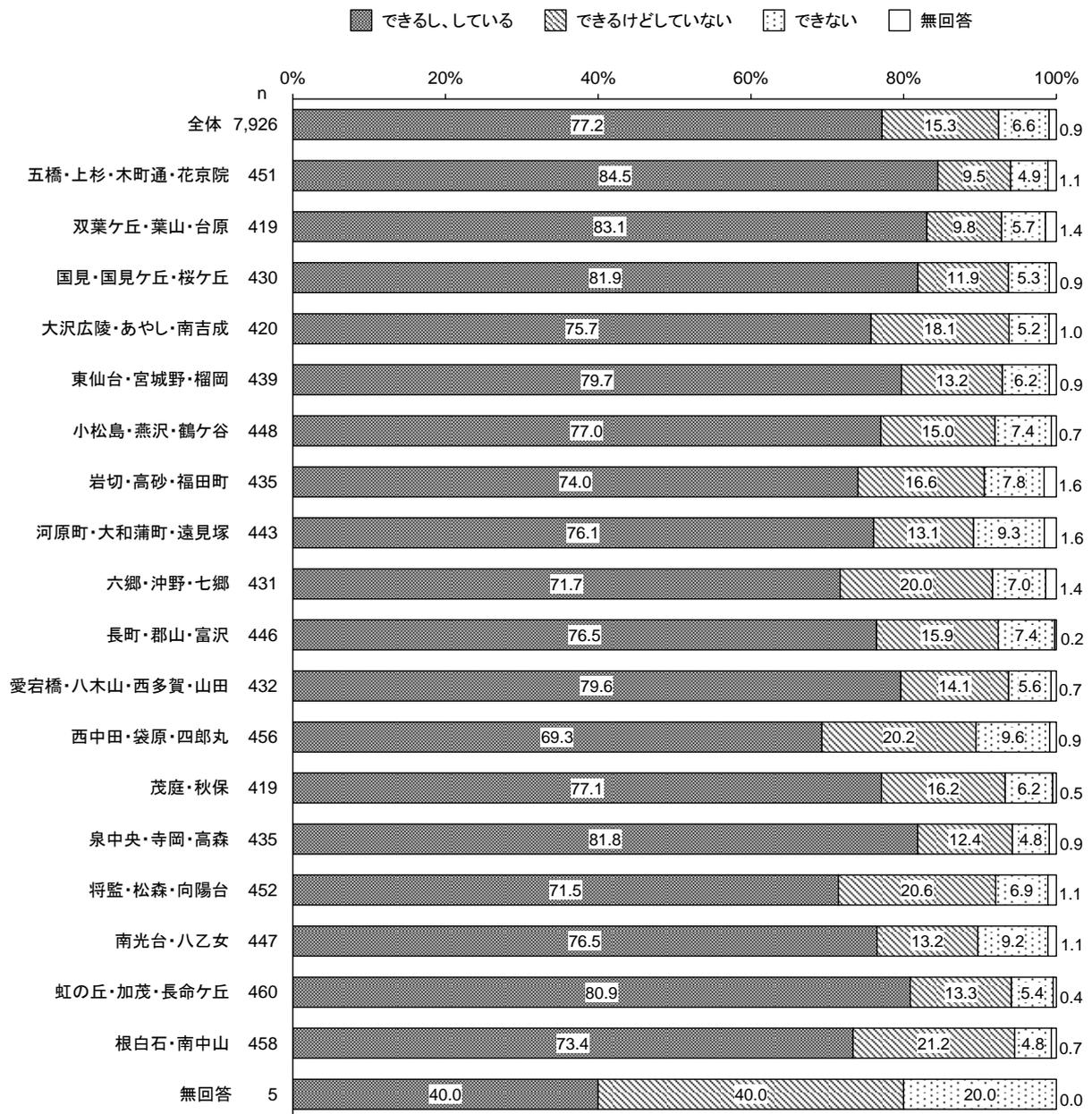


○要支援等の認定状況別にみると、要支援1、要支援2では「できない」の割合が多くなっており、要支援2では「できない」が50.0%と、一般高齢者（4.4%）、事業対象者（5.0%）を大きく上回っています。



## 第2章 調査結果の分析

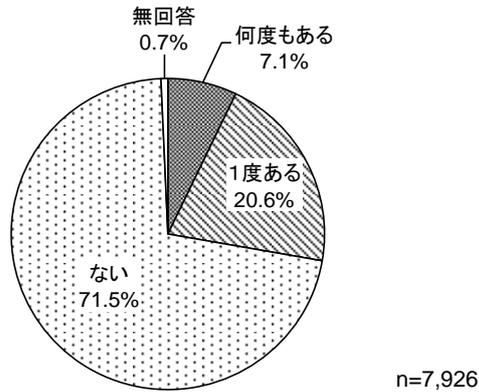
○調査区域別にみると、「できるし、している」の割合は五橋・上杉・木町通・花京院が84.5%、「できるけどしていない」は根白石・南中山が21.2%、「できない」は西中田・袋原・四郎丸が9.6%と、他の調査区に比べて多くなっています。



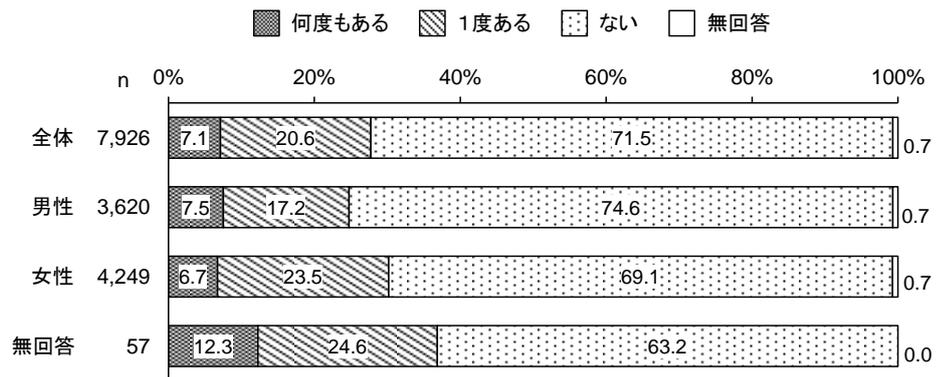
(4) 転倒の経験について【単一回答】

問5(4) 過去1年間に転んだ経験がありますか

○過去1年間に転んだ経験があるかについては、「ない」の割合が71.5%と最も多く、次いで、「1度ある」(20.6%)、「何度もある」(7.1%)となっています。

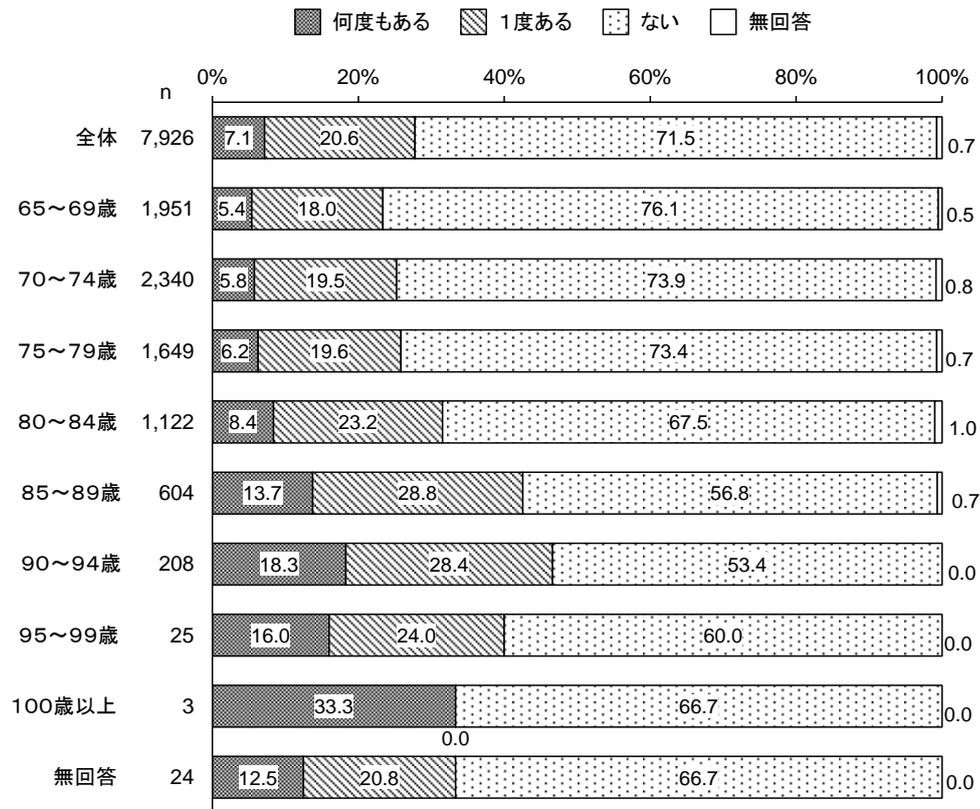


○性別にみると、「1度ある」の割合が女性では23.5%と、男性(17.2%)に比べて多くなっています。

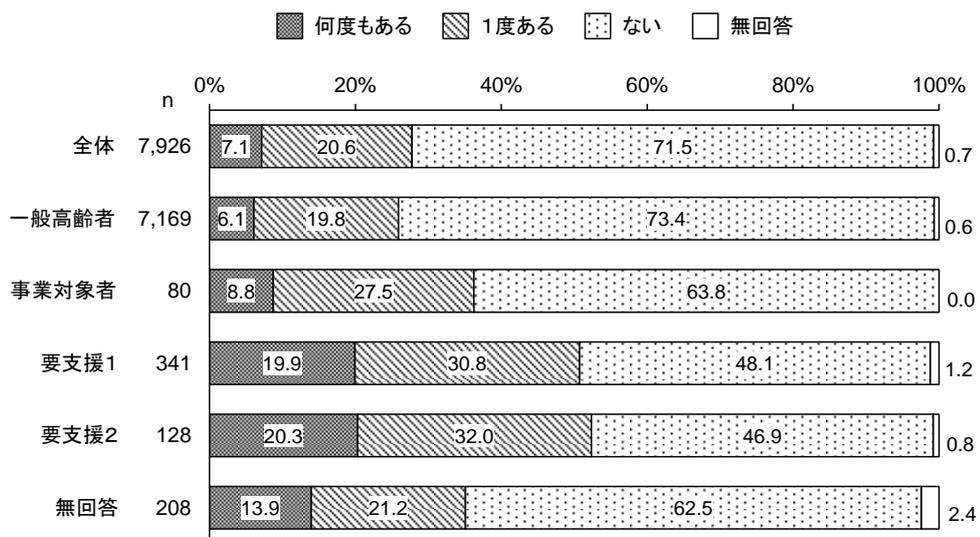


## 第2章 調査結果の分析

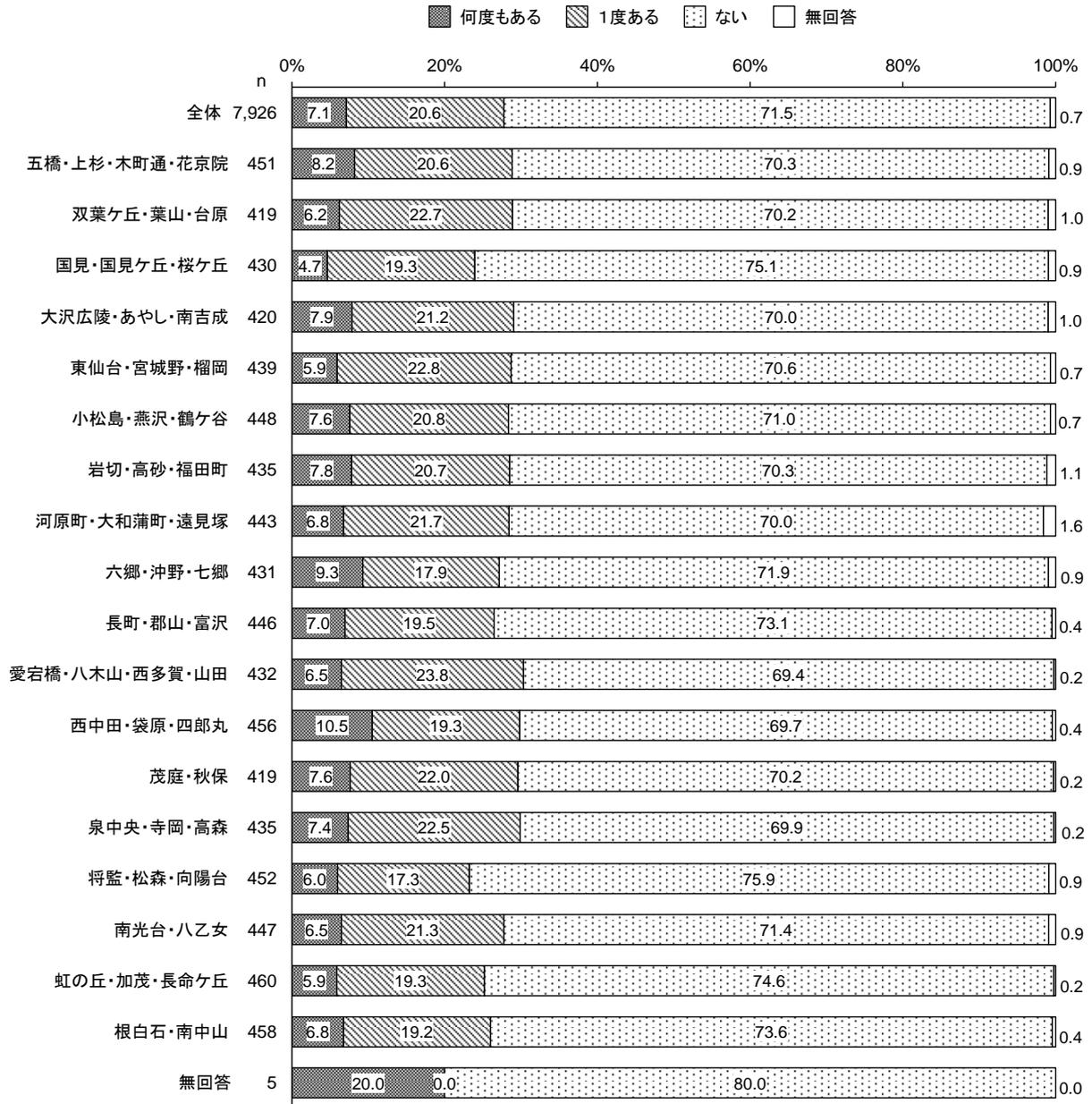
○年齢別にみると、年齢が高くなるにしたがって、「何でもある」、「1度ある」の割合が多くなっています。



○要支援等の認定状況別にみると、要支援1、要支援2では「何でもある」、「1度ある」の割合が多くなっています。



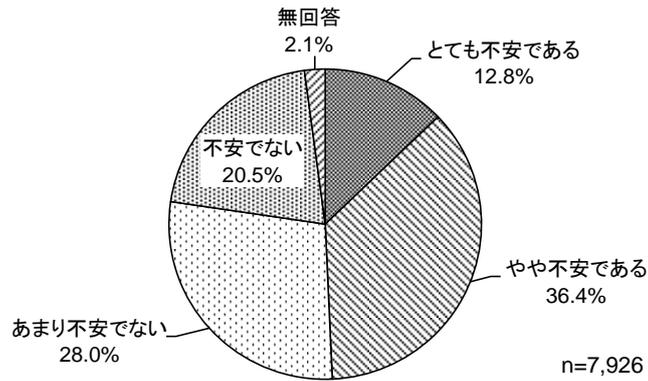
○調査区域別にみると、「何度もある」の割合は西中田・袋原・四郎丸が10.5%、「1度ある」は愛宕橋・八木山・西多賀・山田が23.8%、「ない」は将監・松森・向陽台が75.9%と、他の調査区に比べて多くなっています。



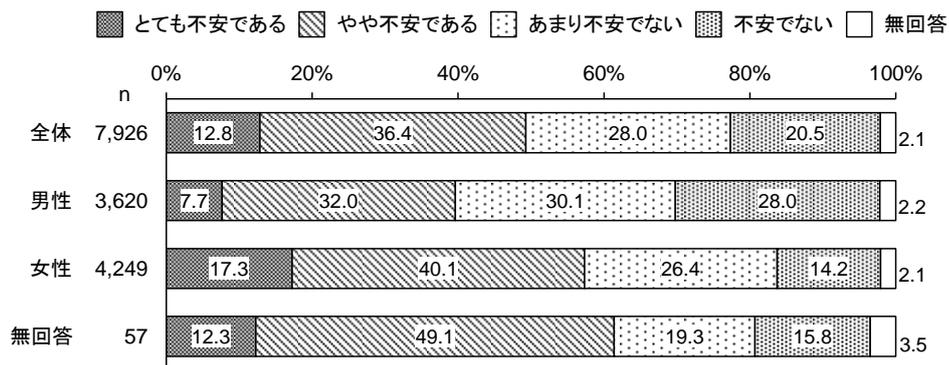
(5) 転倒に対する不安について【単一回答】

問5(5) 転倒に対する不安は大きいですか

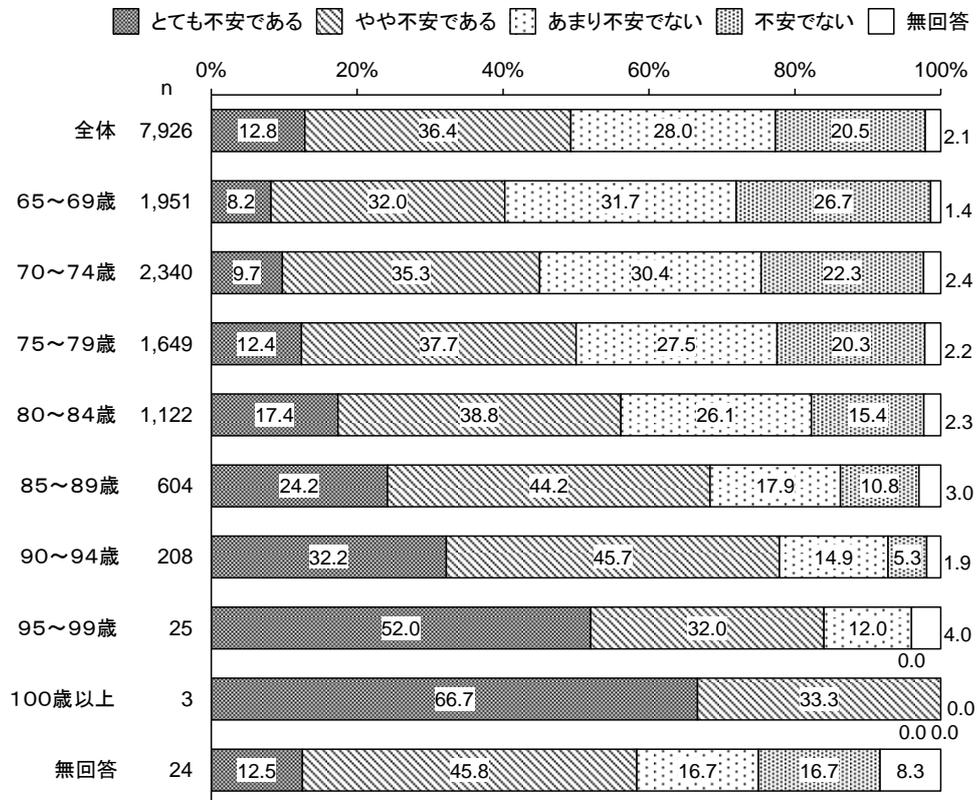
○転倒に対する不安は、「やや不安である」の割合が36.4%と最も多く、次いで、「あまり不安でない」(28.0%) となっています。



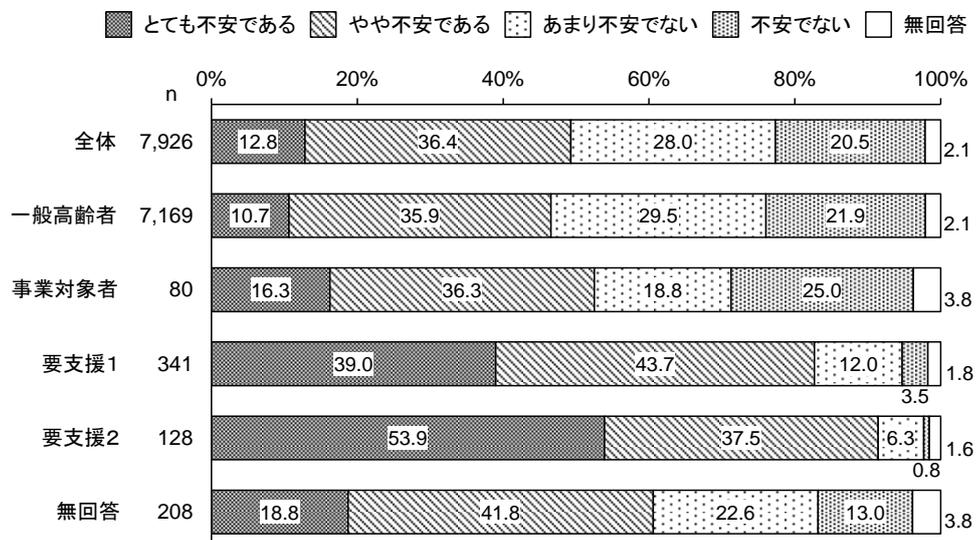
○性別にみると、女性では「とても不安である」(17.3%)、「やや不安である」(40.1%)の割合が男性に比べて多くなっています。



○年齢別にみると、年齢が高くなるにしたがって、「とても不安である」の割合が多くなっています。

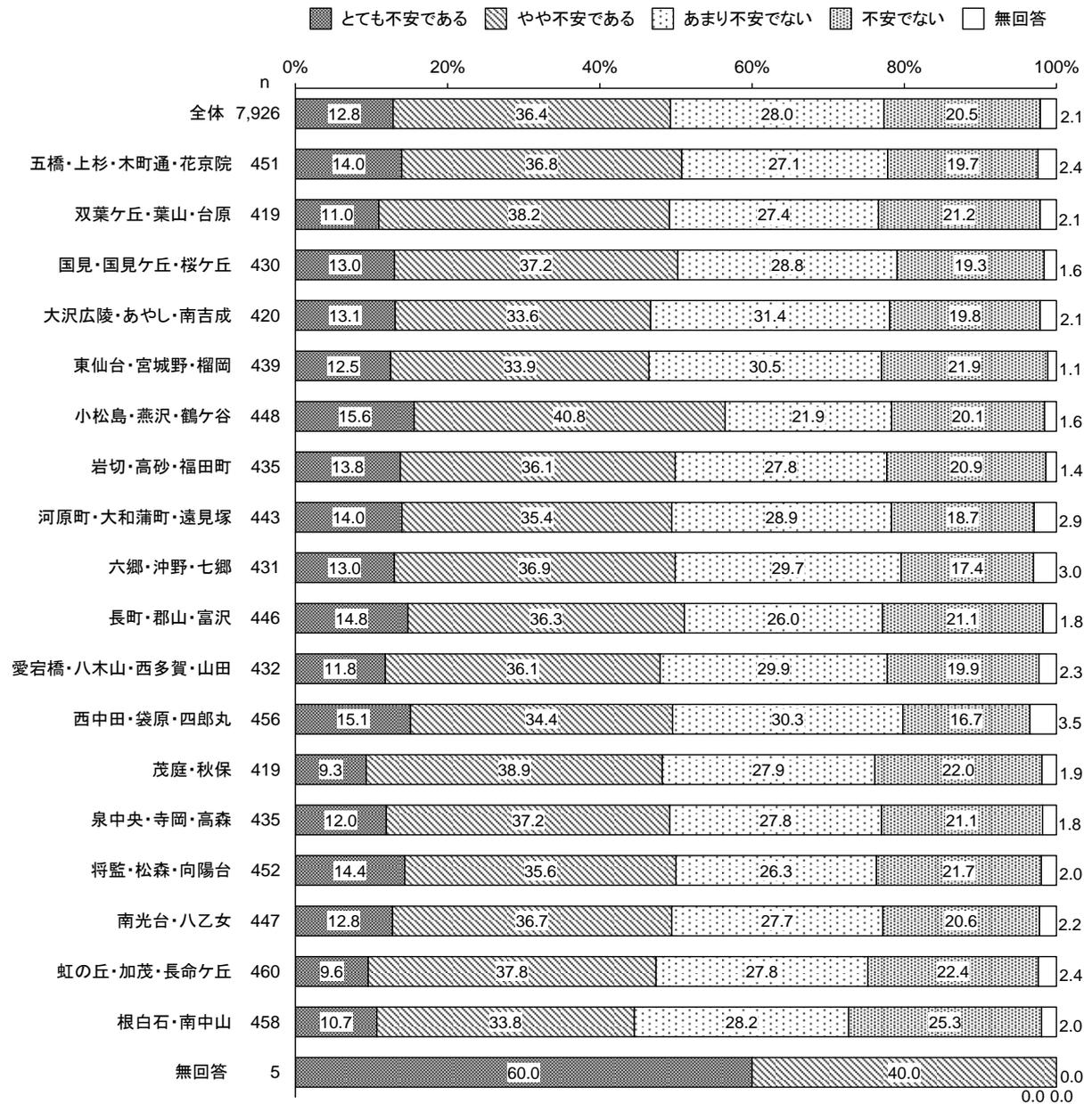


○要支援等の認定状況別にみると、要支援1、要支援2では「とても不安である」の割合が一般高齢者、事業対象者に比べて多くなっています。

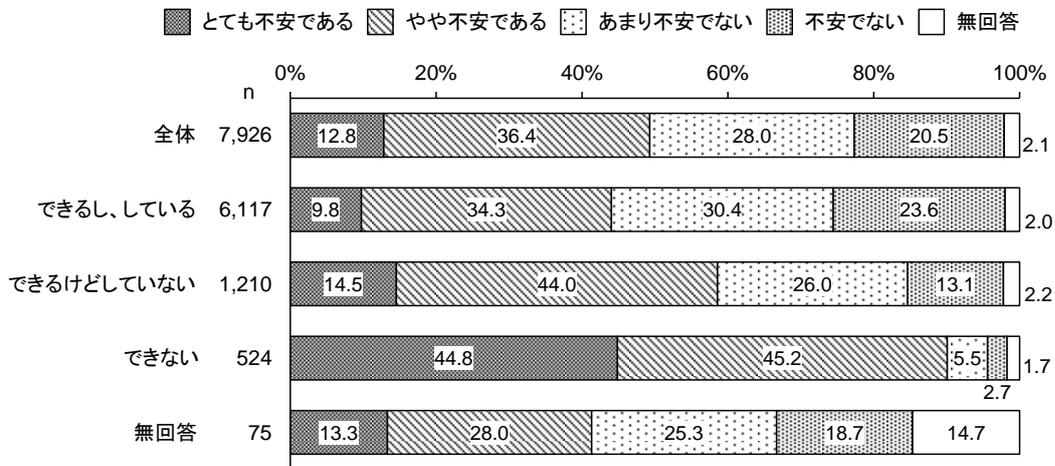


## 第2章 調査結果の分析

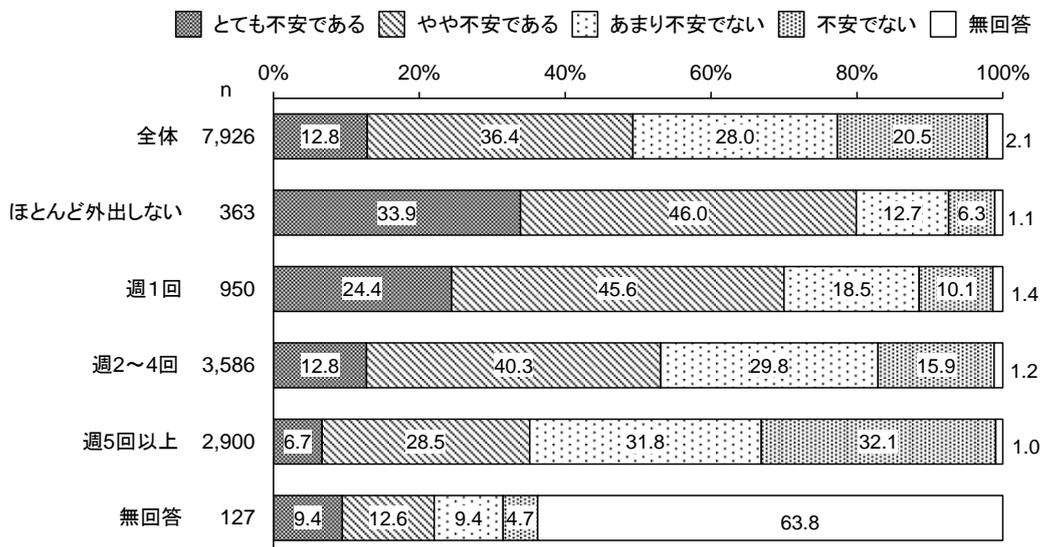
○調査区域別にみると、「とても不安である」の割合は小松島・燕沢・鶴ヶ谷が15.6%、「やや不安である」についても小松島・燕沢・鶴ヶ谷が40.8%と、他の調査区に比べて多くなっています。一方、「不安でない」の割合は根白石・南中山が25.3%と、他の調査区に比べて多くなっています。



○歩行の状況別にみると、15分程度続けて歩行することができない人では、「とても不安である」が44.8%と、歩行できる人に比べて多くなっています。



○外出頻度別にみると、外出の頻度が少なくなるにしたがって、「とても不安である」の割合が多くなっています。

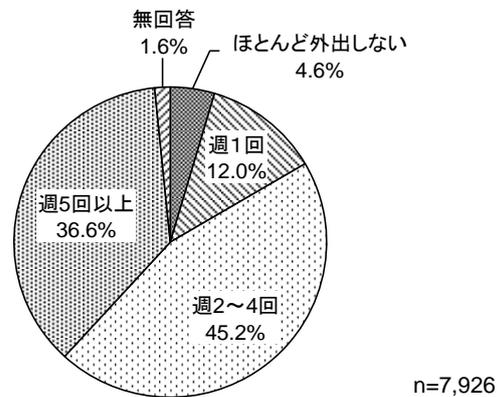


## 第2章 調査結果の分析

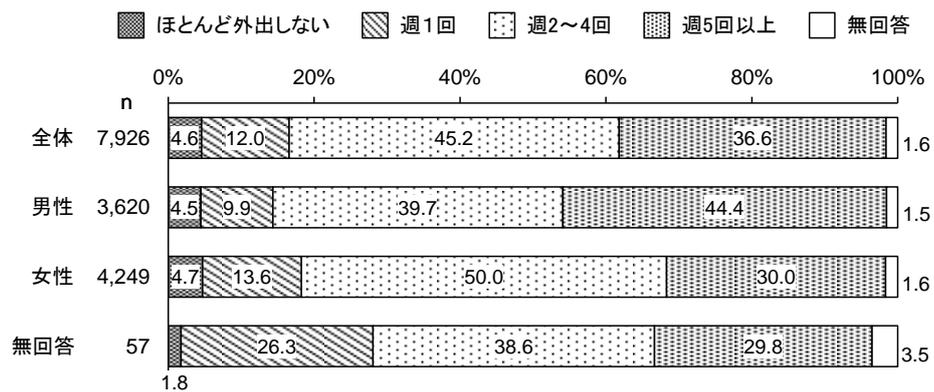
### (6)外出頻度について【単一回答】

問5(6) 週に1回以上は外出していますか

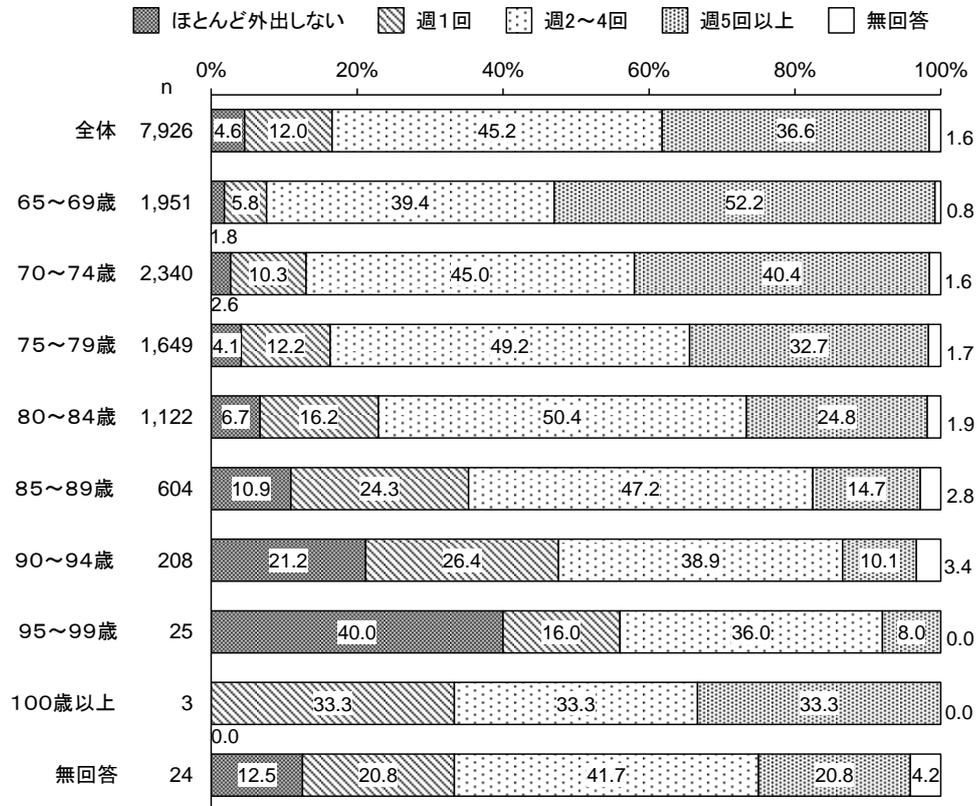
○週に1回以上は外出しているかについては、「週2～4回」の割合が45.2%と最も多く、次いで、「週5回以上」(36.6%)、「週1回」(12.0%)となっています。



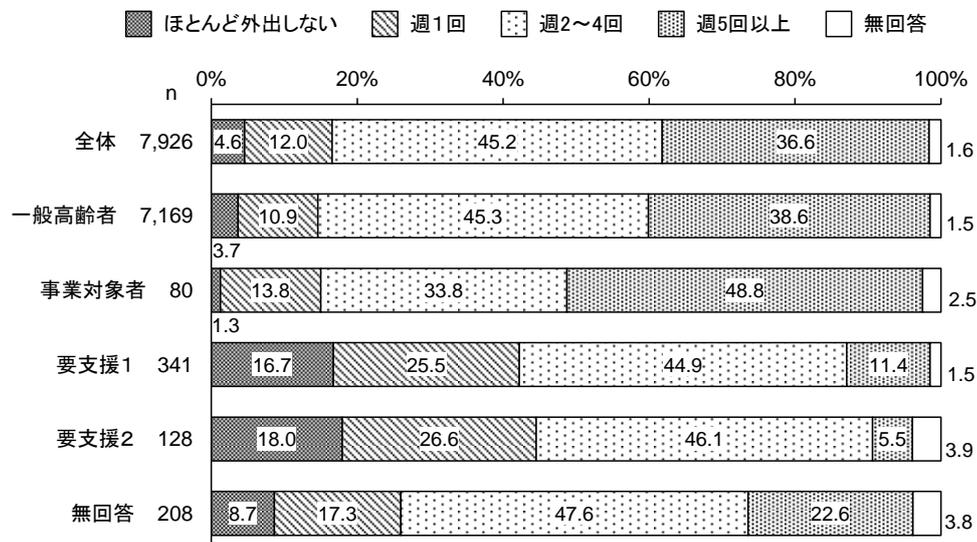
○性別にみると、男性では「週5回以上」の割合が44.4%と、女性(30.0%)を14.4ポイント上回っています。



○年齢別にみると、年齢が高くなるにしたがって、「ほとんど外出しない」の割合が多くなり、「週5回以上」が少なくなっています。

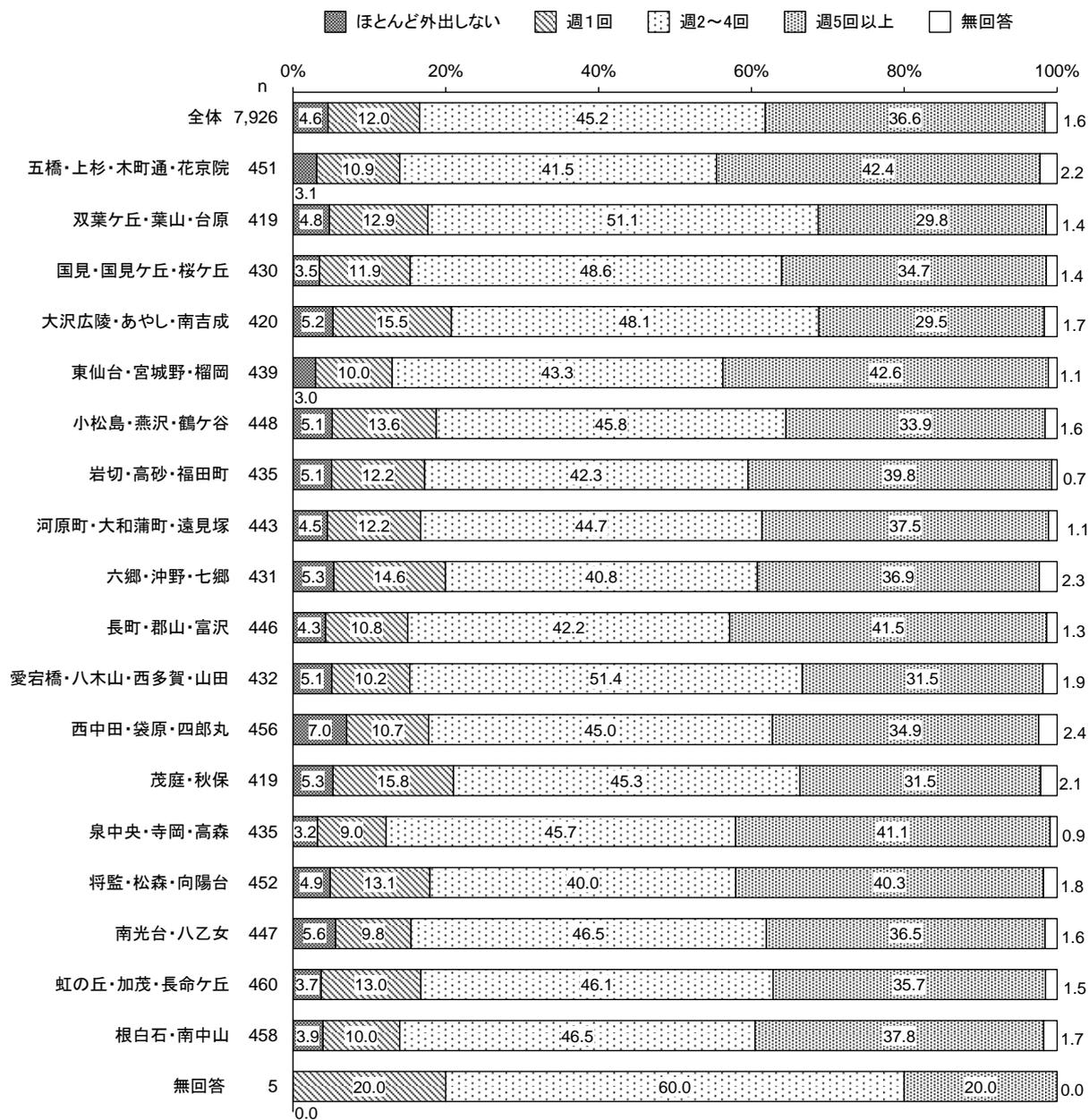


○要支援等の認定状況別にみると、要支援1、要支援2では「ほとんど外出しない」、「週1回」が一般高齢者、事業対象者に比べて多くなっています。

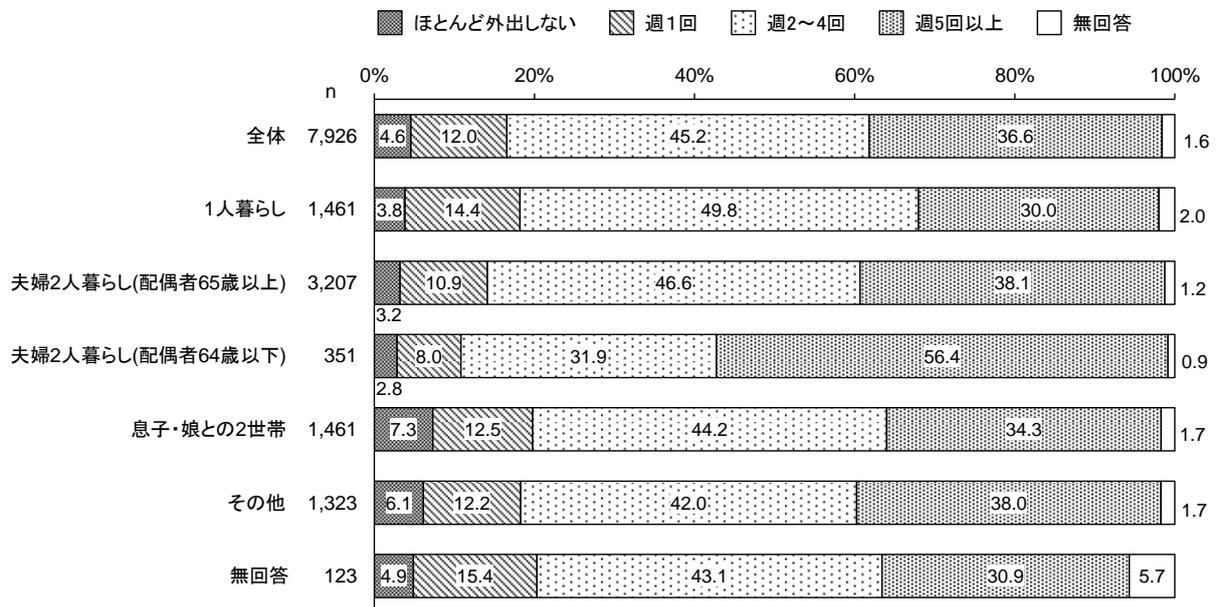


## 第2章 調査結果の分析

○調査区域別にみると、「週5回以上」の割合は東仙台・宮城野・榴岡（42.6%）が他の調査区に比べて多くなっています。一方、「ほとんど外出しない」は西中田・袋原・四郎丸が7.0%と、他の調査区に比べて多くなっています。



○家族構成別にみると、夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）では「週5回以上」の割合が56.4%と、他の家族構成に比べて多くなっています。

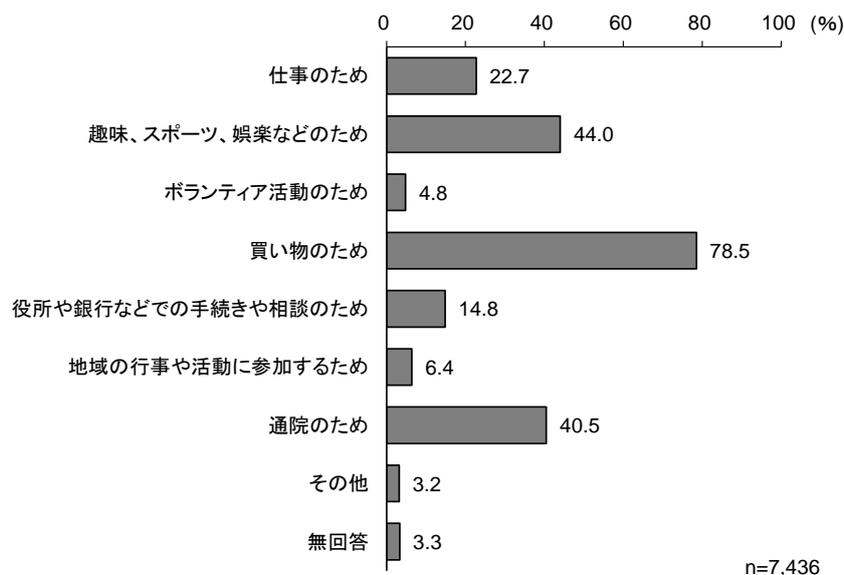


## 第2章 調査結果の分析

### (7)外出の目的について【複数回答】

問5(7) (6)で外出していると回答した方におたずねします。普段どのような目的で外出しますか  
(主なものを3つまで)

○外出の目的は、「買い物のため」(78.5%)が最も多く、次いで、「趣味、スポーツ、娯楽などのため」(44.0%)、「通院のため」(40.5%)となっています。



○性別にみると、男性では「仕事のため」の割合が30.7%と女性(15.9%)に比べて多く、女性では「通院のため」(45.0%)が男性(35.2%)に比べて多くなっています。

	調査数	仕事のため	趣味、スポーツ、娯楽などのため	ボランティア活動のため	買い物のため	役所や銀行などでの手続きや相談のため	参加地域の行事や活動に	通院のため	その他	無回答
全体	7,436	1,689	3,273	357	5,839	1,103	477	3,011	239	248
	100.0	22.7	44.0	4.8	78.5	14.8	6.4	40.5	3.2	3.3
問1 本人の性別										
男性	3,403	1,045	1,658	178	2,416	416	236	1,197	90	98
	100.0	30.7	48.7	5.2	71.0	12.2	6.9	35.2	2.6	2.9
女性	3,979	633	1,598	173	3,384	675	238	1,792	149	146
	100.0	15.9	40.2	4.3	85.0	17.0	6.0	45.0	3.7	3.7
無回答	54	11	17	6	39	12	3	22	0	4
	100.0	20.4	31.5	11.1	72.2	22.2	5.6	40.7	0.0	7.4

## 第2章 調査結果の分析

○年齢別にみると、65～69歳では「仕事のため」の割合が42.9%と、他の年齢層に比べて多くなっています。また、年齢が高くなるにしたがって、「通院のため」が多くなっています。

	調査数	仕事のため	趣味、スポーツ、	ボランティア活動のため	買い物のため	役所や銀行などでの手続きや相談のため	地域の行事や活動に参加するため	通院のため	その他	無回答
上段: 件数 下段: %										
全体	7,436 100.0	1,689 22.7	3,273 44.0	357 4.8	5,839 78.5	1,103 14.8	477 6.4	3,011 40.5	239 3.2	248 3.3
問2 本人の年齢										
65～69歳	1,900 100.0	815 42.9	854 44.9	73 3.8	1,466 77.2	217 11.4	52 2.7	484 25.5	75 3.9	46 2.4
70～74歳	2,241 100.0	577 25.7	1,023 45.6	127 5.7	1,774 79.2	318 14.2	152 6.8	842 37.6	68 3.0	63 2.8
75～79歳	1,553 100.0	208 13.4	748 48.2	91 5.9	1,262 81.3	243 15.6	129 8.3	694 44.7	29 1.9	66 4.2
80～84歳	1,026 100.0	59 5.8	426 41.5	58 5.7	819 79.8	187 18.2	96 9.4	561 54.7	31 3.0	45 4.4
85～89歳	521 100.0	26 5.0	172 33.0	7 1.3	385 73.9	94 18.0	34 6.5	312 59.9	17 3.3	24 4.6
90～94歳	157 100.0	1 0.6	40 25.5	0 0.0	107 68.2	35 22.3	13 8.3	98 62.4	16 10.2	3 1.9
95～99歳	15 100.0	0 0.0	4 26.7	0 0.0	12 80.0	2 13.3	— —	10 66.7	2 13.3	— —
100歳以上	3 100.0	1 33.3	— —	— —	— —	— —	— —	1 33.3	1 33.3	— —
無回答	20 100.0	2 10.0	6 30.0	1 5.0	14 70.0	7 35.0	1 5.0	9 45.0	— —	1 5.0

## 第2章 調査結果の分析

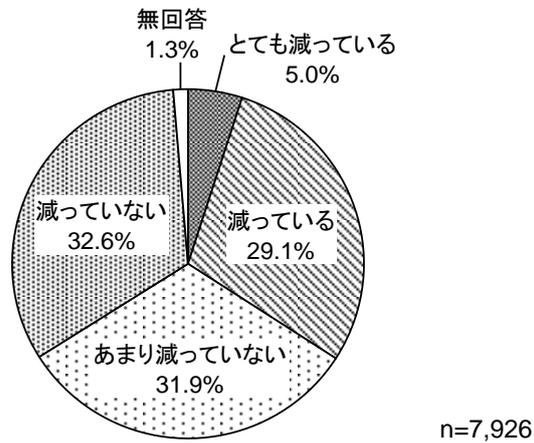
○調査区域別にみると、「趣味、スポーツ、娯楽などのため」は虹の丘・加茂・長命ヶ丘が51.4%、「仕事のため」は根白石・南中山が30.1%と、それぞれ他の調査区に比べて多くなっています。

上段:件数 下段:%	調査数	仕事のため	趣味、スポーツ、娯楽などのため	ボランティア活動のため	買い物のため	手続所や銀行などため	参加地域の行事や活動に	通院のため	その他	無回答
全体	7,436 100.0	1,689 22.7	3,273 44.0	357 4.8	5,839 78.5	1,103 14.8	477 6.4	3,011 40.5	239 3.2	248 3.3
調査区域										
五橋・上杉・木町通・花京院	427 100.0	112 26.2	194 45.4	15 3.5	340 79.6	72 16.9	14 3.3	171 40.0	16 3.7	9 2.1
双葉ヶ丘・葉山・台原	393 100.0	87 22.1	191 48.6	17 4.3	309 78.6	57 14.5	24 6.1	161 41.0	14 3.6	13 3.3
国見・国見ヶ丘・桜ヶ丘	409 100.0	67 16.4	192 46.9	24 5.9	340 83.1	71 17.4	28 6.8	170 41.6	21 5.1	11 2.7
大沢広陵・あやし・南吉成	391 100.0	83 21.2	163 41.7	15 3.8	304 77.7	58 14.8	16 4.1	159 40.7	13 3.3	12 3.1
東仙台・宮城野・榴岡	421 100.0	116 27.6	179 42.5	19 4.5	332 78.9	79 18.8	30 7.1	148 35.2	12 2.9	12 2.9
小松島・燕沢・鶴ヶ谷	418 100.0	85 20.3	161 38.5	22 5.3	328 78.5	59 14.1	38 9.1	185 44.3	14 3.3	15 3.6
岩切・高砂・福田町	410 100.0	101 24.6	162 39.5	16 3.9	310 75.6	53 12.9	29 7.1	164 40.0	11 2.7	16 3.9
河原町・大和蒲町・遠見塚	418 100.0	93 22.2	168 40.2	17 4.1	330 78.9	62 14.8	27 6.5	172 41.1	10 2.4	15 3.6
六郷・沖野・七郷	398 100.0	96 24.1	158 39.7	17 4.3	307 77.1	59 14.8	18 4.5	174 43.7	10 2.5	14 3.5
長町・郡山・富沢	421 100.0	103 24.5	173 41.1	18 4.3	345 81.9	95 22.6	21 5.0	178 42.3	12 2.9	9 2.1
愛宕橋・八木山・西多賀・山田	402 100.0	74 18.4	193 48.0	34 8.5	298 74.1	46 11.4	30 7.5	147 36.6	19 4.7	19 4.7
西中田・袋原・四郎丸	413 100.0	91 22.0	180 43.6	24 5.8	316 76.5	58 14.0	37 9.0	176 42.6	8 1.9	16 3.9
茂庭・秋保	388 100.0	94 24.2	163 42.0	17 4.4	299 77.1	40 10.3	29 7.5	173 44.6	6 1.5	14 3.6
泉中央・寺岡・高森	417 100.0	102 24.5	193 46.3	17 4.1	336 80.6	61 14.6	27 6.5	162 38.8	11 2.6	17 4.1
将監・松森・向陽台	422 100.0	84 19.9	202 47.9	19 4.5	330 78.2	54 12.8	30 7.1	156 37.0	12 2.8	18 4.3
南光台・八乙女	415 100.0	94 22.7	175 42.2	19 4.6	326 78.6	60 14.5	21 5.1	185 44.6	10 2.4	12 2.9
虹の丘・加茂・長命ヶ丘	436 100.0	76 17.4	224 51.4	26 6.0	345 79.1	62 14.2	34 7.8	169 38.8	21 4.8	17 3.9
根白石・南中山	432 100.0	130 30.1	200 46.3	21 4.9	340 78.7	57 13.2	24 5.6	157 36.3	19 4.4	9 2.1
無回答	5 100.0	1 20.0	2 40.0	— —	4 80.0	— —	— —	4 80.0	— —	— —

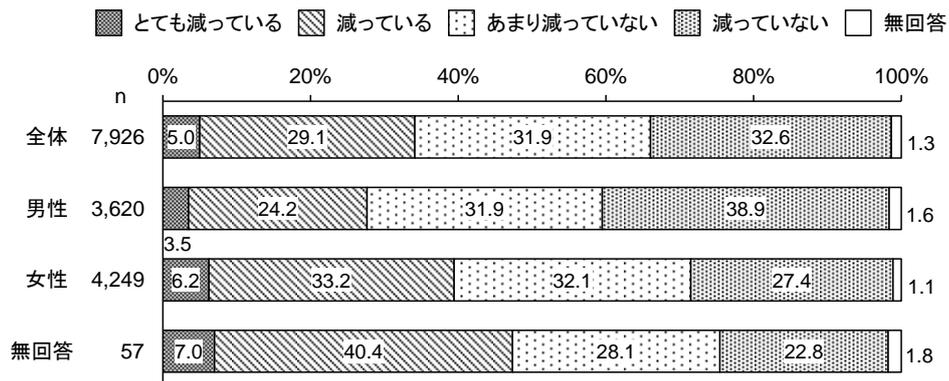
(8) 昨年と比較した外出頻度について【単一回答】

問5(8) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか

○昨年と比較した外出頻度は、「減っていない」の割合が32.6%と最も多く、次いで、「あまり減っていない」(31.9%)、「減っている」(29.1%)となっています。

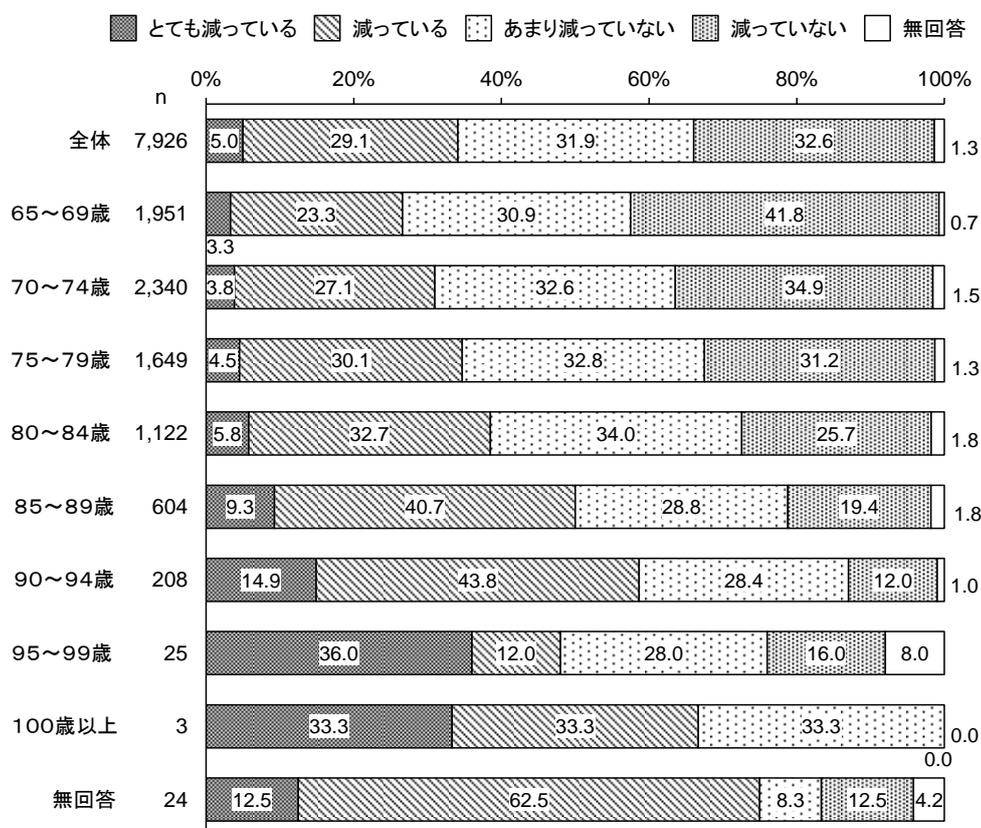


○性別にみると、女性では「減っている」の割合が33.2%と男性(24.2%)に比べて多くなっています。

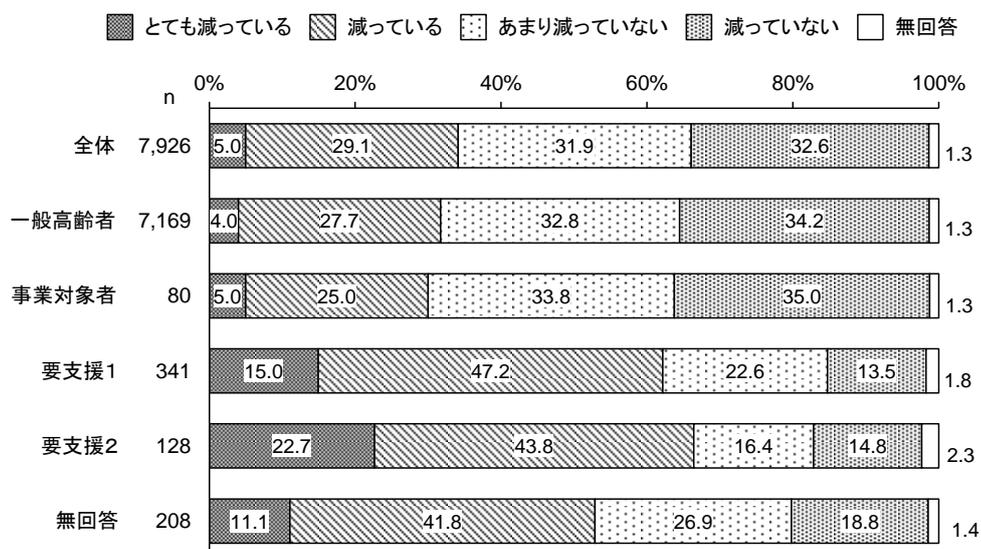


## 第2章 調査結果の分析

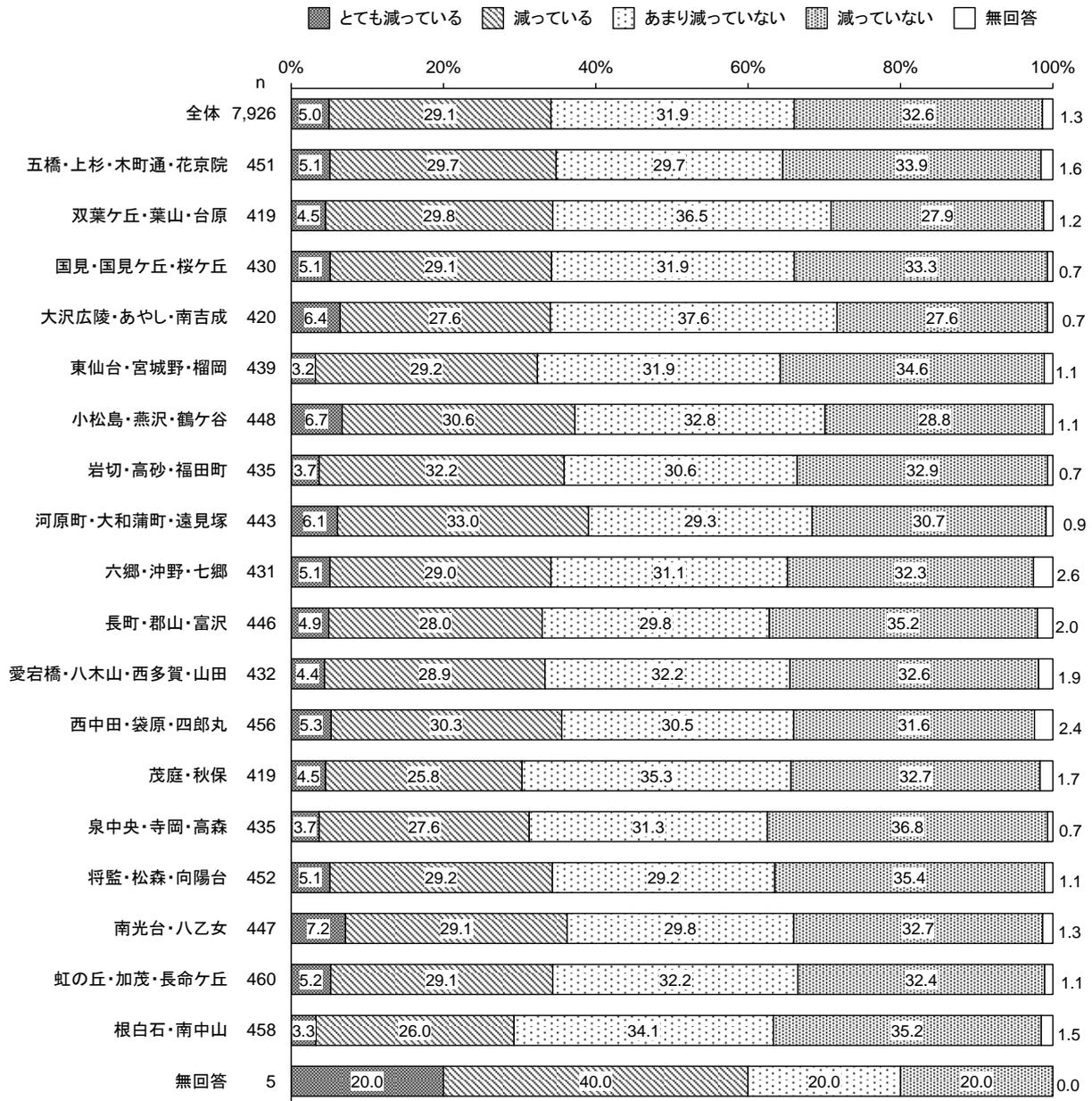
○年齢別にみると、年齢が高くなるにしたがって、「とても減っている」の割合が多くなっています。



○要支援等の認定状況別にみると、要支援1、要支援2では「とても減っている」、「減っている」の割合が一般高齢者、事業対象者に比べて多くなっています。

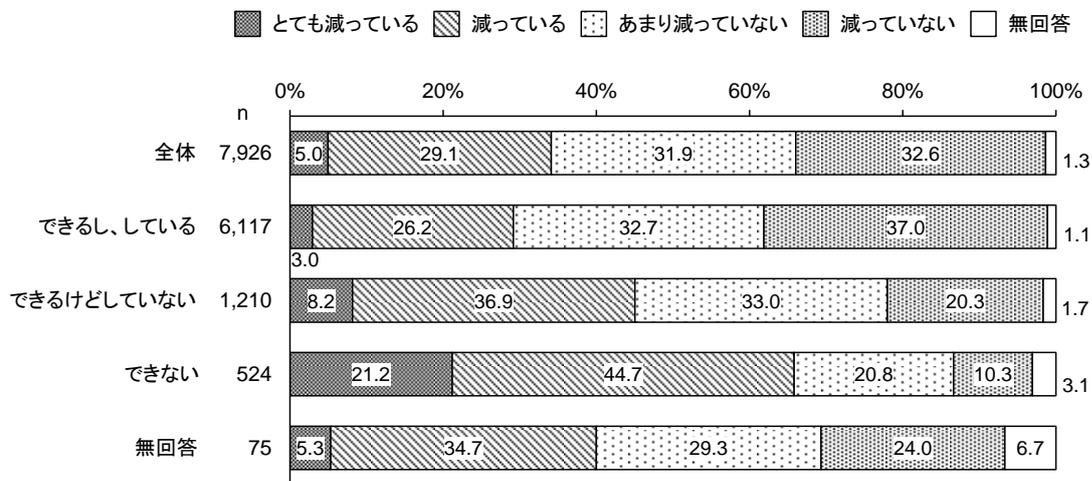


○調査区域別にみると、「減っている」は河原町・大和蒲町・遠見塚が33.0%、「あまり減っていない」は大沢広陵・あやし・南吉成が37.6%、「減っていない」は泉中央・寺岡・高森が36.8%と、他の調査区に比べて多くなっています。

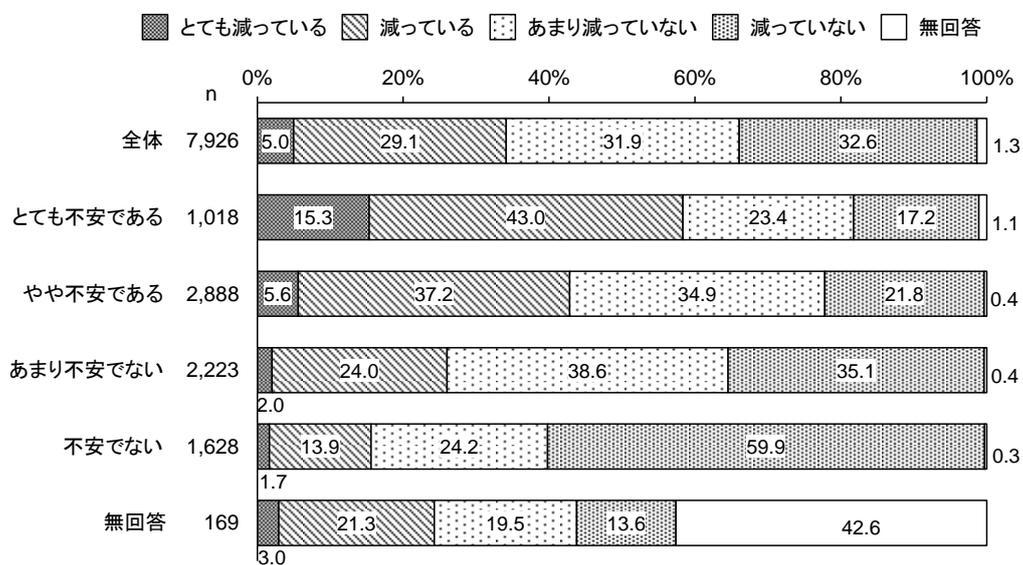


## 第2章 調査結果の分析

○歩行の状況別にみると、15分程度続けて歩行することができない人では、「とても減っている」が21.2%、「減っている」が44.7%と、歩行できる人に比べて多くなっています。



○転倒への不安別にみると、転倒への不安が大きくなるほど、「とても減っている」、「減っている」の割合が多くなっています。

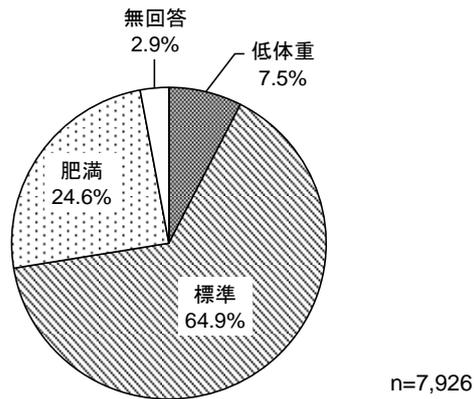


4. 食べることについて

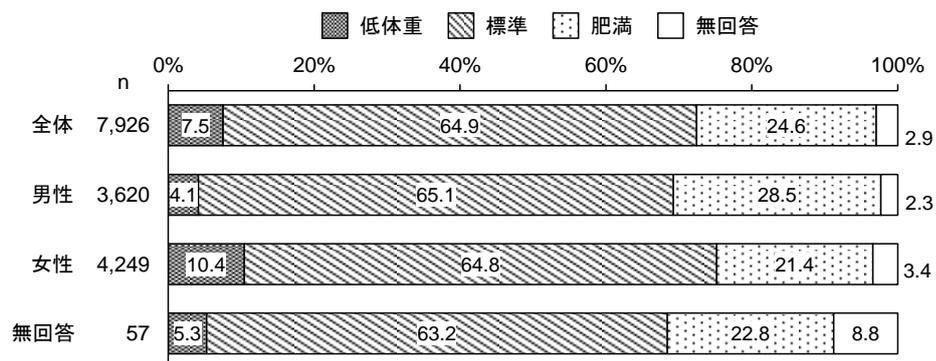
(1) 身長・体重

問6(1) 身長・体重をご記入ください

○身長・体重をもとにBMIを算出したところ、「標準」(64.9%)が最も多く、次いで、「肥満」(24.6%)、「低体重」(7.5%)となっています。

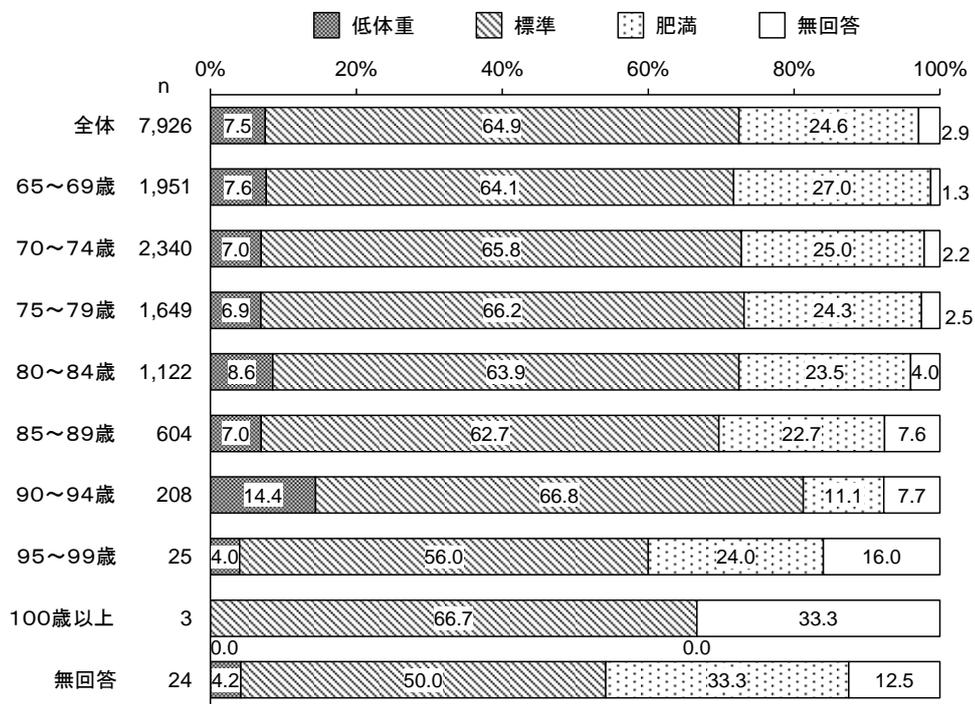


○性別にみると、男性では「肥満」の割合が28.5%と、女性(21.4%)に比べて多く、女性では「低体重」(10.4%)が男性(4.1%)に比べて多くなっています。

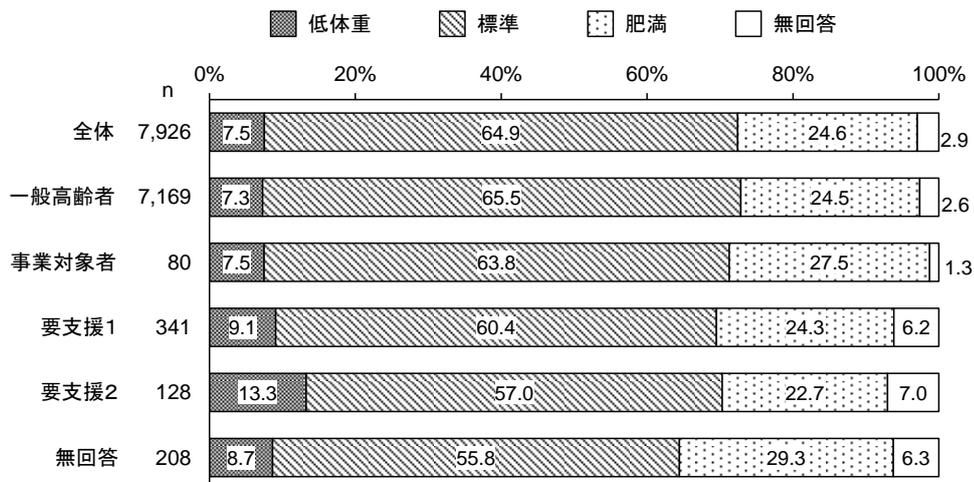


## 第2章 調査結果の分析

○年齢別にみると、90～94歳では「低体重」が14.4%と、他の年齢層に比べて多くなっています。

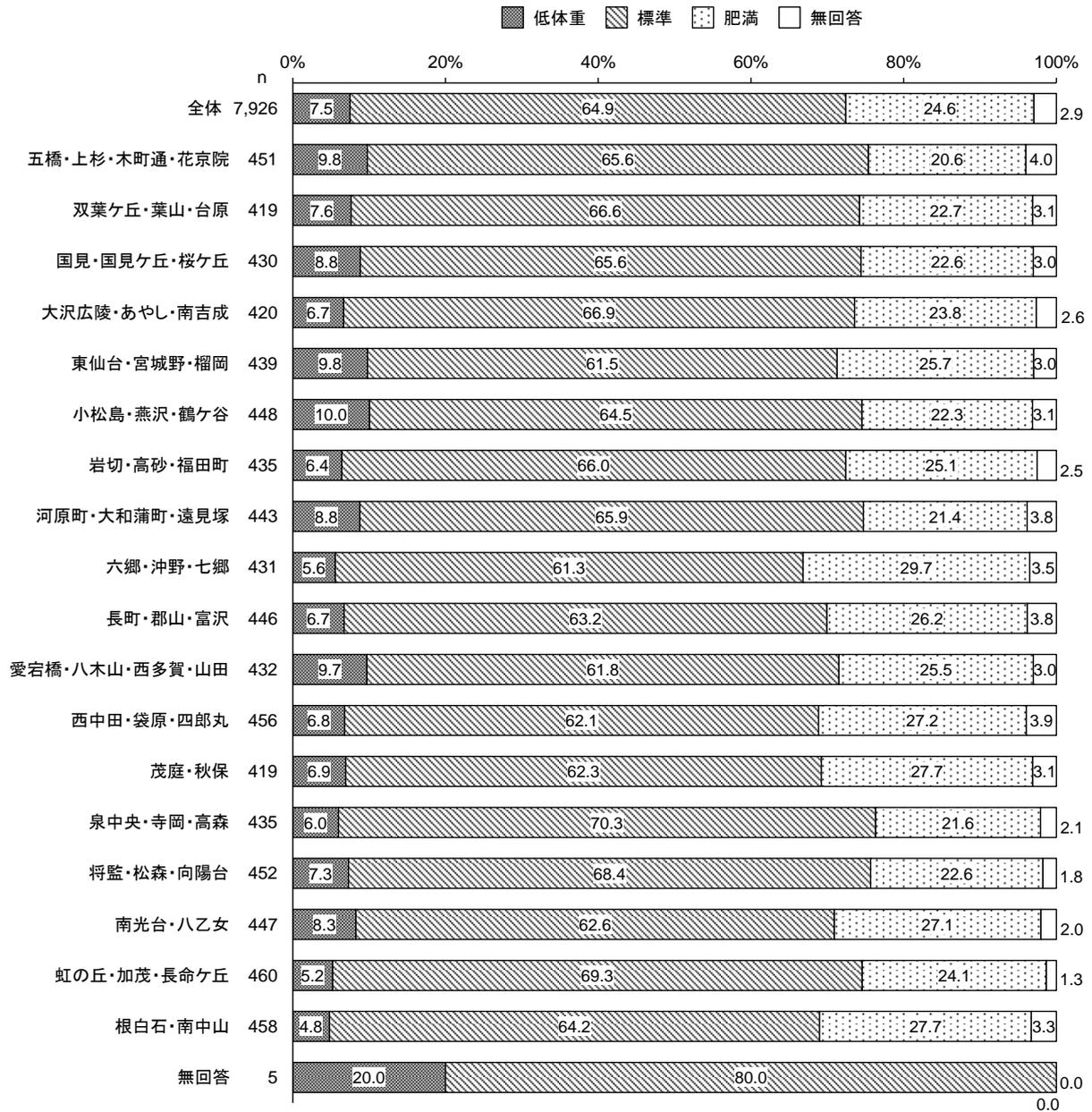


○要支援等の認定状況別にみると、要支援2では「低体重」が13.3%と、一般高齢者や事業対象者に比べて多くなっています。



## 第2章 調査結果の分析

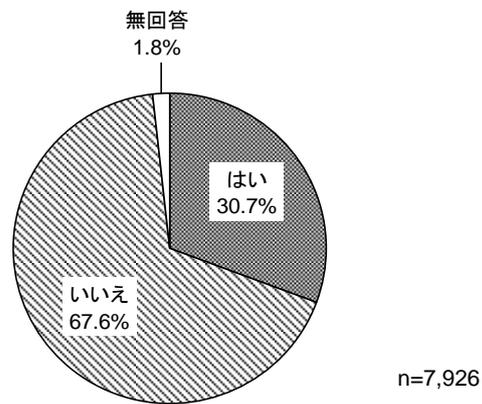
○調査区域別にみると、「低体重」が最も多いのは小松島・燕沢・鶴ヶ谷で10.0%、「標準」が最も多いのは「泉中央・寺岡・高森」で70.3%、「肥満」が最も多いのは六郷・沖野・七郷で29.7%となっています。



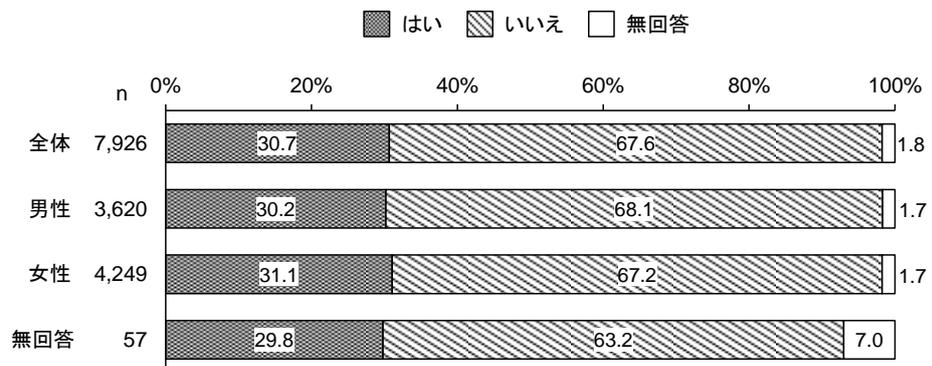
(2) 固いものの食べにくさについて【単一回答】

問6(2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか

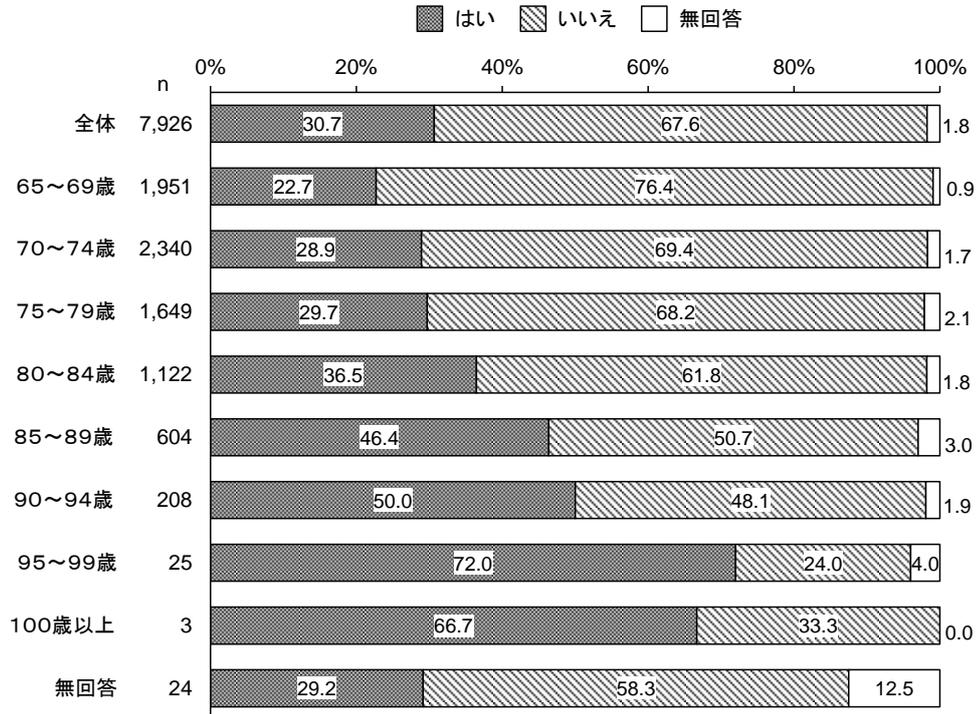
○半年前に比べて固いものが食べにくくなったかについては、「はい」の割合が 30.7%、「いいえ」の割合が 67.6%となっています。



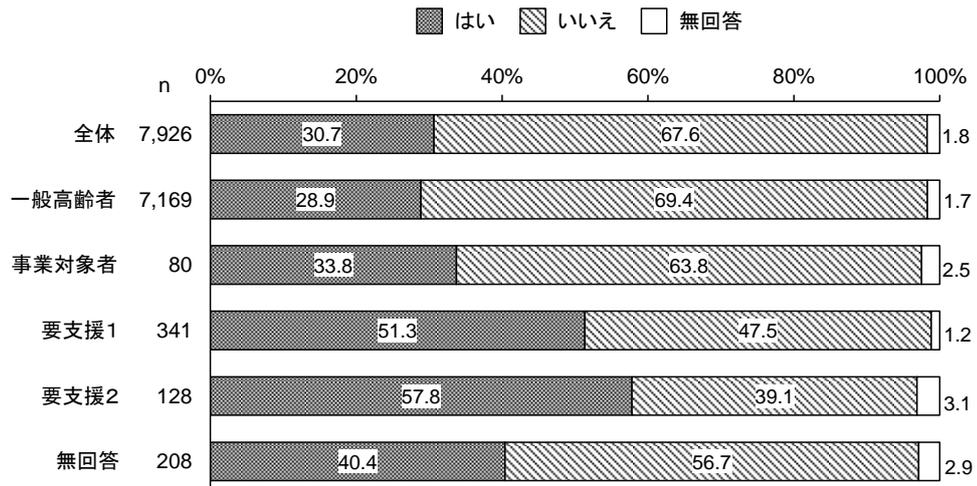
○性別にみると、大きな差はみられませんでした。



○年齢別にみると、年齢が高くなるにしたがって、「はい」の割合が多くなっています。

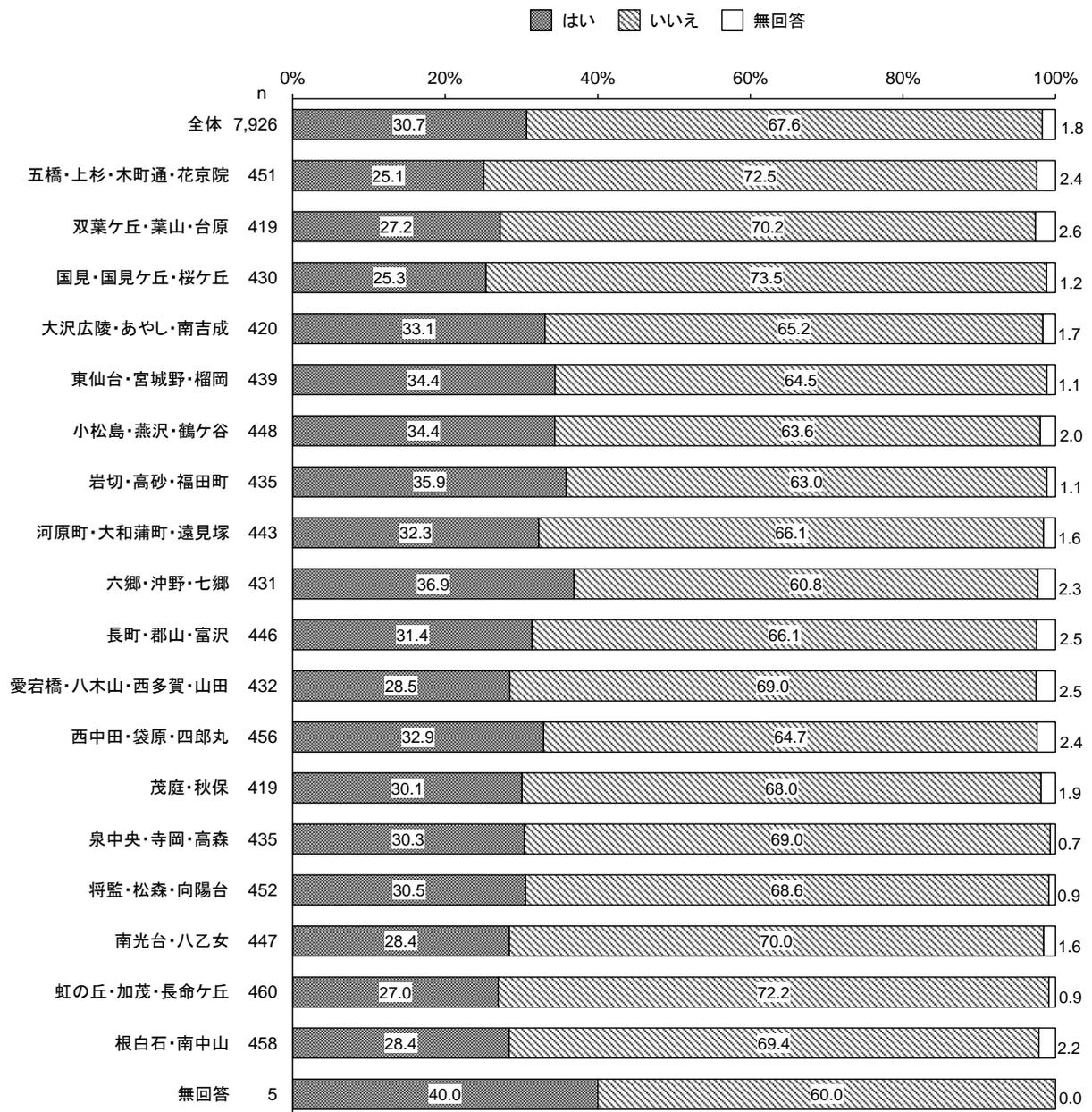


○要支援等の認定状況別にみると、要支援1、要支援2では「はい」が多くなっています。



## 第2章 調査結果の分析

○調査区域別にみると、「はい」の割合は六郷・沖野・七郷が36.9%と、他の調査区に比べて多くなっており、最も少ない五橋・上杉・木町通・花京院（25.1%）を11.8ポイント上回っています。

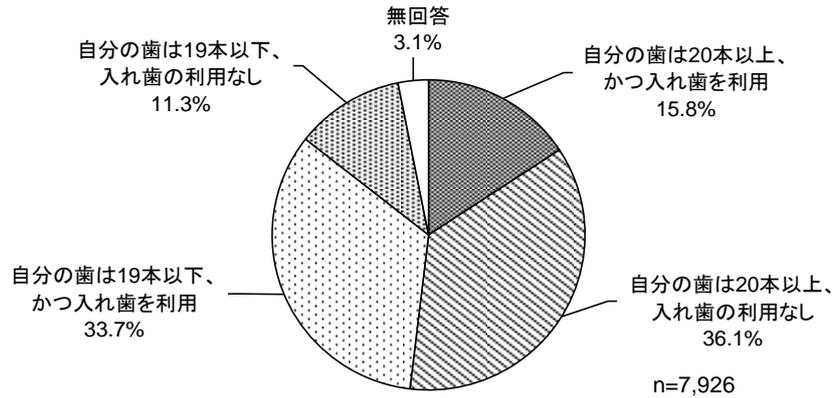


(3) 歯の数と入れ歯の利用状況について【単一回答】

問6(3) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください

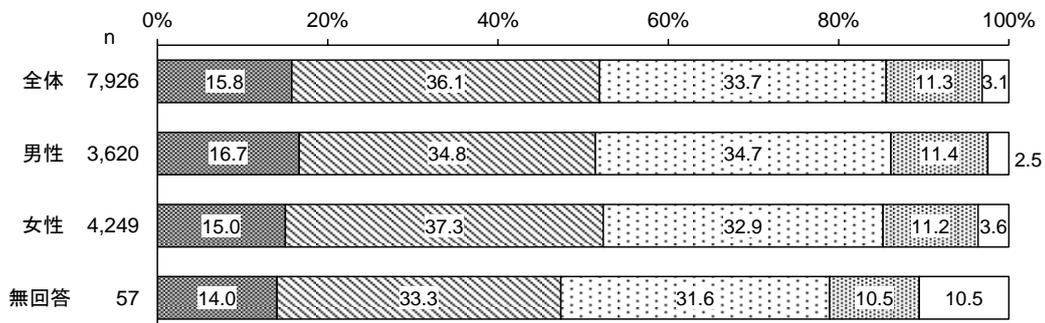
(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です)

○歯の数と入れ歯の利用状況は、「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」の割合が36.1%と最も多く、次いで、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」(33.7%)、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」(15.8%)となっています。



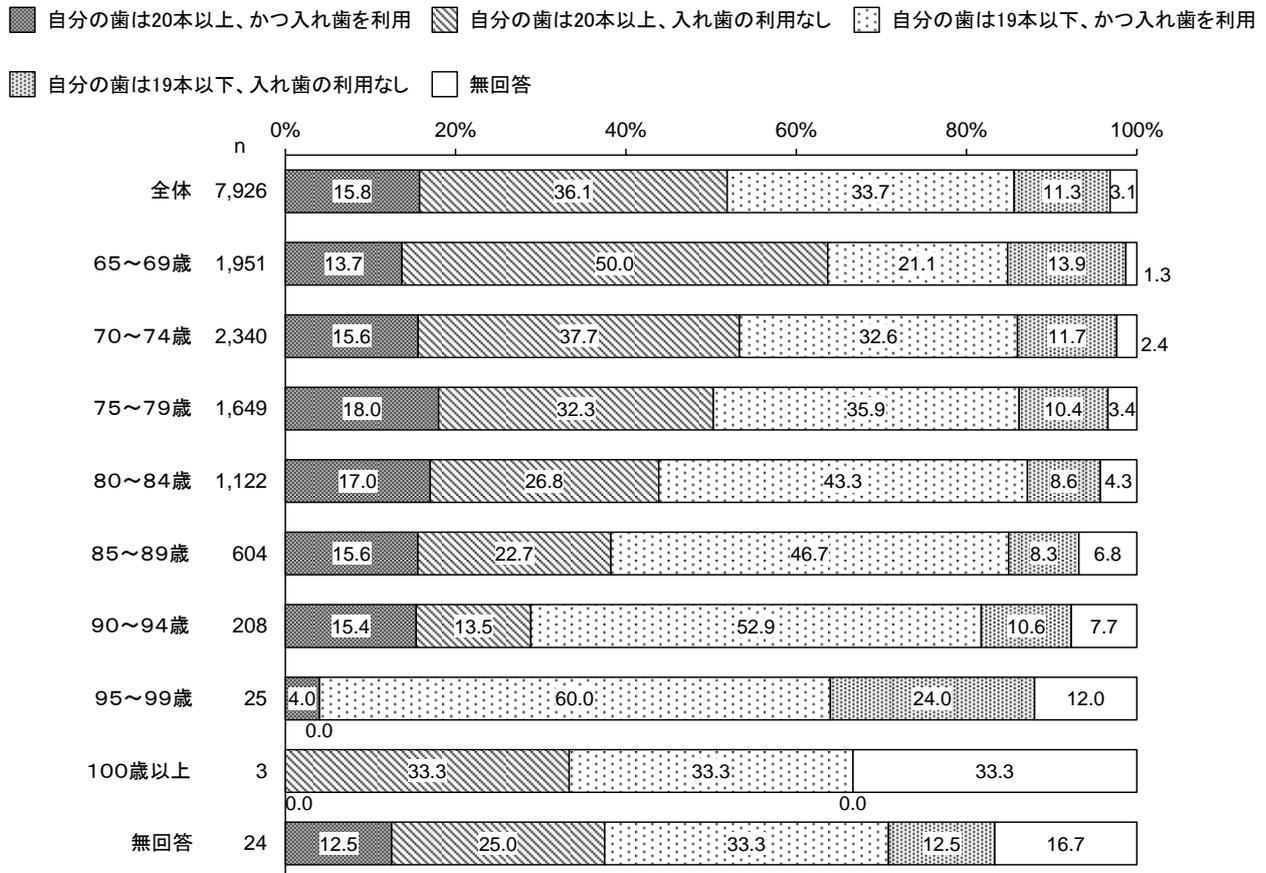
○性別にみると、大きな差はみられませんでした。

自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用
  自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし
  自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用
  自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし
  無回答

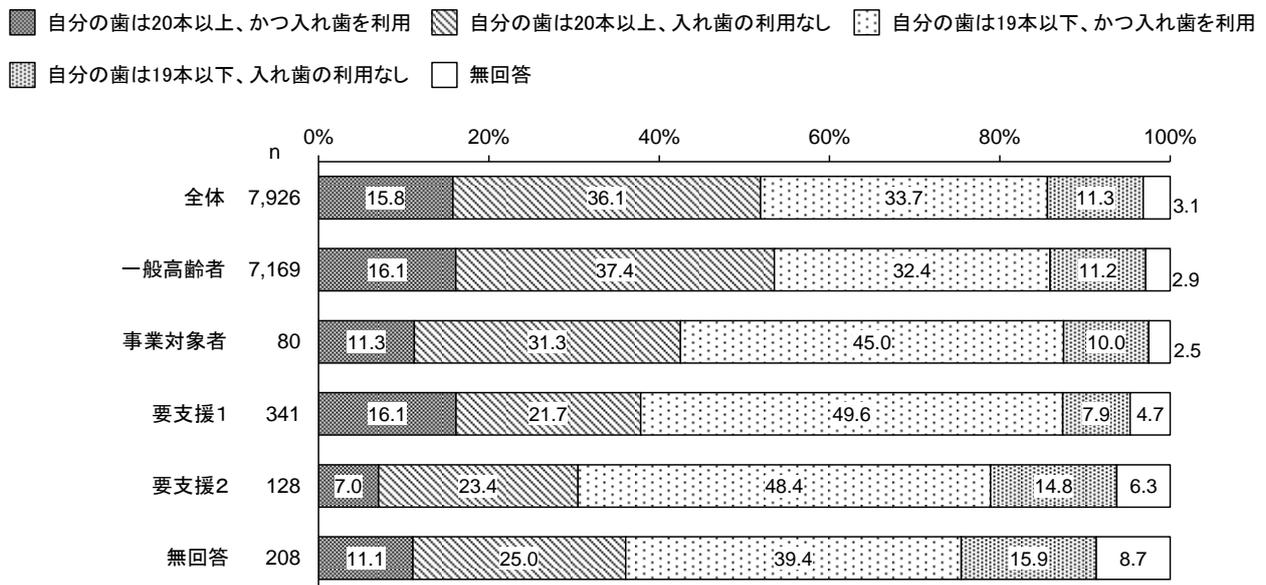


## 第2章 調査結果の分析

○年齢別にみると、年齢が高くなるにしたがって、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」の割合が多くなっています。



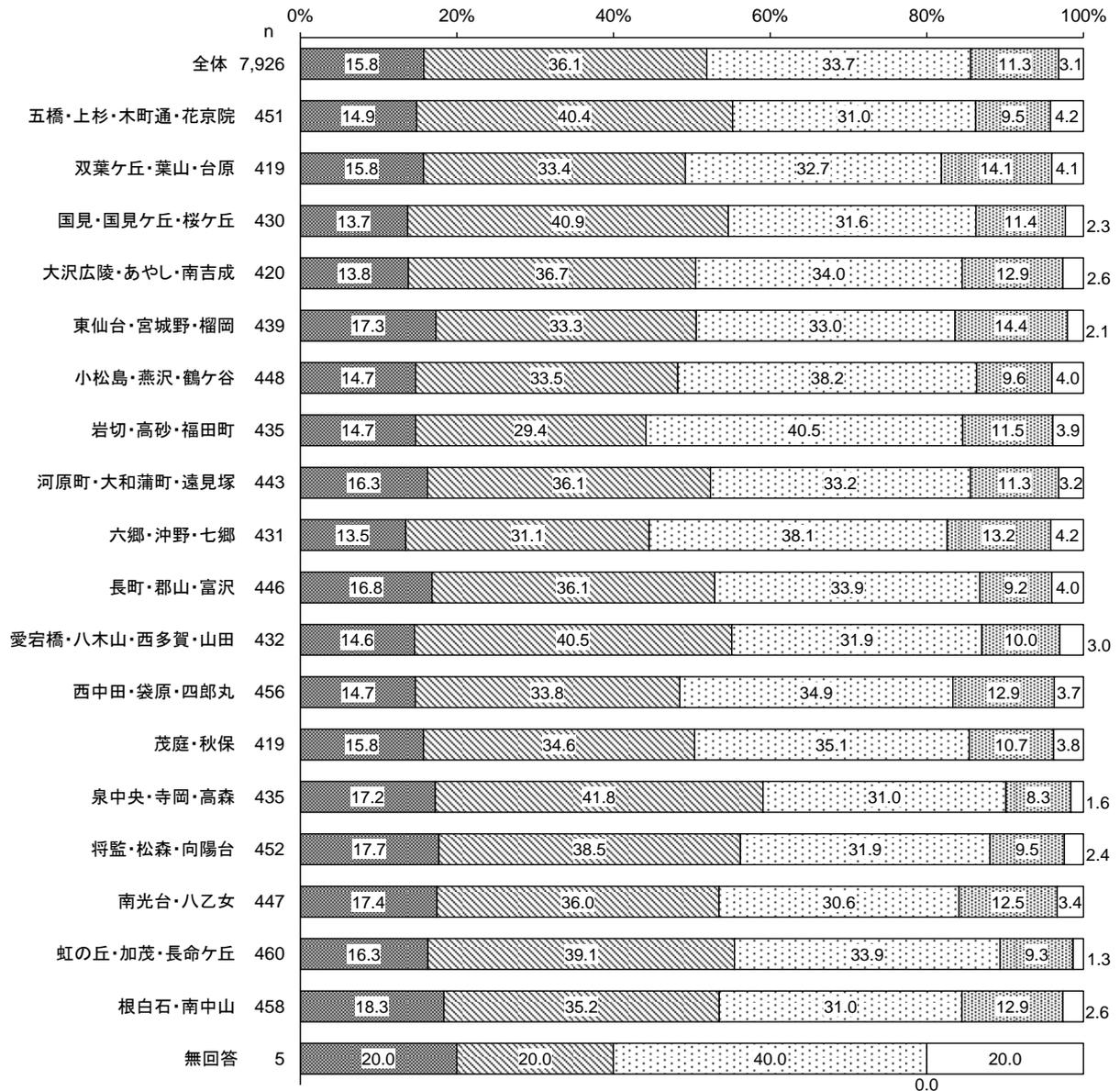
○要介護等の認定状況別にみると、事業対象者、要支援1、要支援2では、一般高齢者に比べて「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」が多くなっています。



## 第2章 調査結果の分析

○調査区域別にみると、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」の割合は岩切・高砂・福田町が40.5%、「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」は泉中央・寺岡・高森が41.8%と、それぞれ他の調査区に比べて多くなっています。

自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用
  自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし
  自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用
  自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし
  無回答

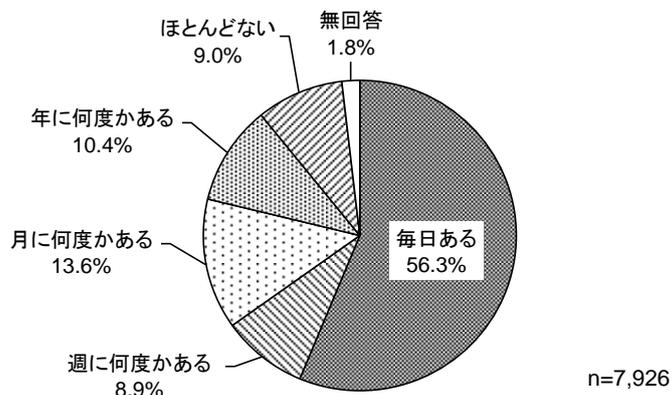


## 第2章 調査結果の分析

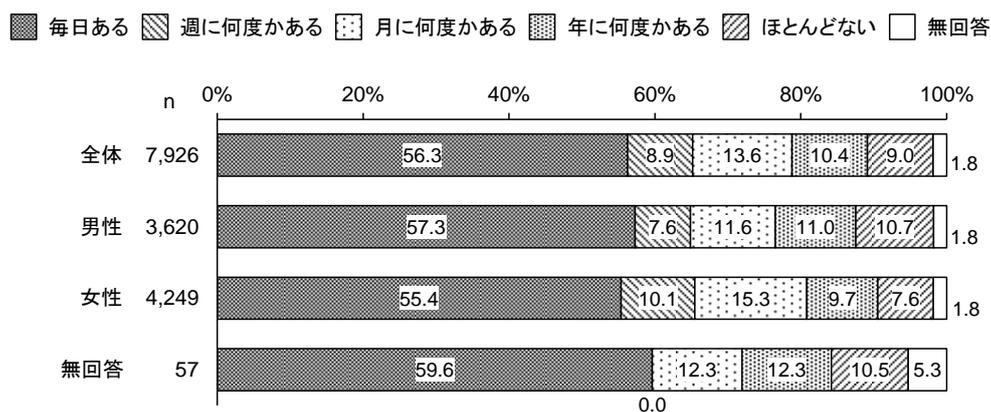
### (4) 人と食事をともしる機会について【単一回答】

問6(4) どなたかと食事をともしる機会がありますか

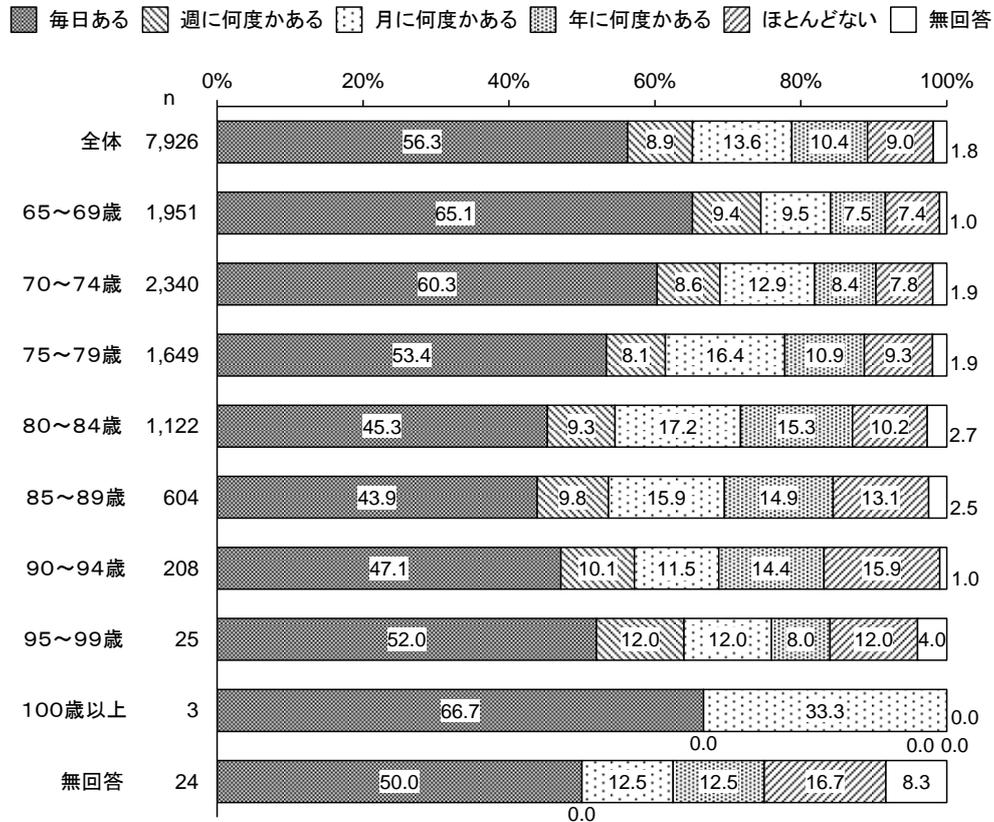
○人と食事をともしる機会は、「毎日ある」の割合が56.3%と最も多く、次いで、「月に何度かある」(13.6%)、「年に何度かある」(10.4%) となっています。



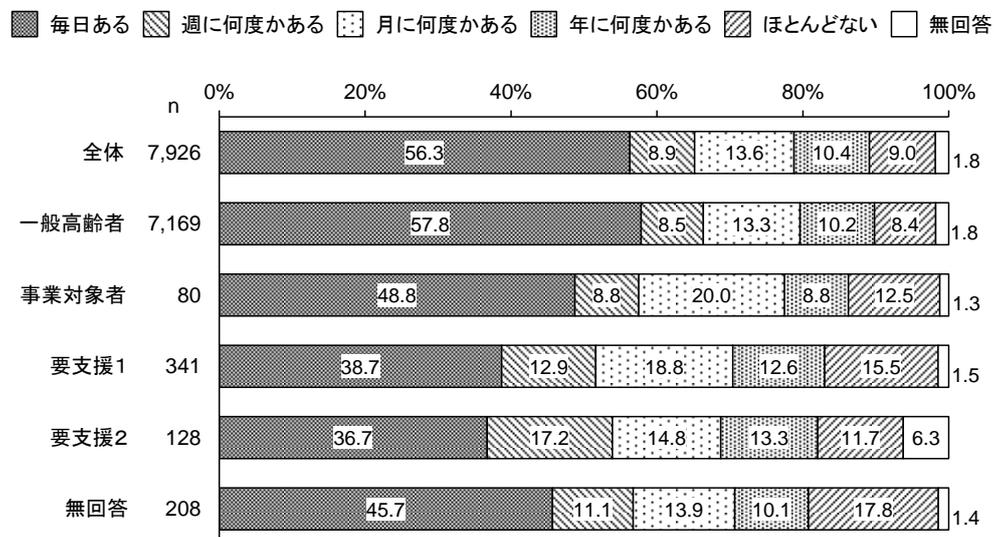
○性別にみると、大きな差はみられませんでした。



○年齢別にみると、概ね年齢が高くなるにしたがって、「毎日ある」の割合が少なくなり、85～89歳では43.9%と、最も少なくなっています。一方、90歳以上の年齢層では「毎日ある」が増加に転じています。

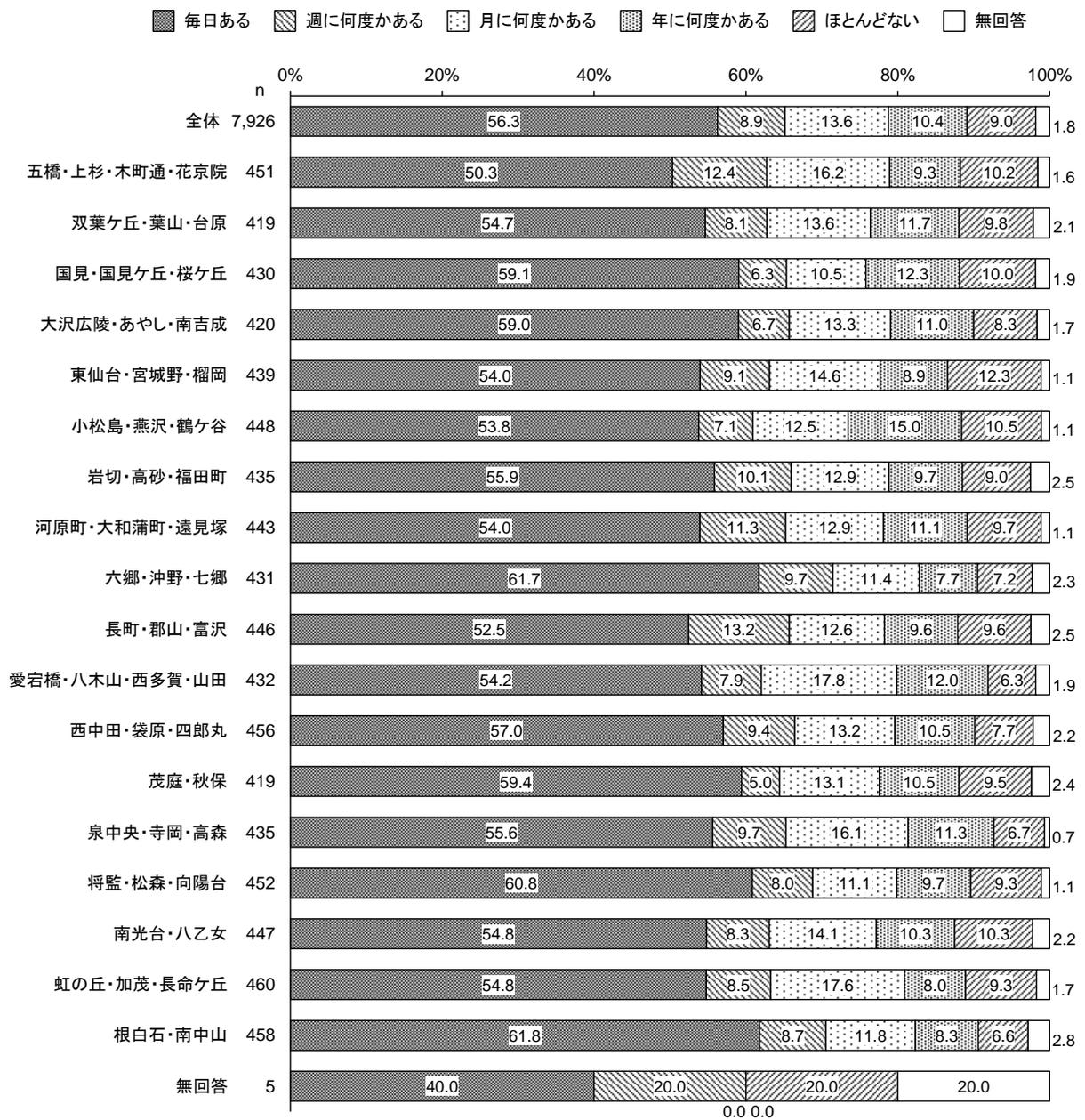


○要支援等の認定状況別にみると、要支援1、要支援2では、「毎日ある」が一般高齢者、事業対象者に比べて少なくなっています。



## 第2章 調査結果の分析

○調査区域別にみると、「毎日ある」の割合は六郷・沖野・七郷、将監・松森・向陽台、根白石・南中山でいずれも60%を超えており、他の調査区に比べて多くなっています。

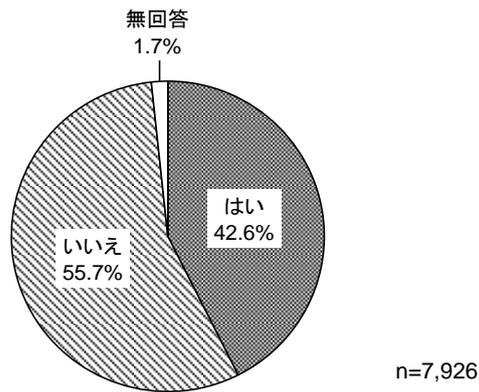


5. 毎日の生活について

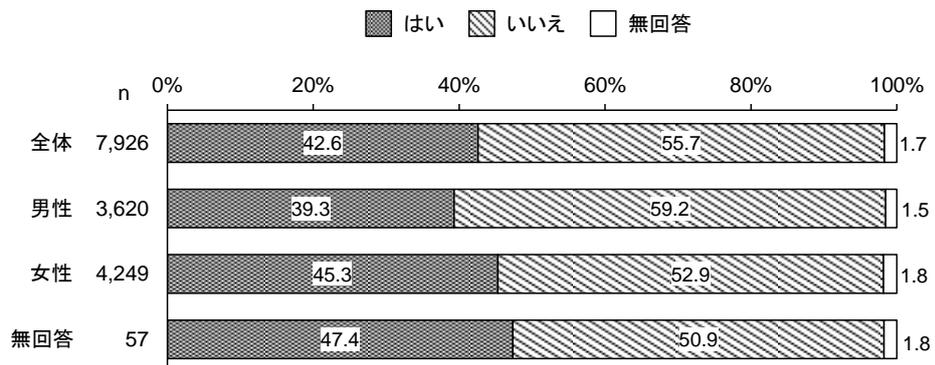
(1)物忘れについて【単一回答】

問7(1) 物忘れが多いと感じますか

○物忘れが多いと感じているかについては、「はい」(42.6%)、「いいえ」(55.7%) となっています。

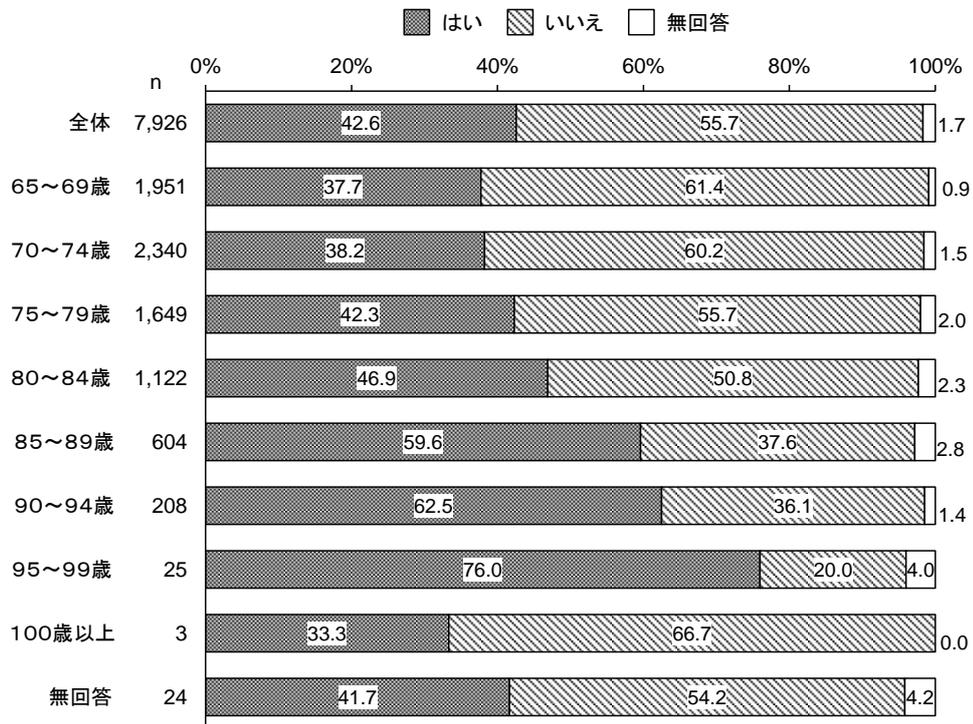


○性別にみると、女性では「はい」の割合が45.3%と、男性(39.3%)を6ポイント上回っています。

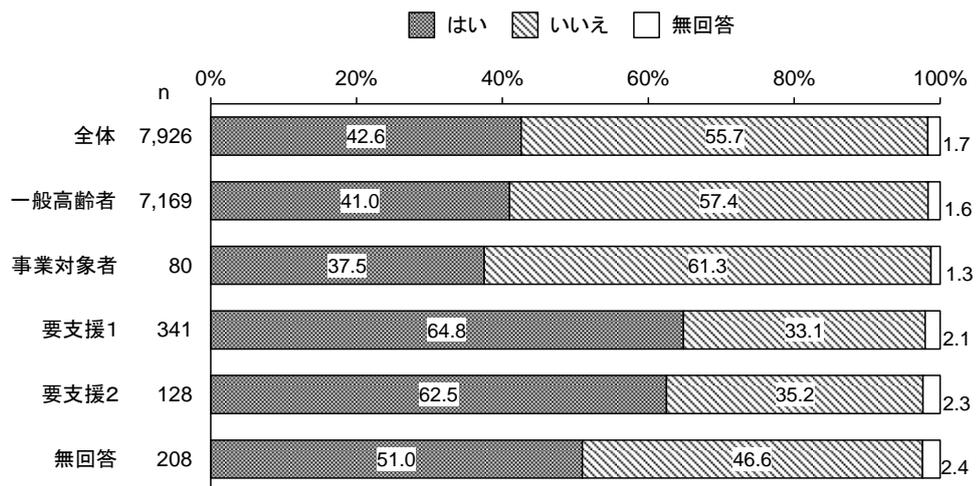


## 第2章 調査結果の分析

○年齢別にみると、年齢が高くなるにしたがって、「はい」の割合が多くなっています。

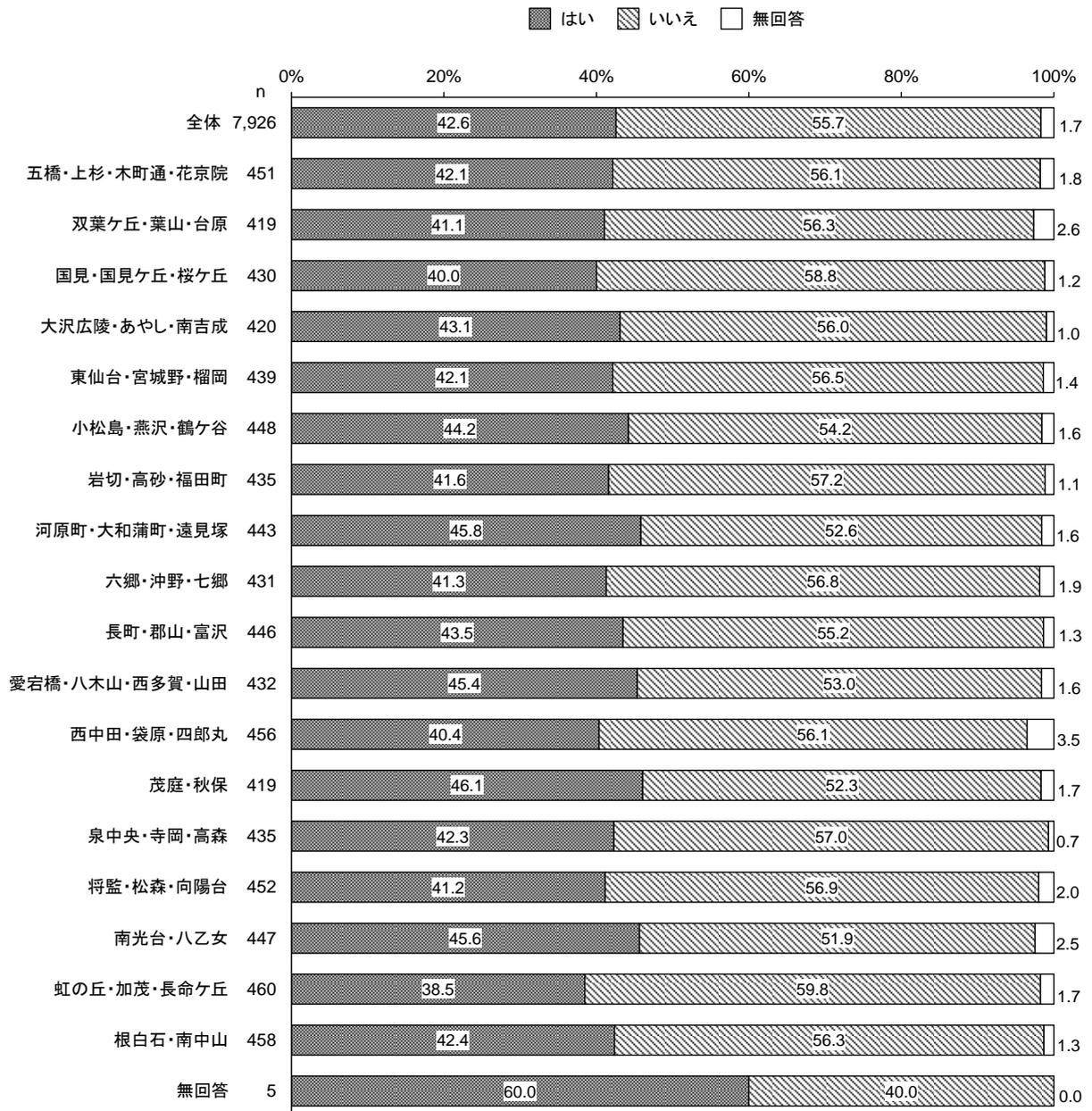


○要支援等の認定状況別にみると、要支援1、要支援2では「はい」が多くなっています。



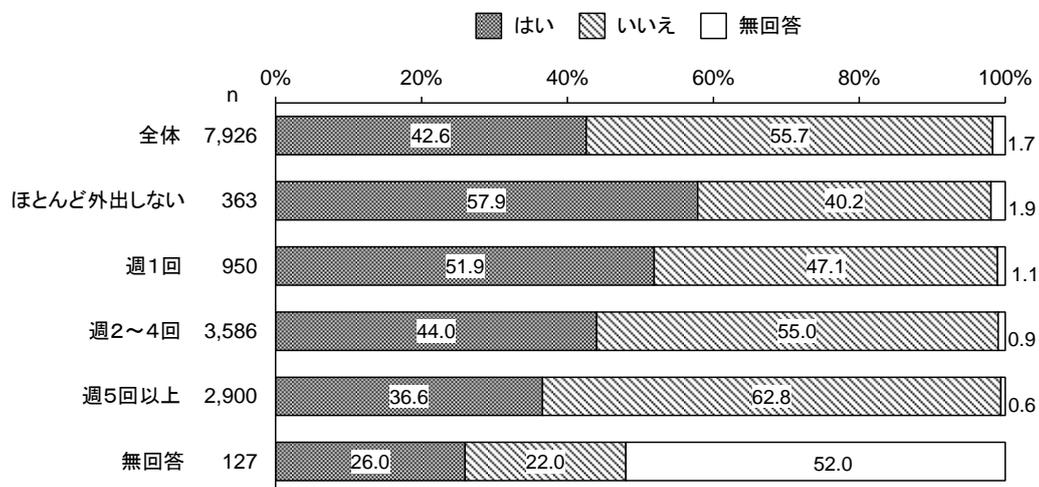
## 第2章 調査結果の分析

○調査区別にみると、「はい」の割合は茂庭・秋保が46.1%と、他の調査区に比べてやや多くなっています。



## 第2章 調査結果の分析

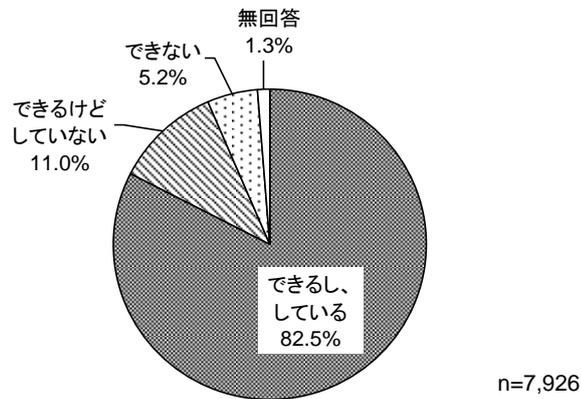
○外出頻度別にみると、外出頻度が少なくなるにしたがって、「はい」の割合が多くなっています。



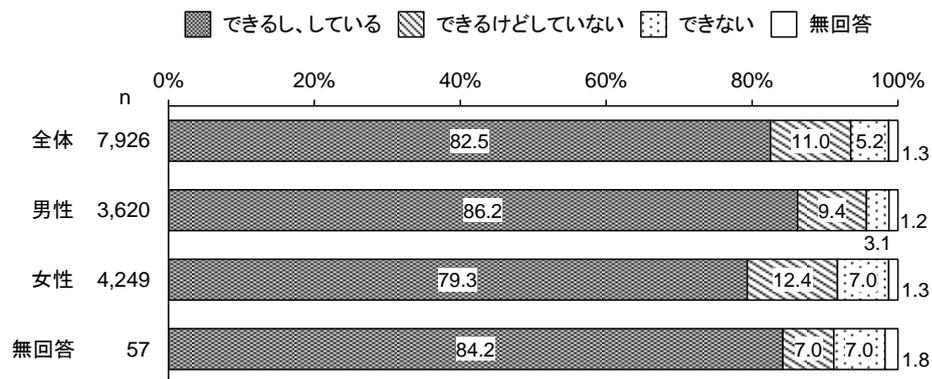
(2)外出について【単一回答】

問7(2) バスや電車を使って1人で外出していますか(自家用車でも可)

○バスや電車を使った1人での外出は、「できるし、している」の割合が82.5%と最も多く、次いで、「できるけどしていない」(11.0%)、「できない」(5.2%)となっています。

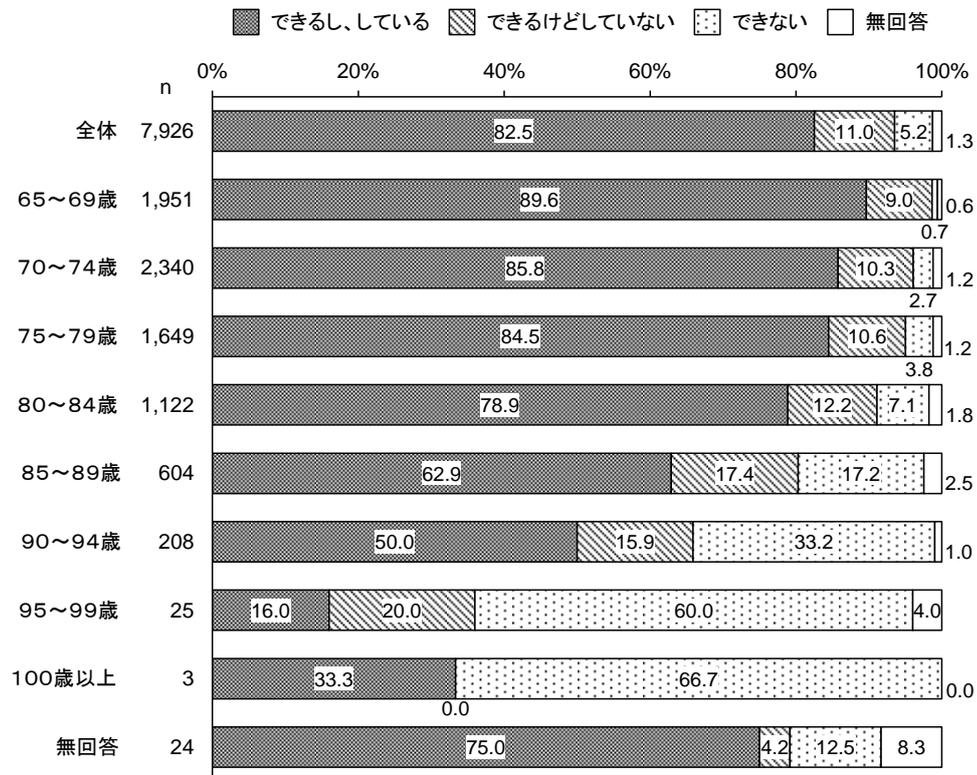


○性別にみると、大きな差はみられませんでした。

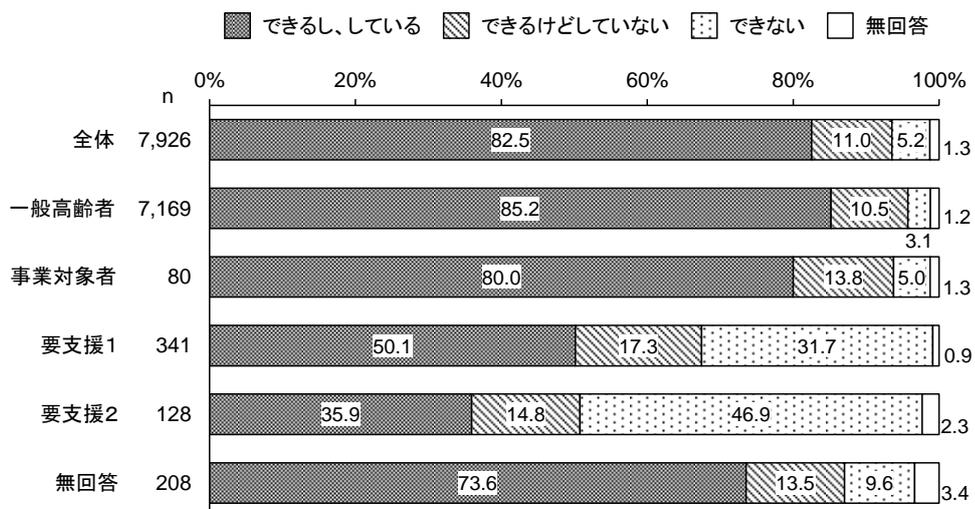


## 第2章 調査結果の分析

○年齢別にみると、年齢が高くなるにしたがって、「できない」の割合が多くなっています。

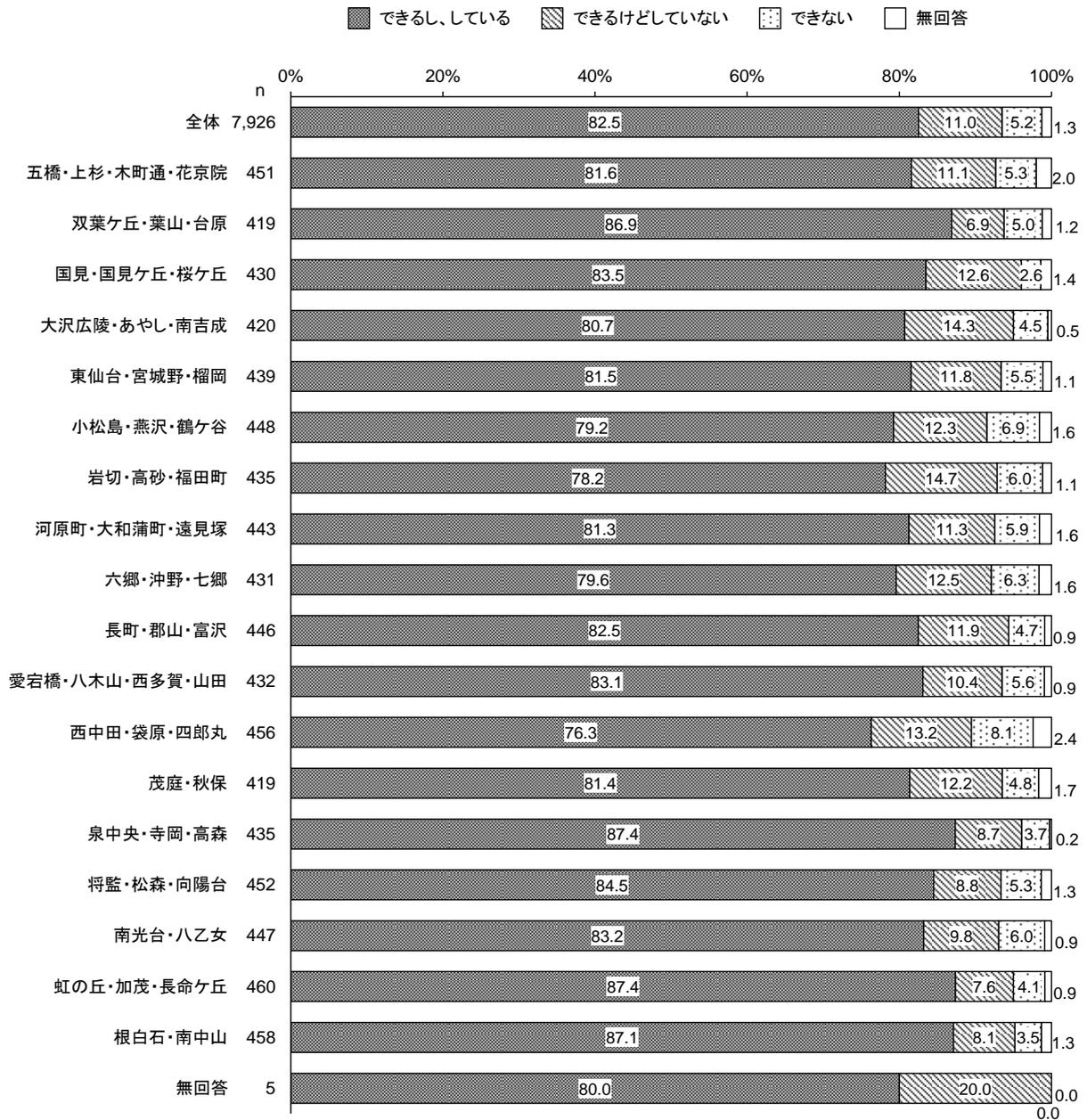


○要支援等の認定状況別にみると、要支援1、要支援2では「できない」が多くなっています。



## 第2章 調査結果の分析

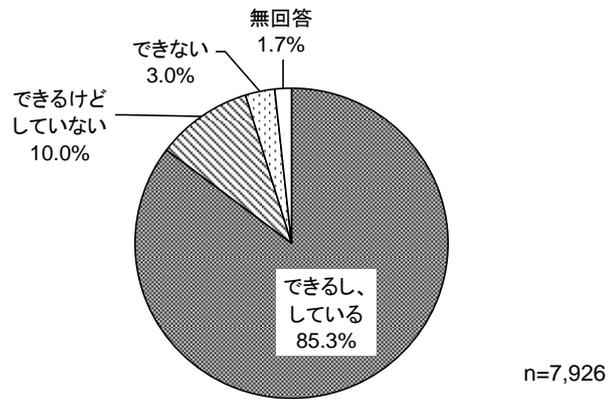
○調査区域別にみると、「できるけどしていない」の割合は岩切・高砂・福田町が14.7%、「できない」の割合は西中田・袋原・四郎丸が8.1%と、それぞれ他の調査区に比べて多くなっています。



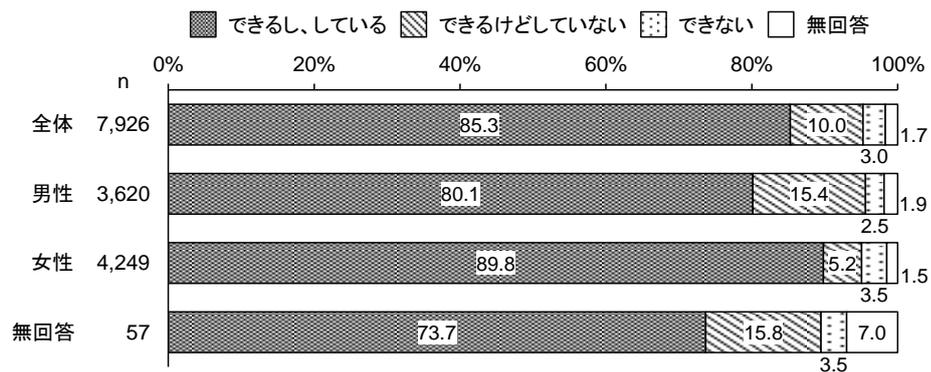
(3) 食品・日用品の買物について【単一回答】

問7(3) 自分で食品・日用品の買物をしていますか

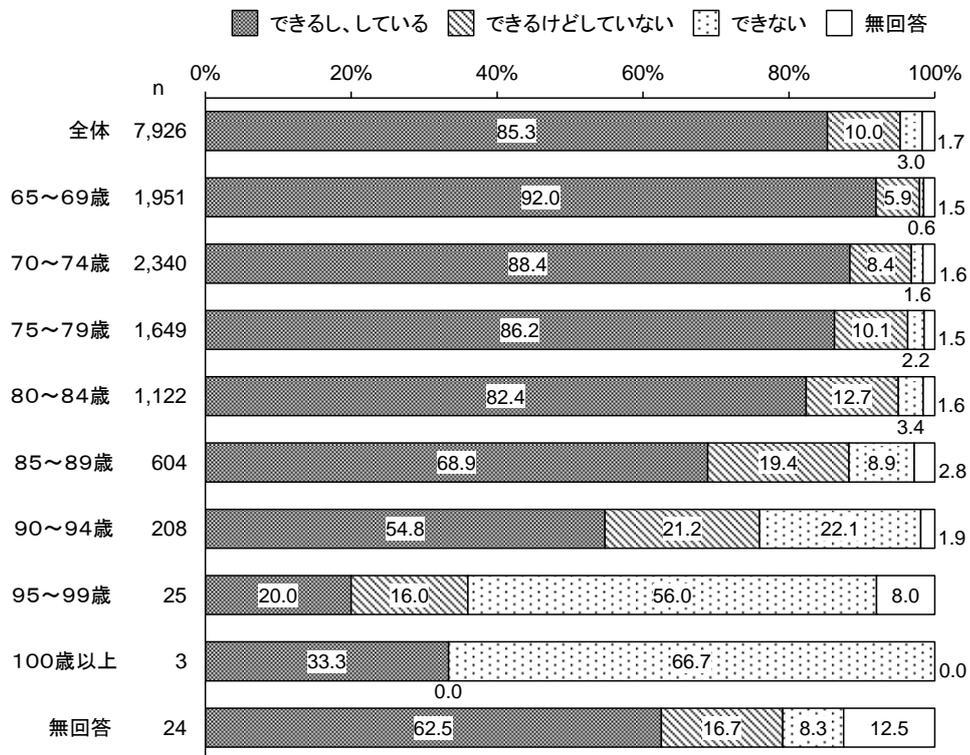
○自分で食品・日用品の買物をしているかについては、「できるし、している」(85.3%)が最も多く、次いで、「できるけどしていない」(10.0%)、「できない」(3.0%)となっています。



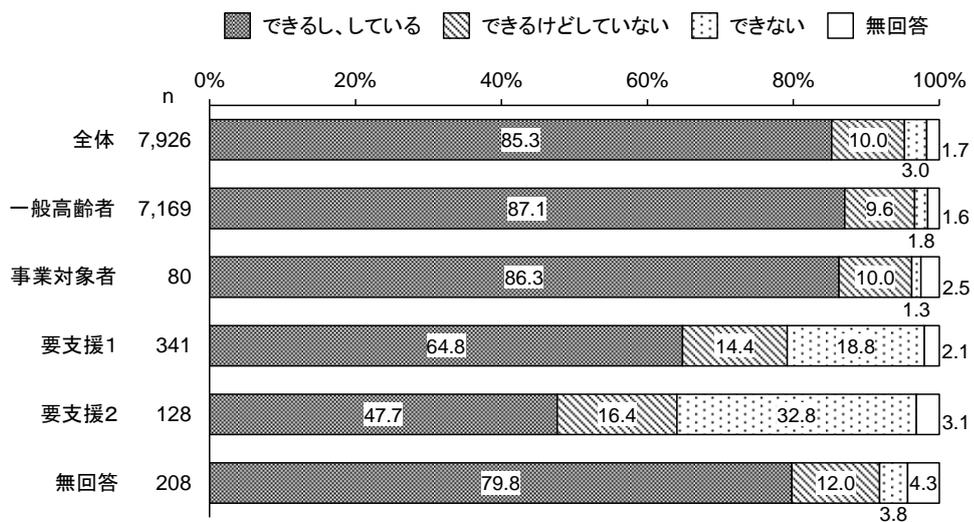
○性別にみると、男性では「できるけどしていない」の割合が15.4%と、女性(5.2%)を10.2ポイント上回っています。



○年齢別にみると、年齢が高くなるにしたがって、「できるけどしていない」、「できない」の割合が多くなっています。

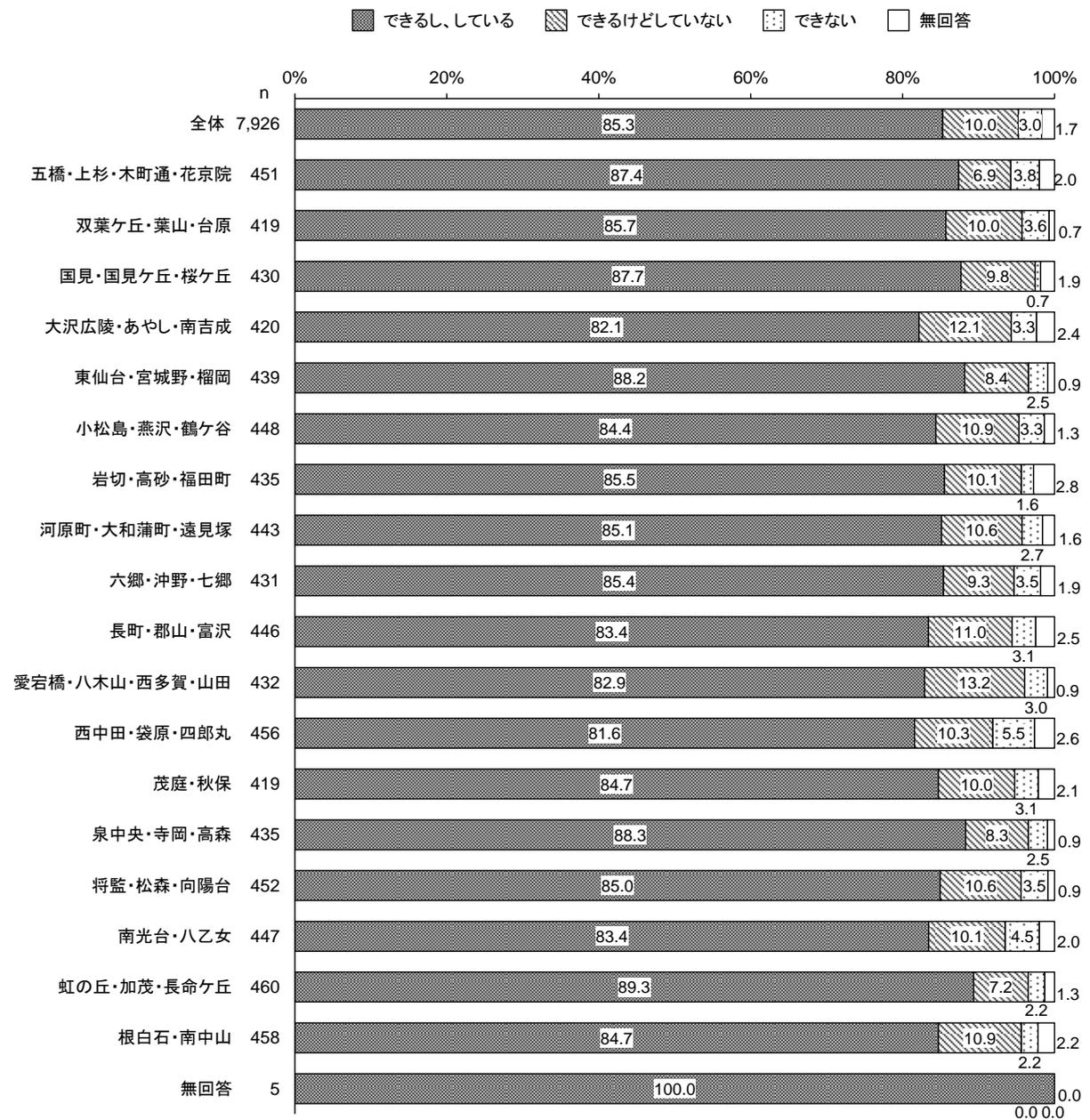


○要支援等の認定状況別にみると、要支援1、要支援2では「できない」が多くなっています。



## 第2章 調査結果の分析

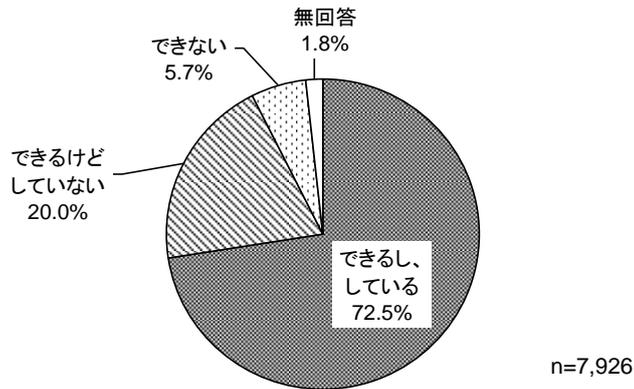
○調査区域別にみると、「できるし、している」は虹の丘・加茂・長命ヶ丘が89.3%、「できるけどしていない」は愛宕橋・八木山・西多賀・山田が13.2%、「できない」は西中田・袋原・四郎丸が5.5%と、他の調査区に比べてやや多くなっています。



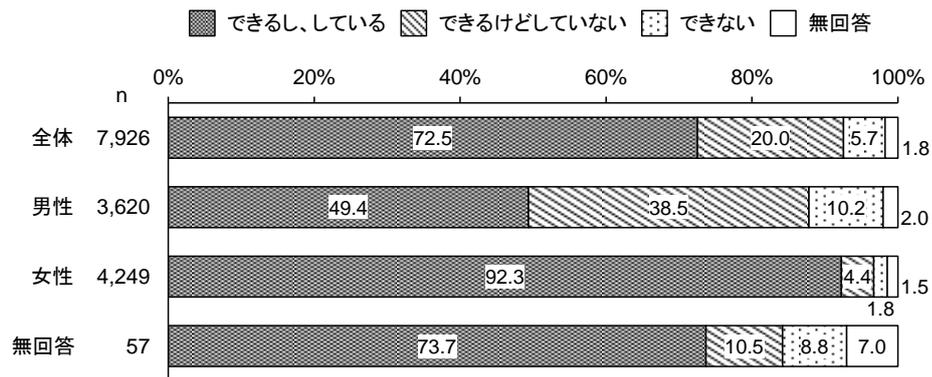
(4) 食事の用意について【単一回答】

問7(4) 自分で食事の用意をしていますか

○自分で食事の用意をしているかについては、「できるし、している」の割合が72.5%と最も多く、次いで、「できるけどしていない」(20.0%)、「できない」(5.7%)となっています。

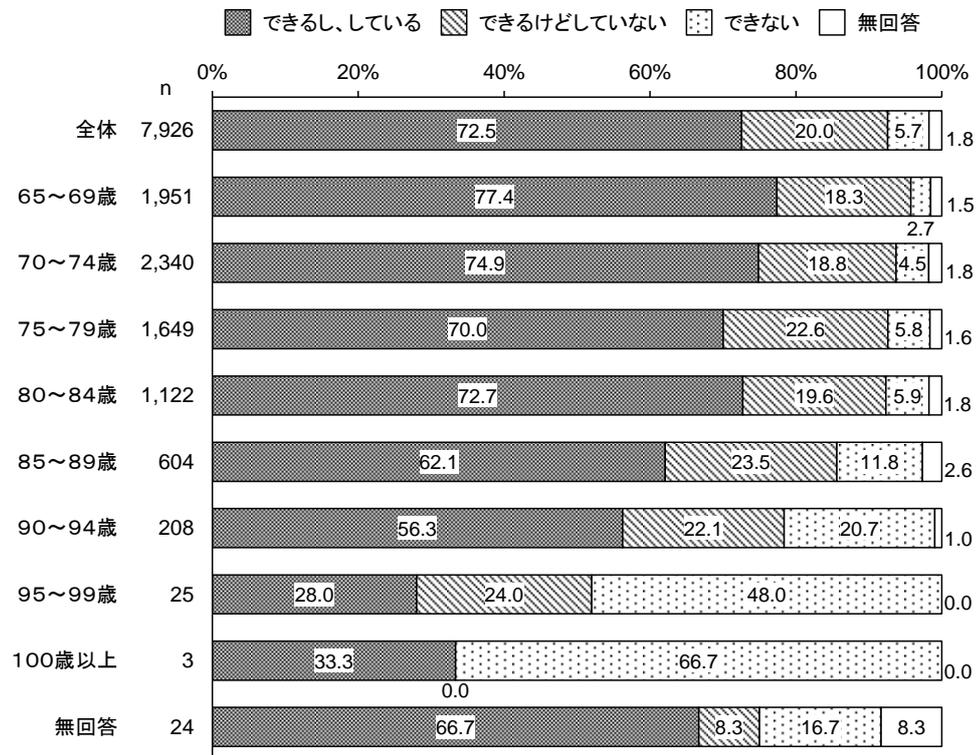


○性別にみると、女性では「できるし、している」の割合が92.3%と、男性(49.4%)を42.9ポイント上回っています。

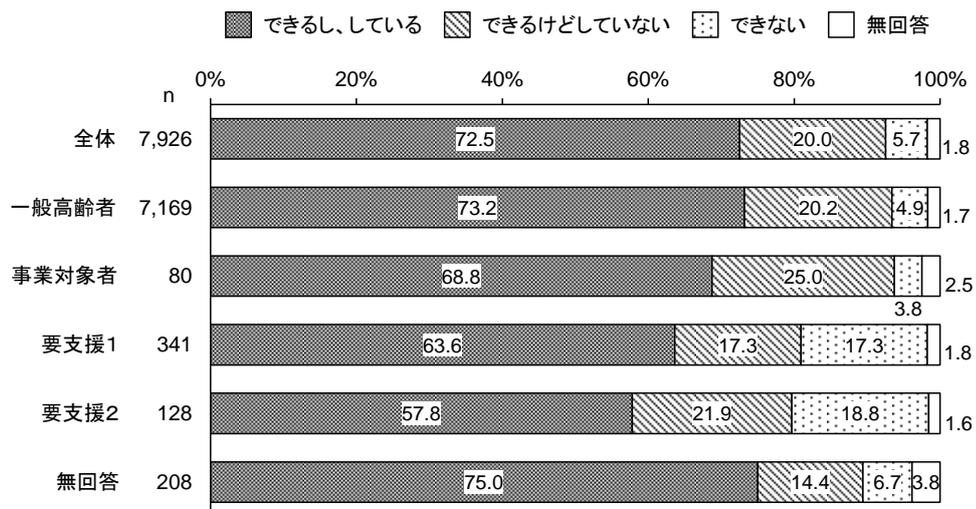


## 第2章 調査結果の分析

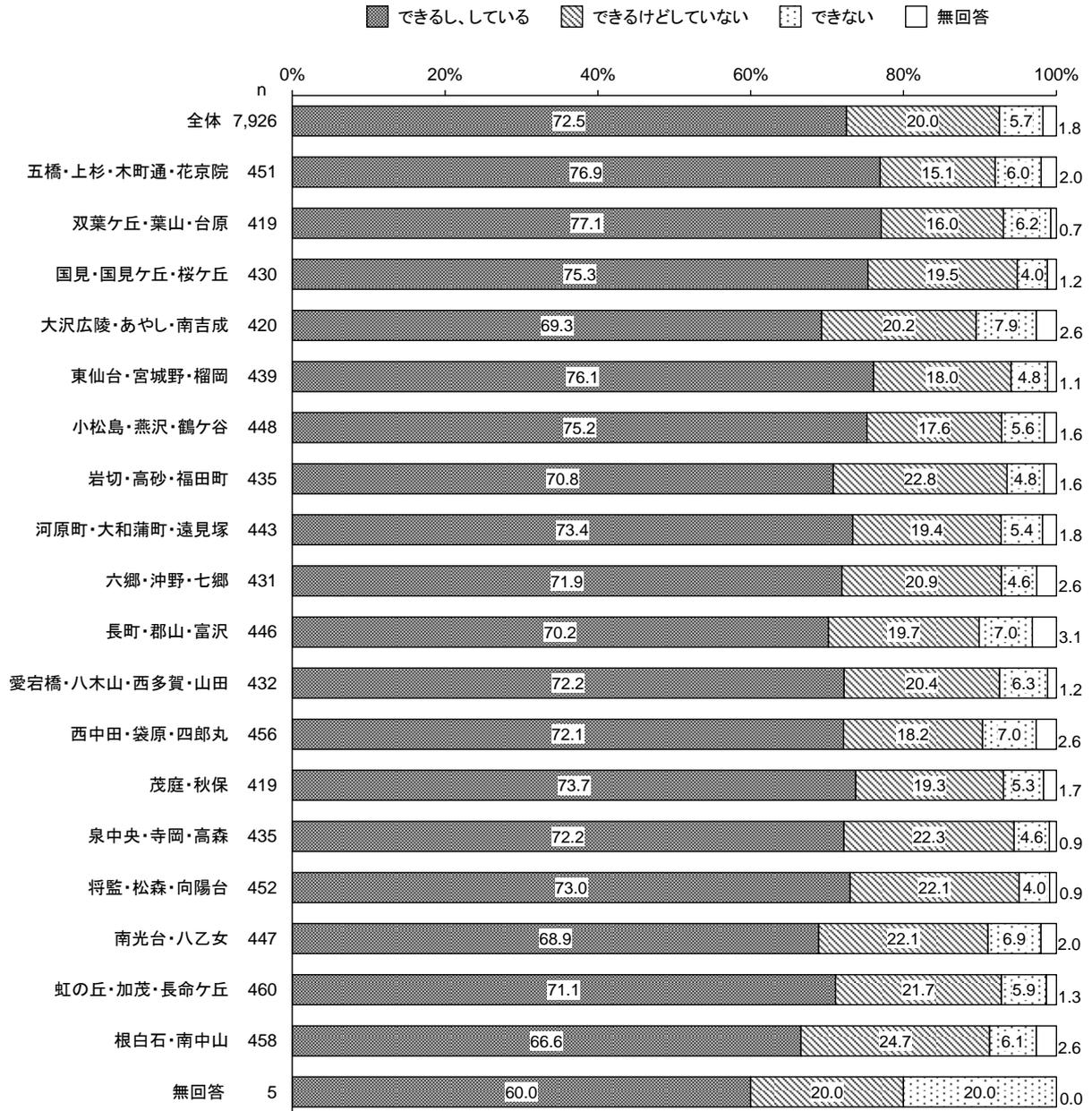
○年齢別にみると、年齢が高くなるにしたがって、「できない」が多くなっています。



○要支援等の認定状況別にみると、要支援1、要支援2では「できない」が多くなっています。



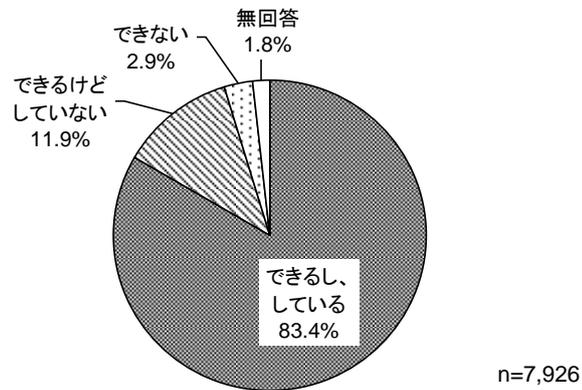
○調査区域別にみると、「できるし、している」は五橋・上杉・木町通・花京院が76.9%、「できるけどしていない」は根白石・南中山が24.7%、「できない」は大沢広陵・あやし・南吉成が7.9%と、他の調査区に比べてやや多くなっています。



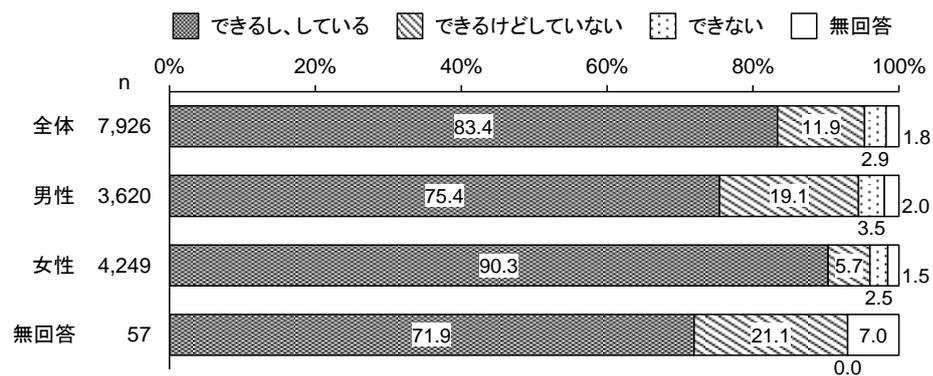
(5) 請求書の支払いについて【単一回答】

問7(5) 自分で請求書の支払いをしていますか

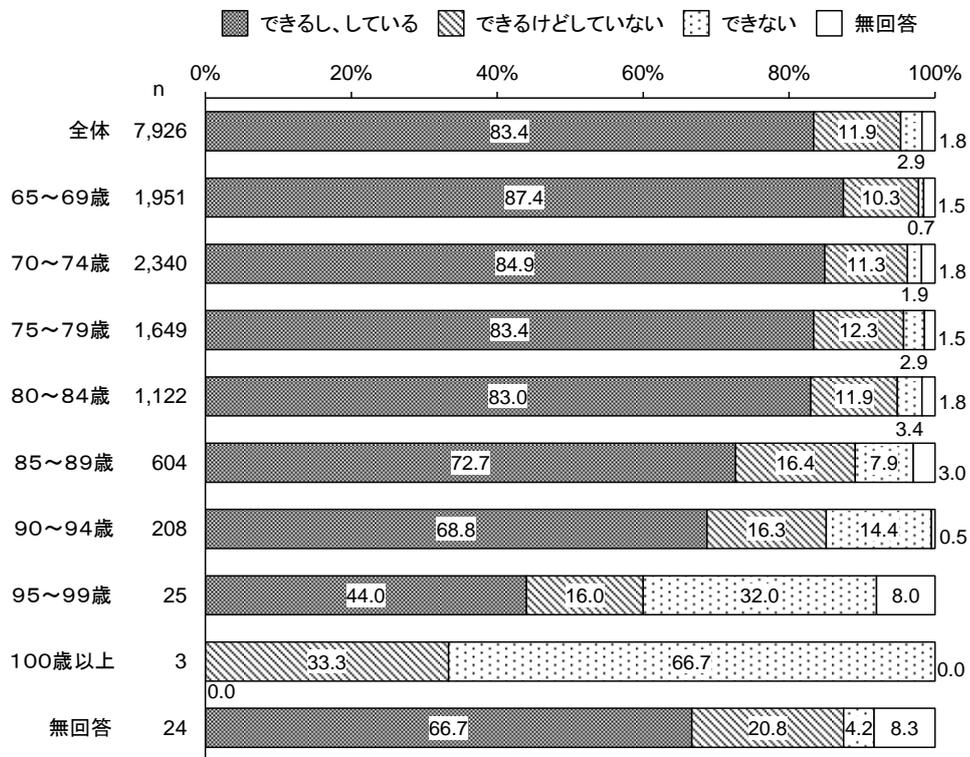
○自分で請求書の支払いをしているかについては、「できるし、している」(83.4%)が最も多く、次いで、「できるけどしていない」(11.9%)、「できない」(2.9%)となっています。



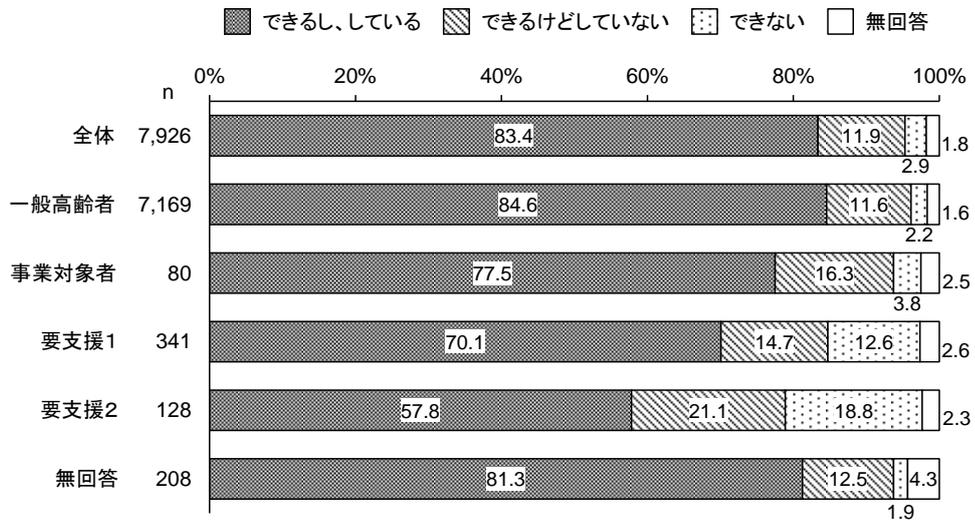
○性別にみると、男性では「できるけどしていない」の割合が19.1%と、女性(5.7%)に比べて13.4ポイント多くなっています。



○年齢別にみると、年齢が高くなるにしたがって、「できるけどしていない」、「できない」の割合が多くなっています。

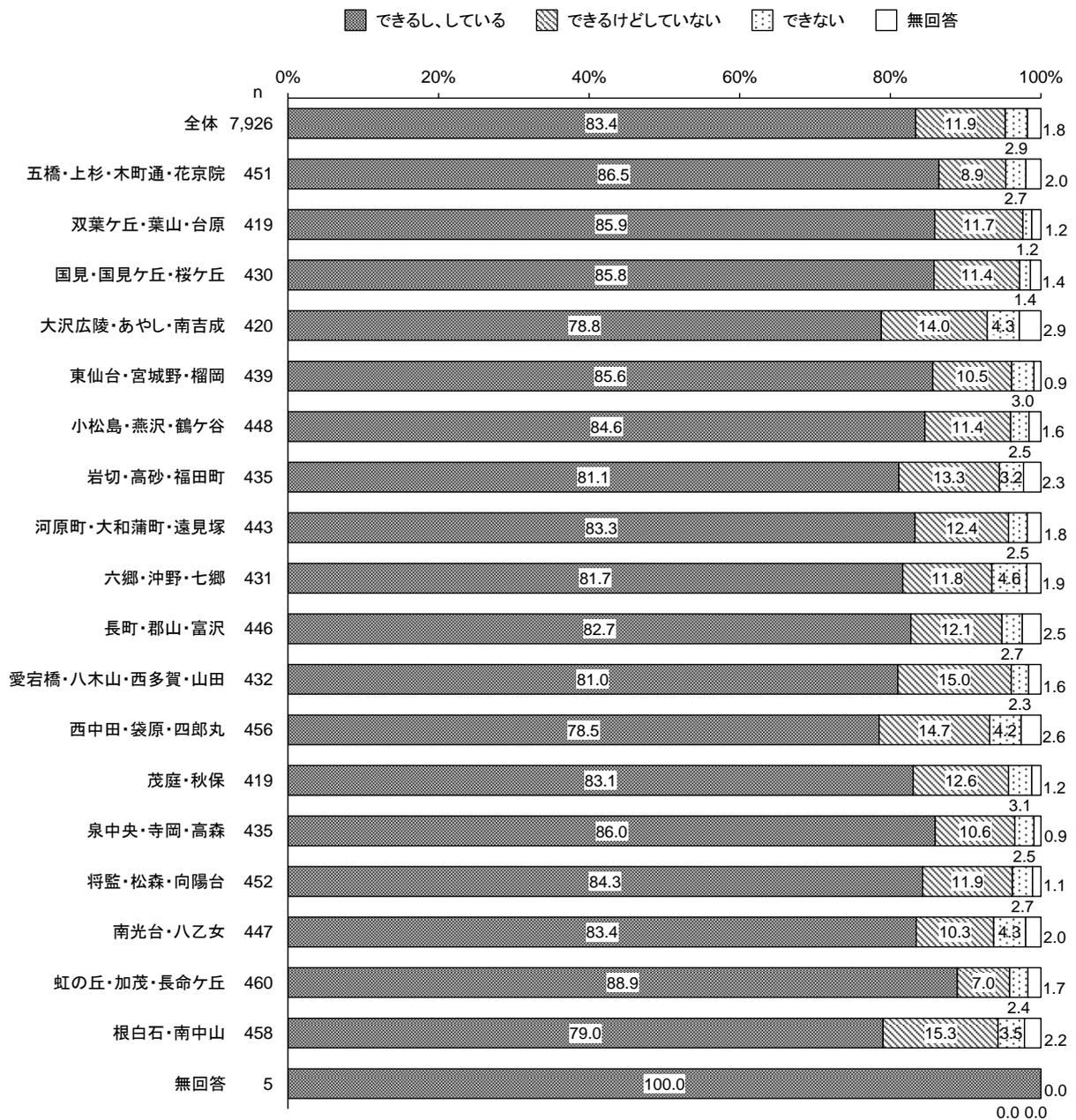


○要支援等の認定状況別にみると、要支援1、要支援2では「できない」の割合が多くなっています。



## 第2章 調査結果の分析

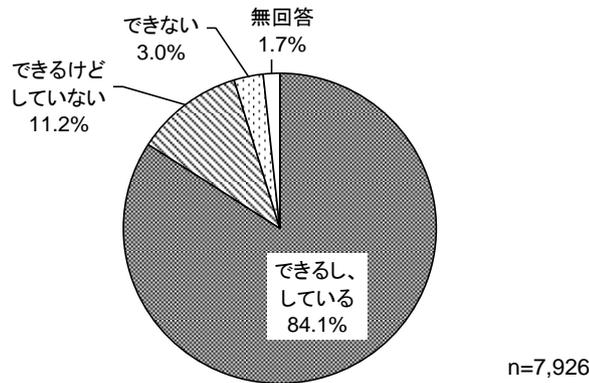
○調査区域別にみると、「できるし、している」は虹の丘・加茂・長命ヶ丘が88.9%、「できるけどしていない」は根白石・南中山が15.3%と、他の調査区に比べて多くなっています。



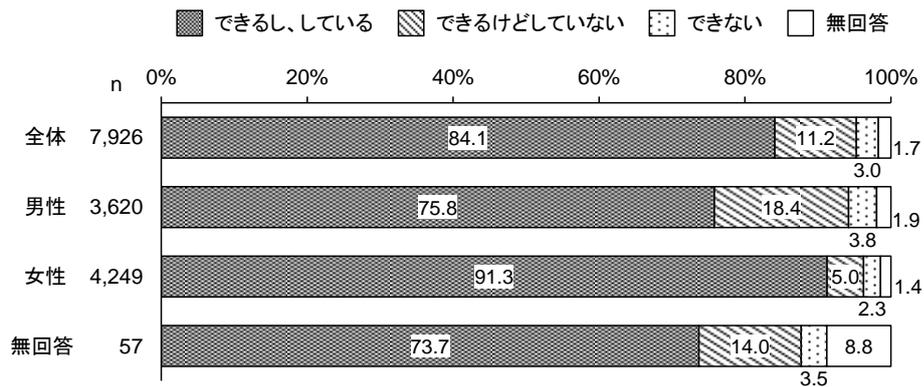
(6) 預貯金の出し入れについて【単一回答】

問7(6) 自分で預貯金の出し入れをしていますか

○自分で預貯金の出し入れをしているかについては、「できるし、している」の割合が84.1%と最も多く、次いで、「できるけどしていない」(11.2%)、「できない」(3.0%)となっています。

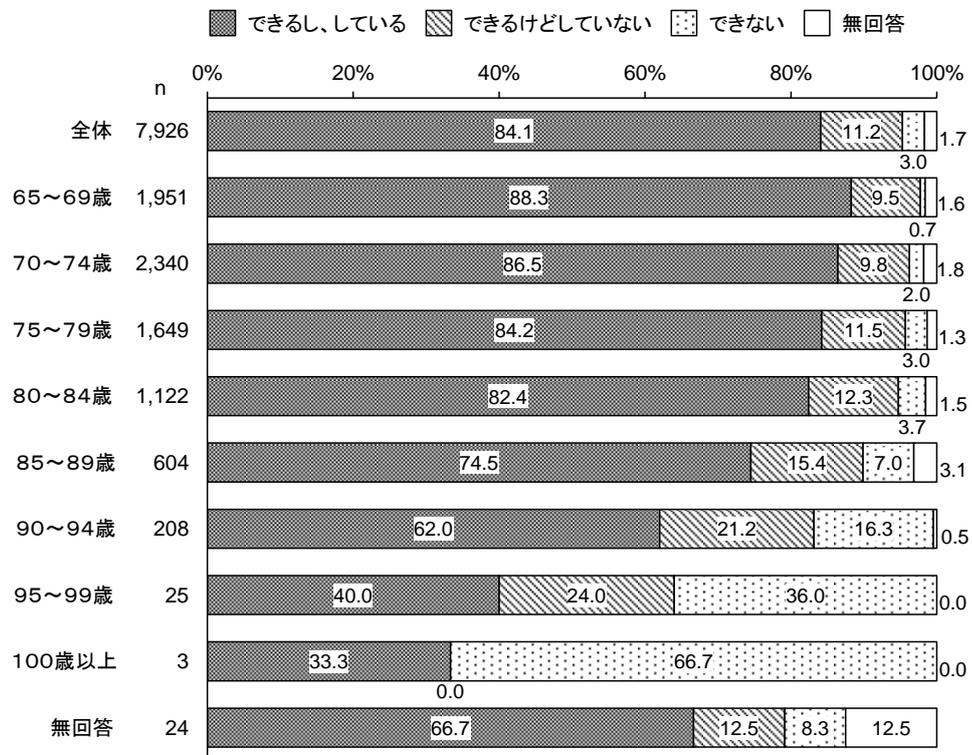


○性別にみると、男性では「できるけどしていない」の割合が18.4%と、女性(5.0%)を13.4ポイント上回っています。

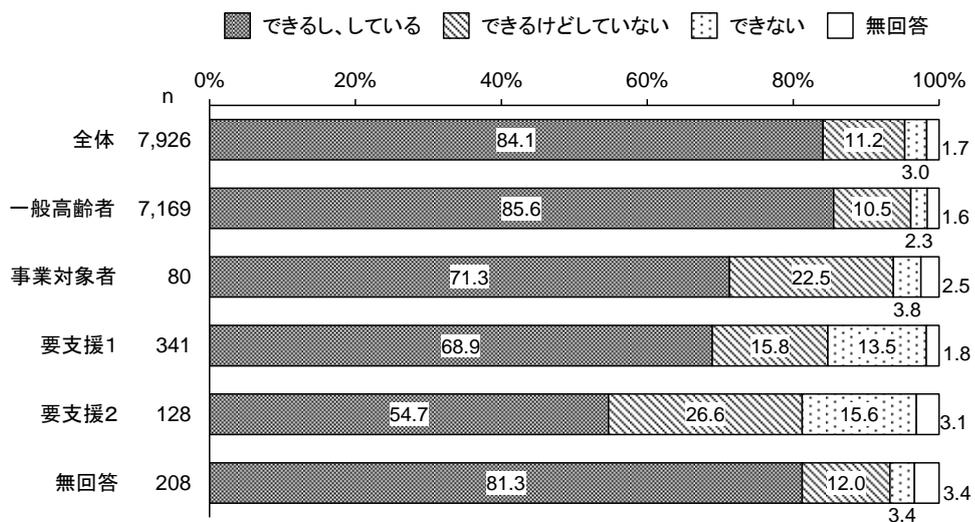


## 第2章 調査結果の分析

○年齢別にみると、年齢が高くなるにしたがって、「できるけどしていない」、「できない」の割合が多くなっています。

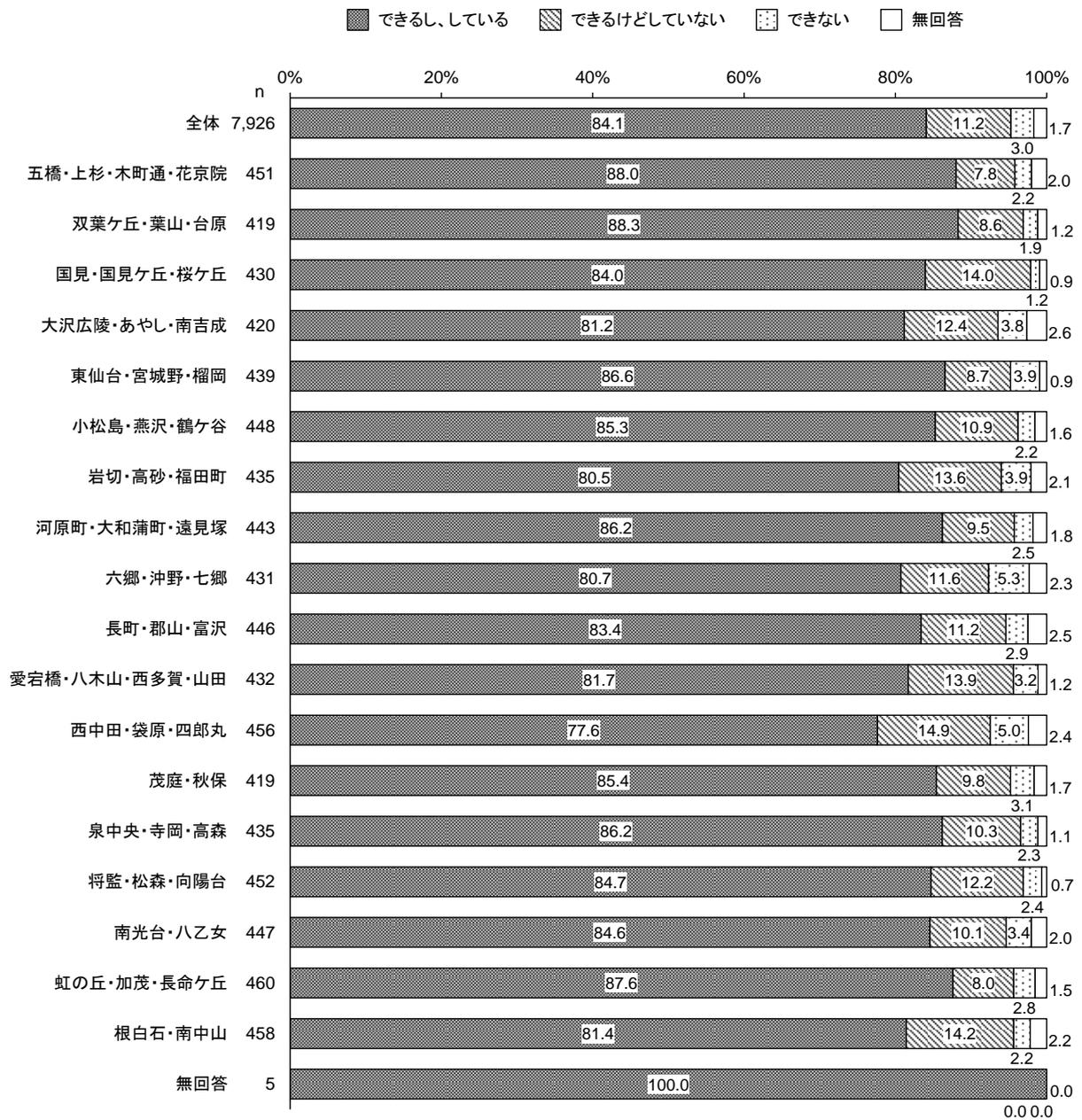


○要支援等の認定状況別にみると、要支援1、要支援2では「できない」が多くなっています。



## 第2章 調査結果の分析

○調査区域別にみると、「できるし、している」は双葉ヶ丘・葉山・台原が88.3%、「できるけどしていない」は西中田・袋原・四郎丸が14.9%、「できない」は六郷・沖野・七郷が5.3%と、他の調査区に比べて多くなっています。



## 第2章 調査結果の分析

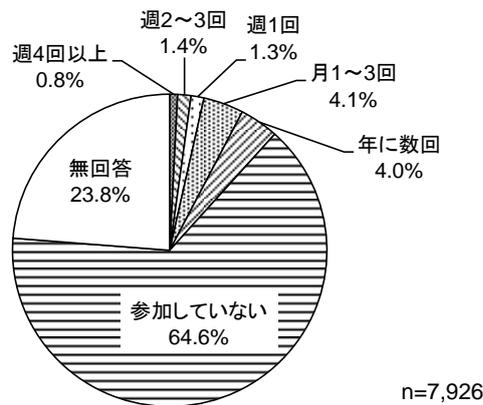
### 6. 地域での活動について

#### (1) 会・グループへの参加頻度について【単一回答】

問8(1) 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか  
 ※① - ⑧それぞれに回答してください

##### ① ボランティアのグループ

○ボランティアのグループへの参加頻度は、「参加していない」の割合が64.6%と最も多く、次いで、「月1～3回」(4.1%)、「年に数回」(4.0%)となっています。



○性別にみると、大きな差はみられませんでした。

	調査数	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
全体	7,926	64	109	105	328	317	5,120	1,883
	100.0	0.8	1.4	1.3	4.1	4.0	64.6	23.8
問1 本人の性別								
男性	3,620	37	59	47	157	188	2,448	684
	100.0	1.0	1.6	1.3	4.3	5.2	67.6	18.9
女性	4,249	27	49	55	169	126	2,643	1,180
	100.0	0.6	1.2	1.3	4.0	3.0	62.2	27.8
無回答	57	—	1	3	2	3	29	19
	100.0	—	1.8	5.3	3.5	5.3	50.9	33.3

○年齢別にみると、大きな差はみられませんでした。

上段:件数 下段:%	調査数	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
全体	7,926 100.0	64 0.8	109 1.4	105 1.3	328 4.1	317 4.0	5,120 64.6	1,883 23.8
問2 本人の年齢								
65～69歳	1,951 100.0	14 0.7	24 1.2	29 1.5	75 3.8	77 3.9	1,450 74.3	282 14.5
70～74歳	2,340 100.0	23 1.0	26 1.1	35 1.5	104 4.4	99 4.2	1,615 69.0	438 18.7
75～79歳	1,649 100.0	14 0.8	34 2.1	26 1.6	80 4.9	77 4.7	967 58.6	451 27.3
80～84歳	1,122 100.0	12 1.1	20 1.8	12 1.1	51 4.5	38 3.4	616 54.9	373 33.2
85～89歳	604 100.0	1 0.2	4 0.7	1 0.2	16 2.6	23 3.8	312 51.7	247 40.9
90～94歳	208 100.0	— —	1 0.5	— —	2 1.0	3 1.4	128 61.5	74 35.6
95～99歳	25 100.0	— —	— —	— —	— —	— —	16 64.0	9 36.0
100歳以上	3 100.0	— —	— —	— —	— —	— —	2 66.7	1 33.3
無回答	24 100.0	— —	— —	2 8.3	— —	— —	14 58.3	8 33.3

○要支援等の認定状況別にみると、大きな差はみられませんでした。

上段:件数 下段:%	調査数	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
全体	7,926 100.0	64 0.8	109 1.4	105 1.3	328 4.1	317 4.0	5,120 64.6	1,883 23.8
問3 要支援等の認定条件について								
一般高齢者	7,169 100.0	61 0.9	100 1.4	96 1.3	310 4.3	300 4.2	4,689 65.4	1,613 22.5
事業対象者	80 100.0	— —	1 1.3	1 1.3	6 7.5	2 2.5	56 70.0	14 17.5
要支援1	341 100.0	— —	3 0.9	4 1.2	5 1.5	9 2.6	213 62.5	107 31.4
要支援2	128 100.0	2 1.6	2 1.6	2 1.6	1 0.8	1 0.8	77 60.2	43 33.6
無回答	208 100.0	1 0.5	3 1.4	2 1.0	6 2.9	5 2.4	85 40.9	106 51.0

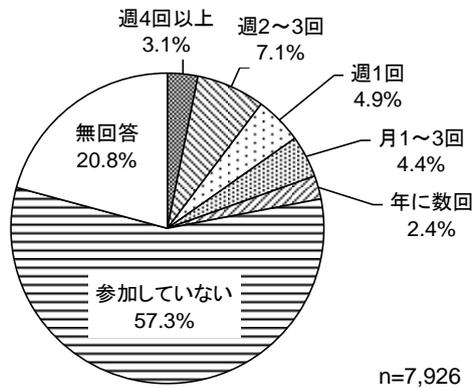
## 第2章 調査結果の分析

○調査区域別にみると、「年に数回」は虹の丘・加茂・長命ヶ丘が7.2%、「参加していない」は根白石・南中山が70.1%と、それぞれ他の調査区に比べて多くなっています。

上段:件数 下段:%	調査数	週4回以上	週2〜3回	週1回	月1〜3回	年に数回	参加していない	無回答
全体	7,926 100.0	64 0.8	109 1.4	105 1.3	328 4.1	317 4.0	5,120 64.6	1,883 23.8
調査区域								
五橋・上杉・木町通・花京院	451 100.0	5 1.1	2 0.4	5 1.1	16 3.5	14 3.1	303 67.2	106 23.5
双葉ヶ丘・葉山・台原	419 100.0	5 1.2	6 1.4	1 0.2	11 2.6	15 3.6	266 63.5	115 27.4
国見・国見ヶ丘・桜ヶ丘	430 100.0	5 1.2	7 1.6	6 1.4	22 5.1	13 3.0	300 69.8	77 17.9
大沢広陵・あやし・南吉成	420 100.0	2 0.5	3 0.7	7 1.7	20 4.8	8 1.9	278 66.2	102 24.3
東仙台・宮城野・榴岡	439 100.0	2 0.5	5 1.1	8 1.8	17 3.9	12 2.7	303 69.0	92 21.0
小松島・燕沢・鶴ヶ谷	448 100.0	4 0.9	8 1.8	4 0.9	22 4.9	19 4.2	278 62.1	113 25.2
岩切・高砂・福田町	435 100.0	4 0.9	2 0.5	3 0.7	14 3.2	25 5.7	265 60.9	122 28.0
河原町・大和蒲町・遠見塚	443 100.0	— —	6 1.4	9 2.0	12 2.7	23 5.2	290 65.5	103 23.3
六郷・沖野・七郷	431 100.0	2 0.5	4 0.9	4 0.9	20 4.6	11 2.6	273 63.3	117 27.1
長町・郡山・富沢	446 100.0	— —	9 2.0	6 1.3	14 3.1	10 2.2	303 67.9	104 23.3
愛宕橋・八木山・西多賀・山田	432 100.0	4 0.9	8 1.9	7 1.6	30 6.9	20 4.6	264 61.1	99 22.9
西中田・袋原・四郎丸	456 100.0	5 1.1	6 1.3	6 1.3	11 2.4	13 2.9	294 64.5	121 26.5
茂庭・秋保	419 100.0	3 0.7	5 1.2	4 1.0	16 3.8	20 4.8	251 59.9	120 28.6
泉中央・寺岡・高森	435 100.0	3 0.7	6 1.4	10 2.3	24 5.5	29 6.7	265 60.9	98 22.5
将監・松森・向陽台	452 100.0	5 1.1	9 2.0	7 1.5	24 5.3	22 4.9	295 65.3	90 19.9
南光台・八乙女	447 100.0	6 1.3	5 1.1	— —	17 3.8	13 2.9	290 64.9	116 26.0
虹の丘・加茂・長命ヶ丘	460 100.0	3 0.7	9 2.0	12 2.6	25 5.4	33 7.2	278 60.4	100 21.7
根白石・南中山	458 100.0	6 1.3	9 2.0	6 1.3	13 2.8	17 3.7	321 70.1	86 18.8
無回答	5 100.0	— —	— —	— —	— —	— —	3 60.0	2 40.0

② スポーツ関係のクラブやグループ

○スポーツ関係のクラブやグループへの参加頻度は、「参加していない」の割合が57.3%と最も多く、次いで、「週2～3回」(7.1%)、「週1回」(4.9%)となっています。



○性別にみると、大きな差はみられませんでした。

上段: 件数 下段: %	調査数	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
全体	7,926 100.0	249 3.1	562 7.1	390 4.9	347 4.4	192 2.4	4,541 57.3	1,645 20.8
問1 本人の性別								
男性	3,620 100.0	92 2.5	203 5.6	147 4.1	192 5.3	146 4.0	2,208 61.0	632 17.5
女性	4,249 100.0	156 3.7	357 8.4	242 5.7	155 3.6	43 1.0	2,301 54.2	995 23.4
無回答	57 100.0	1 1.8	2 3.5	1 1.8	—	3 5.3	32 56.1	18 31.6

## 第2章 調査結果の分析

○年齢別にみると、大きな差はみられませんでした。

上段:件数 下段:%	調査数	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
全体	7,926 100.0	249 3.1	562 7.1	390 4.9	347 4.4	192 2.4	4,541 57.3	1,645 20.8
問2 本人の年齢								
65～69歳	1,951 100.0	57 2.9	149 7.6	95 4.9	77 3.9	46 2.4	1,276 65.4	251 12.9
70～74歳	2,340 100.0	90 3.8	181 7.7	123 5.3	111 4.7	61 2.6	1,404 60.0	370 15.8
75～79歳	1,649 100.0	58 3.5	129 7.8	96 5.8	93 5.6	43 2.6	844 51.2	386 23.4
80～84歳	1,122 100.0	38 3.4	73 6.5	50 4.5	48 4.3	25 2.2	567 50.5	321 28.6
85～89歳	604 100.0	6 1.0	26 4.3	22 3.6	13 2.2	10 1.7	299 49.5	228 37.7
90～94歳	208 100.0	—	4 1.9	3 1.4	5 2.4	6 2.9	119 57.2	71 34.1
95～99歳	25 100.0	—	—	—	—	—	16 64.0	9 36.0
100歳以上	3 100.0	—	—	—	—	—	2 66.7	1 33.3
無回答	24 100.0	—	—	1 4.2	—	1 4.2	14 58.3	8 33.3

○要支援等の認定状況別にみると、大きな差はみられませんでした。

上段:件数 下段:%	調査数	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
全体	7,926 100.0	249 3.1	562 7.1	390 4.9	347 4.4	192 2.4	4,541 57.3	1,645 20.8
問3 要支援等の認定条件について								
一般高齢者	7,169 100.0	243 3.4	540 7.5	363 5.1	328 4.6	182 2.5	4,132 57.6	1,381 19.3
事業対象者	80 100.0	2 2.5	7 8.8	6 7.5	4 5.0	—	48 60.0	13 16.3
要支援1	341 100.0	2 0.6	10 2.9	14 4.1	4 1.2	4 1.2	202 59.2	105 30.8
要支援2	128 100.0	1 0.8	1 0.8	1 0.8	2 1.6	1 0.8	77 60.2	45 35.2
無回答	208 100.0	1 0.5	4 1.9	6 2.9	9 4.3	5 2.4	82 39.4	101 48.6

## 第2章 調査結果の分析

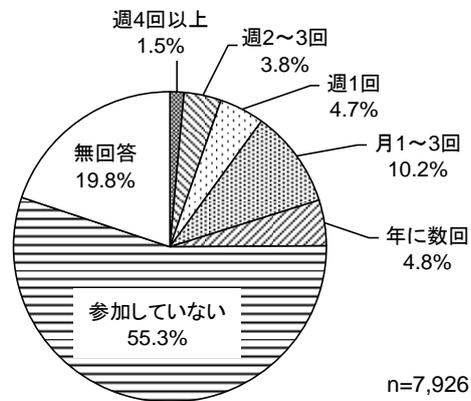
○調査区域別にみると、「週2～3回」は虹の丘・加茂・長命ヶ丘が10.0%と、他の調査区に比べてやや多くなっています。

	調査数	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
上段:件数 下段:%								
全体	7,926 100.0	249 3.1	562 7.1	390 4.9	347 4.4	192 2.4	4,541 57.3	1,645 20.8
調査区域								
五橋・上杉・木町通・花京院	451 100.0	13 2.9	39 8.6	22 4.9	18 4.0	9 2.0	266 59.0	84 18.6
双葉ヶ丘・葉山・台原	419 100.0	13 3.1	27 6.4	32 7.6	11 2.6	10 2.4	229 54.7	97 23.2
国見・国見ヶ丘・桜ヶ丘	430 100.0	9 2.1	34 7.9	31 7.2	23 5.3	9 2.1	261 60.7	63 14.7
大沢広陵・あやし・南吉成	420 100.0	10 2.4	28 6.7	11 2.6	19 4.5	9 2.1	254 60.5	89 21.2
東仙台・宮城野・榴岡	439 100.0	13 3.0	30 6.8	18 4.1	21 4.8	11 2.5	260 59.2	86 19.6
小松島・燕沢・鶴ヶ谷	448 100.0	13 2.9	37 8.3	22 4.9	20 4.5	10 2.2	238 53.1	108 24.1
岩切・高砂・福田町	435 100.0	13 3.0	28 6.4	20 4.6	11 2.5	15 3.4	244 56.1	104 23.9
河原町・大和蒲町・遠見塚	443 100.0	12 2.7	33 7.4	19 4.3	25 5.6	8 1.8	260 58.7	86 19.4
六郷・沖野・七郷	431 100.0	12 2.8	29 6.7	19 4.4	12 2.8	5 1.2	244 56.6	110 25.5
長町・郡山・富沢	446 100.0	14 3.1	30 6.7	17 3.8	18 4.0	11 2.5	268 60.1	88 19.7
愛宕橋・八木山・西多賀・山田	432 100.0	18 4.2	37 8.6	23 5.3	17 3.9	6 1.4	245 56.7	86 19.9
西中田・袋原・四郎丸	456 100.0	7 1.5	21 4.6	21 4.6	14 3.1	13 2.9	266 58.3	114 25.0
茂庭・秋保	419 100.0	7 1.7	20 4.8	20 4.8	27 6.4	14 3.3	224 53.5	107 25.5
泉中央・寺岡・高森	435 100.0	22 5.1	35 8.0	27 6.2	25 5.7	10 2.3	234 53.8	82 18.9
将監・松森・向陽台	452 100.0	30 6.6	38 8.4	14 3.1	22 4.9	16 3.5	264 58.4	68 15.0
南光台・八乙女	447 100.0	18 4.0	20 4.5	19 4.3	18 4.0	11 2.5	258 57.7	103 23.0
虹の丘・加茂・長命ヶ丘	460 100.0	14 3.0	46 10.0	31 6.7	26 5.7	14 3.0	238 51.7	91 19.8
根白石・南中山	458 100.0	11 2.4	28 6.1	24 5.2	20 4.4	11 2.4	287 62.7	77 16.8
無回答	5 100.0	— —	2 40.0	— —	— —	— —	1 20.0	2 40.0

## 第2章 調査結果の分析

### ③ 趣味関係のグループ

○趣味関係のグループへの参加頻度は、「参加していない」の割合が55.3%と最も多く、次いで、「月1～3回」(10.2%)、「年に数回」(4.8%)となっています。



○性別にみると、大きな差はみられませんでした。

上段: 件数 下段: %	調査数	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
全体	7,926 100.0	115 1.5	305 3.8	369 4.7	806 10.2	378 4.8	4,381 55.3	1,572 19.8
問1 本人の性別								
男性	3,620 100.0	45 1.2	132 3.6	148 4.1	304 8.4	232 6.4	2,147 59.3	612 16.9
女性	4,249 100.0	69 1.6	170 4.0	219 5.2	498 11.7	142 3.3	2,205 51.9	946 22.3
無回答	57 100.0	1 1.8	3 5.3	2 3.5	4 7.0	4 7.0	29 50.9	14 24.6

○年齢別にみると、大きな差はみられませんでした。

上段:件数 下段:%	調査数	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
全体	7,926 100.0	115 1.5	305 3.8	369 4.7	806 10.2	378 4.8	4,381 55.3	1,572 19.8
問2 本人の年齢								
65～69歳	1,951 100.0	15 0.8	56 2.9	62 3.2	173 8.9	111 5.7	1,271 65.1	263 13.5
70～74歳	2,340 100.0	37 1.6	73 3.1	109 4.7	240 10.3	125 5.3	1,364 58.3	392 16.8
75～79歳	1,649 100.0	35 2.1	89 5.4	97 5.9	194 11.8	83 5.0	796 48.3	355 21.5
80～84歳	1,122 100.0	19 1.7	47 4.2	64 5.7	137 12.2	37 3.3	524 46.7	294 26.2
85～89歳	604 100.0	8 1.3	33 5.5	25 4.1	47 7.8	14 2.3	284 47.0	193 32.0
90～94歳	208 100.0	1 0.5	6 2.9	11 5.3	11 5.3	5 2.4	110 52.9	64 30.8
95～99歳	25 100.0	—	—	1 4.0	2 8.0	1 4.0	16 64.0	5 20.0
100歳以上	3 100.0	—	—	—	—	1 33.3	2 66.7	—
無回答	24 100.0	—	1 4.2	—	2 8.3	1 4.2	14 58.3	6 25.0

○要支援等の認定状況別にみると、大きな差はみられませんでした。

上段:件数 下段:%	調査数	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
全体	7,926 100.0	115 1.5	305 3.8	369 4.7	806 10.2	378 4.8	4,381 55.3	1,572 19.8
問3 要支援等の認定条件について								
一般高齢者	7,169 100.0	107 1.5	284 4.0	339 4.7	751 10.5	359 5.0	3,999 55.8	1,330 18.6
事業対象者	80 100.0	1 1.3	1 1.3	3 3.8	4 5.0	9 11.3	47 58.8	15 18.8
要支援1	341 100.0	3 0.9	10 2.9	16 4.7	29 8.5	5 1.5	186 54.5	92 27.0
要支援2	128 100.0	1 0.8	1 0.8	3 2.3	6 4.7	2 1.6	73 57.0	42 32.8
無回答	208 100.0	3 1.4	9 4.3	8 3.8	16 7.7	3 1.4	76 36.5	93 44.7

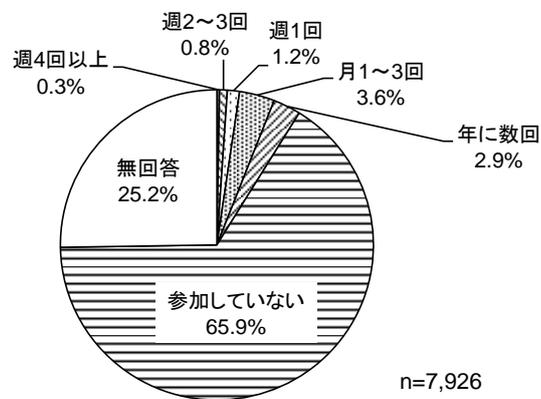
## 第2章 調査結果の分析

○調査区域別にみると、大きな差はみられませんでした。

上段:件数 下段:%	調査数	週4回以上	週2〜3回	週1回	月1〜3回	年に数回	参加していない	無回答
全体	7,926 100.0	115 1.5	305 3.8	369 4.7	806 10.2	378 4.8	4,381 55.3	1,572 19.8
調査区域								
五橋・上杉・木町通・花京院	451 100.0	5 1.1	22 4.9	21 4.7	47 10.4	22 4.9	261 57.9	73 16.2
双葉ヶ丘・葉山・台原	419 100.0	10 2.4	17 4.1	23 5.5	50 11.9	23 5.5	213 50.8	83 19.8
国見・国見ヶ丘・桜ヶ丘	430 100.0	3 0.7	20 4.7	18 4.2	46 10.7	22 5.1	251 58.4	70 16.3
大沢広陵・あやし・南吉成	420 100.0	8 1.9	9 2.1	21 5.0	37 8.8	20 4.8	244 58.1	81 19.3
東仙台・宮城野・榴岡	439 100.0	2 0.5	29 6.6	12 2.7	45 10.3	19 4.3	247 56.3	85 19.4
小松島・燕沢・鶴ヶ谷	448 100.0	9 2.0	16 3.6	20 4.5	53 11.8	15 3.3	242 54.0	93 20.8
岩切・高砂・福田町	435 100.0	7 1.6	13 3.0	18 4.1	41 9.4	19 4.4	232 53.3	105 24.1
河原町・大和蒲町・遠見塚	443 100.0	5 1.1	15 3.4	19 4.3	36 8.1	30 6.8	252 56.9	86 19.4
六郷・沖野・七郷	431 100.0	6 1.4	15 3.5	12 2.8	37 8.6	15 3.5	247 57.3	99 23.0
長町・郡山・富沢	446 100.0	5 1.1	12 2.7	14 3.1	47 10.5	17 3.8	262 58.7	89 20.0
愛宕橋・八木山・西多賀・山田	432 100.0	9 2.1	23 5.3	24 5.6	58 13.4	19 4.4	228 52.8	71 16.4
西中田・袋原・四郎丸	456 100.0	8 1.8	16 3.5	23 5.0	47 10.3	23 5.0	246 53.9	93 20.4
茂庭・秋保	419 100.0	3 0.7	11 2.6	20 4.8	36 8.6	27 6.4	206 49.2	116 27.7
泉中央・寺岡・高森	435 100.0	9 2.1	14 3.2	30 6.9	46 10.6	21 4.8	233 53.6	82 18.9
将監・松森・向陽台	452 100.0	4 0.9	19 4.2	27 6.0	46 10.2	27 6.0	251 55.5	78 17.3
南光台・八乙女	447 100.0	8 1.8	17 3.8	18 4.0	46 10.3	23 5.1	239 53.5	96 21.5
虹の丘・加茂・長命ヶ丘	460 100.0	10 2.2	23 5.0	31 6.7	47 10.2	20 4.3	241 52.4	88 19.1
根白石・南中山	458 100.0	4 0.9	14 3.1	18 3.9	41 9.0	16 3.5	283 61.8	82 17.9
無回答	5 100.0	— —	— —	— —	— —	— —	3 60.0	2 40.0

④ 学習・教養サークル

○学習・教養サークルへの参加頻度は、「参加していない」の割合が65.9%と最も多く、次いで「月1～3回」(3.6%)、「年に数回」(2.9%)となっています。



○性別にみると、大きな差はみられませんでした。

上段: 件数 下段: %	調査数	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
全体	7,926 100.0	21 0.3	64 0.8	99 1.2	289 3.6	226 2.9	5,226 65.9	2,001 25.2
問1 性別								
男性	3,620 100.0	10 0.3	24 0.7	37 1.0	93 2.6	89 2.5	2,608 72.0	759 21.0
女性	4,249 100.0	11 0.3	40 0.9	62 1.5	192 4.5	134 3.2	2,585 60.8	1,225 28.8
無回答	57 100.0	— —	— —	— —	4 7.0	3 5.3	33 57.9	17 29.8

## 第2章 調査結果の分析

○年齢別にみると、大きな差はみられませんでした。

上段:件数 下段:%	調査数	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
全体	7,926 100.0	21 0.3	64 0.8	99 1.2	289 3.6	226 2.9	5,226 65.9	2,001 25.2
問2 本人の年齢								
65～69歳	1,951 100.0	2 0.1	8 0.4	21 1.1	48 2.5	56 2.9	1,501 76.9	315 16.1
70～74歳	2,340 100.0	2 0.1	19 0.8	34 1.5	89 3.8	67 2.9	1,648 70.4	481 20.6
75～79歳	1,649 100.0	9 0.5	16 1.0	27 1.6	78 4.7	56 3.4	992 60.2	471 28.6
80～84歳	1,122 100.0	5 0.4	14 1.2	12 1.1	49 4.4	29 2.6	616 54.9	397 35.4
85～89歳	604 100.0	3 0.5	7 1.2	4 0.7	14 2.3	16 2.6	313 51.8	247 40.9
90～94歳	208 100.0	— —	— —	1 0.5	8 3.8	1 0.5	124 59.6	74 35.6
95～99歳	25 100.0	— —	— —	— —	1 4.0	— —	16 64.0	8 32.0
100歳以上	3 100.0	— —	— —	— —	— —	— —	2 66.7	1 33.3
無回答	24 100.0	— —	— —	— —	2 8.3	1 4.2	14 58.3	7 29.2

○要支援等の認定状況別にみると、大きな差はみられませんでした。

上段:件数 下段:%	調査数	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
全体	7,926 100.0	21 0.3	64 0.8	99 1.2	289 3.6	226 2.9	5,226 65.9	2,001 25.2
問3 要支援等の認定条件について								
一般高齢者	7,169 100.0	18 0.3	60 0.8	91 1.3	271 3.8	210 2.9	4,802 67.0	1,717 24.0
事業対象者	80 100.0	— —	— —	— —	3 3.8	3 3.8	56 70.0	18 22.5
要支援1	341 100.0	1 0.3	2 0.6	4 1.2	10 2.9	9 2.6	206 60.4	109 32.0
要支援2	128 100.0	1 0.8	1 0.8	1 0.8	1 0.8	1 0.8	76 59.4	47 36.7
無回答	208 100.0	1 0.5	1 0.5	3 1.4	4 1.9	3 1.4	86 41.3	110 52.9

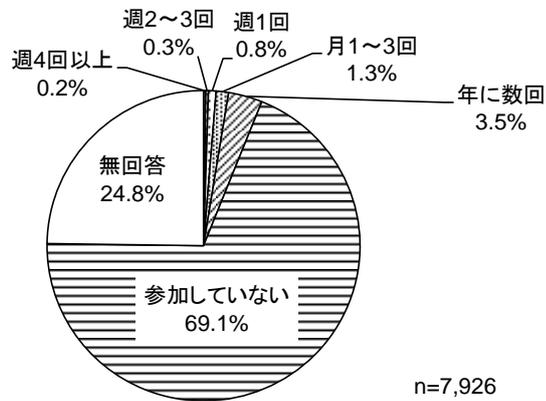
○調査区域別にみると、「月1～3回」は双葉ヶ丘・葉山・台原が6.2%と、他の調査区に比べてやや多くなっています。

	調査数	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
上段:件数 下段:%								
全体	7,926 100.0	21 0.3	64 0.8	99 1.2	289 3.6	226 2.9	5,226 65.9	2,001 25.2
調査区域								
五橋・上杉・木町通・花京院	451 100.0	— —	4 0.9	6 1.3	24 5.3	10 2.2	302 67.0	105 23.3
双葉ヶ丘・葉山・台原	419 100.0	2 0.5	5 1.2	8 1.9	26 6.2	14 3.3	254 60.6	110 26.3
国見・国見ヶ丘・桜ヶ丘	430 100.0	1 0.2	5 1.2	6 1.4	17 4.0	16 3.7	297 69.1	88 20.5
大沢広陵・あやし・南吉成	420 100.0	— —	2 0.5	1 0.2	15 3.6	8 1.9	288 68.6	106 25.2
東仙台・宮城野・榴岡	439 100.0	2 0.5	3 0.7	7 1.6	18 4.1	14 3.2	287 65.4	108 24.6
小松島・燕沢・鶴ヶ谷	448 100.0	— —	2 0.4	6 1.3	14 3.1	11 2.5	287 64.1	128 28.6
岩切・高砂・福田町	435 100.0	— —	2 0.5	3 0.7	9 2.1	12 2.8	284 65.3	125 28.7
河原町・大和蒲町・遠見塚	443 100.0	— —	1 0.2	9 2.0	12 2.7	16 3.6	296 66.8	109 24.6
六郷・沖野・七郷	431 100.0	2 0.5	1 0.2	4 0.9	14 3.2	11 2.6	277 64.3	122 28.3
長町・郡山・富沢	446 100.0	1 0.2	2 0.4	2 0.4	11 2.5	10 2.2	308 69.1	112 25.1
愛宕橋・八木山・西多賀・山田	432 100.0	— —	5 1.2	7 1.6	19 4.4	15 3.5	282 65.3	104 24.1
西中田・袋原・四郎丸	456 100.0	1 0.2	3 0.7	6 1.3	14 3.1	10 2.2	297 65.1	125 27.4
茂庭・秋保	419 100.0	2 0.5	7 1.7	5 1.2	16 3.8	15 3.6	247 58.9	127 30.3
泉中央・寺岡・高森	435 100.0	6 1.4	3 0.7	6 1.4	17 3.9	13 3.0	283 65.1	107 24.6
将監・松森・向陽台	452 100.0	— —	6 1.3	5 1.1	18 4.0	12 2.7	315 69.7	96 21.2
南光台・八乙女	447 100.0	3 0.7	2 0.4	8 1.8	8 1.8	9 2.0	293 65.5	124 27.7
虹の丘・加茂・長命ヶ丘	460 100.0	— —	5 1.1	7 1.5	25 5.4	21 4.6	293 63.7	109 23.7
根白石・南中山	458 100.0	1 0.2	6 1.3	3 0.7	12 2.6	9 2.0	333 72.7	94 20.5
無回答	5 100.0	— —	— —	— —	— —	— —	3 60.0	2 40.0

## 第2章 調査結果の分析

### ⑤ 地域包括支援センターが実施する介護予防講座や介護予防教室

○地域包括支援センターが実施する介護予防講座や介護予防教室への参加頻度は、「参加していない」の割合が69.1%と最も多く、次いで、「年に数回」(3.5%)、「月1～3回」(1.3%)となっています。



○性別にみると、大きな差はみられませんでした。

	調査数	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
上段: 件数 下段: %								
全体	7,926 100.0	18 0.2	22 0.3	62 0.8	102 1.3	278 3.5	5,480 69.1	1,964 24.8
問1 本人の性別								
男性	3,620 100.0	6 0.2	4 0.1	12 0.3	29 0.8	95 2.6	2,713 74.9	761 21.0
女性	4,249 100.0	12 0.3	18 0.4	50 1.2	71 1.7	180 4.2	2,733 64.3	1,185 27.9
無回答	57 100.0	—	—	—	2 3.5	3 5.3	34 59.6	18 31.6

○年齢別にみると、大きな差はみられませんでした。

上段:件数 下段:%	調査数	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
全体	7,926 100.0	18 0.2	22 0.3	62 0.8	102 1.3	278 3.5	5,480 69.1	1,964 24.8
問2 本人の年齢								
65～69歳	1,951 100.0	2 0.1	1 0.1	2 0.1	5 0.3	29 1.5	1,591 81.5	321 16.5
70～74歳	2,340 100.0	1 0.0	3 0.1	6 0.3	22 0.9	69 2.9	1,750 74.8	489 20.9
75～79歳	1,649 100.0	5 0.3	1 0.1	16 1.0	29 1.8	66 4.0	1,057 64.1	475 28.8
80～84歳	1,122 100.0	7 0.6	5 0.4	17 1.5	26 2.3	73 6.5	626 55.8	368 32.8
85～89歳	604 100.0	2 0.3	9 1.5	15 2.5	13 2.2	31 5.1	308 51.0	226 37.4
90～94歳	208 100.0	1 0.5	3 1.4	6 2.9	6 2.9	10 4.8	115 55.3	67 32.2
95～99歳	25 100.0	—	—	—	1 4.0	—	15 60.0	9 36.0
100歳以上	3 100.0	—	—	—	—	—	2 66.7	1 33.3
無回答	24 100.0	—	—	—	—	—	16 66.7	8 33.3

○要支援等の認定状況別にみると、要支援1では「週1回」が10.6%、要支援2では「週2～3回」が10.2%と、それぞれ一般高齢者、事業対象者に比べて多くなっています。

上段:件数 下段:%	調査数	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
全体	7,926 100.0	18 0.2	22 0.3	62 0.8	102 1.3	278 3.5	5,480 69.1	1,964 24.8
問3 要支援等の認定条件について								
一般高齢者	7,169 100.0	11 0.2	5 0.1	19 0.3	84 1.2	241 3.4	5,086 70.9	1,723 24.0
事業対象者	80 100.0	2 2.5	—	2 2.5	—	5 6.3	54 67.5	17 21.3
要支援1	341 100.0	4 1.2	2 0.6	36 10.6	9 2.6	21 6.2	183 53.7	86 25.2
要支援2	128 100.0	1 0.8	13 10.2	2 1.6	6 4.7	6 4.7	68 53.1	32 25.0
無回答	208 100.0	—	2 1.0	3 1.4	3 1.4	5 2.4	89 42.8	106 51.0

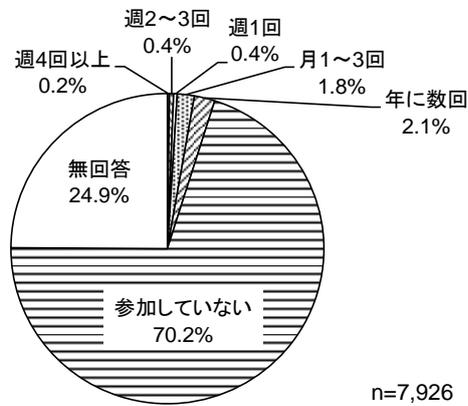
## 第2章 調査結果の分析

○調査区域別にみると、大きな差はみられませんでした。

上段:件数 下段:%	調査数	週4回以上	週2〜3回	週1回	月1〜3回	年に数回	参加していない	無回答
全体	7,926 100.0	18 0.2	22 0.3	62 0.8	102 1.3	278 3.5	5,480 69.1	1,964 24.8
調査区域								
五橋・上杉・木町通・花京院	451 100.0	1 0.2	1 0.2	3 0.7	4 0.9	6 1.3	330 73.2	106 23.5
双葉ヶ丘・葉山・台原	419 100.0	3 0.7	1 0.2	5 1.2	2 0.5	13 3.1	282 67.3	113 27.0
国見・国見ヶ丘・桜ヶ丘	430 100.0	1 0.2	—	3 0.7	2 0.5	15 3.5	326 75.8	83 19.3
大沢広陵・あやし・南吉成	420 100.0	1 0.2	—	3 0.7	4 1.0	12 2.9	295 70.2	105 25.0
東仙台・宮城野・榴岡	439 100.0	—	1 0.2	—	5 1.1	12 2.7	314 71.5	107 24.4
小松島・燕沢・鶴ヶ谷	448 100.0	2 0.4	2 0.4	5 1.1	9 2.0	28 6.3	286 63.8	116 25.9
岩切・高砂・福田町	435 100.0	1 0.2	3 0.7	7 1.6	4 0.9	18 4.1	286 65.7	116 26.7
河原町・大和蒲町・遠見塚	443 100.0	—	3 0.7	1 0.2	7 1.6	10 2.3	308 69.5	114 25.7
六郷・沖野・七郷	431 100.0	1 0.2	1 0.2	8 1.9	7 1.6	13 3.0	283 65.7	118 27.4
長町・郡山・富沢	446 100.0	—	—	2 0.4	5 1.1	10 2.2	320 71.7	109 24.4
愛宕橋・八木山・西多賀・山田	432 100.0	1 0.2	2 0.5	2 0.5	8 1.9	18 4.2	299 69.2	102 23.6
西中田・袋原・四郎丸	456 100.0	1 0.2	2 0.4	4 0.9	11 2.4	15 3.3	301 66.0	122 26.8
茂庭・秋保	419 100.0	1 0.2	1 0.2	3 0.7	3 0.7	15 3.6	264 63.0	132 31.5
泉中央・寺岡・高森	435 100.0	—	2 0.5	2 0.5	2 0.5	22 5.1	301 69.2	106 24.4
将監・松森・向陽台	452 100.0	—	—	2 0.4	5 1.1	23 5.1	328 72.6	94 20.8
南光台・八乙女	447 100.0	1 0.2	1 0.2	3 0.7	5 1.1	12 2.7	304 68.0	121 27.1
虹の丘・加茂・長命ヶ丘	460 100.0	1 0.2	—	4 0.9	11 2.4	27 5.9	307 66.7	110 23.9
根白石・南中山	458 100.0	3 0.7	2 0.4	5 1.1	8 1.7	9 2.0	343 74.9	88 19.2
無回答	5 100.0	—	—	—	—	—	3 60.0	2 40.0

⑥ 老人クラブ

○老人クラブへの参加頻度は、「参加していない」の割合が70.2%と最も多く、次いで、「年に数回」(2.1%)、「月1～3回」(1.8%)となっています。



○性別にみると、大きな差はみられませんでした。

上段: 件数 下段: %	調査数	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
全体	7,926 100.0	17 0.2	34 0.4	29 0.4	140 1.8	168 2.1	5,564 70.2	1,974 24.9
問1 本人の性別								
男性	3,620 100.0	5 0.1	21 0.6	13 0.4	54 1.5	78 2.2	2,701 74.6	748 20.7
女性	4,249 100.0	12 0.3	13 0.3	16 0.4	86 2.0	88 2.1	2,827 66.5	1,207 28.4
無回答	57 100.0	— —	— —	— —	— —	2 3.5	36 63.2	19 33.3

## 第2章 調査結果の分析

○年齢別にみると、大きな差はみられませんでした。

上段:件数 下段:%	調査数	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
全体	7,926 100.0	17 0.2	34 0.4	29 0.4	140 1.8	168 2.1	5,564 70.2	1,974 24.9
問2 本人の年齢								
65～69歳	1,951 100.0	— —	— —	— —	6 0.3	6 0.3	1,611 82.6	328 16.8
70～74歳	2,340 100.0	2 0.1	8 0.3	3 0.1	23 1.0	31 1.3	1,786 76.3	487 20.8
75～79歳	1,649 100.0	7 0.4	12 0.7	10 0.6	35 2.1	43 2.6	1,065 64.6	477 28.9
80～84歳	1,122 100.0	5 0.4	6 0.5	7 0.6	44 3.9	54 4.8	640 57.0	366 32.6
85～89歳	604 100.0	2 0.3	6 1.0	6 1.0	20 3.3	23 3.8	312 51.7	235 38.9
90～94歳	208 100.0	— —	2 1.0	3 1.4	11 5.3	11 5.3	116 55.8	65 31.3
95～99歳	25 100.0	1 4.0	— —	— —	1 4.0	— —	16 64.0	7 28.0
100歳以上	3 100.0	— —	— —	— —	— —	— —	2 66.7	1 33.3
無回答	24 100.0	— —	— —	— —	— —	— —	16 66.7	8 33.3

○要支援等の認定状況別にみると、大きな差はみられませんでした。

上段:件数 下段:%	調査数	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
全体	7,926 100.0	17 0.2	34 0.4	29 0.4	140 1.8	168 2.1	5,564 70.2	1,974 24.9
問3 要支援等の認定条件について								
一般高齢者	7,169 100.0	13 0.2	27 0.4	23 0.3	129 1.8	151 2.1	5,126 71.5	1,700 23.7
事業対象者	80 100.0	— —	1 1.3	— —	2 2.5	2 2.5	58 72.5	17 21.3
要支援1	341 100.0	1 0.3	4 1.2	5 1.5	4 1.2	8 2.3	216 63.3	103 30.2
要支援2	128 100.0	1 0.8	1 0.8	1 0.8	5 3.9	5 3.9	72 56.3	43 33.6
無回答	208 100.0	2 1.0	1 0.5	— —	— —	2 1.0	92 44.2	111 53.4

## 第2章 調査結果の分析

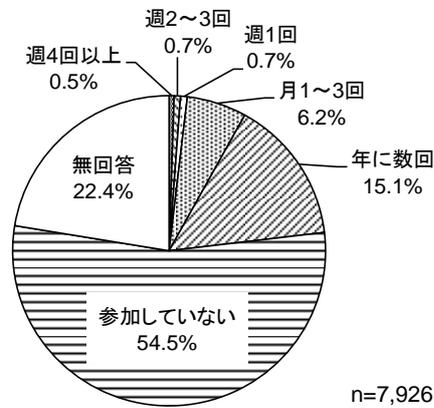
○調査区域別にみると、「参加していない」は国見・国見ヶ丘・桜ヶ丘が77.2%と、他の調査区に比べて多くなっています。

	調査数	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
上段:件数 下段:%								
全体	7,926 100.0	17 0.2	34 0.4	29 0.4	140 1.8	168 2.1	5,564 70.2	1,974 24.9
調査区域								
五橋・上杉・木町通・花京院	451 100.0	— —	1 0.2	— —	4 0.9	6 1.3	328 72.7	112 24.8
双葉ヶ丘・葉山・台原	419 100.0	— —	1 0.2	— —	9 2.1	13 3.1	283 67.5	113 27.0
国見・国見ヶ丘・桜ヶ丘	430 100.0	2 0.5	2 0.5	3 0.7	6 1.4	5 1.2	332 77.2	80 18.6
大沢広陵・あやし・南吉成	420 100.0	— —	1 0.2	2 0.5	5 1.2	13 3.1	296 70.5	103 24.5
東仙台・宮城野・榴岡	439 100.0	— —	1 0.2	2 0.5	5 1.1	18 4.1	312 71.1	101 23.0
小松島・燕沢・鶴ヶ谷	448 100.0	— —	3 0.7	— —	20 4.5	11 2.5	293 65.4	121 27.0
岩切・高砂・福田町	435 100.0	— —	2 0.5	— —	8 1.8	9 2.1	295 67.8	121 27.8
河原町・大和蒲町・遠見塚	443 100.0	— —	1 0.2	— —	6 1.4	15 3.4	312 70.4	109 24.6
六郷・沖野・七郷	431 100.0	— —	1 0.2	4 0.9	7 1.6	5 1.2	296 68.7	118 27.4
長町・郡山・富沢	446 100.0	2 0.4	1 0.2	2 0.4	6 1.3	13 2.9	313 70.2	109 24.4
愛宕橋・八木山・西多賀・山田	432 100.0	3 0.7	3 0.7	3 0.7	13 3.0	11 2.5	300 69.4	99 22.9
西中田・袋原・四郎丸	456 100.0	— —	4 0.9	5 1.1	13 2.9	9 2.0	303 66.4	122 26.8
茂庭・秋保	419 100.0	2 0.5	2 0.5	— —	8 1.9	11 2.6	266 63.5	130 31.0
泉中央・寺岡・高森	435 100.0	1 0.2	2 0.5	1 0.2	5 1.1	7 1.6	309 71.0	110 25.3
将監・松森・向陽台	452 100.0	1 0.2	1 0.2	2 0.4	11 2.4	10 2.2	333 73.7	94 20.8
南光台・八乙女	447 100.0	1 0.2	1 0.2	— —	5 1.1	4 0.9	312 69.8	124 27.7
虹の丘・加茂・長命ヶ丘	460 100.0	3 0.7	6 1.3	2 0.4	7 1.5	5 1.1	326 70.9	111 24.1
根白石・南中山	458 100.0	2 0.4	1 0.2	3 0.7	2 0.4	3 0.7	352 76.9	95 20.7
無回答	5 100.0	— —	— —	— —	— —	— —	3 60.0	2 40.0

## 第2章 調査結果の分析

### ⑦ 町内会・自治会

○町内会・自治会への参加頻度は、「参加していない」の割合が54.5%と最も多く、次いで、「年に数回」(15.1%)、「月1～3回」(6.2%)となっています。



○性別にみると、大きな差はみられませんでした。

上段: 件数 下段: %	調査数	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
全体	7,926 100.0	41 0.5	52 0.7	55 0.7	490 6.2	1,194 15.1	4,318 54.5	1,776 22.4
問1 本人の性別								
男性	3,620 100.0	26 0.7	37 1.0	41 1.1	246 6.8	574 15.9	2,058 56.9	638 17.6
女性	4,249 100.0	15 0.4	14 0.3	14 0.3	241 5.7	612 14.4	2,232 52.5	1,121 26.4
無回答	57 100.0	— —	1 1.8	— —	3 5.3	8 14.0	28 49.1	17 29.8

○年齢別にみると、65～74歳までの年齢層では「年に数回」が15%を超えて、他の年齢層に比べて多くなっています。また、年齢が高くなるにしたがって、町内会・自治会への参加頻度が少なくなっています。

上段:件数 下段:%	調査数	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
全体	7,926 100.0	41 0.5	52 0.7	55 0.7	490 6.2	1,194 15.1	4,318 54.5	1,776 22.4

問2 本人の年齢

65～69歳	1,951 100.0	7 0.4	11 0.6	8 0.4	123 6.3	362 18.6	1,175 60.2	265 13.6
70～74歳	2,340 100.0	5 0.2	16 0.7	18 0.8	174 7.4	364 15.6	1,346 57.5	417 17.8
75～79歳	1,649 100.0	13 0.8	10 0.6	13 0.8	122 7.4	240 14.6	827 50.2	424 25.7
80～84歳	1,122 100.0	9 0.8	11 1.0	12 1.1	46 4.1	156 13.9	536 47.8	352 31.4
85～89歳	604 100.0	6 1.0	3 0.5	1 0.2	20 3.3	50 8.3	290 48.0	234 38.7
90～94歳	208 100.0	1 0.5	—	3 1.4	3 1.4	20 9.6	113 54.3	68 32.7
95～99歳	25 100.0	—	—	—	1 4.0	2 8.0	16 64.0	6 24.0
100歳以上	3 100.0	—	—	—	—	—	2 66.7	1 33.3
無回答	24 100.0	—	1 4.2	—	1 4.2	—	13 54.2	9 37.5

○要支援等の認定状況別にみると、要支援1、要支援2では「年に数回」が一般高齢者、事業対象者に比べて少なくなっています。

上段:件数 下段:%	調査数	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
全体	7,926 100.0	41 0.5	52 0.7	55 0.7	490 6.2	1,194 15.1	4,318 54.5	1,776 22.4

問3 要支援等の認定条件について

一般高齢者	7,169 100.0	34 0.5	47 0.7	50 0.7	461 6.4	1,134 15.8	3,919 54.7	1,524 21.3
事業対象者	80 100.0	—	1 1.3	1 1.3	6 7.5	8 10.0	49 61.3	15 18.8
要支援1	341 100.0	3 0.9	1 0.3	4 1.2	10 2.9	23 6.7	206 60.4	94 27.6
要支援2	128 100.0	3 2.3	1 0.8	—	2 1.6	8 6.3	71 55.5	43 33.6
無回答	208 100.0	1 0.5	2 1.0	—	11 5.3	21 10.1	73 35.1	100 48.1

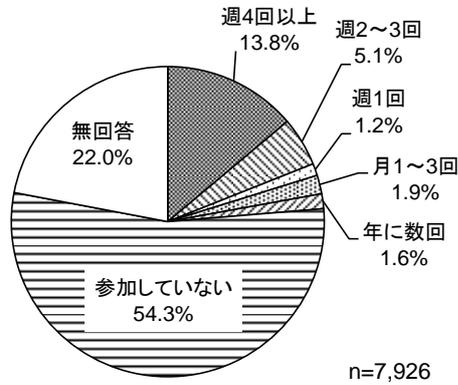
## 第2章 調査結果の分析

○調査区域別にみると、「年に数回」の割合は虹の丘・加茂・長命ヶ丘が21.3%と、他の調査区に比べて多くなっています。

	調査数	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
上段:件数 下段:%								
全体	7,926 100.0	41 0.5	52 0.7	55 0.7	490 6.2	1,194 15.1	4,318 54.5	1,776 22.4
調査区域								
五橋・上杉・木町通・花京院	451 100.0	4 0.9	— —	1 0.2	22 4.9	47 10.4	274 60.8	103 22.8
双葉ヶ丘・葉山・台原	419 100.0	2 0.5	2 0.5	3 0.7	33 7.9	59 14.1	217 51.8	103 24.6
国見・国見ヶ丘・桜ヶ丘	430 100.0	4 0.9	3 0.7	3 0.7	31 7.2	73 17.0	242 56.3	74 17.2
大沢広陵・あやし・南吉成	420 100.0	3 0.7	3 0.7	2 0.5	17 4.0	57 13.6	240 57.1	98 23.3
東仙台・宮城野・榴岡	439 100.0	1 0.2	5 1.1	2 0.5	27 6.2	47 10.7	266 60.6	91 20.7
小松島・燕沢・鶴ヶ谷	448 100.0	1 0.2	2 0.4	1 0.2	26 5.8	87 19.4	220 49.1	111 24.8
岩切・高砂・福田町	435 100.0	2 0.5	3 0.7	3 0.7	28 6.4	73 16.8	215 49.4	111 25.5
河原町・大和蒲町・遠見塚	443 100.0	— —	5 1.1	4 0.9	29 6.5	47 10.6	260 58.7	98 22.1
六郷・沖野・七郷	431 100.0	1 0.2	— —	1 0.2	21 4.9	53 12.3	245 56.8	110 25.5
長町・郡山・富沢	446 100.0	2 0.4	2 0.4	3 0.7	19 4.3	60 13.5	264 59.2	96 21.5
愛宕橋・八木山・西多賀・山田	432 100.0	4 0.9	4 0.9	4 0.9	28 6.5	58 13.4	244 56.5	90 20.8
西中田・袋原・四郎丸	456 100.0	2 0.4	4 0.9	8 1.8	18 3.9	79 17.3	236 51.8	109 23.9
茂庭・秋保	419 100.0	4 1.0	7 1.7	4 1.0	38 9.1	84 20.0	179 42.7	103 24.6
泉中央・寺岡・高森	435 100.0	2 0.5	1 0.2	3 0.7	35 8.0	62 14.3	235 54.0	97 22.3
将監・松森・向陽台	452 100.0	1 0.2	2 0.4	3 0.7	41 9.1	70 15.5	251 55.5	84 18.6
南光台・八乙女	447 100.0	2 0.4	1 0.2	2 0.4	15 3.4	53 11.9	258 57.7	116 26.0
虹の丘・加茂・長命ヶ丘	460 100.0	2 0.4	5 1.1	4 0.9	32 7.0	98 21.3	219 47.6	100 21.7
根白石・南中山	458 100.0	4 0.9	3 0.7	4 0.9	30 6.6	86 18.8	251 54.8	80 17.5
無回答	5 100.0	— —	— —	— —	— —	1 20.0	2 40.0	2 40.0

⑧ 収入のある仕事

○収入のある仕事への参加頻度は、「参加していない」の割合は54.3%と最も多く、次いで、「週4回以上」(13.8%)、「週2～3回」(5.1%)となっています。



○性別にみると、男性では「週4回以上」の割合が18.6%と、女性(9.8%)を8.8ポイント上回っています。

上段: 件数 下段: %	調査数	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
全体	7,926 100.0	1,096 13.8	404 5.1	99 1.2	154 1.9	123 1.6	4,307 54.3	1,743 22.0
問1 本人の性別								
男性	3,620 100.0	672 18.6	220 6.1	55 1.5	89 2.5	77 2.1	1,879 51.9	628 17.3
女性	4,249 100.0	417 9.8	182 4.3	44 1.0	65 1.5	45 1.1	2,400 56.5	1,096 25.8
無回答	57 100.0	7 12.3	2 3.5	—	—	1 1.8	28 49.1	19 33.3

## 第2章 調査結果の分析

○年齢別にみると、65～69歳では「週4回以上」の割合が29.5%と、他の年齢層に比べて多くなっています。また、年齢が高くなるにしたがって、収入のある仕事への参加頻度が少なくなっています。

	調査数	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
上段:件数 下段:%								
全体	7,926 100.0	1,096 13.8	404 5.1	99 1.2	154 1.9	123 1.6	4,307 54.3	1,743 22.0
問2 本人の年齢								
65～69歳	1,951 100.0	576 29.5	171 8.8	24 1.2	35 1.8	38 1.9	898 46.0	209 10.7
70～74歳	2,340 100.0	358 15.3	150 6.4	46 2.0	63 2.7	42 1.8	1,311 56.0	370 15.8
75～79歳	1,649 100.0	116 7.0	59 3.6	16 1.0	35 2.1	24 1.5	958 58.1	441 26.7
80～84歳	1,122 100.0	32 2.9	18 1.6	8 0.7	19 1.7	15 1.3	642 57.2	388 34.6
85～89歳	604 100.0	12 2.0	6 1.0	5 0.8	2 0.3	4 0.7	336 55.6	239 39.6
90～94歳	208 100.0	— —	— —	— —	— —	— —	132 63.5	76 36.5
95～99歳	25 100.0	— —	— —	— —	— —	— —	16 64.0	9 36.0
100歳以上	3 100.0	— —	— —	— —	— —	— —	2 66.7	1 33.3
無回答	24 100.0	2 8.3	— —	— —	— —	— —	12 50.0	10 41.7

○要支援等の認定状況別にみると、要支援1、要支援2では「週4回以上」の割合が一般高齢者、事業対象者に比べて少なくなっています。

	調査数	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
上段:件数 下段:%								
全体	7,926 100.0	1,096 13.8	404 5.1	99 1.2	154 1.9	123 1.6	4,307 54.3	1,743 22.0
問3 要支援等の認定条件について								
一般高齢者	7,169 100.0	1,039 14.5	391 5.5	96 1.3	142 2.0	121 1.7	3,905 54.5	1,475 20.6
事業対象者	80 100.0	24 30.0	3 3.8	3 3.8	4 5.0	— —	34 42.5	12 15.0
要支援1	341 100.0	3 0.9	1 0.3	— —	4 1.2	— —	224 65.7	109 32.0
要支援2	128 100.0	2 1.6	— —	— —	— —	1 0.8	79 61.7	46 35.9
無回答	208 100.0	28 13.5	9 4.3	— —	4 1.9	1 0.5	65 31.3	101 48.6

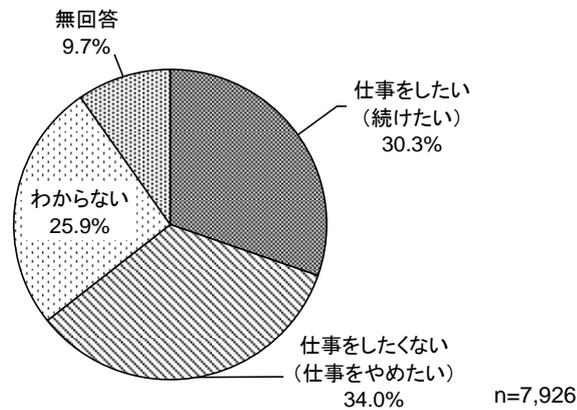
○調査区域別にみると、「週4回以上」の割合は根白石・南中山が18.6%と、他の調査区に比べて多くなっており、最も少ない虹の丘・加茂・長命ヶ丘（8.0%）を10.6ポイント上回っています。

上段:件数 下段:%	調査数	週4回以上	週2〜3回	週1回	月1〜3回	年に数回	参加していない	無回答
全体	7,926 100.0	1,096 13.8	404 5.1	99 1.2	154 1.9	123 1.6	4,307 54.3	1,743 22.0
調査区域								
五橋・上杉・木町通・花京院	451 100.0	71 15.7	24 5.3	10 2.2	11 2.4	2 0.4	238 52.8	95 21.1
双葉ヶ丘・葉山・台原	419 100.0	46 11.0	20 4.8	6 1.4	15 3.6	5 1.2	222 53.0	105 25.1
国見・国見ヶ丘・桜ヶ丘	430 100.0	48 11.2	17 4.0	2 0.5	8 1.9	5 1.2	270 62.8	80 18.6
大沢広陵・あやし・南吉成	420 100.0	42 10.0	18 4.3	7 1.7	7 1.7	5 1.2	245 58.3	96 22.9
東仙台・宮城野・榴岡	439 100.0	79 18.0	26 5.9	5 1.1	11 2.5	8 1.8	228 51.9	82 18.7
小松島・燕沢・鶴ヶ谷	448 100.0	56 12.5	20 4.5	11 2.5	7 1.6	8 1.8	234 52.2	112 25.0
岩切・高砂・福田町	435 100.0	68 15.6	15 3.4	5 1.1	8 1.8	3 0.7	225 51.7	111 25.5
河原町・大和蒲町・遠見塚	443 100.0	66 14.9	19 4.3	3 0.7	8 1.8	4 0.9	248 56.0	95 21.4
六郷・沖野・七郷	431 100.0	56 13.0	27 6.3	7 1.6	7 1.6	9 2.1	222 51.5	103 23.9
長町・郡山・富沢	446 100.0	67 15.0	22 4.9	3 0.7	9 2.0	10 2.2	247 55.4	88 19.7
愛宕橋・八木山・西多賀・山田	432 100.0	40 9.3	24 5.6	3 0.7	12 2.8	6 1.4	247 57.2	100 23.1
西中田・袋原・四郎丸	456 100.0	62 13.6	23 5.0	2 0.4	4 0.9	14 3.1	247 54.2	104 22.8
茂庭・秋保	419 100.0	71 16.9	23 5.5	5 1.2	8 1.9	11 2.6	187 44.6	114 27.2
泉中央・寺岡・高森	435 100.0	62 14.3	23 5.3	7 1.6	9 2.1	11 2.5	235 54.0	88 20.2
将監・松森・向陽台	452 100.0	65 14.4	15 3.3	8 1.8	4 0.9	4 0.9	270 59.7	86 19.0
南光台・八乙女	447 100.0	74 16.6	21 4.7	2 0.4	5 1.1	6 1.3	233 52.1	106 23.7
虹の丘・加茂・長命ヶ丘	460 100.0	37 8.0	34 7.4	5 1.1	11 2.4	5 1.1	277 60.2	91 19.8
根白石・南中山	458 100.0	85 18.6	33 7.2	8 1.7	10 2.2	7 1.5	230 50.2	85 18.6
無回答	5 100.0	1 20.0	—	—	—	—	2 40.0	2 40.0

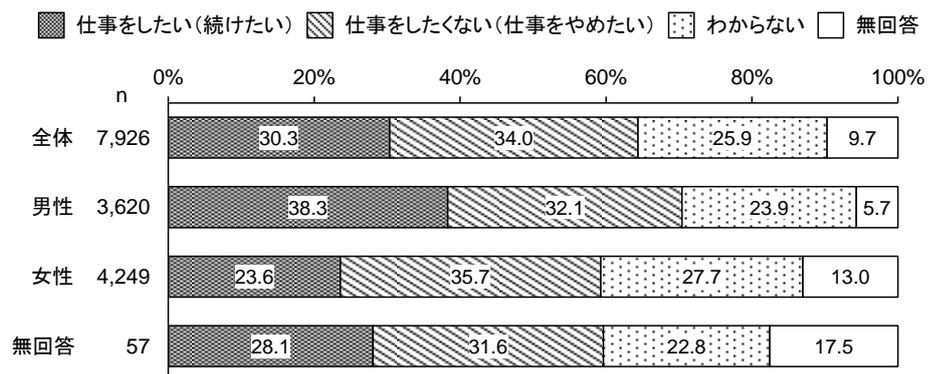
(2) 収入のある仕事への意向【単一回答】

問8(2) 今後、収入のある仕事をしたい(続けたい)と思いますか

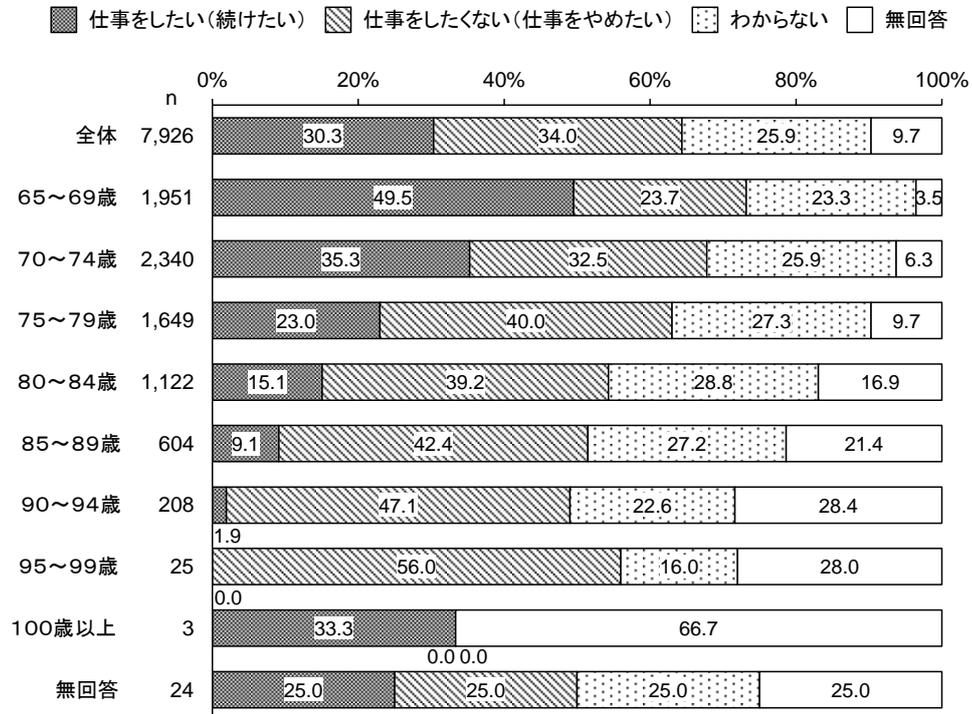
○収入のある仕事への意向は、「仕事をしたくない(仕事をやめたい)」の割合が34.0%と最も多く、次いで、「仕事をしたい(続けたい)」(30.3%)、「わからない」(25.9%)となっています。



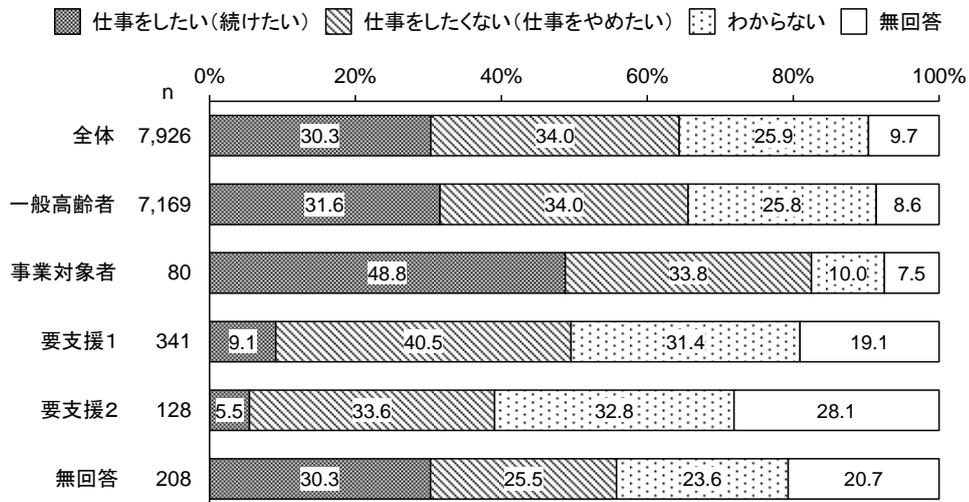
○性別にみると、男性では「仕事をしたい(続けたい)」が38.3%と、女性(23.6%)を14.7ポイント上回っています。



○年齢別にみると、年齢が高くなるにしたがって、「仕事をしたい（続けたい）」の割合が少なくなり、「仕事をしたくない（仕事をやめたい）」が多くなっています。

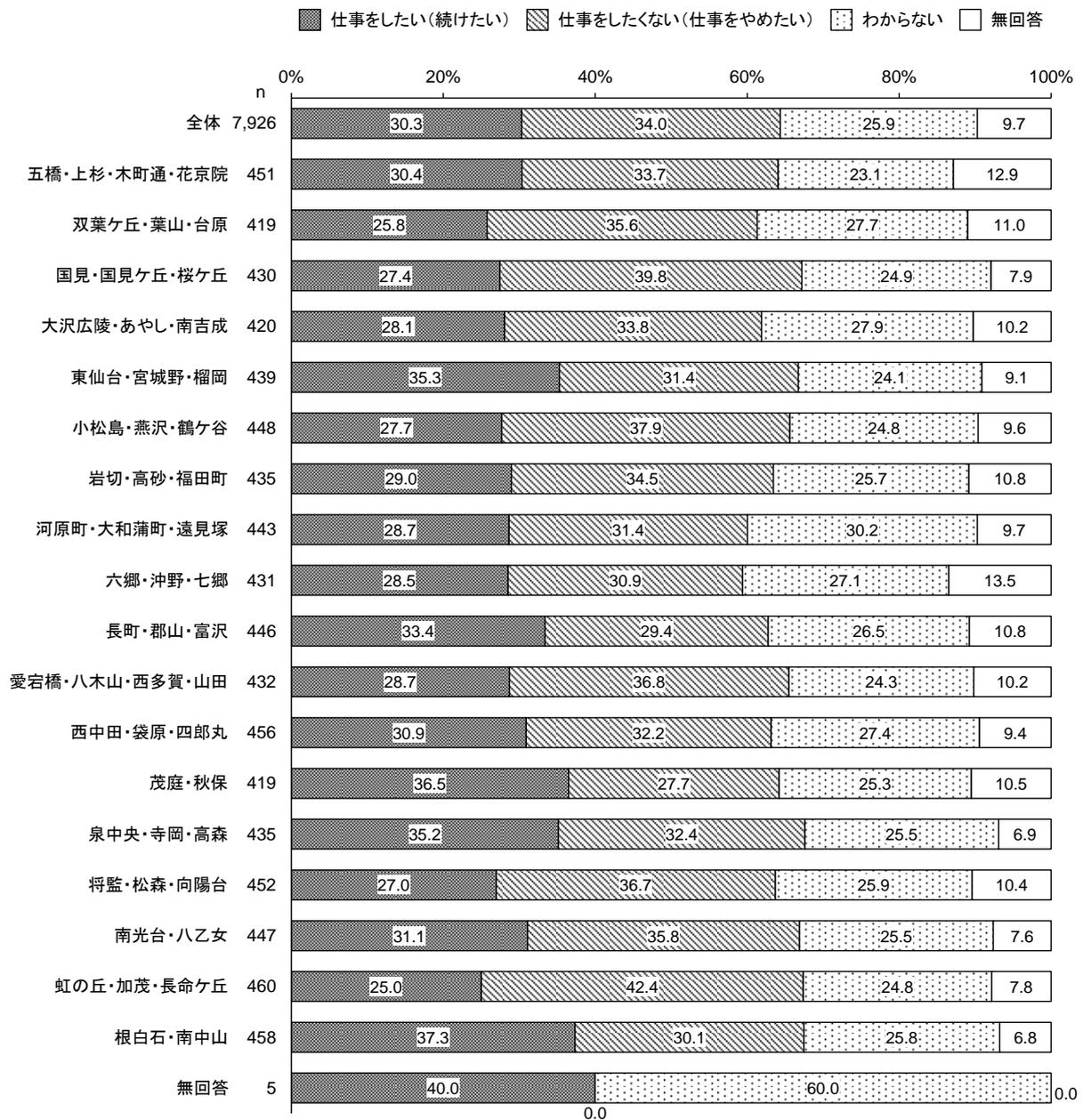


○要支援等の認定状況別にみると、要支援1、要支援2では「仕事をしたい（続けたい）」が少なくなっています。



## 第2章 調査結果の分析

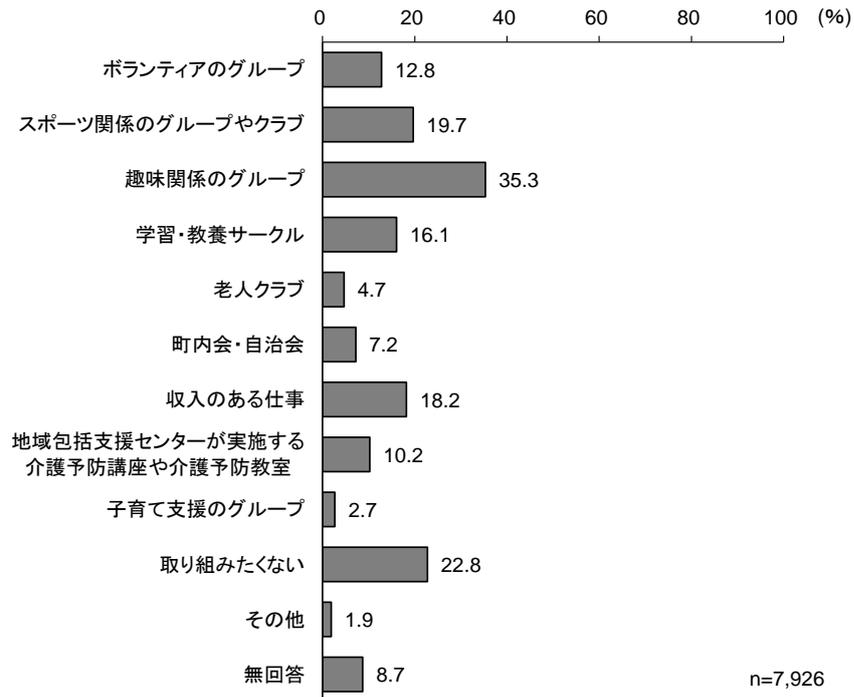
○調査区域別にみると、「仕事をしたい(続けたい)」の割合は根白石・南中山が37.3%と、他の調査区に比べて多くなっており、最も少ない虹の丘・加茂・長命ヶ丘を12.3ポイント上回っています。



## (3) 今後、取り組んでみたい社会参加活動について【複数回答】

問8(3) 今後、取り組んでみたい社会参加活動は、次のうちどれですか(いくつでも)

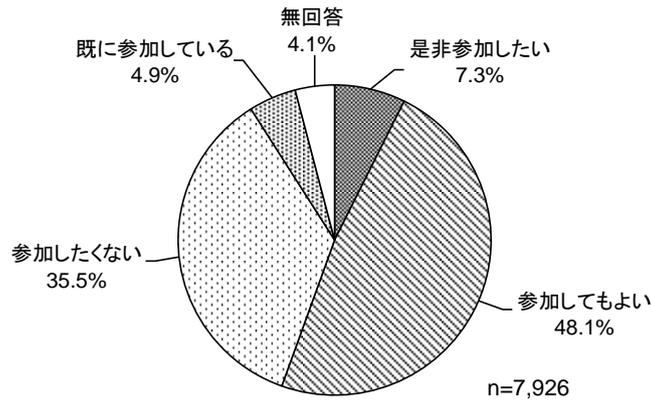
○今後、取り組んでみたい社会参加活動は、「趣味関係のグループ」(35.3%)が最も多く、次いで、「スポーツ関係のグループやクラブ」(19.7%)、「収入のある仕事」(18.2%)となっています。なお、「取り組みたくない」が22.8%となっています。



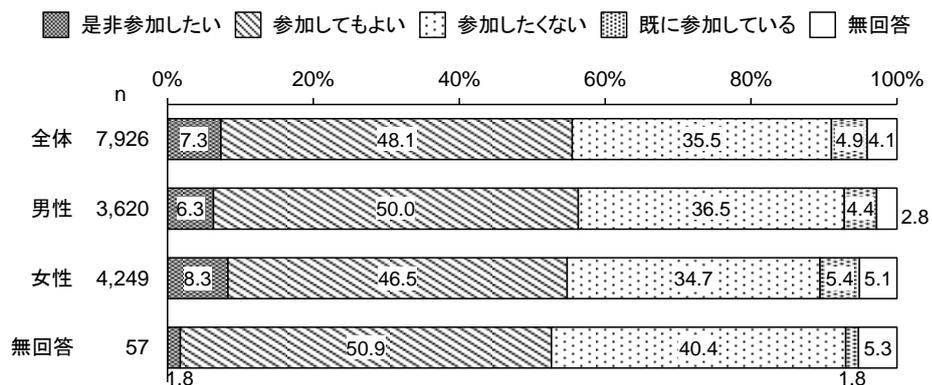
(4)地域活動への、参加者としての参加意向について【単一回答】

問8(4) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか

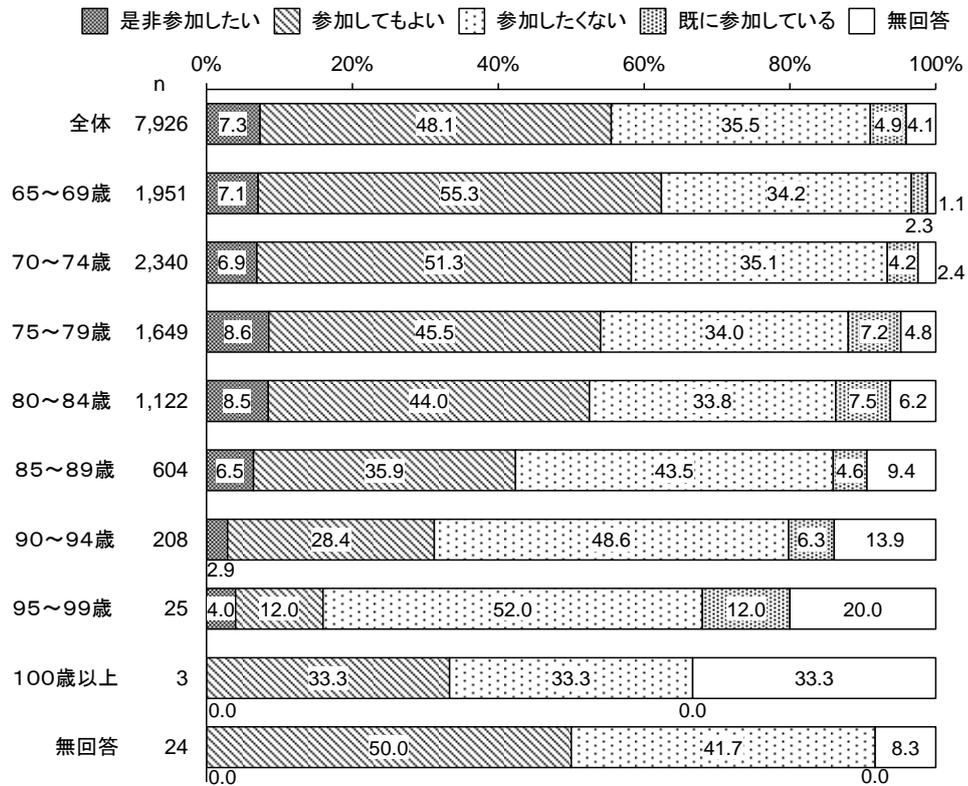
○地域活動への、参加者としての参加意向は、「参加してもよい」の割合が 48.1%と最も多く、次いで、「参加したくない」(35.5%)、「是非参加したい」(7.3%) となっています。



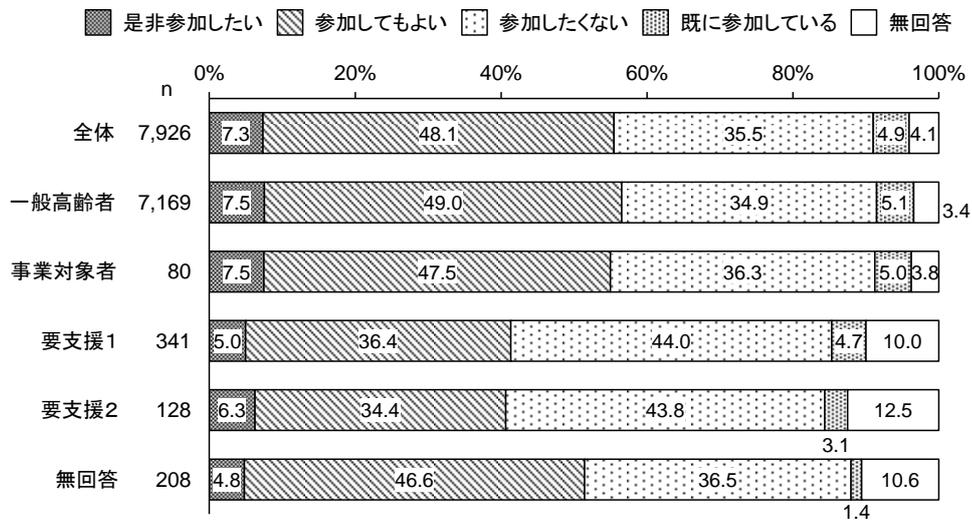
○性別にみると、大きな差はみられませんでした。



○年齢別にみると、年齢が高くなるにしたがって、「参加してもよい」の割合が少なくなり、「参加したくない」が多くなっています。

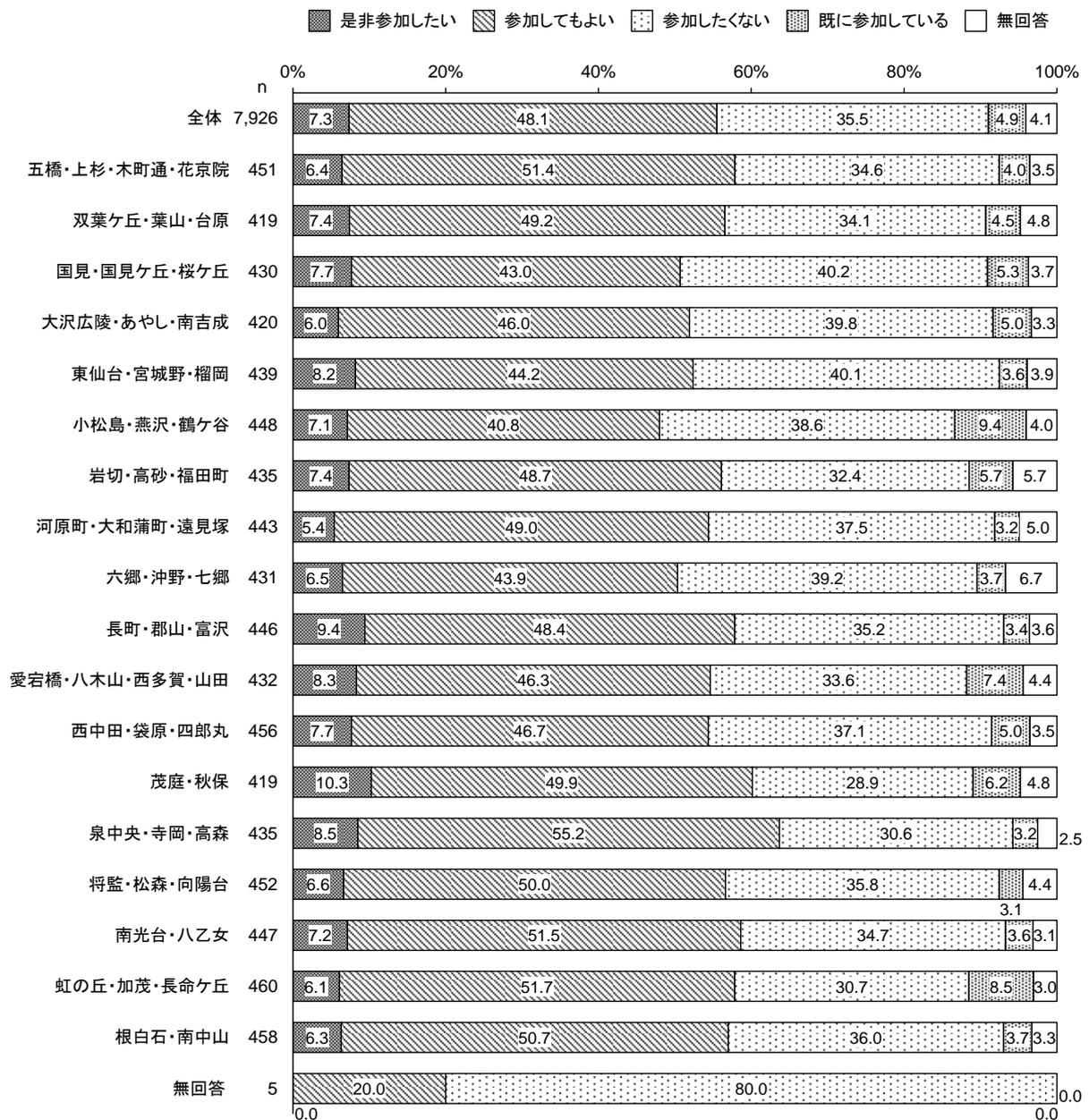


○要支援等の認定状況別にみると、要支援1、要支援2では「参加したくない」が一般高齢者、事業対象者に比べて多くなっています。



## 第2章 調査結果の分析

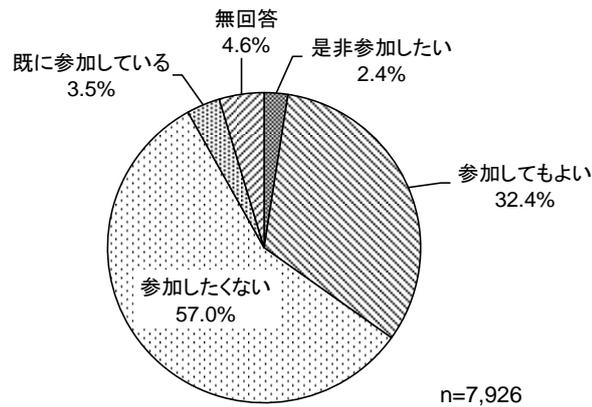
○調査区域別にみると、「参加してもよい」は泉中央・寺岡・高森が55.2%と、他の調査区に比べて多くなっています。また、「参加したくない」は国見・国見ヶ丘・桜ヶ丘、東仙台・宮城野・榴岡が40%を超えており、他の調査区に比べて多くなっています。



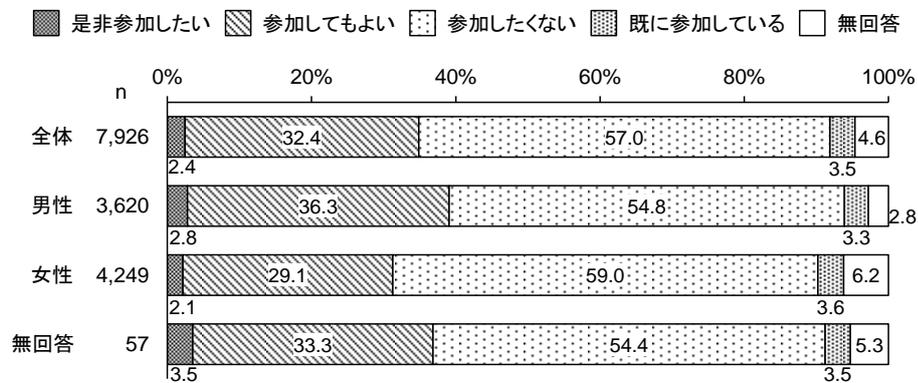
(5) 地域活動への、企画・運営(お世話役)としての参加意向について【単一回答】

問8(5) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか

○地域活動への、企画・運営(お世話役)としての参加意向は、「参加したくない」の割合が57.0%と最も多く、次いで、「参加してもよい」(32.4%)、「既に参加している」(3.5%)となっています。

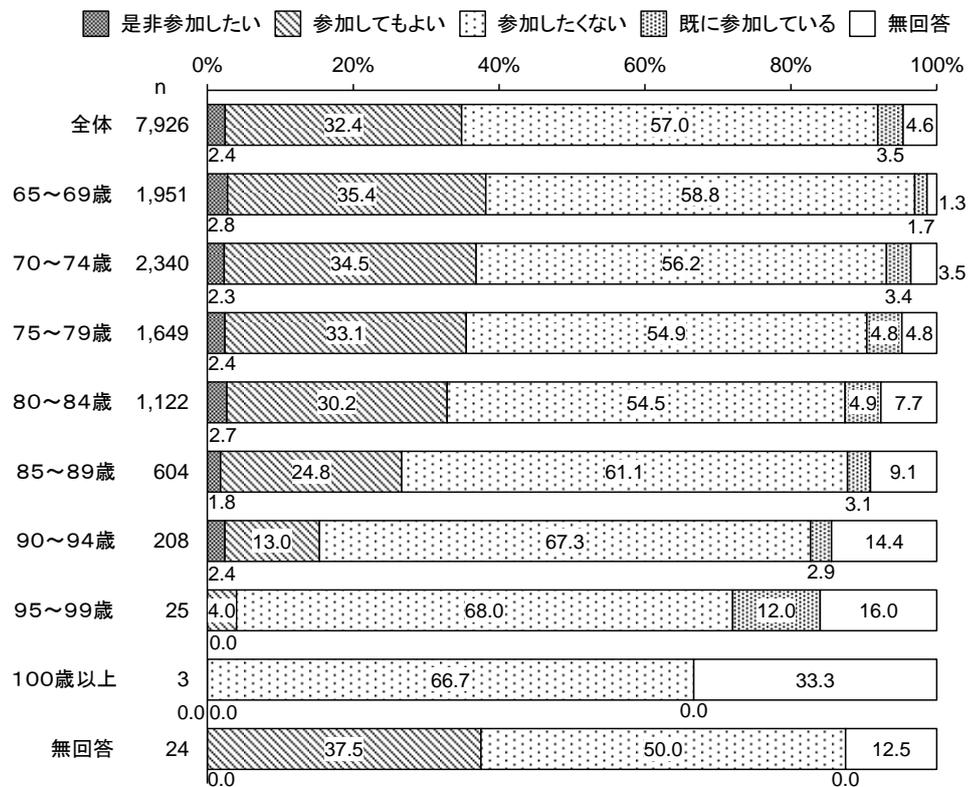


○性別にみると、男性では「参加してもよい」の割合が36.3%と女性(29.1%)を7.2ポイント上回っています。

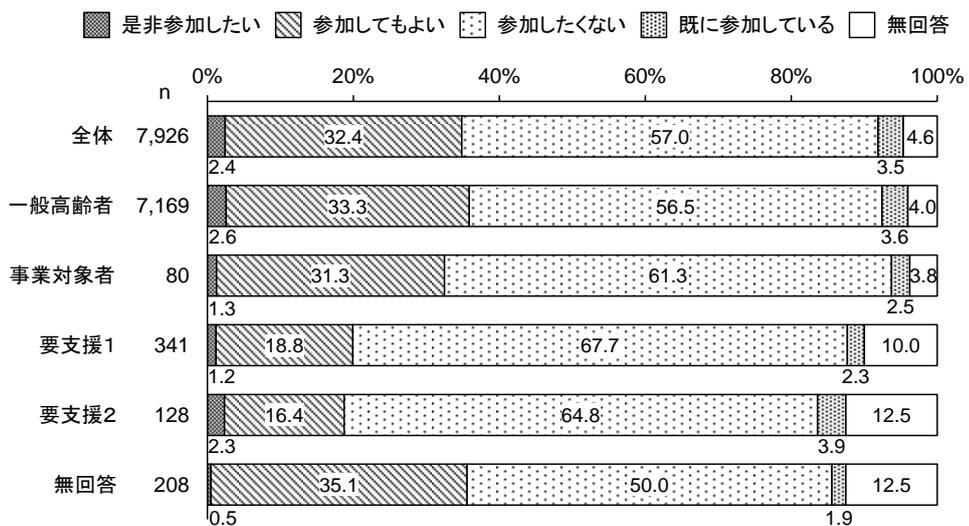


## 第2章 調査結果の分析

○年齢別にみると、年齢が高くなるにしたがって、「参加してもよい」の割合が少なくなり、「参加したくない」が多くなっています。

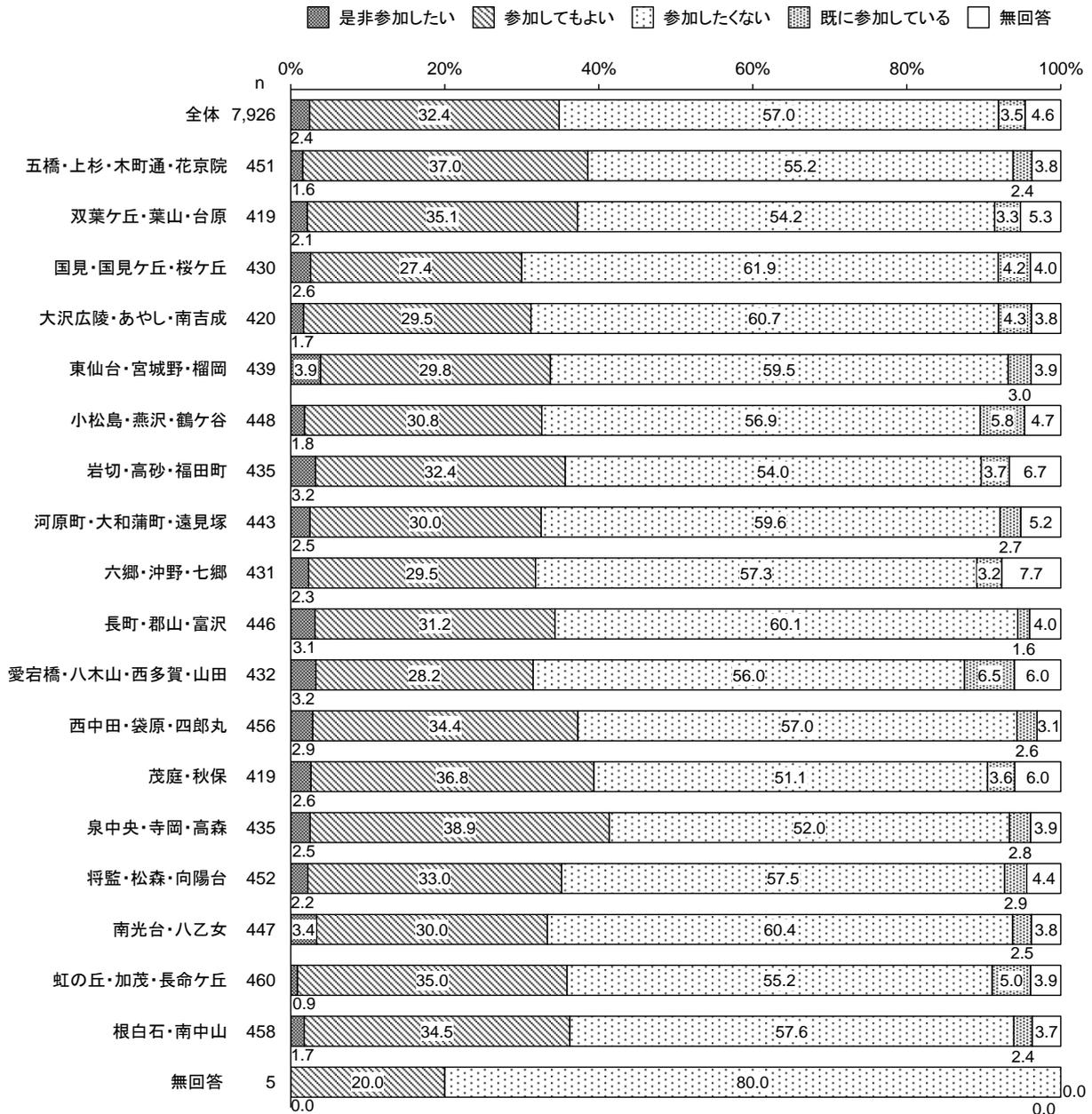


○要支援等の認定状況別にみると、要支援1、要支援2では「参加してもよい」が一般高齢者、事業対象者に比べて少なくなっています。



## 第2章 調査結果の分析

○調査区域別にみると、「参加してもよい」は泉中央・寺岡・高森が38.9%と、他の調査区に比べて多くなっており、最も少ない国見・国見ヶ丘・桜ヶ丘（27.4%）を11.5ポイント上回っています。

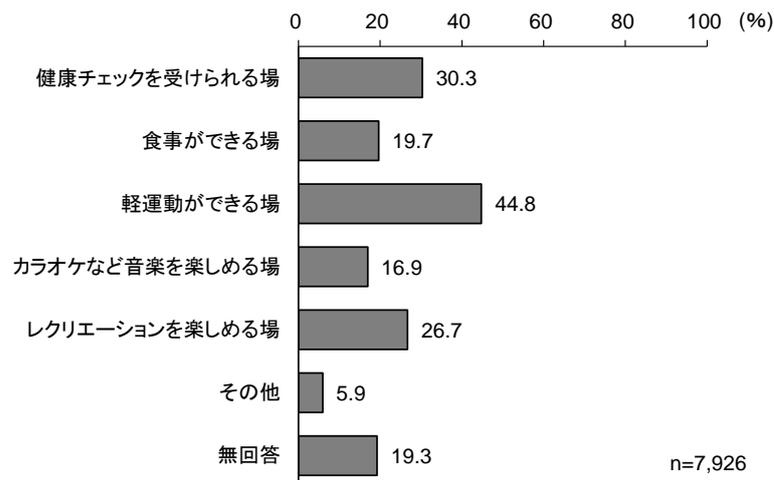


## 第2章 調査結果の分析

### (6) 参加したい通いの場(サロン、茶話会、サークルなど)について【複数回答】

問8(6) あなたは、どのような通いの場(サロン、茶話会、サークルなど)なら参加したいですか  
(いくつでも)

○参加したい通いの場(サロン、茶話会、サークルなど)は、「軽運動ができる場」(44.8%)が最も多く、次いで、「健康チェックを受けられる場」(30.3%)、「レクリエーションを楽しめる場」(26.7%)となっています。



○性別にみると、女性では「軽運動ができる場」の割合が49.3%と、男性(39.5%)を9.8ポイント上回っています。

	調査数	健康チェックを受けられる場	食事ができる場	軽運動ができる場	カラオケなど音楽を楽しめる場	レクリエーションを楽しめる場	その他	無回答
全体	7,926	2,402	1,558	3,547	1,343	2,118	471	1,527
	100.0	30.3	19.7	44.8	16.9	26.7	5.9	19.3
問1 本人の性別								
男性	3,620	994	598	1,431	648	1,015	239	705
	100.0	27.5	16.5	39.5	17.9	28.0	6.6	19.5
女性	4,249	1,385	946	2,094	686	1,092	229	812
	100.0	32.6	22.3	49.3	16.1	25.7	5.4	19.1
無回答	57	23	14	22	9	11	3	10
	100.0	40.4	24.6	38.6	15.8	19.3	5.3	17.5

○年齢別にみると、65～84歳までの年齢層では「軽運動ができる場」の割合が40%を超えて、他の年齢層に比べて多くなっています。また、年齢が高くなるにしたがって、「軽運動ができる場」、「レクリエーションを楽しめる場」が少なくなっています。

上段:件数 下段:%	調査数	健康チェックを受けられる場	食事ができる場	軽運動ができる場	カラオケなど音楽を楽しむ場	レクリエーションを楽しむ場	その他	無回答
全体	7,926 100.0	2,402 30.3	1,558 19.7	3,547 44.8	1,343 16.9	2,118 26.7	471 5.9	1,527 19.3
問2 本人の年齢								
65～69歳	1,951 100.0	626 32.1	400 20.5	971 49.8	275 14.1	618 31.7	95 4.9	287 14.7
70～74歳	2,340 100.0	681 29.1	434 18.5	1,110 47.4	352 15.0	653 27.9	146 6.2	412 17.6
75～79歳	1,649 100.0	499 30.3	312 18.9	727 44.1	321 19.5	427 25.9	105 6.4	331 20.1
80～84歳	1,122 100.0	340 30.3	235 20.9	459 40.9	221 19.7	257 22.9	70 6.2	249 22.2
85～89歳	604 100.0	189 31.3	121 20.0	207 34.3	131 21.7	119 19.7	37 6.1	157 26.0
90～94歳	208 100.0	53 25.5	46 22.1	58 27.9	35 16.8	38 18.3	17 8.2	71 34.1
95～99歳	25 100.0	3 12.0	6 24.0	5 20.0	4 16.0	4 16.0	1 4.0	12 48.0
100歳以上	3 100.0	1 33.3	—	1 33.3	—	—	—	2 66.7
無回答	24 100.0	10 41.7	4 16.7	9 37.5	4 16.7	2 8.3	—	6 25.0

○要支援等の認定状況別にみると、要支援1、要支援2では「食事ができる場」の割合が一般高齢者、事業対象者に比べて多くなっています。また、「軽運動ができる場」では、要支援1、要支援2に比べて一般高齢者、事業対象者で多くなっています。

上段:件数 下段:%	調査数	健康チェックを受けられる場	食事ができる場	軽運動ができる場	カラオケなど音楽を楽しむ場	レクリエーションを楽しむ場	その他	無回答
全体	7,926 100.0	2,402 30.3	1,558 19.7	3,547 44.8	1,343 16.9	2,118 26.7	471 5.9	1,527 19.3
問3 要支援等の認定状況について								
一般高齢者	7,169 100.0	2,163 30.2	1,390 19.4	3,273 45.7	1,199 16.7	1,974 27.5	431 6.0	1,339 18.7
事業対象者	80 100.0	24 30.0	14 17.5	32 40.0	16 20.0	15 18.8	5 6.3	15 18.8
要支援1	341 100.0	112 32.8	83 24.3	125 36.7	71 20.8	64 18.8	17 5.0	89 26.1
要支援2	128 100.0	38 29.7	29 22.7	36 28.1	18 14.1	27 21.1	10 7.8	35 27.3
無回答	208 100.0	65 31.3	42 20.2	81 38.9	39 18.8	38 18.3	8 3.8	49 23.6

## 第2章 調査結果の分析

○調査区域別にみると、「健康チェックを受けられる場」は岩切・高砂・福田町が36.6%、他の調査区に比べて多くなっており、最も少ない愛宕橋・八木山・西多賀・山田（26.6%）を10.0ポイント上回っています。また、「レクリエーションを楽しめる場」は虹の丘・加茂・長命ヶ丘が32.0%と、他の調査区に比べて多くなっており、最も少ない大沢広陵・あやし・南吉成（20.0%）を12.0ポイント上回っています。

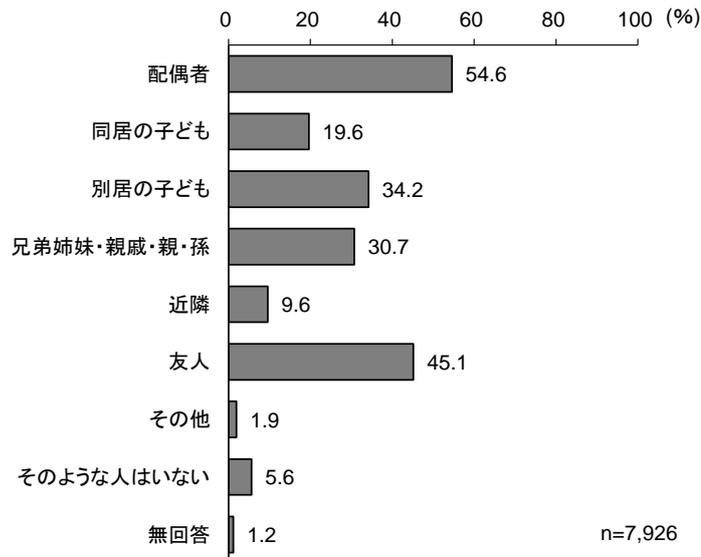
上段:件数 下段:%	調査数	健康チェックを受けられる場	食事ができる場	軽運動ができる場	カラオケなど音楽を楽しむ場	レクリエーションを楽しむ場	その他	無回答
全体	7,926 100.0	2,402 30.3	1,558 19.7	3,547 44.8	1,343 16.9	2,118 26.7	471 5.9	1,527 19.3
調査区域								
五橋・上杉・木町通・花京院	451 100.0	129 28.6	82 18.2	192 42.6	74 16.4	129 28.6	18 4.0	96 21.3
双葉ヶ丘・葉山・台原	419 100.0	128 30.5	87 20.8	189 45.1	86 20.5	106 25.3	28 6.7	72 17.2
国見・国見ヶ丘・桜ヶ丘	430 100.0	133 30.9	83 19.3	199 46.3	70 16.3	100 23.3	34 7.9	85 19.8
大沢広陵・あやし・南吉成	420 100.0	120 28.6	77 18.3	175 41.7	64 15.2	84 20.0	23 5.5	92 21.9
東仙台・宮城野・榴岡	439 100.0	126 28.7	101 23.0	212 48.3	76 17.3	121 27.6	24 5.5	83 18.9
小松島・燕沢・鶴ヶ谷	448 100.0	142 31.7	81 18.1	191 42.6	71 15.8	117 26.1	30 6.7	84 18.8
岩切・高砂・福田町	435 100.0	159 36.6	88 20.2	198 45.5	95 21.8	122 28.0	22 5.1	79 18.2
河原町・大和蒲町・遠見塚	443 100.0	130 29.3	79 17.8	183 41.3	78 17.6	106 23.9	21 4.7	95 21.4
六郷・沖野・七郷	431 100.0	129 29.9	86 20.0	169 39.2	81 18.8	102 23.7	22 5.1	94 21.8
長町・郡山・富沢	446 100.0	148 33.2	103 23.1	207 46.4	75 16.8	132 29.6	32 7.2	81 18.2
愛宕橋・八木山・西多賀・山田	432 100.0	115 26.6	70 16.2	195 45.1	79 18.3	116 26.9	26 6.0	95 22.0
西中田・袋原・四郎丸	456 100.0	146 32.0	100 21.9	197 43.2	79 17.3	133 29.2	30 6.6	82 18.0
茂庭・秋保	419 100.0	116 27.7	85 20.3	197 47.0	64 15.3	127 30.3	26 6.2	72 17.2
泉中央・寺岡・高森	435 100.0	143 32.9	97 22.3	201 46.2	65 14.9	125 28.7	28 6.4	79 18.2
将監・松森・向陽台	452 100.0	138 30.5	79 17.5	213 47.1	66 14.6	116 25.7	25 5.5	92 20.4
南光台・八乙女	447 100.0	125 28.0	76 17.0	199 44.5	82 18.3	101 22.6	26 5.8	87 19.5
虹の丘・加茂・長命ヶ丘	460 100.0	134 29.1	104 22.6	216 47.0	71 15.4	147 32.0	28 6.1	86 18.7
根白石・南中山	458 100.0	140 30.6	79 17.2	212 46.3	67 14.6	133 29.0	28 6.1	73 15.9
無回答	5 100.0	1 20.0	1 20.0	2 40.0	—	1 20.0	—	—

7. たすけあいについて

(1) 心配事や愚痴を聞いてくれる人【複数回答】

問9(1) あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人(いくつでも)

○心配事や愚痴を聞いてくれる人は、「配偶者」(54.6%)が最も多く、次いで、「友人」(45.1%)、「別居の子ども」(34.2%)となっています。



○性別にみると、男性では「配偶者」の割合が70.8%と最も多く、女性では「友人」(56.2%)が最も多くなっています。また、女性では「別居の子ども」が42.2%と、男性(24.7%)を17.5ポイント上回っています。

	調査数	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	親兄弟姉妹・親戚・	近隣	友人	その他	いそ	無回答
上段: 件数					孫				な	
下段: %					・				い	
全体	7,926	4,328	1,555	2,713	2,436	759	3,578	153	445	95
	100.0	54.6	19.6	34.2	30.7	9.6	45.1	1.9	5.6	1.2
問1 本人の性別										
男性	3,620	2,564	519	893	781	168	1,167	63	285	44
	100.0	70.8	14.3	24.7	21.6	4.6	32.2	1.7	7.9	1.2
女性	4,249	1,729	1,022	1,795	1,638	586	2,390	90	156	50
	100.0	40.7	24.1	42.2	38.6	13.8	56.2	2.1	3.7	1.2
無回答	57	35	14	25	17	5	21	—	4	1
	100.0	61.4	24.6	43.9	29.8	8.8	36.8	—	7.0	1.8

## 第2章 調査結果の分析

○年齢別にみると、年齢が高くなるにしたがって、「配偶者」の割合が少なくなっています。なお、85歳以上の年齢層では、「同居の子ども」や「別居の子ども」が他の年齢層に比べて多くなっています。

上段: 件数 下段: %	調査数	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	親兄弟・孫姉妹・親戚・	近隣	友人	その他	いそなような人は	無回答
全体	7,926 100.0	4,328 54.6	1,555 19.6	2,713 34.2	2,436 30.7	759 9.6	3,578 45.1	153 1.9	445 5.6	95 1.2
問2 本人の年齢										
65～69歳	1,951 100.0	1,206 61.8	373 19.1	655 33.6	630 32.3	140 7.2	966 49.5	52 2.7	115 5.9	6 0.3
70～74歳	2,340 100.0	1,393 59.5	412 17.6	791 33.8	761 32.5	223 9.5	1,152 49.2	44 1.9	106 4.5	18 0.8
75～79歳	1,649 100.0	916 55.5	297 18.0	544 33.0	483 29.3	174 10.6	783 47.5	14 0.8	92 5.6	25 1.5
80～84歳	1,122 100.0	534 47.6	253 22.5	406 36.2	335 29.9	124 11.1	462 41.2	25 2.2	62 5.5	24 2.1
85～89歳	604 100.0	222 36.8	134 22.2	222 36.8	167 27.6	62 10.3	154 25.5	12 2.0	40 6.6	16 2.6
90～94歳	208 100.0	40 19.2	69 33.2	77 37.0	53 25.5	31 14.9	50 24.0	5 2.4	22 10.6	6 2.9
95～99歳	25 100.0	2 8.0	14 56.0	6 24.0	3 12.0	2 8.0	3 12.0	1 4.0	4 16.0	—
100歳以上	3 100.0	—	—	2 66.7	—	—	1 33.3	—	—	—
無回答	24 100.0	15 62.5	3 12.5	10 41.7	4 16.7	3 12.5	7 29.2	—	4 16.7	—

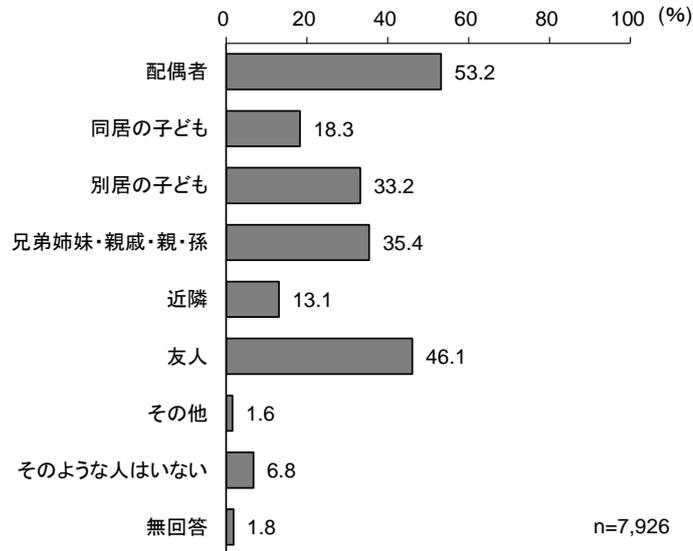
○要支援等の認定状況別にみると、要支援1、要支援2では「配偶者」が一般高齢者、事業対象者に比べて少なくなっています。

上段: 件数 下段: %	調査数	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	親兄弟・孫姉妹・親戚・	近隣	友人	その他	いそなような人は	無回答
全体	7,926 100.0	4,328 54.6	1,555 19.6	2,713 34.2	2,436 30.7	759 9.6	3,578 45.1	153 1.9	445 5.6	95 1.2
問3 要支援等の認定状況について										
一般高齢者	7,169 100.0	4,057 56.6	1,409 19.7	2,443 34.1	2,240 31.2	672 9.4	3,310 46.2	132 1.8	385 5.4	81 1.1
事業対象者	80 100.0	45 56.3	13 16.3	22 27.5	15 18.8	6 7.5	27 33.8	3 3.8	4 5.0	2 2.5
要支援1	341 100.0	100 29.3	66 19.4	135 39.6	89 26.1	43 12.6	118 34.6	13 3.8	32 9.4	4 1.2
要支援2	128 100.0	38 29.7	31 24.2	47 36.7	27 21.1	12 9.4	41 32.0	3 2.3	11 8.6	3 2.3
無回答	208 100.0	88 42.3	36 17.3	66 31.7	65 31.3	26 12.5	82 39.4	2 1.0	13 6.3	5 2.4

(2) 心配事や愚痴を聞いてあげる人【複数回答】

問9(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人(いくつでも)

○心配事や愚痴を聞いてあげる人は、「配偶者」(53.2%)が最も多く、次いで、「友人」(46.1%)、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(35.4%)となっています。



○性別にみると、男性では「配偶者」の割合が69.8%と最も多く、女性では「友人」(58.2%)が最も多くなっています。また、女性では「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が41.9%と、男性(27.6%)を14.3ポイント上回っています。

	調査数	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	親兄弟姉妹・親戚・孫	近隣	友人	その他	いそのないような人は	無回答
全体	7,926	4,215	1,448	2,631	2,806	1,036	3,652	127	536	146
	100.0	53.2	18.3	33.2	35.4	13.1	46.1	1.6	6.8	1.8
問1 本人の性別										
男性	3,620	2,527	539	1,003	999	257	1,156	51	309	57
	100.0	69.8	14.9	27.7	27.6	7.1	31.9	1.4	8.5	1.6
女性	4,249	1,660	896	1,608	1,782	768	2,471	75	223	88
	100.0	39.1	21.1	37.8	41.9	18.1	58.2	1.8	5.2	2.1
無回答	57	28	13	20	25	11	25	1	4	1
	100.0	49.1	22.8	35.1	43.9	19.3	43.9	1.8	7.0	1.8

## 第2章 調査結果の分析

○年齢別にみると、年齢が高くなるにしたがって、「配偶者」の割合が少なくなり、「そのような人はいない」が多くなっています。

上段: 件数 下段: %	調査数	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	親・兄弟・姉妹・孫・親戚・	近隣	友人	その他	いそのような人は	無回答
全体	7,926 100.0	4,215 53.2	1,448 18.3	2,631 33.2	2,806 35.4	1,036 13.1	3,652 46.1	127 1.6	536 6.8	146 1.8

### 問2 本人の年齢

65～69歳	1,951 100.0	1,201 61.6	392 20.1	703 36.0	738 37.8	194 9.9	977 50.1	53 2.7	104 5.3	13 0.7
70～74歳	2,340 100.0	1,368 58.5	397 17.0	795 34.0	868 37.1	317 13.5	1,179 50.4	40 1.7	121 5.2	25 1.1
75～79歳	1,649 100.0	881 53.4	271 16.4	550 33.4	575 34.9	244 14.8	789 47.8	13 0.8	104 6.3	27 1.6
80～84歳	1,122 100.0	508 45.3	223 19.9	349 31.1	370 33.0	177 15.8	477 42.5	8 0.7	90 8.0	40 3.6
85～89歳	604 100.0	210 34.8	104 17.2	170 28.1	195 32.3	73 12.1	163 27.0	10 1.7	67 11.1	26 4.3
90～94歳	208 100.0	34 16.3	46 22.1	52 25.0	47 22.6	27 13.0	55 26.4	3 1.4	37 17.8	12 5.8
95～99歳	25 100.0	1 4.0	10 40.0	3 12.0	4 16.0	2 8.0	2 8.0	—	11 44.0	—
100歳以上	3 100.0	—	1 33.3	1 33.3	1 33.3	—	1 33.3	—	—	1 33.3
無回答	24 100.0	12 50.0	4 16.7	8 33.3	8 33.3	2 8.3	9 37.5	—	2 8.3	2 8.3

○要支援等の認定状況別にみると、要支援1、要支援2では「配偶者」、「友人」の割合が一般高齢者、事業対象者に比べて少なく、「そのような人はいない」が多くなっています。

上段: 件数 下段: %	調査数	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	親・兄弟・姉妹・孫・親戚・	近隣	友人	その他	いそのような人は	無回答
全体	7,926 100.0	4,215 53.2	1,448 18.3	2,631 33.2	2,806 35.4	1,036 13.1	3,652 46.1	127 1.6	536 6.8	146 1.8

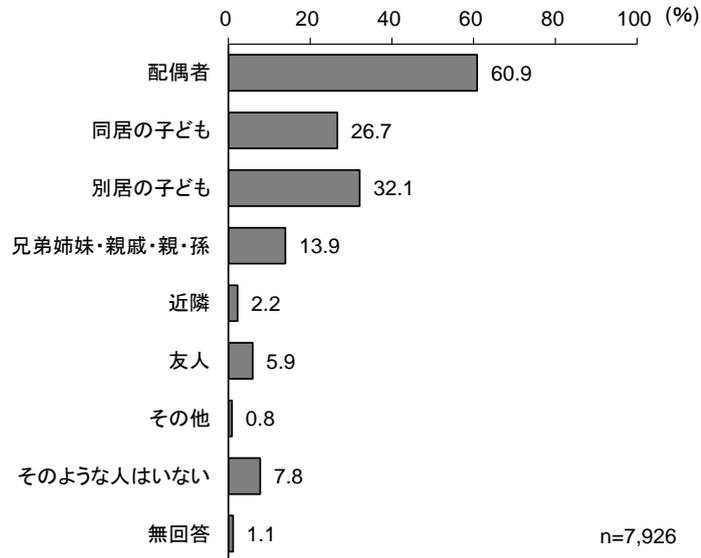
### 問3 要支援等の認定状況について

一般高齢者	7,169 100.0	3,977 55.5	1,332 18.6	2,429 33.9	2,592 36.2	947 13.2	3,372 47.0	119 1.7	437 6.1	116 1.6
事業対象者	80 100.0	46 57.5	14 17.5	24 30.0	22 27.5	8 10.0	36 45.0	1 1.3	2 2.5	2 2.5
要支援1	341 100.0	87 25.5	43 12.6	91 26.7	90 26.4	45 13.2	115 33.7	3 0.9	53 15.5	14 4.1
要支援2	128 100.0	30 23.4	27 21.1	29 22.7	27 21.1	12 9.4	39 30.5	1 0.8	30 23.4	5 3.9
無回答	208 100.0	75 36.1	32 15.4	58 27.9	75 36.1	24 11.5	90 43.3	3 1.4	14 6.7	9 4.3

(3)看病や世話をしてくれる人【複数回答】

問9(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人(いくつでも)

○看病や世話をしてくれる人は、「配偶者」(60.9%)が最も多く、次いで「別居の子ども」(32.1%)、「同居の子ども」(26.7%)となっています。



○性別にみると、男性では「配偶者」の割合が77.2%と、女性(47.0%)を30.2ポイント上回っています。一方、女性では「同居の子ども」(31.3%)、「別居の子ども」(37.7%)が、男性をそれぞれ10ポイント程度上回っています。

上段: 件数 下段: %	調査数	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	親兄弟姉妹・親戚・孫	近隣	友人	その他	いそがないような人は	無回答
全体	7,926	4,826	2,113	2,548	1,105	178	469	67	615	88
	100.0	60.9	26.7	32.1	13.9	2.2	5.9	0.8	7.8	1.1
問1 本人の性別										
男性	3,620	2,794	765	923	399	36	111	20	265	27
	100.0	77.2	21.1	25.5	11.0	1.0	3.1	0.6	7.3	0.7
女性	4,249	1,997	1,330	1,602	701	139	355	47	345	61
	100.0	47.0	31.3	37.7	16.5	3.3	8.4	1.1	8.1	1.4
無回答	57	35	18	23	5	3	3	—	5	—
	100.0	61.4	31.6	40.4	8.8	5.3	5.3	—	8.8	—

## 第2章 調査結果の分析

○年齢別にみると、年齢が高くなるにしたがって、「配偶者」の割合が少なくなり、「同居の子ども」、「別居の子ども」が多くなっています。

上段: 件数 下段: %	調査数	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	親・兄弟・孫・姉妹・親戚・	近隣	友人	その他	いそのような人は	無回答
全体	7,926 100.0	4,826 60.9	2,113 26.7	2,548 32.1	1,105 13.9	178 2.2	469 5.9	67 0.8	615 7.8	88 1.1

### 問2 本人の年齢

65～69歳	1,951 100.0	1,350 69.2	490 25.1	562 28.8	266 13.6	29 1.5	110 5.6	7 0.4	186 9.5	13 0.7
70～74歳	2,340 100.0	1,566 66.9	554 23.7	707 30.2	347 14.8	52 2.2	166 7.1	19 0.8	169 7.2	19 0.8
75～79歳	1,649 100.0	1,034 62.7	416 25.2	533 32.3	225 13.6	30 1.8	103 6.2	13 0.8	107 6.5	21 1.3
80～84歳	1,122 100.0	569 50.7	350 31.2	410 36.5	146 13.0	35 3.1	58 5.2	16 1.4	93 8.3	20 1.8
85～89歳	604 100.0	250 41.4	193 32.0	230 38.1	85 14.1	16 2.6	21 3.5	6 1.0	42 7.0	13 2.2
90～94歳	208 100.0	41 19.7	88 42.3	89 42.8	30 14.4	12 5.8	7 3.4	4 1.9	14 6.7	2 1.0
95～99歳	25 100.0	2 8.0	17 68.0	6 24.0	2 8.0	1 4.0	1 4.0	2 8.0	2 8.0	— —
100歳以上	3 100.0	— —	— —	1 33.3	2 66.7	— —	1 33.3	— —	— —	— —
無回答	24 100.0	14 58.3	5 20.8	10 41.7	2 8.3	3 12.5	2 8.3	— —	2 8.3	— —

○要支援等の認定状況別にみると、要支援1、要支援2では「配偶者」が一般高齢者、事業対象者に比べて少なくなっています。また、要支援2では「同居の子ども」(35.2%)が多くなっています。

上段: 件数 下段: %	調査数	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	親・兄弟・孫・姉妹・親戚・	近隣	友人	その他	いそのような人は	無回答
全体	7,926 100.0	4,826 60.9	2,113 26.7	2,548 32.1	1,105 13.9	178 2.2	469 5.9	67 0.8	615 7.8	88 1.1

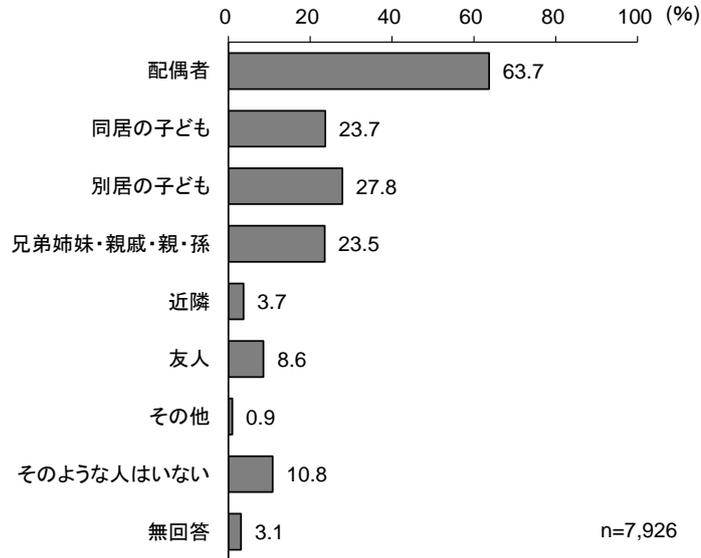
### 問3 要支援等の認定状況について

一般高齢者	7,169 100.0	4,518 63.0	1,903 26.5	2,283 31.8	991 13.8	154 2.1	420 5.9	53 0.7	537 7.5	74 1.0
事業対象者	80 100.0	53 66.3	23 28.8	23 28.8	10 12.5	2 2.5	5 6.3	2 2.5	3 3.8	1 1.3
要支援1	341 100.0	110 32.3	86 25.2	130 38.1	47 13.8	11 3.2	17 5.0	9 2.6	37 10.9	6 1.8
要支援2	128 100.0	38 29.7	45 35.2	47 36.7	20 15.6	4 3.1	6 4.7	3 2.3	14 10.9	3 2.3
無回答	208 100.0	107 51.4	56 26.9	65 31.3	37 17.8	7 3.4	21 10.1	— —	24 11.5	4 1.9

(4)看病や世話をしあける人【複数回答】

問9(4) 反対に、看病や世話をしあける人(いくつでも)

○看病や世話をしあける人は、「配偶者」(63.7%)が最も多く、次いで、「別居の子ども」(27.8%)、「同居の子ども」(23.7%)となっています。



○性別にみると、男性では「配偶者」の割合が75.6%と、女性(53.6%)を22.0ポイント上回っています。一方、女性では「別居の子ども」(32.7%)、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(28.4%)が、男性をそれぞれ10ポイント程度上回っています。

	調査数	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	親兄弟姉妹・親戚・孫	近隣	友人	その他	いそがないような人は	無回答
全体	7,926	5,050	1,880	2,207	1,866	297	681	75	859	247
	100.0	63.7	23.7	27.8	23.5	3.7	8.6	0.9	10.8	3.1
問1 本人の性別										
男性	3,620	2,735	694	799	649	73	168	22	371	79
	100.0	75.6	19.2	22.1	17.9	2.0	4.6	0.6	10.2	2.2
女性	4,249	2,279	1,171	1,391	1,205	221	508	52	480	167
	100.0	53.6	27.6	32.7	28.4	5.2	12.0	1.2	11.3	3.9
無回答	57	36	15	17	12	3	5	1	8	1
	100.0	63.2	26.3	29.8	21.1	5.3	8.8	1.8	14.0	1.8

## 第2章 調査結果の分析

○年齢別にみると、年齢が高くなるにしたがって、「配偶者」、「別居の子ども」、「兄弟姉妹、親戚、親、孫」の割合が少なくなり、「そのような人はいない」が多くなっています。

上段: 件数 下段: %	調査数	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	親・兄弟姉妹・親戚・孫	近隣	友人	その他	いそなような人は	無回答
全体	7,926 100.0	5,050 63.7	1,880 23.7	2,207 27.8	1,866 23.5	297 3.7	681 8.6	75 0.9	859 10.8	247 3.1

### 問2 本人の年齢

65～69歳	1,951 100.0	1,403 71.9	526 27.0	627 32.1	575 29.5	54 2.8	160 8.2	6 0.3	177 9.1	22 1.1
70～74歳	2,340 100.0	1,622 69.3	534 22.8	717 30.6	634 27.1	86 3.7	222 9.5	14 0.6	168 7.2	39 1.7
75～79歳	1,649 100.0	1,076 65.3	363 22.0	470 28.5	368 22.3	76 4.6	169 10.2	18 1.1	148 9.0	50 3.0
80～84歳	1,122 100.0	618 55.1	266 23.7	248 22.1	182 16.2	59 5.3	94 8.4	16 1.4	158 14.1	56 5.0
85～89歳	604 100.0	266 44.0	135 22.4	109 18.0	84 13.9	16 2.6	27 4.5	12 2.0	124 20.5	50 8.3
90～94歳	208 100.0	49 23.6	48 23.1	25 12.0	18 8.7	4 1.9	5 2.4	7 3.4	68 32.7	25 12.0
95～99歳	25 100.0	— —	5 20.0	1 4.0	1 4.0	1 4.0	1 4.0	1 4.0	12 48.0	4 16.0
100歳以上	3 100.0	— —	— —	— —	— —	— —	1 33.3	1 33.3	1 33.3	— —
無回答	24 100.0	16 66.7	3 12.5	10 41.7	4 16.7	1 4.2	2 8.3	— —	3 12.5	1 4.2

○要支援等の認定状況別にみると、要支援1、要支援2では看病や世話をしあける人が一般高齢者、事業対象者に比べて少なく、「そのような人はいない」の割合が多くなっています。

上段: 件数 下段: %	調査数	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	親・兄弟姉妹・親戚・孫	近隣	友人	その他	いそなような人は	無回答
全体	7,926 100.0	5,050 63.7	1,880 23.7	2,207 27.8	1,866 23.5	297 3.7	681 8.6	75 0.9	859 10.8	247 3.1

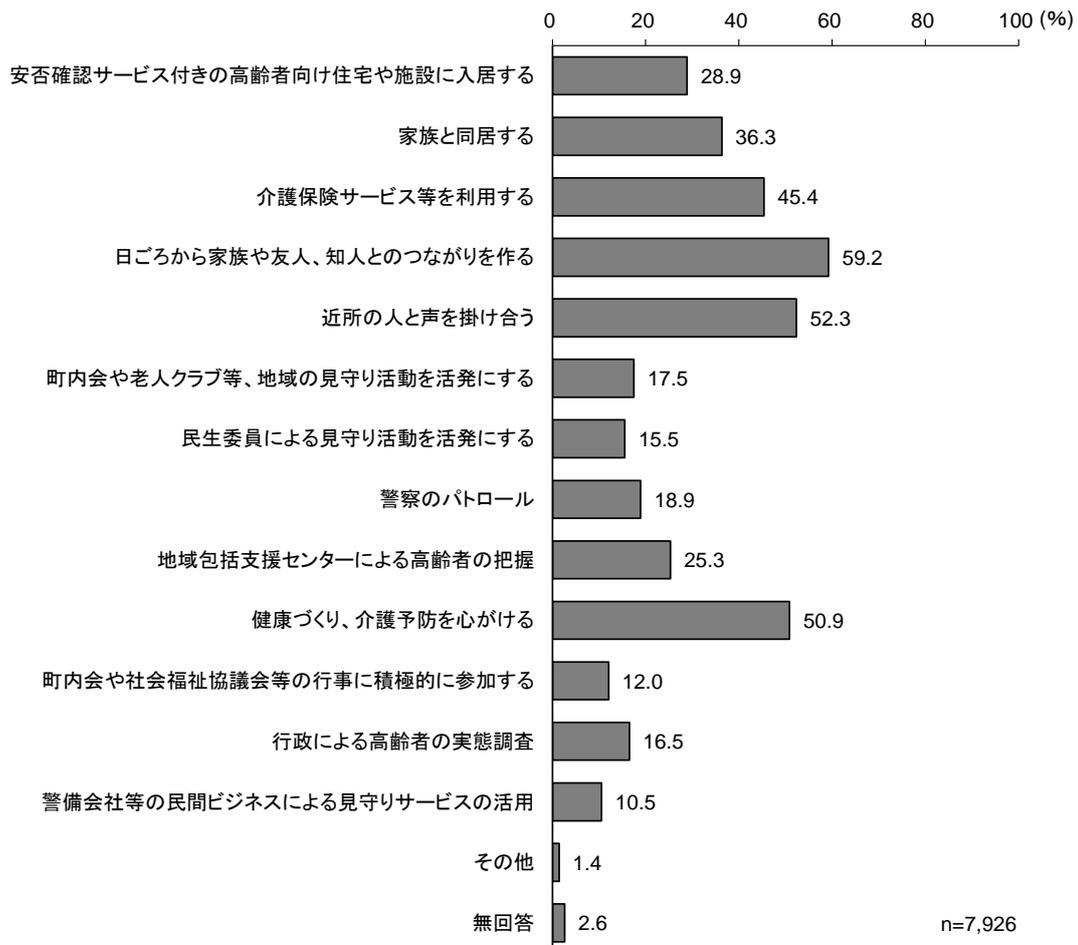
### 問3 要支援等の認定状況について

一般高齢者	7,169 100.0	4,733 66.0	1,750 24.4	2,084 29.1	1,755 24.5	274 3.8	626 8.7	49 0.7	674 9.4	185 2.6
事業対象者	80 100.0	53 66.3	17 21.3	13 16.3	13 16.3	2 2.5	4 5.0	3 3.8	11 13.8	3 3.8
要支援1	341 100.0	124 36.4	50 14.7	44 12.9	40 11.7	8 2.3	21 6.2	19 5.6	99 29.0	25 7.3
要支援2	128 100.0	34 26.6	17 13.3	13 10.2	12 9.4	2 1.6	6 4.7	4 3.1	47 36.7	14 10.9
無回答	208 100.0	106 51.0	46 22.1	53 25.5	46 22.1	11 5.3	24 11.5	— —	28 13.5	20 9.6

## (5) 地域で安心して暮らすために必要だと思うこと【複数回答】

## 問9(5) 地域で安心して暮らすために必要だと思うこと(いくつでも)

○地域で安心して暮らすために必要だと思うことは、「日ごろから家族や友人、知人とのつながりを作る」(59.2%)が最も多く、次いで、「近所の人と声を掛け合う」(52.3%)、「健康づくり、介護予防を心がける」(50.9%)となっています。



## 第2章 調査結果の分析

○性別にみると、男性では「家族と同居する」の割合が44.6%と、女性（29.2%）を15.4ポイント上回っています。一方、女性では「介護保険サービス等を利用する」（51.3%）、「健康づくり、介護予防を心がける」（55.2%）が、男性をそれぞれ10ポイント程度上回っています。

調査数	入居する	安否確認サービス付設きの	家族と同居する	介護保険サービス等を利用する	知人とのつながりを作る	日ごろから家族や友人、近所の人と声を掛け合う	地域包括支援センターによる見守り活動を活発にする	町内会や老人クラブ等に活動を活発にする	民生委員による見守り活動を活発にする	警察のパトロール	地域包括支援センターによる高齢者の把握	健康づくり、介護予防を心がける	町内会や社会福祉協議会等に積極的に参加する	行政による高齢者の実態調査	スによる見守りサービス	警備会社等の民間ビジネス	その他	無回答
上段:件数 下段:%																		
全体	7,926 100.0	2,291 28.9	2,881 36.3	3,596 45.4	4,694 59.2	4,149 52.3	1,386 17.5	1,230 15.5	1,499 18.9	2,005 25.3	4,032 50.9	955 12.0	1,308 16.5	836 10.5	113 1.4	210 2.6		

### 問1 本人の性別

男性	3,620 100.0	1,001 27.7	1,616 44.6	1,392 38.5	1,925 53.2	1,815 50.1	678 18.7	564 15.6	685 18.9	765 21.1	1,666 46.0	455 12.6	618 17.1	339 9.4	61 1.7	107 3.0		
女性	4,249 100.0	1,275 30.0	1,241 29.2	2,181 51.3	2,738 64.4	2,307 54.3	696 16.4	655 15.4	805 18.9	1,224 28.8	2,347 55.2	490 11.5	680 16.0	492 11.6	52 1.2	98 2.3		
無回答	57 100.0	15 26.3	24 42.1	23 40.4	31 54.4	27 47.4	12 21.1	11 19.3	9 15.8	16 28.1	19 33.3	10 17.5	10 17.5	5 8.8	—	5 8.8		

○年齢別にみると、概ね年齢が高くなるにしたがって、「家族と同居する」や「民生委員による見守り活動を活発にする」、「地域包括支援センターによる高齢者の把握」の割合が多くなっています。

調査数	入居する	安否確認サービス付設きの	家族と同居する	介護保険サービス等を利用する	知人とのつながりを作る	日ごろから家族や友人、近所の人と声を掛け合う	地域包括支援センターによる見守り活動を活発にする	町内会や老人クラブ等に活動を活発にする	民生委員による見守り活動を活発にする	警察のパトロール	地域包括支援センターによる高齢者の把握	健康づくり、介護予防を心がける	町内会や社会福祉協議会等に積極的に参加する	行政による高齢者の実態調査	スによる見守りサービス	警備会社等の民間ビジネス	その他	無回答
上段:件数 下段:%																		
全体	7,926 100.0	2,291 28.9	2,881 36.3	3,596 45.4	4,694 59.2	4,149 52.3	1,386 17.5	1,230 15.5	1,499 18.9	2,005 25.3	4,032 50.9	955 12.0	1,308 16.5	836 10.5	113 1.4	210 2.6		

### 問2 本人の年齢

65～69歳	1,951 100.0	639 32.8	650 33.3	926 47.5	1,254 64.3	977 50.1	328 16.8	249 12.8	438 22.5	485 24.9	1,077 55.2	188 9.6	331 17.0	255 13.1	21 1.1	35 1.8		
70～74歳	2,340 100.0	664 28.4	802 34.3	1,101 47.1	1,431 61.2	1,226 52.4	416 17.8	345 14.7	454 19.4	525 22.4	1,223 52.3	265 11.3	385 16.5	244 10.4	42 1.8	50 2.1		
75～79歳	1,649 100.0	429 26.0	649 39.4	718 43.5	963 58.4	896 54.3	285 17.3	229 13.9	275 16.7	411 24.9	845 51.2	208 12.6	245 14.9	153 9.3	20 1.2	51 3.1		
80～84歳	1,122 100.0	311 27.7	413 36.8	473 42.2	619 55.2	610 54.4	206 18.4	213 19.0	186 16.6	303 27.0	534 47.6	176 15.7	195 17.4	97 8.6	19 1.7	46 4.1		
85～89歳	604 100.0	179 29.6	253 41.9	275 45.5	300 49.7	310 51.3	106 17.5	134 22.2	108 17.9	197 32.6	265 43.9	89 14.7	116 19.2	59 9.8	9 1.5	20 3.3		
90～94歳	208 100.0	56 26.9	91 43.8	81 38.9	102 49.0	104 50.0	37 17.8	47 22.6	31 14.9	68 32.7	72 34.6	23 11.1	27 13.0	23 11.1	2 1.0	6 2.9		
95～99歳	25 100.0	7 28.0	13 52.0	12 48.0	11 44.0	16 64.0	5 20.0	8 32.0	5 20.0	11 44.0	8 32.0	2 8.0	7 28.0	3 12.0	—	—		
100歳以上	3 100.0	1 33.3	—	3 100.0	2 66.7	1 33.3	—	—	—	—	1 33.3	—	—	—	—	—		
無回答	24 100.0	5 20.8	10 41.7	7 29.2	12 50.0	9 37.5	3 12.5	5 20.8	2 8.3	4 16.7	8 33.3	4 16.7	2 8.3	2 8.3	—	2 8.3		

## 第2章 調査結果の分析

○要支援等の認定状況別にみると、要支援1、要支援2では「介護保険サービスを利用する」、「地域包括支援センターによる高齢者の把握」の割合が一般高齢者、事業対象者に比べて多くなっています。

上段:件数 下段:%	調査数	高齢者 入居する	安否確認 サービス 付設きの 住宅	家族と 同居する	介護保険 サービス等 を利用する	日ごろから 家族や友人、 知人との つながりを作る	近所の人 と声を掛け 合う	地域の見守り 活動を活発 にする	町内会や 老人クラブ 等の見守り 活動を活発 にする	民生委員 による見守り 活動	警察の パトロール	地域包括 支援センタ ーによる 高齢者の 把握	健康づく り、介護 予防を 心がける	町内会 や社会福 祉協会の 積極的な 参加	行政による 高齢者の 実態調査	警備会社 等の民間 サービス による見 守り	その他	無回答
全体	7,926 100.0	2,291 28.9	2,881 36.3	3,596 45.4	4,694 59.2	4,149 52.3	1,386 17.5	1,230 15.5	1,499 18.9	2,005 25.3	4,032 50.9	955 12.0	1,308 16.5	836 10.5	113 1.4	210 2.6		
問3 要支援等の認定状況について																		
一般高齢者	7,169 100.0	2,071 28.9	2,635 36.8	3,217 44.9	4,312 60.1	3,785 52.8	1,283 17.9	1,074 15.0	1,382 19.3	1,745 24.3	3,726 52.0	877 12.2	1,192 16.6	747 10.4	101 1.4	176 2.5		
事業対象者	80 100.0	26 32.5	33 41.3	30 37.5	54 67.5	36 45.0	10 12.5	5 6.3	9 11.3	18 22.5	36 45.0	5 6.3	10 12.5	4 5.0	—	—		
要支援1	341 100.0	102 29.9	106 31.1	206 60.4	169 49.6	174 51.0	56 16.4	83 24.3	50 14.7	144 42.2	148 43.4	36 10.6	64 18.8	47 13.8	7 2.1	14 4.1		
要支援2	128 100.0	41 32.0	46 35.9	66 51.6	53 41.4	59 46.1	15 11.7	30 23.4	22 17.2	55 43.0	39 30.5	11 8.6	17 13.3	20 15.6	3 2.3	4 3.1		
無回答	208 100.0	51 24.5	61 29.3	77 37.0	106 51.0	95 45.7	22 10.6	38 18.3	36 17.3	43 20.7	83 39.9	26 12.5	25 12.0	18 8.7	2 1.0	16 7.7		

## 第2章 調査結果の分析

○調査区域別にみると、「家族と同居する」は六郷・沖野・七郷が42.0%、「近所の人と声を掛け合う」は虹の丘・加茂・長命ヶ丘が59.3%と、他の調査区に比べて多くなっており、ともに最も少ない五橋・上杉・木町通・花京院を15ポイント程度上回っています。また、「介護保険サービス等を利用する」は虹の丘・加茂・長命ヶ丘が52.2%と、他の調査区に比べて多くなっていきます。

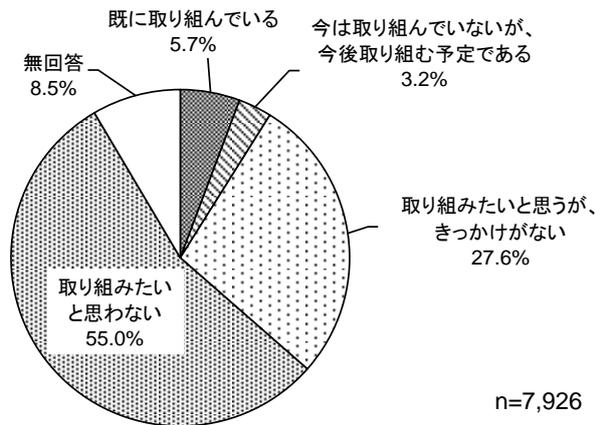
	調査数	高齢者向けサービス付きの住宅や施設にの	家族と同居する	介護保険サービス等を利用する	知人とのつながりを作る	近所の人と声を掛け合う	地域の見守り活動を活発にする	町内会や老人クラブ等に活動に参加する	民生委員による見守り活動を発する	警察のパトロール	地域包括支援センターによる高齢者の把握	健康づくり、介護予防を心がける	町内会や社会福祉協議会等の行事に積極的に参加する	行政による高齢者の実態調査	警備会社等の民間ビジネスによる見守りサービス	その他	無回答
全体	7,926 100.0	2,291 28.9	2,881 36.3	3,596 45.4	4,694 59.2	4,149 52.3	1,386 17.5	1,230 15.5	1,499 18.9	2,005 25.3	4,032 50.9	955 12.0	1,308 16.5	836 10.5	113 1.4	210 2.6	
調査区域																	
五橋・上杉・木町通・花京院	451 100.0	151 33.5	127 28.2	196 43.5	270 59.9	199 44.1	73 16.2	68 15.1	85 18.8	116 25.7	232 51.4	52 11.5	83 18.4	58 12.9	14 3.1	16 3.5	
双葉ヶ丘・葉山・台原	419 100.0	126 30.1	143 34.1	190 45.3	249 59.4	202 48.2	74 17.7	68 16.2	80 19.1	109 26.0	224 53.5	53 12.6	76 18.1	46 11.0	9 2.1	6 1.4	
国見・国見ヶ丘・桜ヶ丘	430 100.0	114 26.5	172 40.0	186 43.3	280 65.1	214 49.8	85 19.8	75 17.4	96 22.3	112 26.0	226 52.6	50 11.6	55 12.8	41 9.5	7 1.6	11 2.6	
大沢広陵・あやし・南吉成	420 100.0	96 22.9	161 38.3	175 41.7	243 57.9	243 57.9	67 16.0	53 12.6	69 16.4	90 21.4	197 46.9	44 10.5	60 14.3	41 9.8	4 1.0	10 2.4	
東仙台・宮城野・榴岡	439 100.0	140 31.9	140 31.9	201 45.8	258 58.8	209 47.6	68 15.5	79 18.0	78 17.8	108 24.6	213 48.5	39 8.9	85 19.4	52 11.8	10 2.3	14 3.2	
小松島・燕沢・鶴ヶ谷	448 100.0	122 27.2	171 38.2	196 43.8	261 58.3	243 54.2	79 17.6	74 16.5	77 17.2	106 23.7	228 50.9	67 15.0	80 17.9	45 10.0	7 1.6	13 2.9	
岩切・高砂・福田町	435 100.0	123 28.3	158 36.3	190 43.7	241 55.4	240 55.2	90 20.7	71 16.3	67 15.4	118 27.1	213 49.0	50 11.5	81 18.6	45 10.3	9 2.1	12 2.8	
河原町・大和蒲町・遠見塚	443 100.0	119 26.9	155 35.0	193 43.6	266 60.0	219 49.4	71 16.0	67 15.1	81 18.3	98 22.1	220 49.7	50 11.3	72 16.3	41 9.3	4 0.9	16 3.6	
六郷・沖野・七郷	431 100.0	111 25.8	181 42.0	197 45.7	241 55.9	219 50.8	76 17.6	65 15.1	105 24.4	110 25.5	206 47.8	47 10.9	78 18.1	41 9.5	2 0.5	21 4.9	
長町・郡山・富沢	446 100.0	154 34.5	147 33.0	214 48.0	261 58.5	209 46.9	73 16.4	81 18.2	85 19.1	113 25.3	232 52.0	61 13.7	82 18.4	52 11.7	8 1.8	9 2.0	
愛宕橋・八木山・西多賀・山田	432 100.0	119 27.5	166 38.4	192 44.4	251 58.1	244 56.5	73 16.9	67 15.5	79 18.3	113 26.2	227 52.5	57 13.2	67 15.5	31 7.2	3 0.7	13 3.0	
西中田・袋原・四郎丸	456 100.0	131 28.7	169 37.1	203 44.5	258 56.6	244 53.5	76 16.7	70 15.4	78 17.1	114 25.0	198 43.4	52 11.4	76 16.7	47 10.3	4 0.9	15 3.3	
茂庭・秋保	419 100.0	115 27.4	144 34.4	191 45.6	266 63.5	224 53.5	90 21.5	72 17.2	83 19.8	107 25.5	223 53.2	51 12.2	75 17.9	35 8.4	1 0.2	6 1.4	
泉中央・寺岡・高森	435 100.0	141 32.4	170 39.1	199 45.7	273 62.8	219 50.3	69 15.9	49 11.3	89 20.5	117 26.9	246 56.6	49 11.3	67 15.4	53 12.2	6 1.4	7 1.6	
将監・松森・向陽台	452 100.0	114 25.2	167 36.9	202 44.7	263 58.2	250 55.3	82 18.1	67 14.8	94 20.8	120 26.5	232 51.3	59 13.1	72 15.9	44 9.7	7 1.5	12 2.7	
南光台・八乙女	447 100.0	140 31.3	160 35.8	219 49.0	250 55.9	241 53.9	63 14.1	79 17.7	85 19.0	126 28.2	218 48.8	54 12.1	72 16.1	62 13.9	7 1.6	13 2.9	
虹の丘・加茂・長命ヶ丘	460 100.0	141 30.7	162 35.2	240 52.2	285 62.0	273 59.3	88 19.1	65 14.1	77 16.7	112 24.3	248 53.9	64 13.9	53 11.5	52 11.3	5 1.1	9 2.0	
根白石・南中山	458 100.0	132 28.8	187 40.8	210 45.9	276 60.3	253 55.2	88 19.2	58 12.7	89 19.4	114 24.9	245 53.5	55 12.0	73 15.9	49 10.7	6 1.3	7 1.5	
無回答	5 100.0	2 40.0	1 20.0	2 40.0	2 40.0	4 80.0	1 20.0	2 40.0	2 40.0	2 40.0	4 80.0	1 20.0	1 20.0	1 20.0	-	-	

8. 高齢者を支援する仕事やボランティア活動について

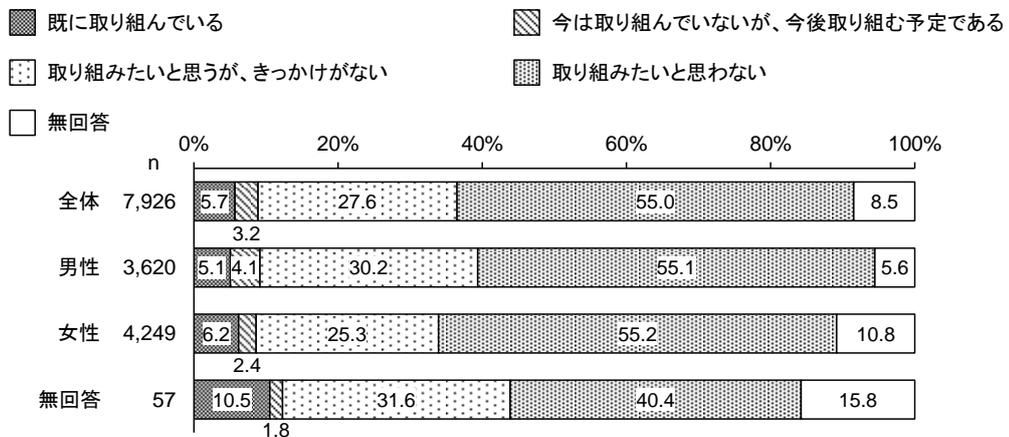
(1) 高齢者を支援する仕事やボランティア活動への意向【単一回答】

問10(1) 親族・知人以外の高齢者の身の回りの世話や生活のお手伝いをする仕事やボランティア活動に取り組んでみたいと思いますか

○高齢者を支援する仕事やボランティア活動への意向は、「取り組みたいと思わない」の割合が55.0%と最も多く、次いで、「取り組みたいと思うが、きっかけがない」(27.6%)、「すでに取り組んでいる」(5.7%) となっています。

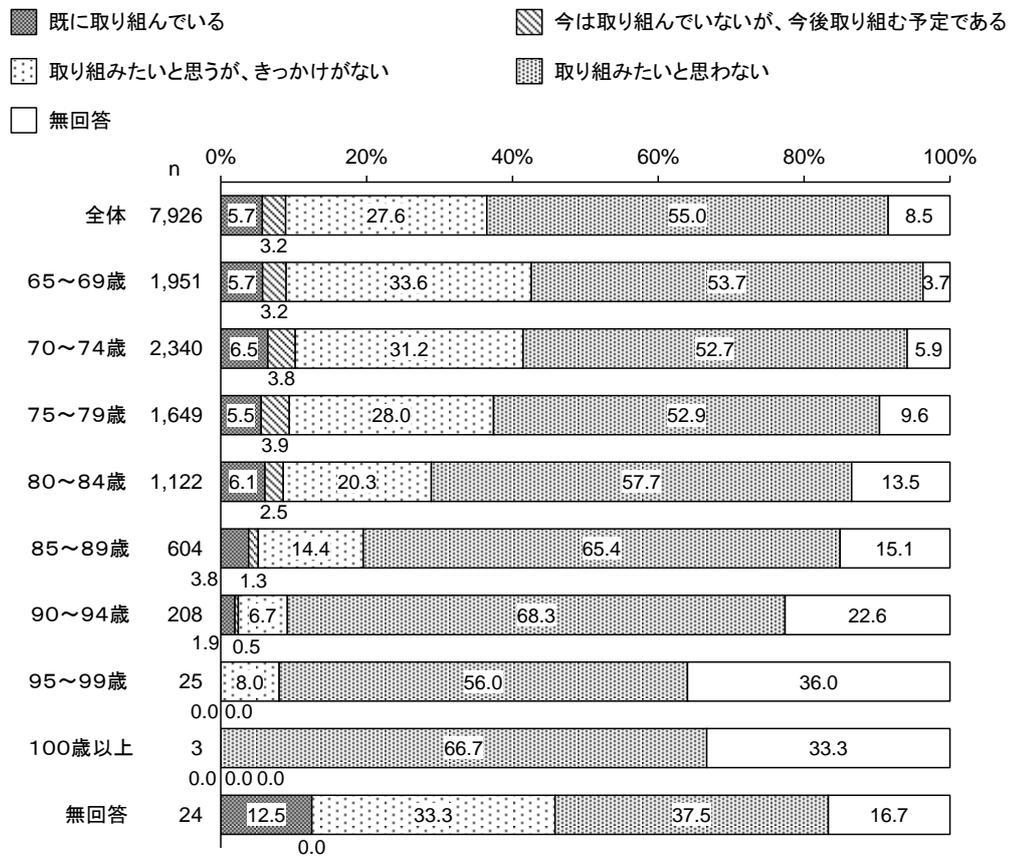


○性別にみると、男性では「取り組みたいと思うが、きっかけがない」の割合が30.2%と女性(25.3%)を4.9ポイント上回っています。

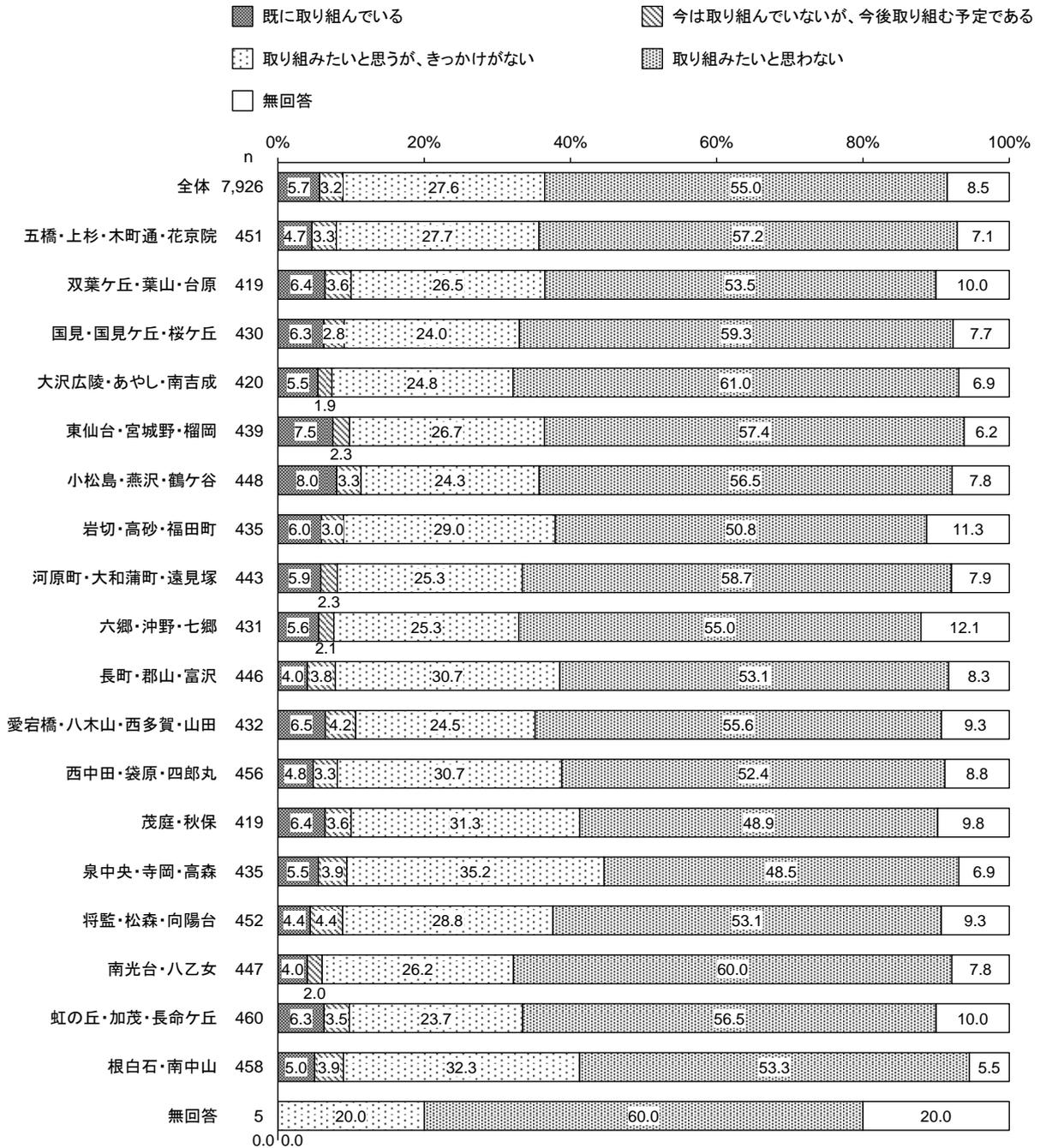


## 第2章 調査結果の分析

○年齢別にみると、年齢が高くなるにしたがって、「取り組みたいと思うが、きっかけがない」の割合が少なくなっています。



○調査区域別にみると、「取り組みたいと思うが、きっかけがない」は泉中央・寺岡・高森が35.2%と、他の調査区に比べて多くなっており、最も少ない虹の丘・加茂・長命ヶ丘(23.7%)を11.5ポイント上回っています。

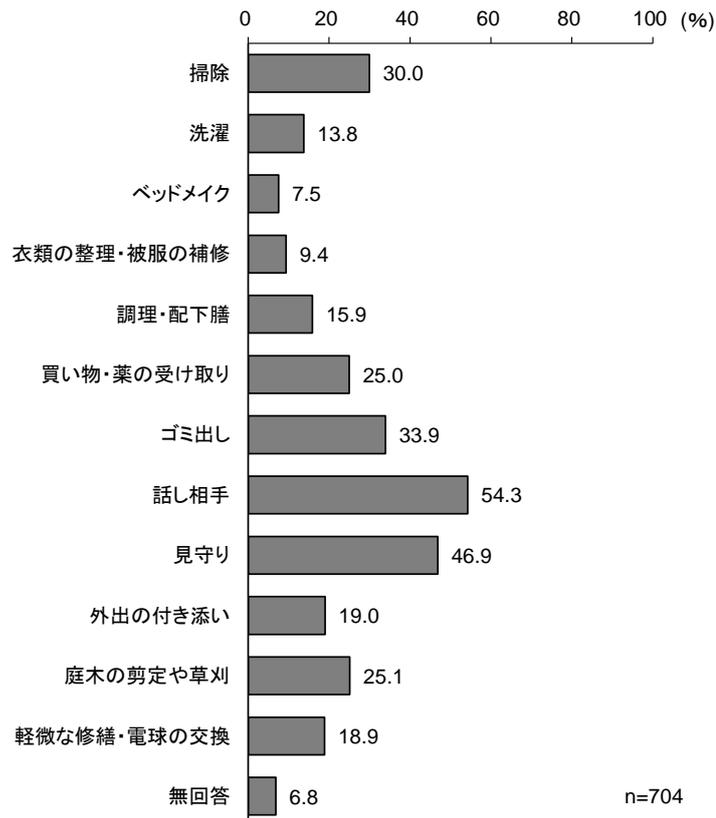


(2) 高齢者を支援するボランティア活動の内容について【複数回答】

問10(2) 【(1)で1. 既に取り組んでいる」「2. 今は取り組んでいないが、今後取り組む予定である」に回答した方におたずねします】

どのような活動をしている、または取り組む予定ですか(いくつでも)

○高齢者を支援するボランティア活動の内容は、「話し相手」(54.3%)が最も多く、次いで、「見守り」(46.9%)、「ゴミ出し」(33.9%)となっています。



## 第2章 調査結果の分析

○性別にみると、男性では「ゴミ出し」(40.8%)の割合や「庭木の剪定や草刈」(40.8%)、「軽微な修繕・電球の交換」(32.3%)が女性に比べて多くなっています。一方、女性では「調理・配下膳」(23.0%)、「話し相手」(63.9%)、「見守り」(50.8%)が男性に比べて多くなっています。

	調査数	掃除	洗濯	ベッドメイク	補修の整理・被服の	調理・配下膳	取扱い物・薬の受け	ゴミ出し	話し相手	見守り	外出の付き添い	庭木の剪定や草刈	軽微な修繕・電球の交換	無回答
上段:件数 下段:%														
全体	704 100.0	211 30.0	97 13.8	53 7.5	66 9.4	112 15.9	176 25.0	239 33.9	382 54.3	330 46.9	134 19.0	177 25.1	133 18.9	48 6.8
問1 本人の性別														
男性	331 100.0	106 32.0	35 10.6	12 3.6	15 4.5	27 8.2	81 24.5	135 40.8	142 42.9	139 42.0	53 16.0	135 40.8	107 32.3	26 7.9
女性	366 100.0	103 28.1	61 16.7	40 10.9	50 13.7	84 23.0	90 24.6	100 27.3	234 63.9	186 50.8	78 21.3	41 11.2	25 6.8	22 6.0
無回答	7 100.0	2 28.6	1 14.3	1 14.3	1 14.3	1 14.3	5 71.4	4 57.1	6 85.7	5 71.4	3 42.9	1 14.3	1 14.3	—

○年齢別にみると、大きな差はみられませんでした。

	調査数	掃除	洗濯	ベッドメイク	補修の整理・被服の	調理・配下膳	取扱い物・薬の受け	ゴミ出し	話し相手	見守り	外出の付き添い	庭木の剪定や草刈	軽微な修繕・電球の交換	無回答
上段:件数 下段:%														
全体	704 100.0	211 30.0	97 13.8	53 7.5	66 9.4	112 15.9	176 25.0	239 33.9	382 54.3	330 46.9	134 19.0	177 25.1	133 18.9	48 6.8
問2 本人の年齢														
65～69歳	175 100.0	58 33.1	34 19.4	19 10.9	20 11.4	36 20.6	47 26.9	56 32.0	99 56.6	80 45.7	37 21.1	38 21.7	29 16.6	14 8.0
70～74歳	239 100.0	67 28.0	28 11.7	20 8.4	21 8.8	39 16.3	58 24.3	75 31.4	121 50.6	128 53.6	45 18.8	64 26.8	50 20.9	11 4.6
75～79歳	155 100.0	38 24.5	12 7.7	4 2.6	8 5.2	19 12.3	37 23.9	56 36.1	86 55.5	67 43.2	25 16.1	31 20.0	28 18.1	14 9.0
80～84歳	96 100.0	33 34.4	13 13.5	7 7.3	12 12.5	12 12.5	23 24.0	36 37.5	52 54.2	42 43.8	18 18.8	31 32.3	20 20.8	6 6.3
85～89歳	31 100.0	11 35.5	7 22.6	2 6.5	3 9.7	3 9.7	10 32.3	12 38.7	19 61.3	8 25.8	8 25.8	11 35.5	6 19.4	3 9.7
90～94歳	5 100.0	2 40.0	2 40.0	—	1 20.0	2 40.0	—	2 40.0	3 60.0	3 60.0	—	2 40.0	—	—
95～99歳	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
100歳以上	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
無回答	3 100.0	2 66.7	1 33.3	1 33.3	1 33.3	1 33.3	1 33.3	2 66.7	2 66.7	2 66.7	1 33.3	—	—	—

## 第2章 調査結果の分析

○調査区域別にみると、「話し相手」は五橋・上杉・木町通・花京院が77.8%、「見守り」は東仙台・宮城野・榴岡が62.8%と、他の調査区に比べて多くなっています。また、南光台・八乙女では「洗濯」(29.6%)、「ベッドメイク」(18.5%)、「料理・配下膳」(29.6%)が、根白石・南中山では「買い物・薬の受け取り」(39.0%)、「ゴミ出し」(46.3%)、「庭木の剪定や草刈」(36.6%)が、それぞれ他の調査区に比べて多くなっています。

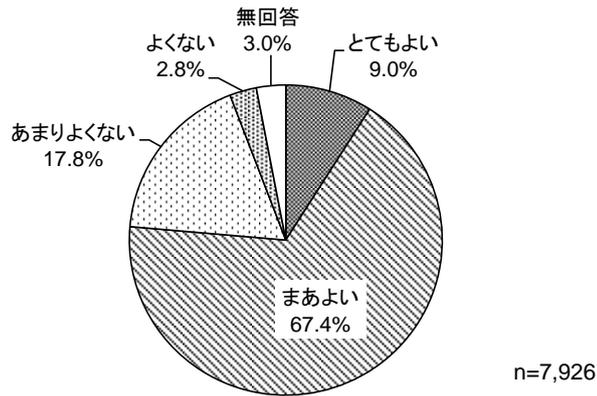
	調査数	掃除	洗濯	ベッドメイク	補衣類の整理・被服の	調理・配下膳	買い物・薬の受け取り	ゴミ出し	話し相手	見守り	外出の付き添い	庭木の剪定や草刈	軽微な修繕・電球の交換	無回答
上段:件数 下段:%														
全体	704 100.0	211 30.0	97 13.8	53 7.5	66 9.4	112 15.9	176 25.0	239 33.9	382 54.3	330 46.9	134 19.0	177 25.1	133 18.9	48 6.8
調査区域														
五橋・上杉・木町通・花京院	36 100.0	12 33.3	7 19.4	3 8.3	7 19.4	7 19.4	12 33.3	15 41.7	28 77.8	14 38.9	10 27.8	8 22.2	5 13.9	3 8.3
双葉ヶ丘・葉山・台原	42 100.0	11 26.2	6 14.3	4 9.5	2 4.8	5 11.9	10 23.8	19 45.2	20 47.6	17 40.5	10 23.8	12 28.6	9 21.4	2 4.8
国見・国見ヶ丘・桜ヶ丘	39 100.0	16 41.0	4 10.3	3 7.7	3 7.7	5 12.8	10 25.6	13 33.3	21 53.8	20 51.3	7 17.9	9 23.1	8 20.5	4 10.3
大沢広陵・あやし・南吉成	31 100.0	7 22.6	3 9.7	1 3.2	2 6.5	1 3.2	7 22.6	8 25.8	16 51.6	14 45.2	6 19.4	6 19.4	4 12.9	1 3.2
東仙台・宮城野・榴岡	43 100.0	15 34.9	9 20.9	6 14.0	8 18.6	9 20.9	10 23.3	13 30.2	28 65.1	27 62.8	7 16.3	10 23.3	7 16.3	2 4.7
小松島・燕沢・鶴ヶ谷	51 100.0	12 23.5	4 7.8	3 5.9	8 15.7	8 15.7	12 23.5	20 39.2	28 54.9	25 49.0	10 19.6	8 15.7	5 9.8	6 11.8
岩切・高砂・福田町	39 100.0	10 25.6	4 10.3	2 5.1	4 10.3	5 12.8	7 17.9	10 25.6	19 48.7	21 53.8	3 7.7	13 33.3	8 20.5	2 5.1
河原町・大和蒲町・遠見塚	36 100.0	8 22.2	4 11.1	3 8.3	3 8.3	8 22.2	6 16.7	11 30.6	19 52.8	15 41.7	1 2.8	5 13.9	4 11.1	5 13.9
六郷・沖野・七郷	33 100.0	9 27.3	4 12.1	3 9.1	3 9.1	6 18.2	7 21.2	8 24.2	16 48.5	20 60.6	3 9.1	5 15.2	6 18.2	1 3.0
長町・郡山・富沢	35 100.0	10 28.6	4 11.4	4 11.4	3 8.6	4 11.4	8 22.9	12 34.3	23 65.7	20 57.1	6 17.1	5 14.3	6 17.1	3 8.6
愛宕橋・八木山・西多賀・山田	46 100.0	15 32.6	5 10.9	2 4.3	—	4 8.7	8 17.4	10 21.7	22 47.8	17 37.0	9 19.6	13 28.3	11 23.9	2 4.3
西中田・袋原・四郎丸	37 100.0	12 32.4	8 21.6	5 13.5	4 10.8	7 18.9	14 37.8	16 43.2	21 56.8	18 48.6	13 35.1	9 24.3	10 27.0	—
茂庭・秋保	42 100.0	12 28.6	6 14.3	2 4.8	5 11.9	7 16.7	12 28.6	18 42.9	20 47.6	20 47.6	9 21.4	15 35.7	14 33.3	1 2.4
泉中央・寺岡・高森	41 100.0	11 26.8	6 14.6	1 2.4	4 9.8	8 19.5	9 22.0	11 26.8	24 58.5	15 36.6	9 22.0	8 19.5	8 19.5	4 9.8
将監・松森・向陽台	40 100.0	10 25.0	4 10.0	1 2.5	1 2.5	6 15.0	10 25.0	15 37.5	21 52.5	16 40.0	7 17.5	13 32.5	8 20.0	1 2.5
南光台・八乙女	27 100.0	11 40.7	8 29.6	5 18.5	5 18.5	8 29.6	10 37.0	7 25.9	15 55.6	8 29.6	9 33.3	9 33.3	6 22.2	2 7.4
虹の丘・加茂・長命ヶ丘	45 100.0	14 31.1	3 6.7	3 6.7	2 4.4	6 13.3	8 17.8	14 31.1	18 40.0	25 55.6	6 13.3	14 31.1	5 11.1	5 11.1
根白石・南中山	41 100.0	16 39.0	8 19.5	2 4.9	2 4.9	8 19.5	16 39.0	19 46.3	23 56.1	18 43.9	9 22.0	15 36.6	9 22.0	4 9.8
無回答	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

9. 健康について

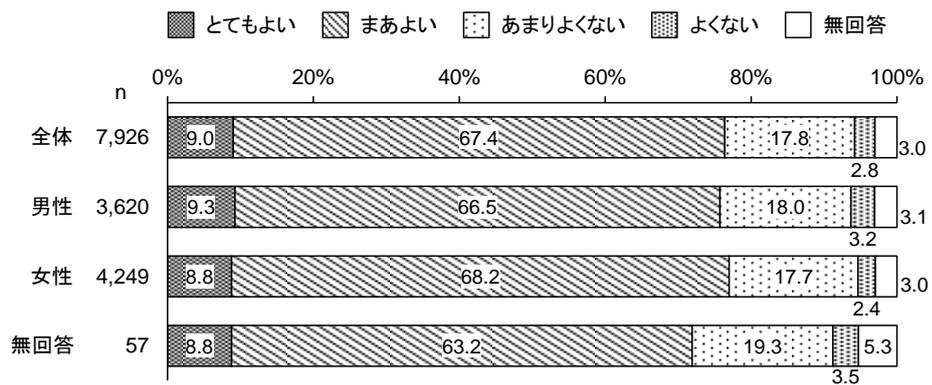
(1)健康状態【単一回答】

問11(1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか

○健康状態は、「まあよい」の割合が67.4%と最も多く、次いで、「あまりよくない」(17.8%)、「とてもよい」(9.0%)となっています。

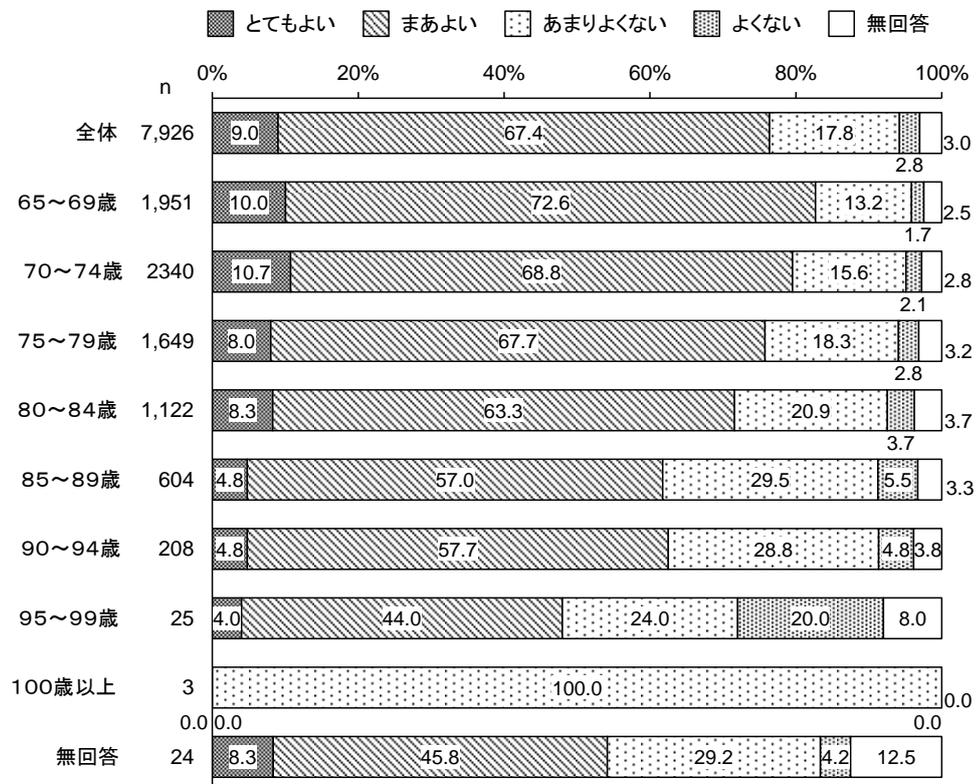


○性別にみると、大きな差はみられませんでした。

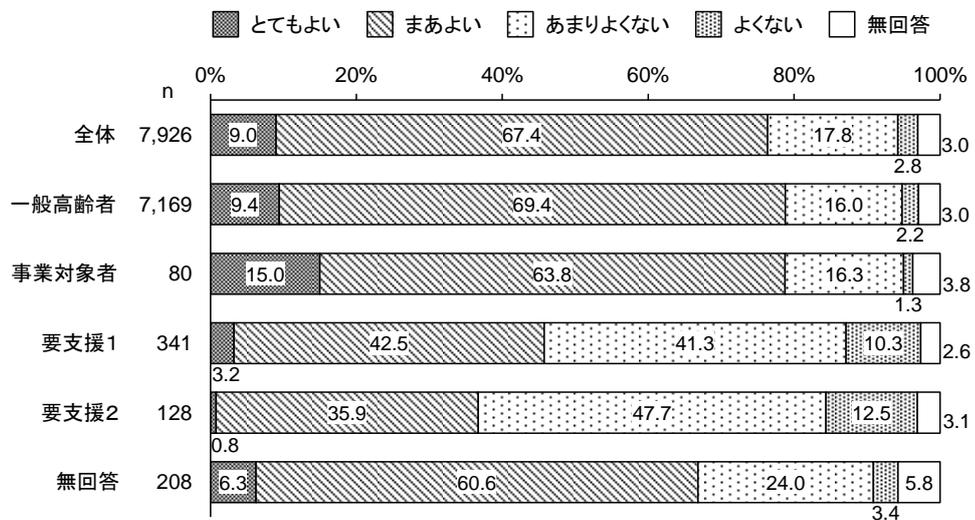


## 第2章 調査結果の分析

○年齢別にみると、年齢が高くなるにしたがって、「とてもよい」、「まあよい」の割合が少なくなり、「よくない」が多くなっています。

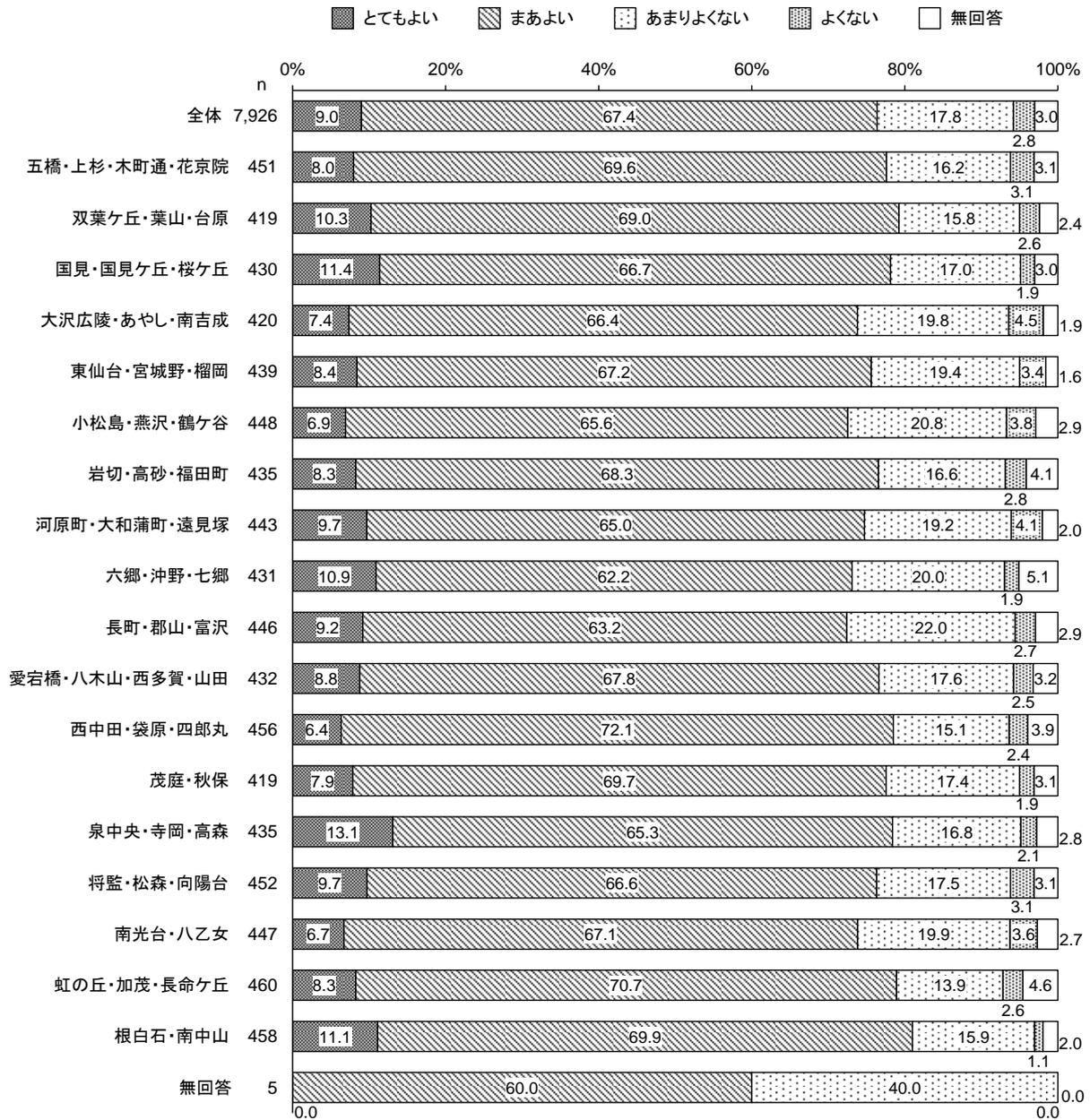


○要支援等の認定状況別にみると、要支援1、要支援2では「まあよい」の割合が少なくなり、「よくない」が多くなっています。



## 第2章 調査結果の分析

○調査区域別にみると、「とてもよい」は泉中央・寺岡・高森が13.1%、「あまりよくない」は長町・郡山・富沢が22.0%と、それぞれ他の調査区に比べて多くなっています。



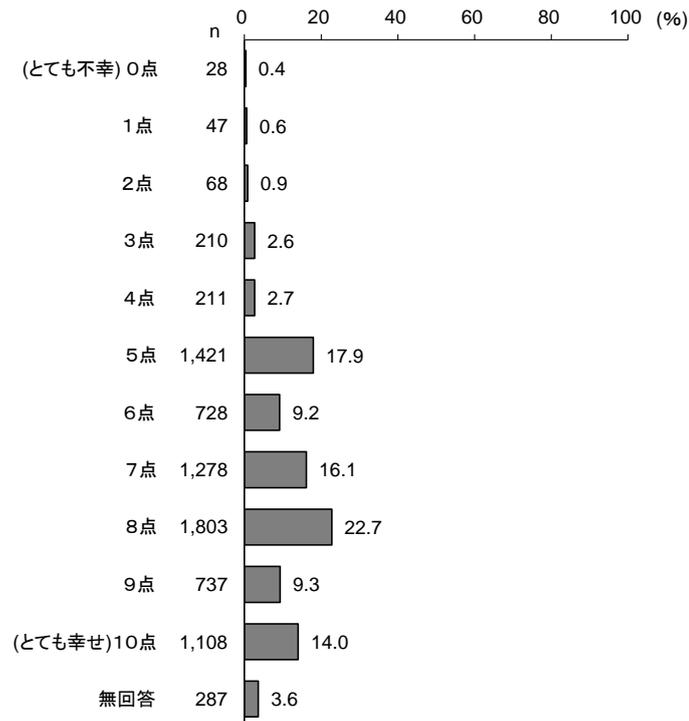
## 第2章 調査結果の分析

### (2) 幸福度【単一回答】

問11(2) あなたは、現在どの程度幸せですか

(「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください)

○現在の幸福度は、「8点」(22.7%)が最も多く、次いで、「5点」17.9%、「7点」(16.1%)となっています。



○性別にみると、大きな差はみられませんでした。

	調査数	0点 (とても不幸)	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点 (とても幸せ)	無回答
全体	7,926	28	47	68	210	211	1,421	728	1,278	1,803	737	1,108	287
	100.0	0.4	0.6	0.9	2.6	2.7	17.9	9.2	16.1	22.7	9.3	14.0	3.6
問1 本人の性別													
男性	3,620	14	25	36	120	106	717	360	612	777	278	460	115
	100.0	0.4	0.7	1.0	3.3	2.9	19.8	9.9	16.9	21.5	7.7	12.7	3.2
女性	4,249	14	20	31	90	103	692	365	656	1,015	456	640	167
	100.0	0.3	0.5	0.7	2.1	2.4	16.3	8.6	15.4	23.9	10.7	15.1	3.9
無回答	57	—	2	1	—	2	12	3	10	11	3	8	5
	100.0	—	3.5	1.8	—	3.5	21.1	5.3	17.5	19.3	5.3	14.0	8.8

## 第2章 調査結果の分析

○年齢別にみると、大きな差はみられませんでした。

上段:件数 下段:%	調査数	0点 (とても不幸)	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点 (とても幸せ)	無回答
全体	7,926 100.0	28 0.4	47 0.6	68 0.9	210 2.6	211 2.7	1,421 17.9	728 9.2	1,278 16.1	1,803 22.7	737 9.3	1,108 14.0	287 3.6
問2 本人の年齢													
65～69歳	1,951 100.0	7 0.4	14 0.7	16 0.8	55 2.8	61 3.1	349 17.9	190 9.7	326 16.7	469 24.0	184 9.4	226 11.6	54 2.8
70～74歳	2,340 100.0	4 0.2	10 0.4	25 1.1	70 3.0	65 2.8	411 17.6	226 9.7	384 16.4	536 22.9	215 9.2	330 14.1	64 2.7
75～79歳	1,649 100.0	6 0.4	7 0.4	12 0.7	38 2.3	39 2.4	300 18.2	156 9.5	279 16.9	367 22.3	159 9.6	216 13.1	70 4.2
80～84歳	1,122 100.0	7 0.6	9 0.8	8 0.7	28 2.5	26 2.3	189 16.8	92 8.2	168 15.0	248 22.1	104 9.3	187 16.7	56 5.0
85～89歳	604 100.0	4 0.7	6 1.0	5 0.8	13 2.2	17 2.8	125 20.7	52 8.6	91 15.1	115 19.0	52 8.6	100 16.6	24 4.0
90～94歳	208 100.0	—	1 0.5	2 1.0	5 2.4	2 1.0	35 16.8	10 4.8	23 11.1	58 27.9	22 10.6	39 18.8	11 5.3
95～99歳	25 100.0	—	—	—	—	1 4.0	2 8.0	2 8.0	3 12.0	6 24.0	—	9 36.0	2 8.0
100歳以上	3 100.0	—	—	—	—	—	2 66.7	—	—	1 33.3	—	—	—
無回答	24 100.0	—	—	—	1 4.2	—	8 33.3	—	4 16.7	3 12.5	1 4.2	1 4.2	6 25.0

## 第2章 調査結果の分析

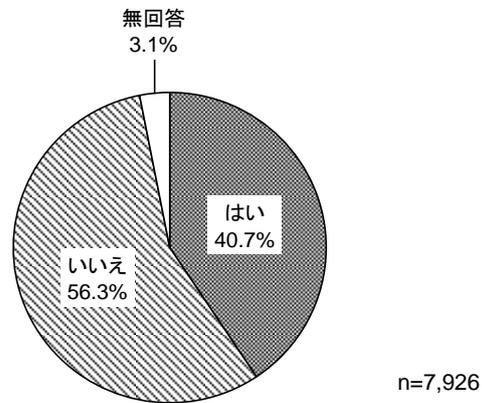
○調査区域別にみると、大きな差はみられませんでした。

	調査数	0点 (とても不幸)	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点 (とても幸せ)	無回答
上段: 件数 下段: %													
全体	7,926 100.0	28 0.4	47 0.6	68 0.9	210 2.6	211 2.7	1,421 17.9	728 9.2	1,278 16.1	1,803 22.7	737 9.3	1,108 14.0	287 3.6
調査区域													
五橋・上杉・木町通・花京院	451 100.0	2 0.4	7 1.6	2 0.4	16 3.5	10 2.2	84 18.6	33 7.3	68 15.1	103 22.8	37 8.2	79 17.5	10 2.2
双葉ヶ丘・葉山・台原	419 100.0	1 0.2	4 1.0	2 0.5	10 2.4	11 2.6	65 15.5	46 11.0	78 18.6	81 19.3	42 10.0	64 15.3	15 3.6
国見・国見ヶ丘・桜ヶ丘	430 100.0	1 0.2	2 0.5	2 0.5	11 2.6	11 2.6	69 16.0	35 8.1	73 17.0	109 25.3	32 7.4	64 14.9	21 4.9
大沢広陵・あやし・南吉成	420 100.0	— —	2 0.5	3 0.7	8 1.9	8 1.9	92 21.9	37 8.8	67 16.0	101 24.0	38 9.0	54 12.9	10 2.4
東仙台・宮城野・榴岡	439 100.0	— —	1 0.2	6 1.4	14 3.2	10 2.3	91 20.7	41 9.3	76 17.3	101 23.0	34 7.7	59 13.4	6 1.4
小松島・燕沢・鶴ヶ谷	448 100.0	2 0.4	5 1.1	7 1.6	13 2.9	13 2.9	82 18.3	53 11.8	60 13.4	103 23.0	43 9.6	54 12.1	13 2.9
岩切・高砂・福田町	435 100.0	3 0.7	— —	3 0.7	12 2.8	18 4.1	76 17.5	37 8.5	69 15.9	90 20.7	45 10.3	58 13.3	24 5.5
河原町・大和蒲町・遠見塚	443 100.0	6 1.4	1 0.2	6 1.4	13 2.9	16 3.6	88 19.9	37 8.4	66 14.9	102 23.0	41 9.3	56 12.6	11 2.5
六郷・沖野・七郷	431 100.0	0 0.0	2 0.5	2 0.5	13 3.0	12 2.8	78 18.1	41 9.5	72 16.7	79 18.3	43 10.0	63 14.6	26 6.0
長町・郡山・富沢	446 100.0	1 0.2	3 0.7	6 1.3	8 1.8	12 2.7	80 17.9	47 10.5	78 17.5	116 26.0	27 6.1	55 12.3	13 2.9
愛宕橋・八木山・西多賀・山田	432 100.0	— —	1 0.2	1 0.2	13 3.0	11 2.5	66 15.3	44 10.2	62 14.4	95 22.0	56 13.0	60 13.9	23 5.3
西中田・袋原・四郎丸	456 100.0	1 0.2	5 1.1	4 0.9	17 3.7	6 1.3	103 22.6	47 10.3	70 15.4	93 20.4	34 7.5	60 13.2	16 3.5
茂庭・秋保	419 100.0	2 0.5	2 0.5	5 1.2	14 3.3	14 3.3	80 19.1	37 8.8	62 14.8	80 19.1	38 9.1	65 15.5	20 4.8
泉中央・寺岡・高森	435 100.0	2 0.5	3 0.7	— —	8 1.8	8 1.8	74 17.0	40 9.2	76 17.5	100 23.0	43 9.9	68 15.6	13 3.0
将監・松森・向陽台	452 100.0	1 0.2	1 0.2	8 1.8	10 2.2	18 4.0	74 16.4	39 8.6	64 14.2	116 25.7	41 9.1	65 14.4	15 3.3
南光台・八乙女	447 100.0	2 0.4	3 0.7	4 0.9	13 2.9	19 4.3	73 16.3	41 9.2	69 15.4	102 22.8	40 8.9	61 13.6	20 4.5
虹の丘・加茂・長命ヶ丘	460 100.0	2 0.4	2 0.4	3 0.7	11 2.4	5 1.1	69 15.0	31 6.7	79 17.2	121 26.3	56 12.2	61 13.3	20 4.3
根白石・南中山	458 100.0	2 0.4	3 0.7	4 0.9	6 1.3	9 2.0	76 16.6	41 9.0	89 19.4	110 24.0	46 10.0	62 13.5	10 2.2
無回答	5 100.0	— —	— —	— —	— —	— —	1 20.0	1 20.0	— —	1 20.0	1 20.0	— —	1 20.0

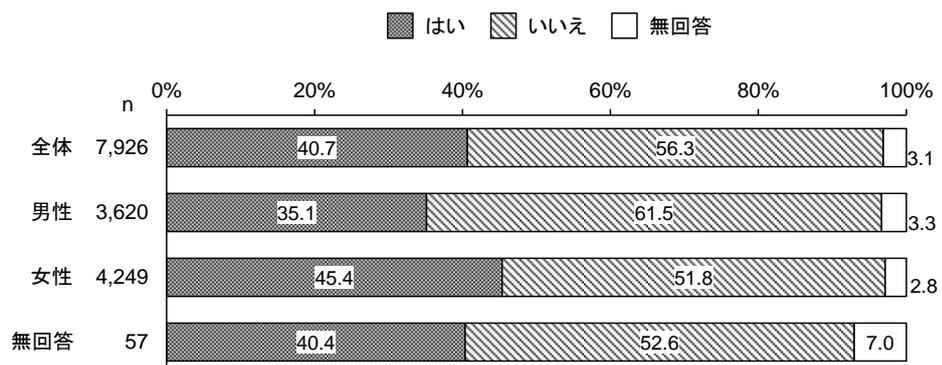
(3) ゆうつ感【単一回答】

問11(3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか

○ゆううつ感は、「はい」(40.7%)、「いいえ」(56.3%) となっています。

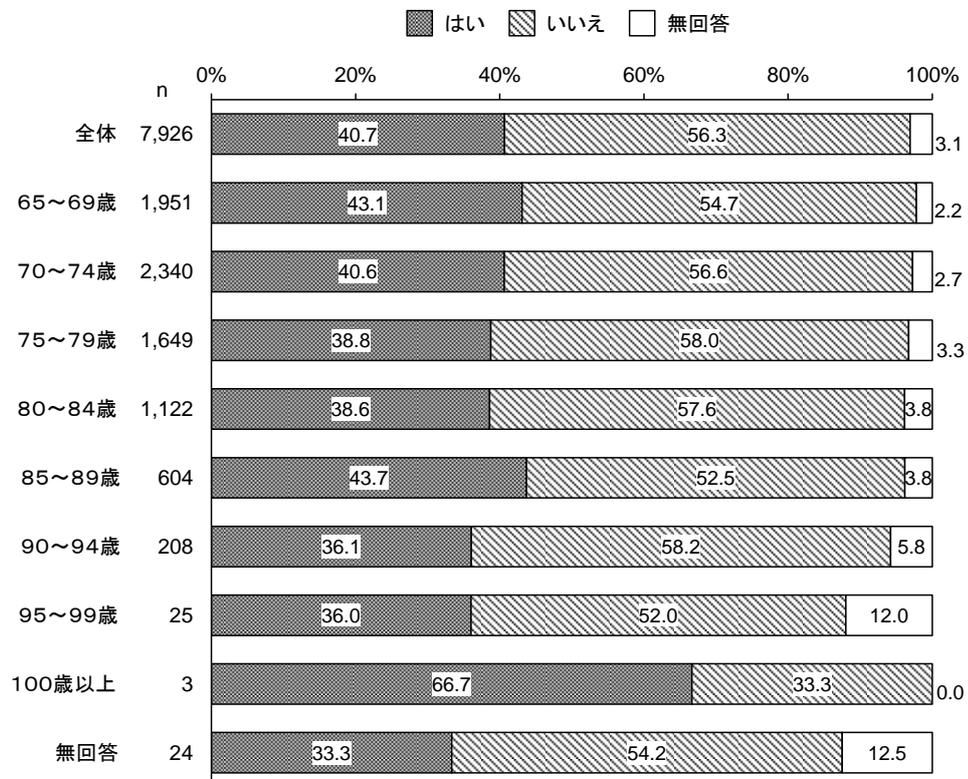


○性別にみると、女性では「はい」の割合が45.4%と、男性(35.1%)を10.3ポイント上回っています。

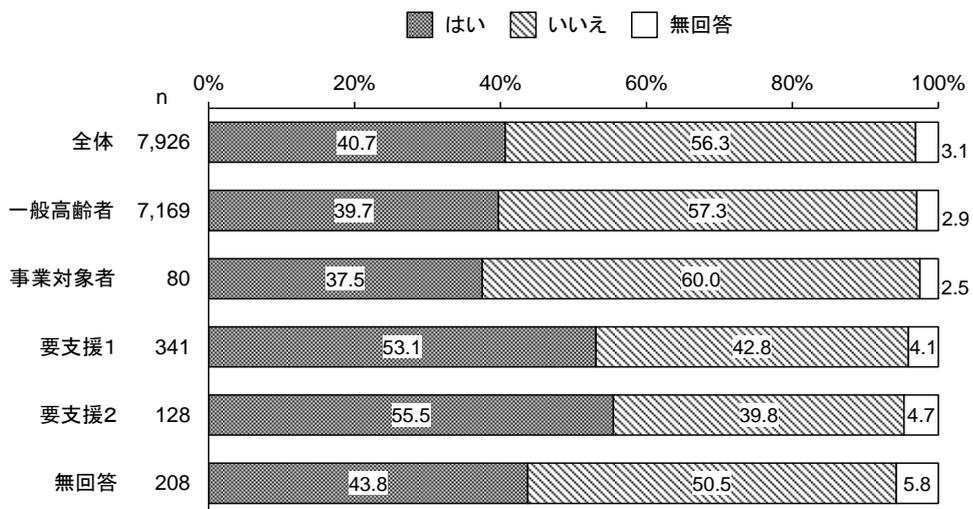


## 第2章 調査結果の分析

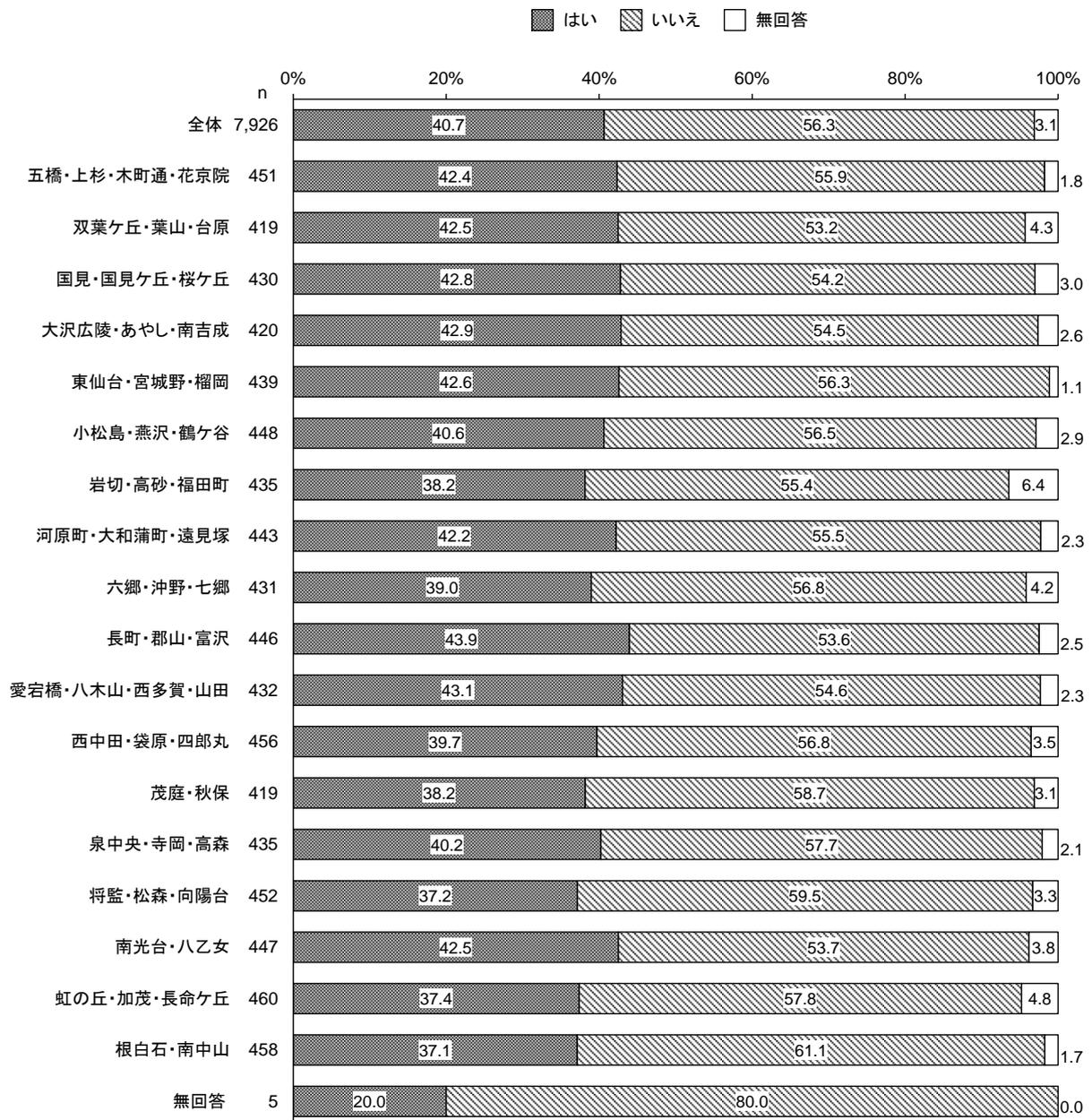
○年齢別にみると、85～89歳では「はい」の割合が43.7%と、他の年齢層に比べて多くなっています。



○要支援等の認定状況別にみると、要支援1、要支援2では「はい」が一般高齢者、事業対象者に比べて多くなっています。



○調査区域別にみると、「はい」が最も多いのは長町・郡山・富沢で43.9%、最も少ないのは根白石・南中山で37.1%となっており、6.8ポイントの差となっています。

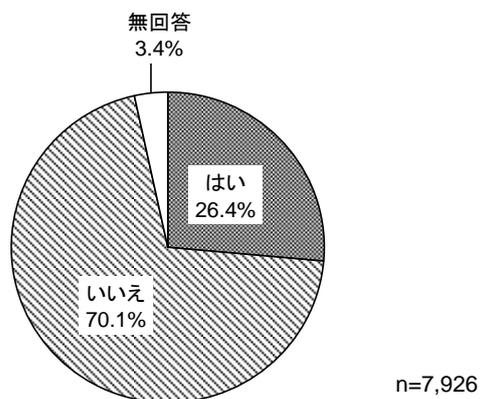


## 第2章 調査結果の分析

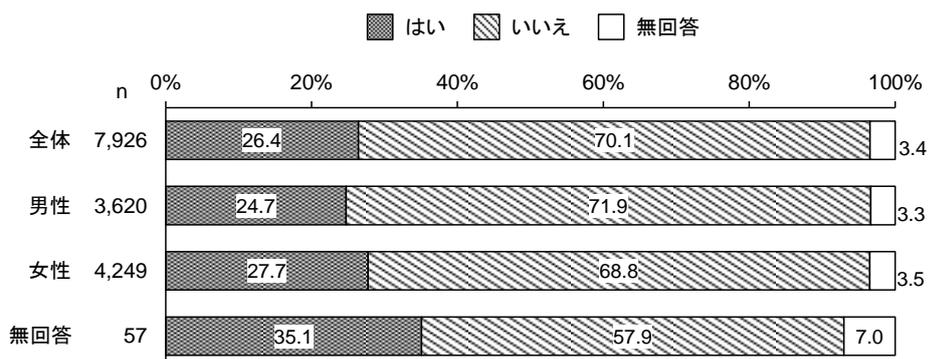
### (4) 物事への興味関心【単一回答】

問11(4) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか

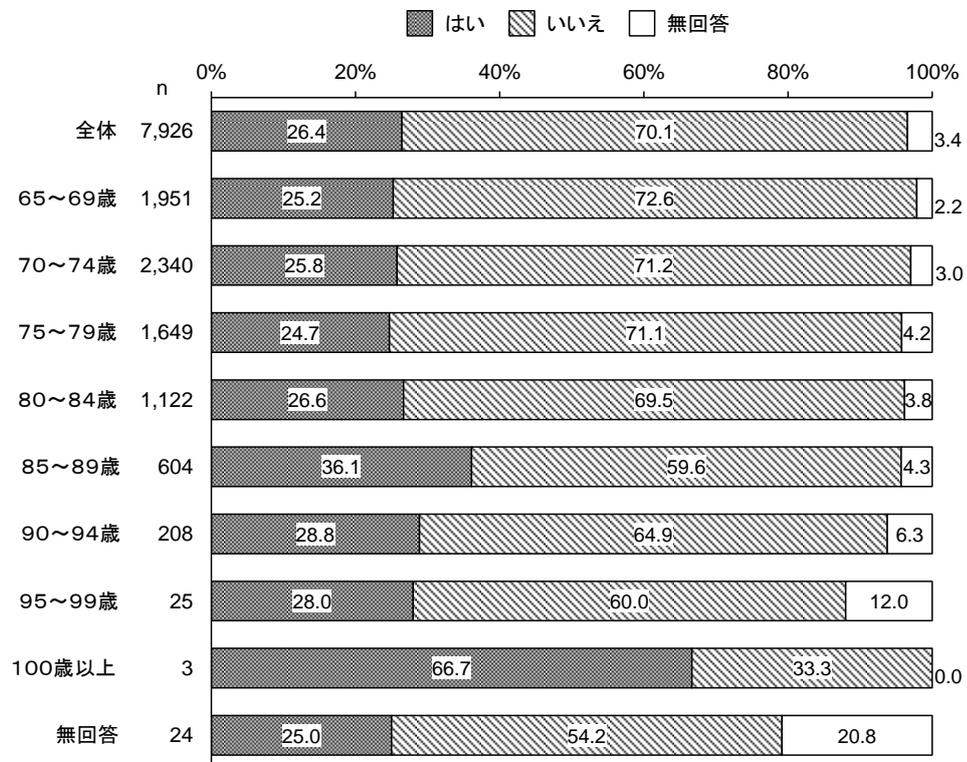
○物事への興味関心は、「はい」(26.4%)、「いいえ」(70.1%)となっています。



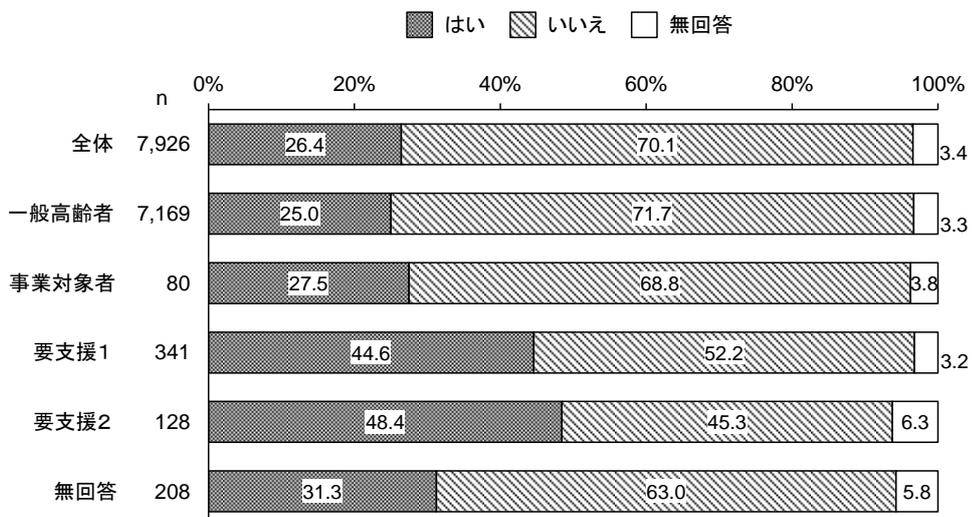
○性別にみると、大きな差はみられませんでした。



○年齢別にみると、85～89歳では、「はい」の割合が36.1%と、他の年齢層に比べて多くなっています。

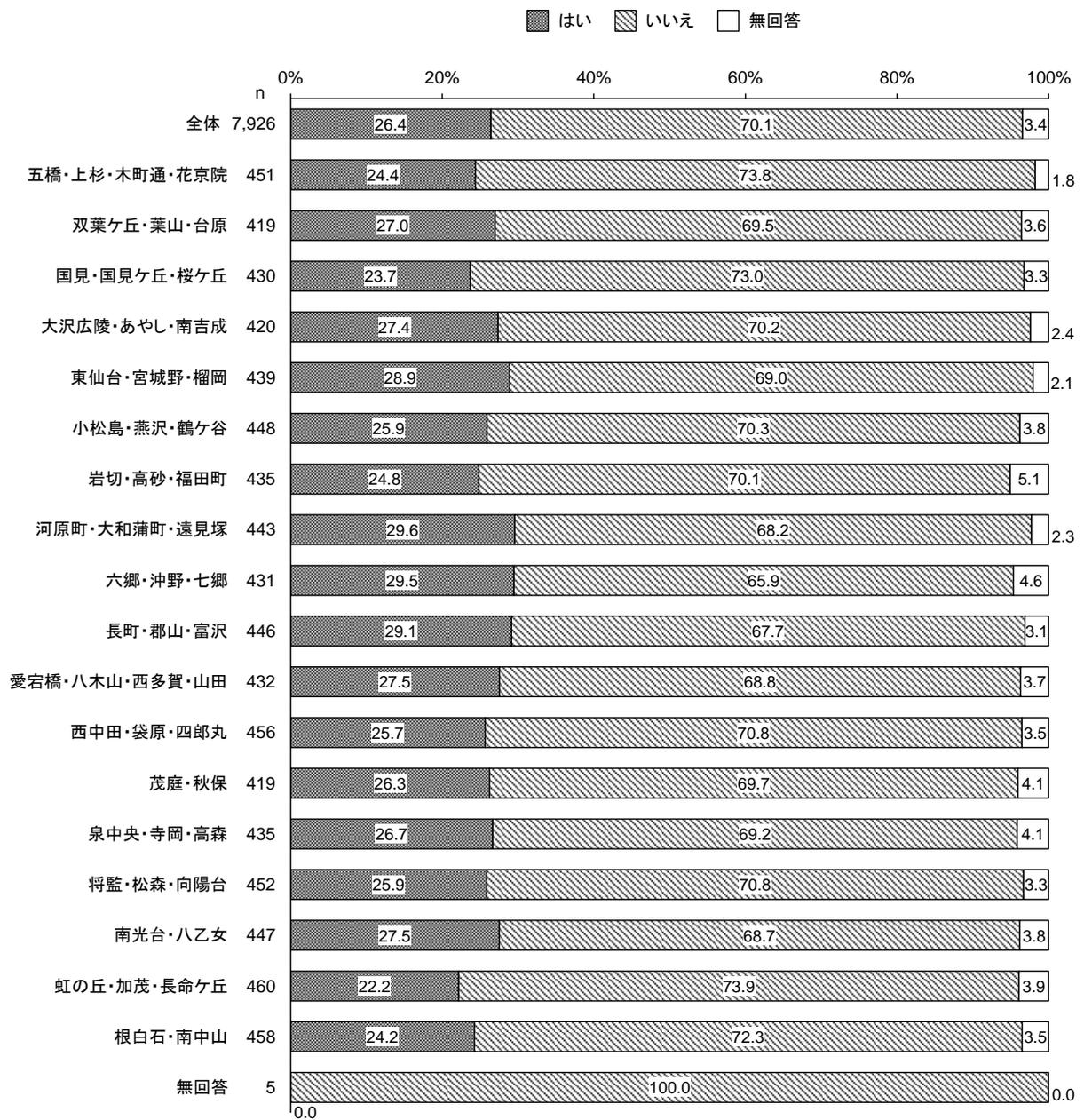


○要支援等の認定状況別にみると、要支援1、要支援2では「はい」の割合が一般高齢者、事業対象者に比べて多くなっています。



## 第2章 調査結果の分析

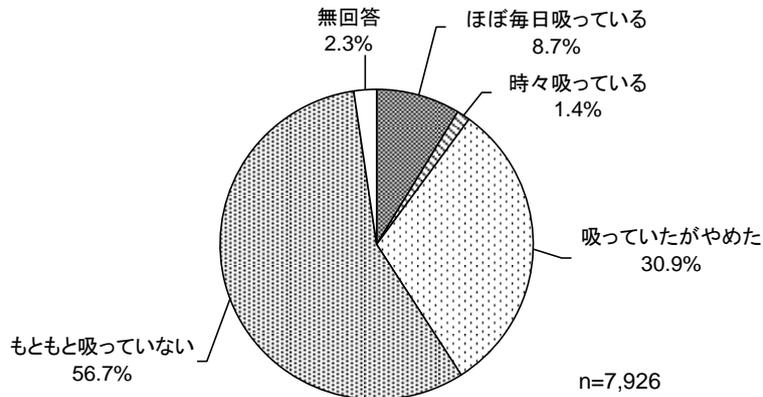
○調査区域別にみると、河原町・大和蒲町・遠見塚では「はい」が29.6%と他の調査区に比べて多くなっており、最も少ない虹の丘・加茂・長命ヶ丘（22.2%）を7.4ポイント上回っています。



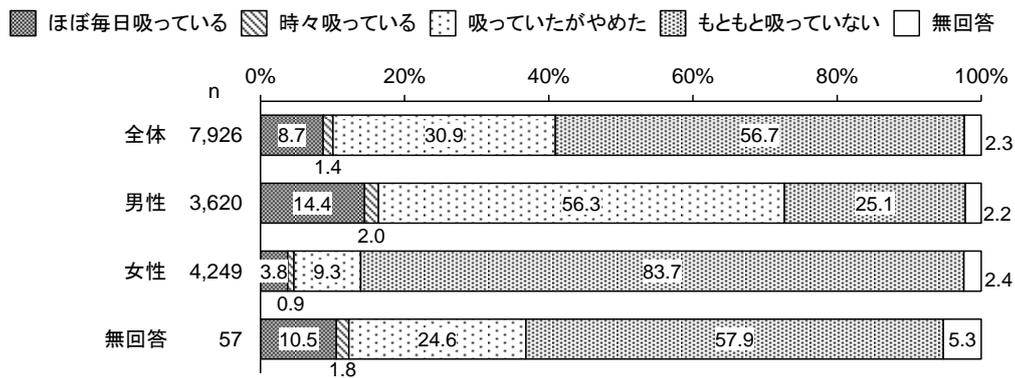
(5)喫煙状況【単一回答】

問11(5) タバコは吸っていますか

○喫煙状況は、「もともと吸っていない」の割合が56.7%と最も多く、次いで、「吸っていたがやめた」(30.9%)、「ほぼ毎日吸っている」(8.7%)となっています。

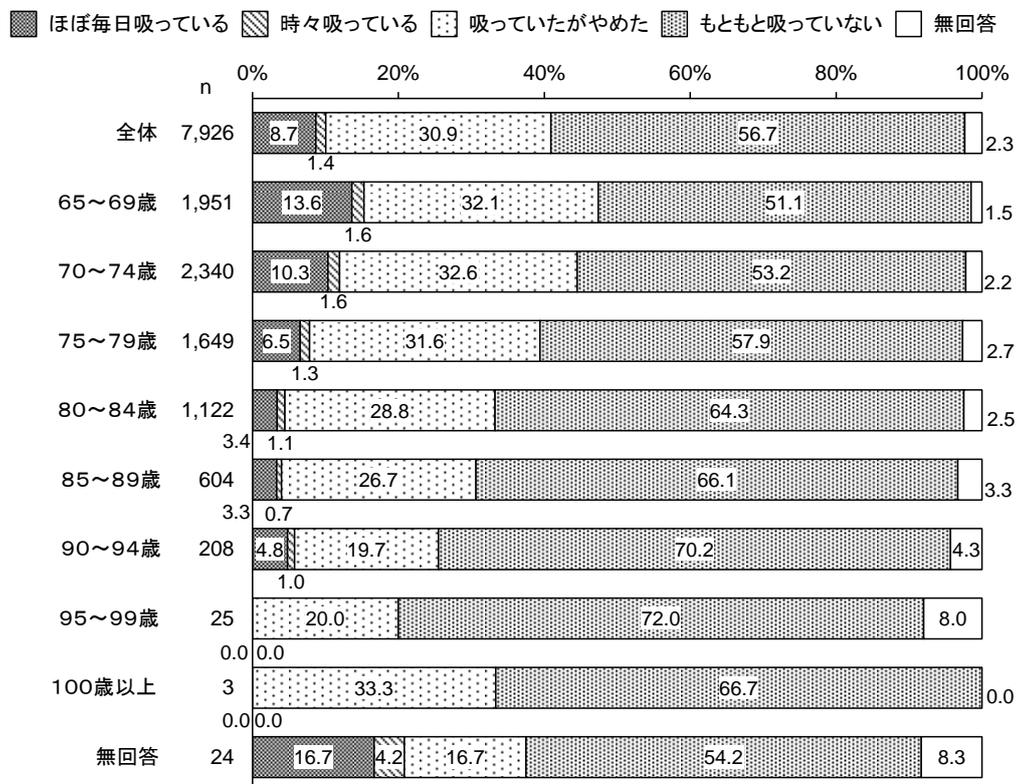


○性別にみると、男性では「ほぼ毎日吸っている」(14.4%)、「吸っていたがやめた」(56.3%)が女性に比べて多く、女性では「もともと吸っていない」(83.7%)が男性に比べて多くなっています。

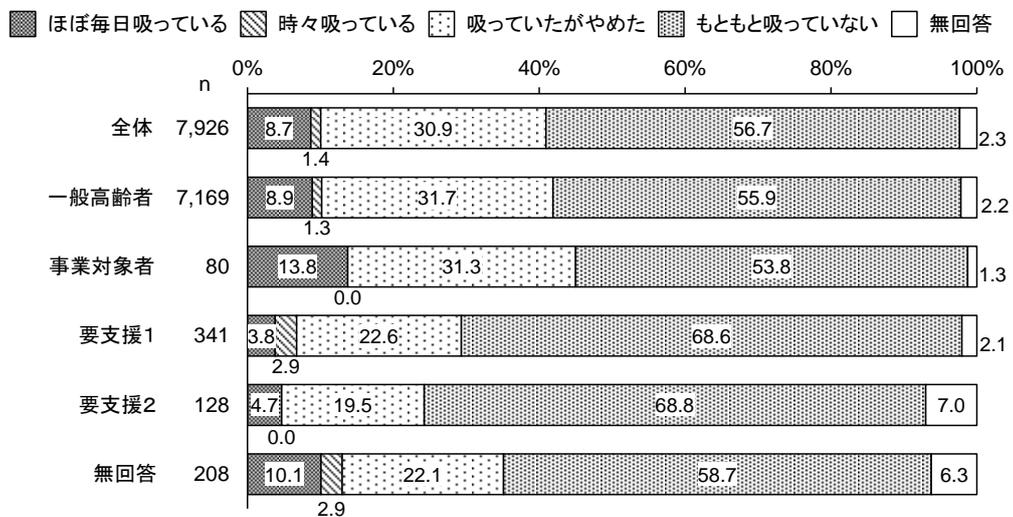


## 第2章 調査結果の分析

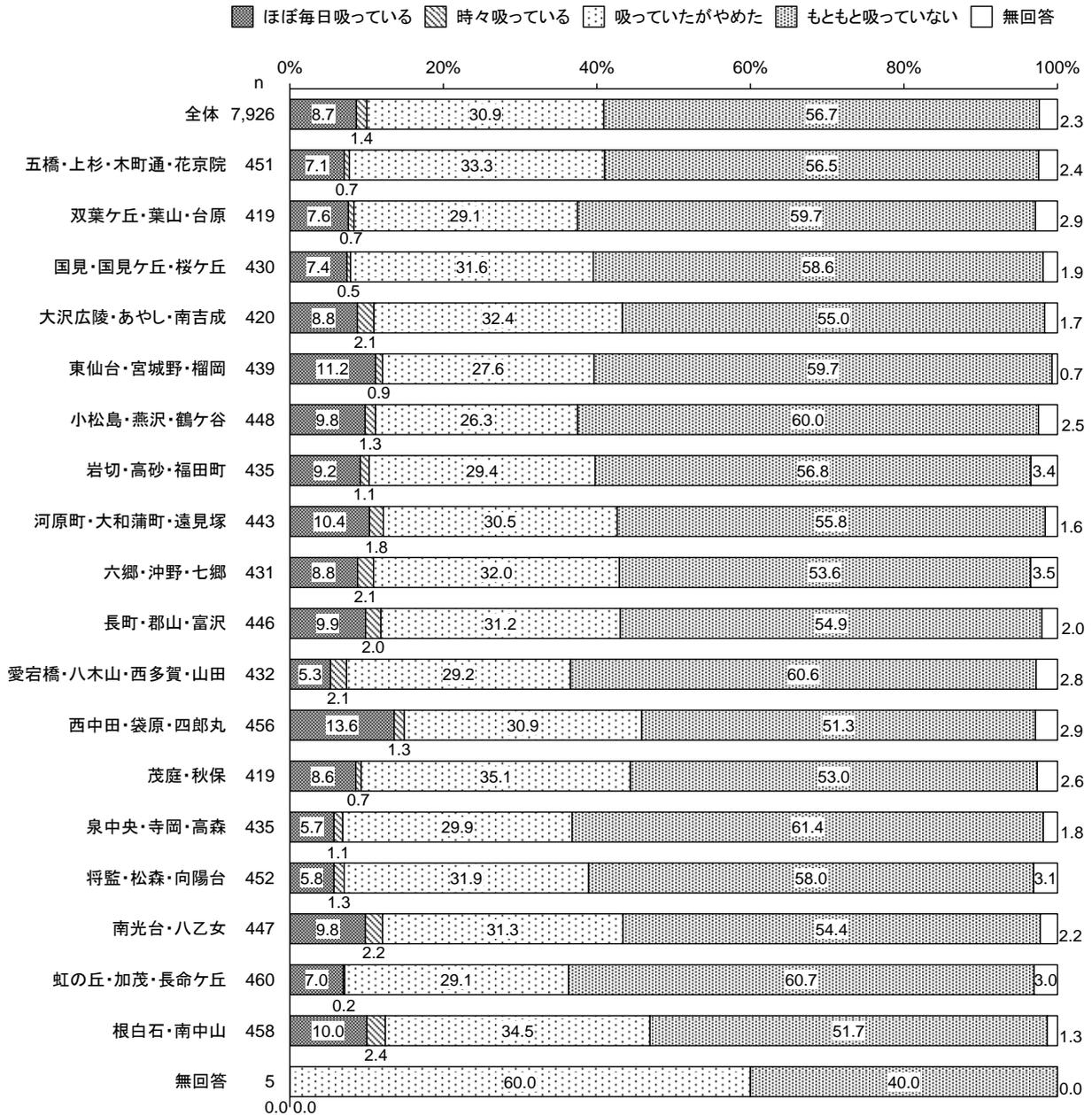
○年齢別にみると、年齢が高くなるにしたがって、「ほぼ毎日吸っている」、「時々吸っている」の割合が少なくなり、「もともと吸っていない」が多くなっています。



○要支援等の認定状況別にみると、要支援1、要支援2では「ほぼ毎日吸っている」、「吸っていたがやめた」の割合が一般高齢者、事業対象者に比べて少なく、「もともと吸っていない」が多くなっています。



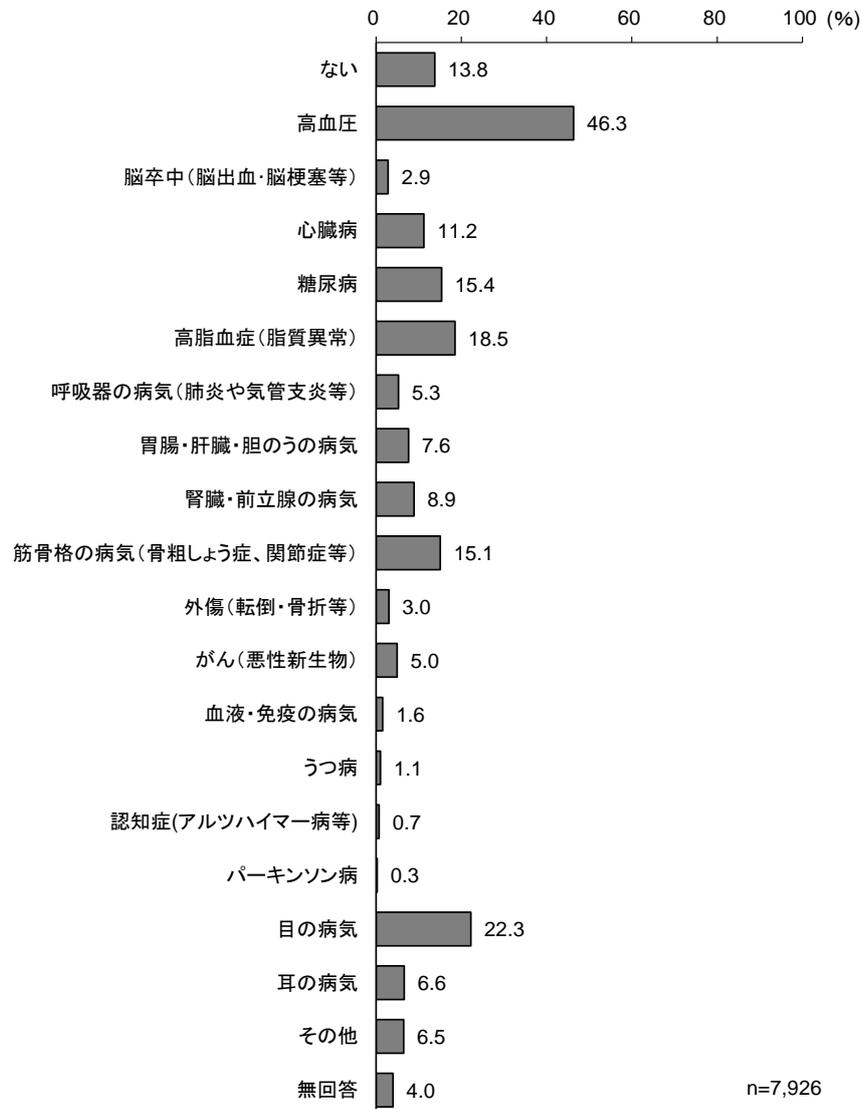
○調査区域別にみると、「ほぼ毎日吸っている」は西中田・袋原・四郎丸が13.6%、「吸っていたがやめた」は茂庭・秋保が35.1%、「もともと吸っていない」は泉中央・寺岡・高森が61.4%と、それぞれ他の調査区に比べて多くなっています。



(6) 治療中、または後遺症のある病気【複数回答】

問11(6) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか(いくつでも)

○現在治療中、または後遺症のある病気は、「高血圧」(46.3%)が最も多く、次いで、「目の病気」(22.3%)、「高脂血症(脂質異常)」(18.5%)となっています。

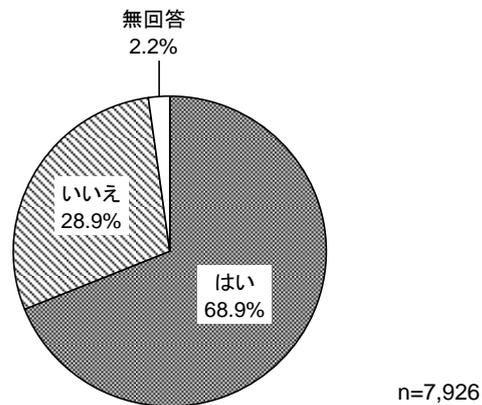


## 10. 健康づくりについて

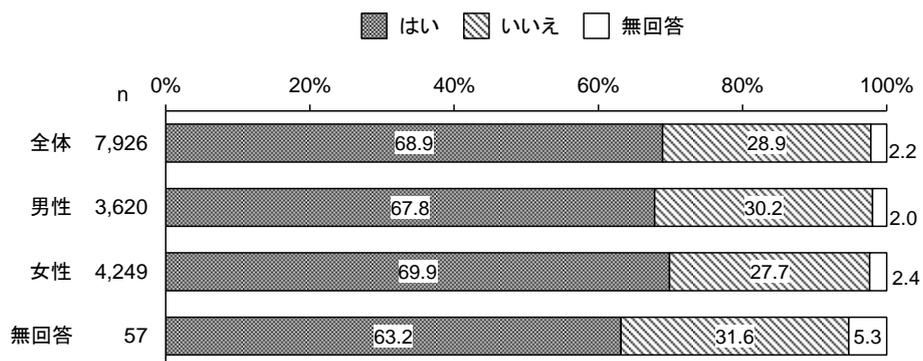
### (1) 健康づくりへの取り組み状況について【単一回答】

問12(1) 健康づくりについて、何か取り組んでいることはありますか

○健康づくりに取り組んでいるかは、「はい」(68.9%)、「いいえ」(28.9%) となっています。

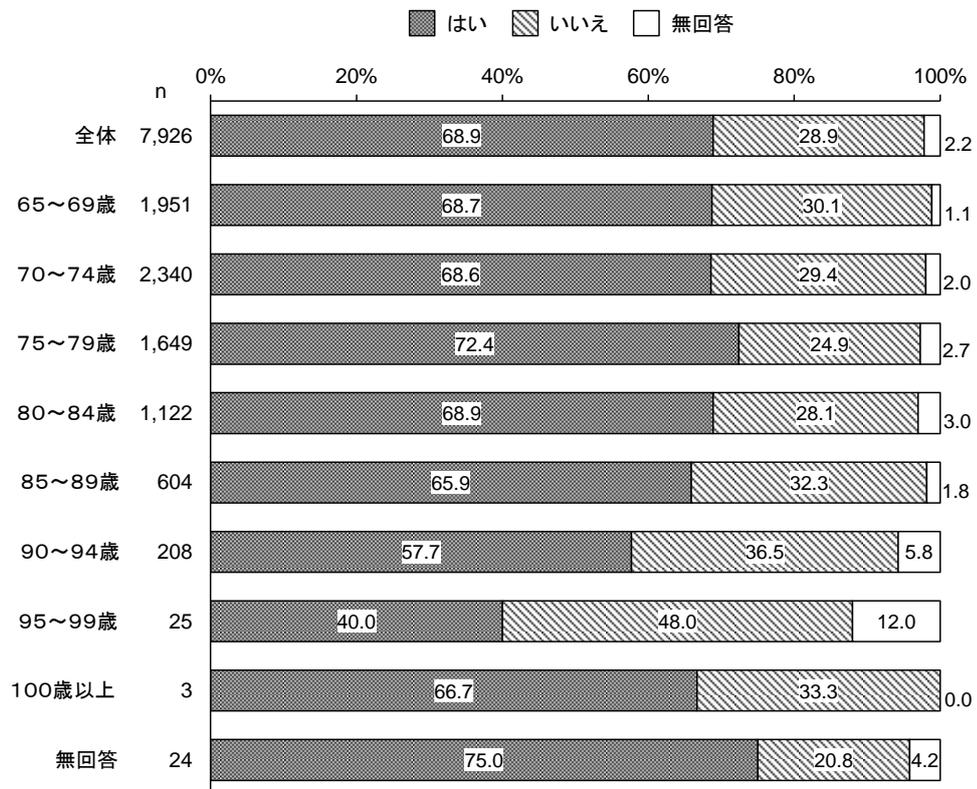


○性別にみると、大きな差はみられませんでした。

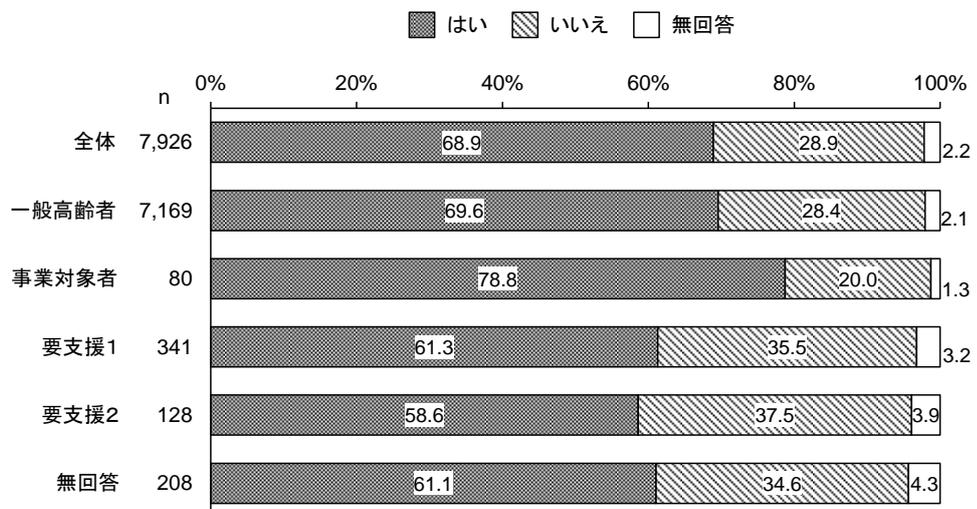


## 第2章 調査結果の分析

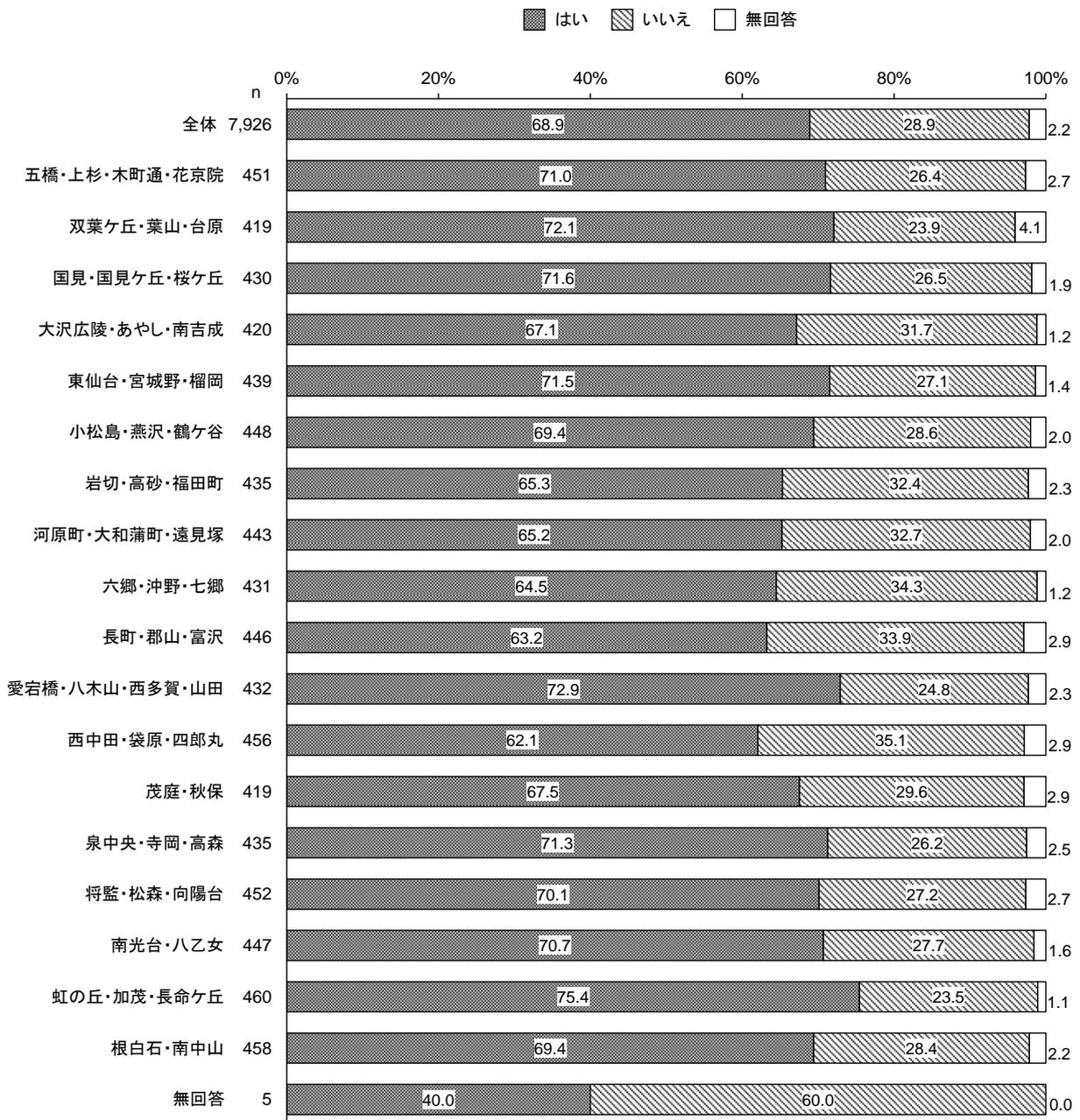
○年齢別にみると、年齢が高くなるにしたがって、「はい」が少なくなっています。



○要支援等の認定状況別にみると、要支援1、要支援2では「はい」が一般高齢者、事業対象者に比べて少なくなっています。



○調査区域別にみると、虹の丘・加茂・長命ヶ丘では「はい」が75.4%と、他の調査区に比べて多くなっており、最も少ない西中田・袋原・四郎丸（62.1%）を13.3ポイント上回っています。



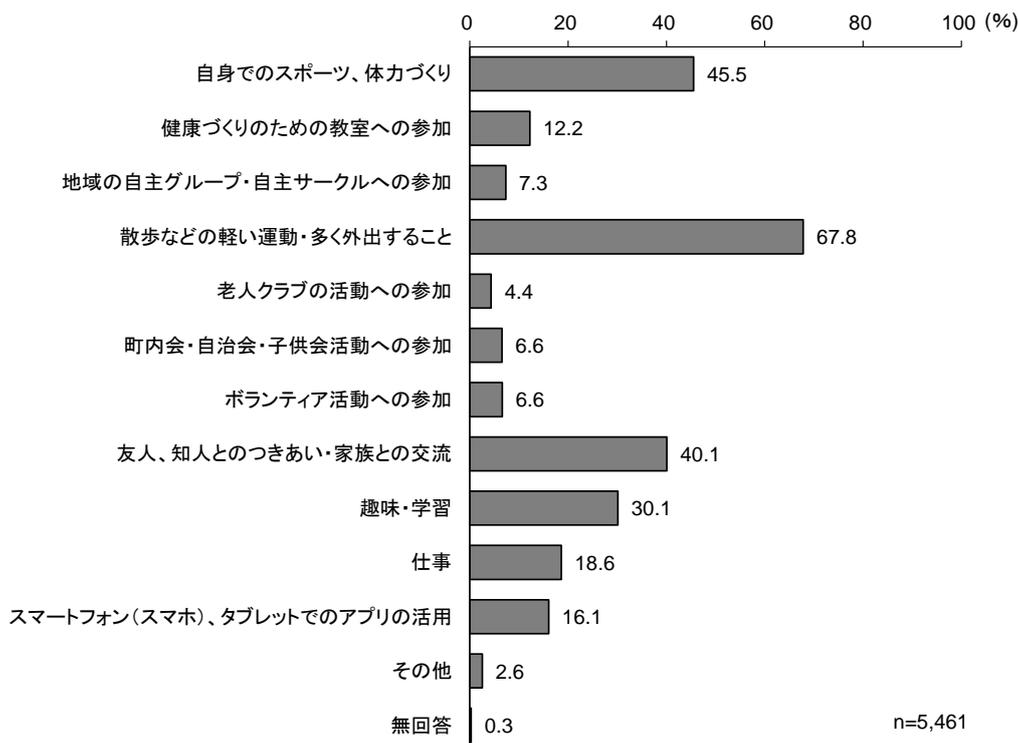
## 第2章 調査結果の分析

### (2)健康づくりの取り組み内容【複数回答】

問12(2) 【(1)で「1. はい」に回答した方におたずねします】

健康づくりとして現在取り組んでいることは何ですか(いくつでも)

○健康づくりの取り組み内容は、「散歩などの軽い運動・多く外出すること」(67.8%)が最も多く、次いで、「自身でのスポーツ、体力づくり」(45.5%)、「友人、知人とのつきあい・家族との交流」(40.1%)となっています。



○性別にみると、男性では「自身でのスポーツ、体力づくり」の割合が51.2%と、女性(40.9%)を10.3ポイント上回っています。一方、女性では、「健康づくりのための教室への参加」(18.7%)で14.1ポイント、「友人、知人とのつきあい・家族との交流」(50.2%)で22.5ポイント男性を上回っています。

	調査数	自身でのスポーツ、体力づくり	健康づくりのための教室への参加	地域の自主グループ・自主サークルへの参加	散歩などの軽い運動・多く外出すること	老人クラブの活動への参加	町内会・自治会・子供会活動への参加	ボランティア活動への参加	友人、知人とのつきあい・家族との交流	趣味・学習	仕事	スマートフォン(スマホ)、タブレットでのアプリの活用	その他	無回答
全体	5,461	2,485	667	400	3,704	238	358	362	2,190	1,646	1,018	877	140	15
上段:件数 下段:%	100.0	45.5	12.2	7.3	67.8	4.4	6.6	6.6	40.1	30.1	18.6	16.1	2.6	0.3
問1 本人の性別														
男性	2,455	1,256	113	152	1,726	103	212	170	681	709	563	302	56	7
	100.0	51.2	4.6	6.2	70.3	4.2	8.6	6.9	27.7	28.9	22.9	12.3	2.3	0.3
女性	2,970	1,216	554	248	1,954	134	142	186	1,491	927	450	568	83	8
	100.0	40.9	18.7	8.4	65.8	4.5	4.8	6.3	50.2	31.2	15.2	19.1	2.8	0.3
無回答	36	13	—	—	24	1	4	6	18	10	5	7	1	—
	100.0	36.1	—	—	66.7	2.8	11.1	16.7	50.0	27.8	13.9	19.4	2.8	—

## 第2章 調査結果の分析

○年齢別にみると、概ね年齢が高くなるにしたがって、「自身でのスポーツ、体力づくり」、「仕事」、「スマートフォン（スマホ）、タブレットでのアプリの活用」の割合が少なくなっています。一方、「老人クラブの活動への参加」では、65～79歳までの年齢層に比べて、80歳以上の年齢層で多くなっています。

調査数	自身でのスポーツ、体力づくり	健康づくりのための教室への参加	地域の自主グループへの参加	散歩などの軽い運動・多く外出すること	老人クラブの活動への参加	町内会・自治会・子供会活動への参加	ボランティア活動への参加	友人、知人とのつきあい・家族との交流	趣味・学習	仕事	スマートフォン（スマホ）の活用	その他	無回答
全体	5,461	2,485	667	3,704	238	358	362	2,190	1,646	1,018	877	140	15
上段:件数 下段:%	100.0	45.5	12.2	7.3	67.8	4.4	6.6	40.1	30.1	18.6	16.1	2.6	0.3

問2 本人の年齢

年齢	調査数	自身でのスポーツ、体力づくり	健康づくりのための教室への参加	地域の自主グループへの参加	散歩などの軽い運動・多く外出すること	老人クラブの活動への参加	町内会・自治会・子供会活動への参加	ボランティア活動への参加	友人、知人とのつきあい・家族との交流	趣味・学習	仕事	スマートフォン（スマホ）の活用	その他	無回答
65～69歳	1,341	657	121	52	841	2	60	66	494	349	440	263	22	2
70～74歳	1,605	765	195	112	1,107	31	102	119	640	476	348	272	33	1
75～79歳	1,194	578	158	106	869	63	89	88	527	417	131	178	18	2
80～84歳	773	315	119	76	557	76	68	67	344	253	66	122	29	4
85～89歳	398	130	54	46	251	48	31	17	142	114	29	31	22	4
90～94歳	120	32	19	8	60	18	7	3	33	30	2	8	14	1
95～99歳	10	3	1	—	4	—	—	—	2	2	—	—	1	1
100歳以上	2	—	—	—	1	—	—	—	—	—	1	—	1	—
無回答	18	5	—	—	14	—	1	2	8	5	1	3	—	—
上段:件数 下段:%	100.0	27.8	—	—	77.8	—	5.6	11.1	44.4	27.8	5.6	16.7	—	—

○要支援等の認定状況別にみると、要支援1、要支援2では「自身でのスポーツ、体力づくり」や「散歩などの軽い運動・多く外出すること」の割合が一般高齢者、事業対象者に比べて少なくなっています。

調査数	自身でのスポーツ、体力づくり	健康づくりのための教室への参加	地域の自主グループへの参加	散歩などの軽い運動・多く外出すること	老人クラブの活動への参加	町内会・自治会・子供会活動への参加	ボランティア活動への参加	友人、知人とのつきあい・家族との交流	趣味・学習	仕事	スマートフォン（スマホ）の活用	その他	無回答
全体	5,461	2,485	667	3,704	238	358	362	2,190	1,646	1,018	877	140	15
上段:件数 下段:%	100.0	45.5	12.2	7.3	67.8	4.4	6.6	40.1	30.1	18.6	16.1	2.6	0.3

問3 要支援等の認定状況について

認定状況	調査数	自身でのスポーツ、体力づくり	健康づくりのための教室への参加	地域の自主グループへの参加	散歩などの軽い運動・多く外出すること	老人クラブの活動への参加	町内会・自治会・子供会活動への参加	ボランティア活動への参加	友人、知人とのつきあい・家族との交流	趣味・学習	仕事	スマートフォン（スマホ）の活用	その他	無回答
一般高齢者	4,987	2,329	586	361	3,419	206	334	340	2,009	1,525	956	818	100	11
事業対象者	63	28	13	2	40	2	5	5	28	17	25	10	—	—
要支援1	209	66	38	21	120	19	10	10	81	61	7	30	20	3
要支援2	75	18	17	8	35	7	5	2	23	15	2	7	17	1
無回答	127	44	13	8	90	4	4	5	49	28	28	12	3	—
上段:件数 下段:%	100.0	34.6	10.2	6.3	70.9	3.1	3.1	3.9	38.6	22.0	22.0	9.4	2.4	—

## 第2章 調査結果の分析

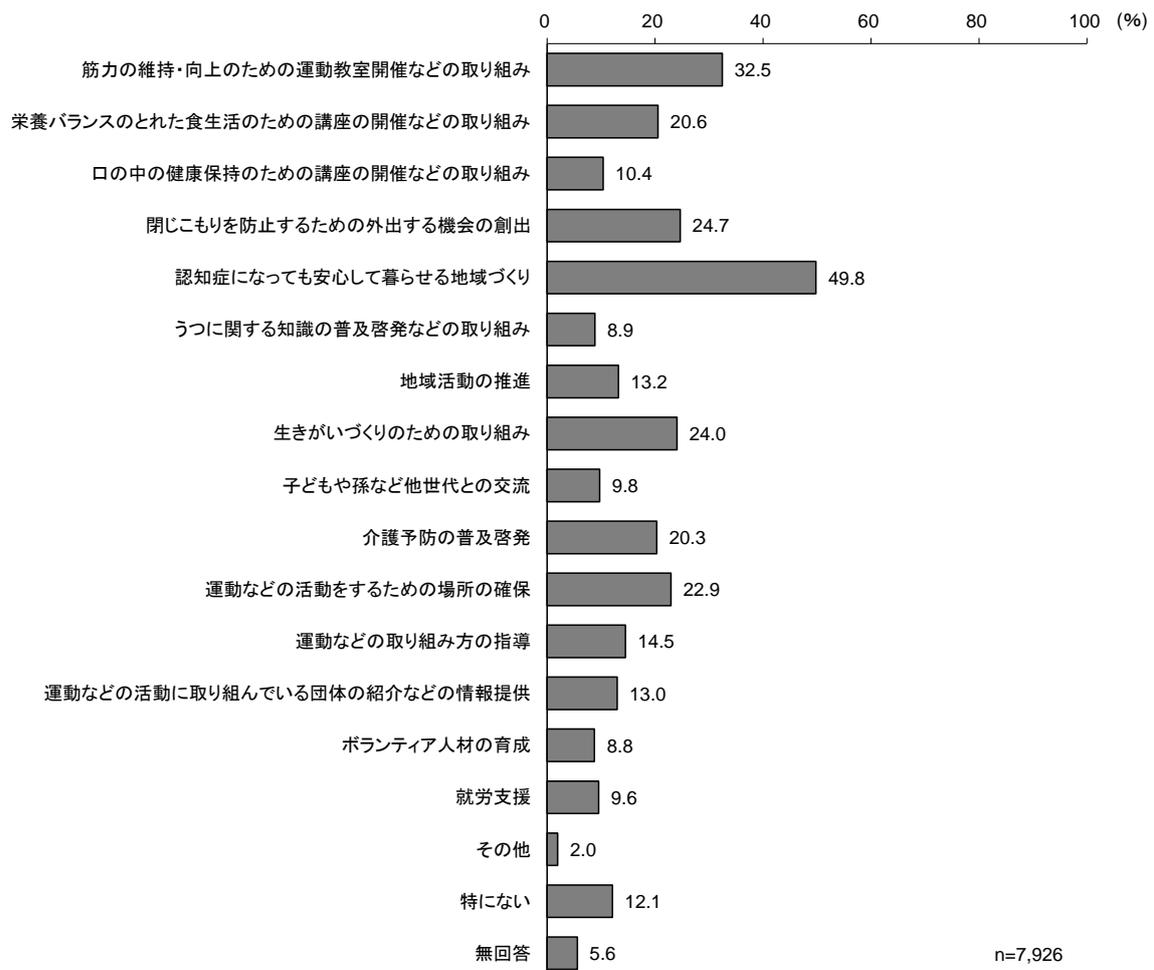
○調査区域別にみると、「散歩などの軽い運動・多く外出すること」が最も多いのは国見・国見ヶ丘・桜ヶ丘で73.4%、最も少ないのは大沢広陵・あやし・南吉成で62.1%となっており、11.3ポイントの差となっています。また、泉中央・寺岡・高森では「自身でのスポーツ、体力づくり」が52.6%と、他の調査区に比べて多くなっています。

	調査数	自身でのスポーツ、体力づくり	健康づくりのための教室への参加	地域の自主グループへの参加	散歩などの軽い運動・多く外出すること	老人クラブの活動への参加	町内会・自治会・子供会活動への参加	ボランティア活動への参加	友人、知人とのつきあい・家族との交流	趣味・学習	仕事	スマートフォン（スマホ）の活用	その他	無回答
上段:件数 下段:%														
全体	5,461 100.0	2,485 45.5	667 12.2	400 7.3	3,704 67.8	238 4.4	358 6.6	362 6.6	2,190 40.1	1,646 30.1	1,018 18.6	877 16.1	140 2.6	15 0.3
調査区域														
五橋・上杉・木町通・花京院	320 100.0	140 43.8	41 12.8	9 2.8	221 69.1	10 3.1	19 5.9	14 4.4	118 36.9	88 27.5	76 23.8	48 15.0	7 2.2	1 0.3
双葉ヶ丘・葉山・台原	302 100.0	136 45.0	40 13.2	21 7.0	194 64.2	10 3.3	22 7.3	12 4.0	126 41.7	101 33.4	54 17.9	50 16.6	11 3.6	1 0.3
国見・国見ヶ丘・桜ヶ丘	308 100.0	134 43.5	47 15.3	16 5.2	226 73.4	12 3.9	27 8.8	23 7.5	118 38.3	96 31.2	44 14.3	58 18.8	10 3.2	3 1.0
大沢広陵・あやし・南吉成	282 100.0	121 42.9	25 8.9	18 6.4	175 62.1	11 3.9	13 4.6	21 7.4	102 36.2	88 31.2	45 16.0	36 12.8	6 2.1	—
東仙台・宮城野・榴岡	314 100.0	137 43.6	37 11.8	20 6.4	212 67.5	11 3.5	24 7.6	19 6.1	116 36.9	100 31.8	69 22.0	44 14.0	12 3.8	—
小松島・燕沢・鶴ヶ谷	311 100.0	137 44.1	51 16.4	35 11.3	215 69.1	22 7.1	20 6.4	20 6.4	123 39.5	91 29.3	53 17.0	48 15.4	11 3.5	1 0.3
岩切・高砂・福田町	284 100.0	132 46.5	37 13.0	25 8.8	189 66.5	13 4.6	22 7.7	17 6.0	129 45.4	76 26.8	57 20.1	45 15.8	7 2.5	—
河原町・大和蒲町・遠見塚	289 100.0	143 49.5	39 13.5	19 6.6	194 67.1	14 4.8	18 6.2	25 8.7	132 45.7	83 28.7	49 17.0	43 14.9	9 3.1	—
六郷・沖野・七郷	278 100.0	120 43.2	35 12.6	23 8.3	192 69.1	8 2.9	22 7.9	15 5.4	106 38.1	81 29.1	60 21.6	46 16.5	7 2.5	—
長町・郡山・富沢	282 100.0	132 46.8	31 11.0	10 3.5	194 68.8	15 5.3	18 6.4	15 5.3	111 39.4	82 29.1	58 20.6	53 18.8	6 2.1	2 0.7
愛宕橋・八木山・西多賀・山田	315 100.0	141 44.8	41 13.0	28 8.9	205 65.1	24 7.6	24 7.6	32 10.2	135 42.9	106 33.7	42 13.3	58 18.4	13 4.1	—
西中田・袋原・四郎丸	283 100.0	117 41.3	30 10.6	23 8.1	194 68.6	21 7.4	20 7.1	21 7.4	123 43.5	89 31.4	47 16.6	41 14.5	3 1.1	1 0.4
茂庭・秋保	283 100.0	126 44.5	25 8.8	21 7.4	203 71.7	11 3.9	22 7.8	12 4.2	109 38.5	81 28.6	58 20.5	46 16.3	8 2.8	1 0.4
泉中央・寺岡・高森	310 100.0	163 52.6	35 11.3	23 7.4	217 70.0	8 2.6	21 6.8	28 9.0	117 37.7	95 30.6	69 22.3	52 16.8	6 1.9	1 0.3
将監・松森・向陽台	317 100.0	162 51.1	42 13.2	24 7.6	210 66.2	15 4.7	14 4.4	22 6.9	128 40.4	86 27.1	55 17.4	51 16.1	5 1.6	1 0.3
南光台・八乙女	316 100.0	141 44.6	28 8.9	26 8.2	212 67.1	7 2.2	19 6.0	19 6.0	127 40.2	93 29.4	54 17.1	45 14.2	9 2.8	2 0.6
虹の丘・加茂・長命ヶ丘	347 100.0	156 45.0	52 15.0	42 12.1	240 69.2	17 4.9	13 3.7	34 9.8	140 40.3	111 32.0	53 15.3	60 17.3	4 1.2	—
根白石・南中山	318 100.0	145 45.6	30 9.4	17 5.3	209 65.7	9 2.8	20 6.3	13 4.1	130 40.9	98 30.8	74 23.3	52 16.4	6 1.9	1 0.3
無回答	2 100.0	2 100.0	1 50.0	—	2 100.0	—	—	—	—	1 50.0	1 50.0	1 50.0	—	—

## (3) 今後、仙台市に力を入れて欲しい取り組み【複数回答】

問12(3) いつまでも自立していきいきと生活するには、健康づくりに取り組むことが重要となります。  
 今後、仙台市に力を入れて欲しい取り組みは、次のうちどれですか(いくつでも)

○今後、仙台市に力を入れて欲しい取り組みは、「認知症になっても安心して暮らせる地域づくり」(49.8%) が最も多く、次いで、「筋力の維持・向上のための運動教室開催などの取り組み」(32.5%)、「閉じこもりを防止するための外出する機会の創出」(24.7%) となっています。



## 第2章 調査結果の分析

○性別にみると、男性では「運動などの活動をするための場所の確保」の割合が 26.9%と女性（19.6%）に比べて多くなっています。一方、女性では「筋力の維持・向上のための運動教室開催などの取り組み」（36.5%）、「栄養バランスのとれた食生活のための講座の開催などの取り組み」（24.5%）、「認知症になっても安心して暮らせる地域づくり」（54.5%）が男性に比べて多くなっています。

	調査数	運動教室の維持・向上のための取り組み	栄養バランスのとれた食生活のための講座の開催などの取り組み	講座の開催などの取り組み	口の中の健康保持のための講座の開催などの取り組み	外出する機会を創出するための取り組み	閉じこもりを防止するための取り組み	暮らせる地域づくり	認知症になっても安心して暮らせる地域づくり	うつに関する知識の普及啓発などの取り組み	地域活動の推進	生きがいづくりのための取り組み	子どもや孫など他世代との交流	介護予防の普及啓発	運動などの活動をするための場所の確保	運動などの取り組み方の指導	運動団体の紹介などの情報提供	ボランティア人材の育成	就労支援	その他	特になし	無回答
全体	7,926 100.0	2,572 32.5	1,629 20.6	823 10.4	1,954 24.7	3,947 49.8	703 8.9	1,048 13.2	1,906 24.0	773 9.8	1,611 20.3	1,818 22.9	1,151 14.5	1,028 13.0	696 8.8	757 9.6	156 2.0	960 12.1	444 5.6			
問1 本人の性別																						
男性	3,620 100.0	1,009 27.9	573 15.8	293 8.1	830 22.9	1,604 44.3	278 7.7	554 15.3	887 24.5	338 9.3	667 18.4	974 26.9	514 14.2	416 11.5	307 8.5	426 11.8	85 2.3	496 13.7	180 5.0			
女性	4,249 100.0	1,550 36.5	1,043 24.5	525 12.4	1,109 26.1	2,316 54.5	420 9.9	488 11.5	1,005 23.7	428 10.1	933 22.0	831 19.6	631 14.9	606 14.3	384 9.0	326 7.7	70 1.6	461 10.8	256 6.0			
無回答	57 100.0	13 22.8	13 22.8	5 8.8	15 26.3	27 47.4	5 8.8	6 10.5	14 24.6	7 12.3	11 19.3	13 22.8	6 10.5	6 10.5	5 8.8	5 8.8	1 1.8	3 5.3	8 14.0			

○年齢別にみると、概ね年齢が高くなるにしたがって、「筋力の維持・向上のための運動教室開催などの取り組み」、「運動などの活動をするための場所の確保」、「就労支援」の割合が少なくなっています。

	調査数	運動教室の維持・向上のための取り組み	栄養バランスのとれた食生活のための講座の開催などの取り組み	講座の開催などの取り組み	口の中の健康保持のための講座の開催などの取り組み	外出する機会を創出するための取り組み	閉じこもりを防止するための取り組み	暮らせる地域づくり	認知症になっても安心して暮らせる地域づくり	うつに関する知識の普及啓発などの取り組み	地域活動の推進	生きがいづくりのための取り組み	子どもや孫など他世代との交流	介護予防の普及啓発	運動などの活動をするための場所の確保	運動などの取り組み方の指導	運動団体の紹介などの情報提供	ボランティア人材の育成	就労支援	その他	特になし	無回答
全体	7,926 100.0	2,572 32.5	1,629 20.6	823 10.4	1,954 24.7	3,947 49.8	703 8.9	1,048 13.2	1,906 24.0	773 9.8	1,611 20.3	1,818 22.9	1,151 14.5	1,028 13.0	696 8.8	757 9.6	156 2.0	960 12.1	444 5.6			
問2 本人の年齢																						
65～69歳	1,951 100.0	701 35.9	412 21.1	216 11.1	550 28.2	951 48.7	190 9.7	253 13.0	550 28.2	190 9.7	410 21.0	521 26.7	325 16.7	325 16.7	208 10.7	365 18.7	38 1.9	186 9.5	57 2.9			
70～74歳	2,340 100.0	788 33.7	483 20.6	246 10.5	569 24.3	1,174 50.2	210 9.0	333 14.2	573 24.5	218 9.3	435 18.6	596 25.5	358 15.3	351 15.0	227 9.7	247 10.6	40 1.7	288 12.3	96 4.1			
75～79歳	1,649 100.0	506 30.7	313 19.0	149 9.0	373 22.6	845 51.2	135 8.2	212 12.9	360 21.8	145 8.8	341 20.7	352 21.3	231 14.0	183 11.1	102 6.2	88 5.3	37 2.2	195 11.8	123 7.5			
80～84歳	1,122 100.0	353 31.5	248 22.1	132 11.8	275 24.5	557 49.6	98 8.7	150 13.4	252 22.5	120 10.7	238 21.2	233 20.8	149 13.3	96 8.6	95 8.5	33 2.9	25 2.2	145 12.9	93 8.3			
85～89歳	604 100.0	173 28.6	115 19.0	57 9.4	144 23.8	301 49.8	56 9.3	76 12.6	128 21.2	65 10.8	131 21.7	87 14.4	63 10.4	58 9.6	44 7.3	15 2.5	10 1.7	99 16.4	45 7.5			
90～94歳	208 100.0	42 20.2	48 23.1	20 9.6	33 15.9	93 44.7	11 5.3	21 10.1	32 15.4	29 13.9	51 24.5	22 10.6	12 5.8	16 7.7	6 3.3	5 2.4	37 17.8	24 11.5				
95～99歳	25 100.0	1 4.0	2 8.0	2 8.0	4 16.0	11 44.0	1 4.0	2 8.0	3 12.0	3 12.0	3 12.0	3 12.0	3 12.0	1 4.0	1 4.0	2 8.0	1 4.0	—	9 36.0	3 12.0		
100歳以上	3 100.0	2 66.7	1 33.3	1 33.3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
無回答	24 100.0	6 25.0	7 29.2	—	6 25.0	14 58.3	2 8.3	1 4.2	8 33.3	2 8.3	2 8.3	4 16.7	2 8.3	2 8.3	1 4.2	2 8.3	1 4.2	1 4.2	1 4.2	2 8.3		

## 第2章 調査結果の分析

○要支援等の認定状況別にみると、要支援1、要支援2では「運動などの活動をするための場所の確保」、「就労支援」の割合が一般高齢者、事業対象者に比べて少なくなっています。

	調査数	運動力の維持・向上のための取り組み	栄養バランスの講義などの開催	講座の開催などの取り組み	口の中の健康保持のための取り組み	外出する機会を創出するための取り組み	閉じこもりを防止するための取り組み	暮らせる地域づくり	認知症になっても安心して暮らせる地域づくり	うつに関する知識の普及啓発	地域活動の推進	生きがいづくりのための取り組み	子どもや孫など他世代との交流	介護予防の普及啓発	運動などの活動をするための場所の確保	運動などの取り組み方の指導	運動団体の紹介などの情報提供	ボランティア人材の育成	就労支援	その他	特になし	無回答
全体	7,926 100.0	2,572 32.5	1,629 20.6	823 10.4	1,954 24.7	3,947 49.8	703 8.9	1,048 13.2	1,906 24.0	773 9.8	1,611 20.3	1,818 22.9	1,151 14.5	1,028 13.0	696 8.8	757 9.6	156 2.0	960 12.1	444 5.6			
問3 要支援等の認定状況について																						
一般高齢者	7,169 100.0	2,349 32.8	1,457 20.3	734 10.2	1,782 24.9	3,583 50.0	624 8.7	961 13.4	1,766 24.6	687 9.6	1,437 20.0	1,696 23.7	1,055 14.7	955 13.3	626 8.7	723 10.1	140 2.0	867 12.1	367 5.1			
事業対象者	80 100.0	27 33.8	13 16.3	6 7.5	13 16.3	26 32.5	4 5.0	7 8.8	16 20.0	13 16.3	13 16.3	20 25.0	11 13.8	6 7.5	4 5.0	8 10.0	1 1.3	10 12.5	2 2.5			
要支援1	341 100.0	117 34.3	95 27.9	48 14.1	90 26.4	174 51.0	44 12.9	47 13.8	55 16.1	40 11.7	99 29.0	57 16.7	43 12.6	38 11.1	35 10.3	10 2.9	9 2.6	36 10.6	32 9.4			
要支援2	128 100.0	32 25.0	29 22.7	17 13.3	27 21.1	62 48.4	10 7.8	11 8.6	20 15.6	14 10.9	31 24.2	17 13.3	19 14.8	12 9.4	12 9.4	3 2.3	3 2.3	20 15.6	18 14.1			
無回答	208 100.0	47 22.6	35 16.8	18 8.7	42 20.2	102 49.0	21 10.1	22 10.6	49 23.6	19 9.1	31 14.9	28 13.5	23 11.1	17 8.2	19 9.1	13 6.3	3 1.4	27 13.0	25 12.0			

## 第2章 調査結果の分析

○調査区域別にみると、「閉じこもりを防止するための外出する機会の創出」は大沢広陵・あやし・南吉成が19.8%、「生きがいくりのための取り組み」についても大沢広陵・あやし・南吉成が18.1%と、他の調査区に比べて少なくなっています。また、「筋力の維持・向上のための運動教室開催などの取り組み」は虹の丘・加茂・長命ヶ丘が37.0%と他の調査区に比べて多く、最も少ない南光台・八乙女(26.2%)を10.8ポイント上回っています。

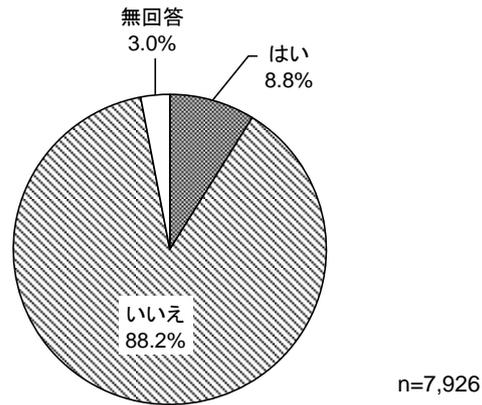
	調査数	筋力の維持・向上のための取り組み	栄養バランスのとれた食生活のための講座などの開催	講座の開催などの取り組み	口の中の健康保持のための講座の開催などの取り組み	閉じこもりを防止するための外出する機会の創出	認知症になっても安心して暮らせる地域づくり	うつに関する知識の普及啓発などの取り組み	地域活動の推進	生きがいくりのための取り組み	子どもや孫など他世代との交流	介護予防の普及啓発	運動などの活動をするための場所の確保	運動などの取り組み方の指導	運動団体の紹介などの情報提供	ボランティア人材の育成	就労支援	その他	特になし	無回答
全体	7,926 100.0	2,572 32.5	1,629 20.6	823 10.4	1,954 24.7	3,947 49.8	703 8.9	1,048 13.2	1,906 24.0	773 9.8	1,611 20.3	1,818 22.9	1,151 14.5	1,028 13.0	696 8.8	757 9.6	156 2.0	960 12.1	444 5.6	
調査区域																				
五橋・上杉・木町通・花京院	451 100.0	155 34.4	92 20.4	46 10.2	123 27.3	215 47.7	37 8.2	58 12.9	108 23.9	42 9.3	93 20.6	113 25.1	65 14.4	65 14.4	39 8.6	43 9.5	8 1.8	54 12.0	24 5.3	
双葉ヶ丘・葉山・台原	419 100.0	138 32.9	83 19.8	49 11.7	96 22.9	204 48.7	40 9.5	55 13.1	100 23.9	35 8.4	85 20.3	89 21.2	61 14.6	52 12.4	44 10.5	34 8.1	12 2.9	50 11.9	24 5.7	
国見・国見ヶ丘・桜ヶ丘	430 100.0	134 31.2	99 23.0	56 13.0	106 24.7	216 50.2	30 7.0	36 8.4	103 24.0	43 10.0	86 20.0	112 26.0	68 15.8	55 12.8	25 5.8	39 9.1	10 2.3	55 12.8	19 4.4	
大沢広陵・あやし・南吉成	420 100.0	124 29.5	82 19.5	40 9.5	83 19.8	213 50.7	33 7.9	58 13.8	76 18.1	33 7.9	87 20.7	96 22.9	56 13.3	43 10.2	27 6.4	38 9.0	8 1.9	55 13.1	23 5.5	
東仙台・宮城野・榴岡	439 100.0	152 34.6	103 23.5	48 10.9	110 25.1	196 44.6	38 8.7	56 12.8	105 23.9	41 9.3	90 20.5	106 24.1	59 13.4	65 14.8	36 8.2	50 11.4	7 1.6	60 13.7	15 3.4	
小松島・燕沢・鶴ヶ谷	448 100.0	136 30.4	95 21.2	40 8.9	119 26.6	222 49.6	37 8.3	81 18.1	113 25.2	45 10.0	99 22.1	102 22.8	78 17.4	64 14.3	50 11.2	47 10.5	4 0.9	67 15.0	21 4.7	
岩切・高砂・福田町	435 100.0	147 33.8	81 18.6	37 8.5	116 26.7	228 52.4	43 9.9	58 13.3	95 21.8	43 9.9	79 18.2	89 20.5	59 13.6	47 10.8	43 9.9	34 7.8	11 2.5	41 9.4	33 7.6	
河原町・大和蒲町・遠見塚	443 100.0	141 31.8	85 19.2	36 8.1	115 26.0	226 51.0	40 9.0	67 15.1	93 21.0	45 10.2	91 20.5	89 20.1	56 12.6	51 11.5	27 6.1	43 9.7	5 1.1	57 12.9	31 7.0	
六郷・沖野・七郷	431 100.0	122 28.3	78 18.1	34 7.9	96 22.3	202 46.9	39 9.0	51 11.8	96 22.3	56 13.0	82 19.0	93 21.6	51 11.8	43 10.0	34 7.9	35 8.1	5 1.2	56 13.0	34 7.9	
長町・郡山・富沢	446 100.0	147 33.0	103 23.1	58 13.0	121 27.1	212 47.5	44 9.9	54 12.1	110 24.7	56 12.6	97 21.7	107 24.0	76 17.0	65 14.6	47 10.5	55 12.3	9 2.0	51 11.4	32 7.2	
愛宕橋・八木山・西多賀・山田	432 100.0	152 35.2	80 18.5	51 11.8	99 22.9	183 42.4	42 9.7	53 12.3	111 25.7	45 10.4	90 20.8	94 21.8	56 13.0	37 12.5	37 8.6	29 6.7	15 3.5	66 15.3	33 7.6	
西中台・袋原・四郎丸	456 100.0	134 29.4	88 19.3	39 8.6	107 23.5	229 50.2	32 7.0	47 10.3	118 25.9	38 8.3	82 18.0	94 20.6	64 14.0	55 12.1	35 7.7	44 9.6	8 1.8	56 12.3	28 6.1	
茂庭・秋保	419 100.0	136 32.5	74 17.7	48 11.5	105 25.1	211 50.4	32 7.6	65 15.5	109 26.0	36 8.6	80 19.1	93 22.2	54 12.9	56 13.4	38 9.1	50 11.9	6 1.4	47 11.2	26 6.2	
泉中央・寺岡・高森	435 100.0	155 35.6	97 22.3	46 10.6	114 26.2	231 53.1	47 10.8	59 13.6	122 28.0	52 12.0	78 17.9	118 27.1	71 16.3	58 13.3	40 9.2	44 10.1	2.1	45 10.3	15 3.4	
将監・松森・向陽台	452 100.0	158 35.0	107 23.7	49 10.8	103 22.8	243 53.8	43 9.5	71 15.7	109 24.1	45 10.0	96 21.2	103 22.8	70 15.5	54 11.9	40 8.8	35 7.7	7 1.5	49 10.8	25 5.5	
南光台・八乙女	447 100.0	117 26.2	91 20.4	45 10.1	119 26.6	241 53.9	52 11.6	59 13.2	106 23.7	39 8.7	91 20.4	101 22.6	71 15.9	65 14.5	39 8.7	44 9.8	9 2.0	54 12.1	25 5.6	
虹の丘・加茂・長命ヶ丘	460 100.0	170 37.0	95 20.7	62 13.5	113 24.6	240 52.2	37 8.0	59 12.8	107 23.3	40 8.7	106 23.0	122 26.5	66 14.3	81 17.6	43 9.3	38 8.3	1.7	50 10.9	11 2.4	
根白石・南中山	458 100.0	152 33.2	94 20.5	39 8.5	108 23.6	233 50.9	36 7.9	61 13.3	125 27.3	38 8.3	98 21.4	96 21.0	69 15.1	55 12.0	51 11.1	54 11.8	14 3.1	47 10.3	25 5.5	
無回答	5 100.0	2 40.0	2 40.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

## 11. 認知症について

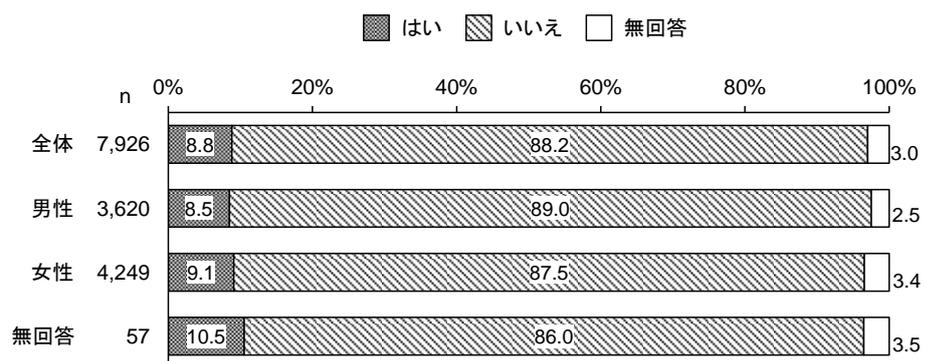
### (1) 認知症の症状の有無又は家族に認知症の症状がある人の有無【単一回答】

問13(1) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか

○認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人の有無は、「はい」(8.8%)、「いいえ」(88.2%) となっています。

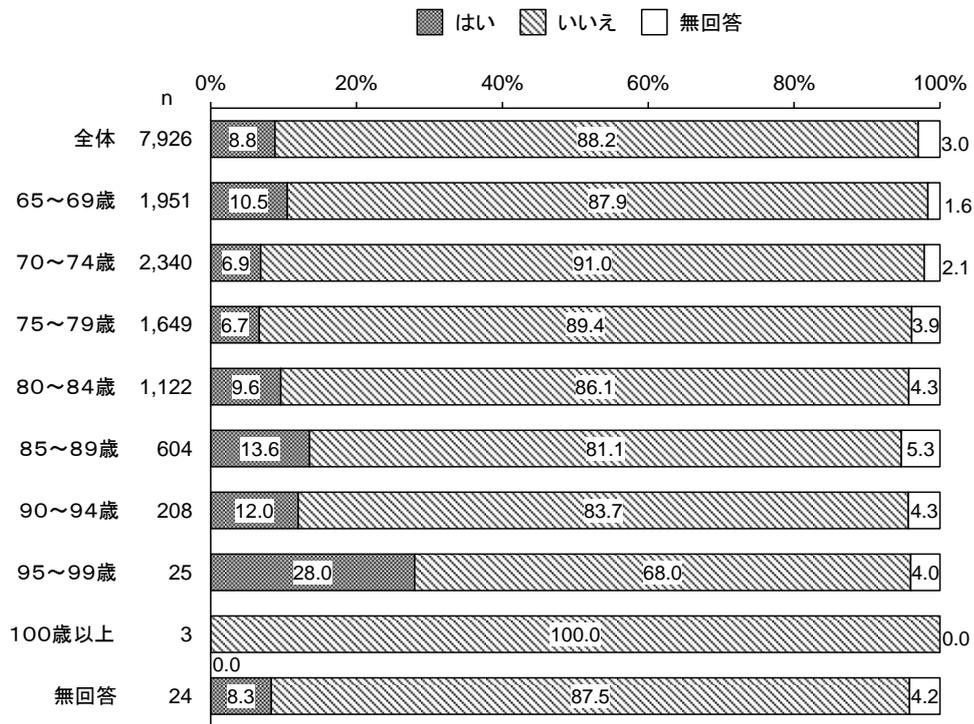


○性別にみると、大きな差はみられませんでした。

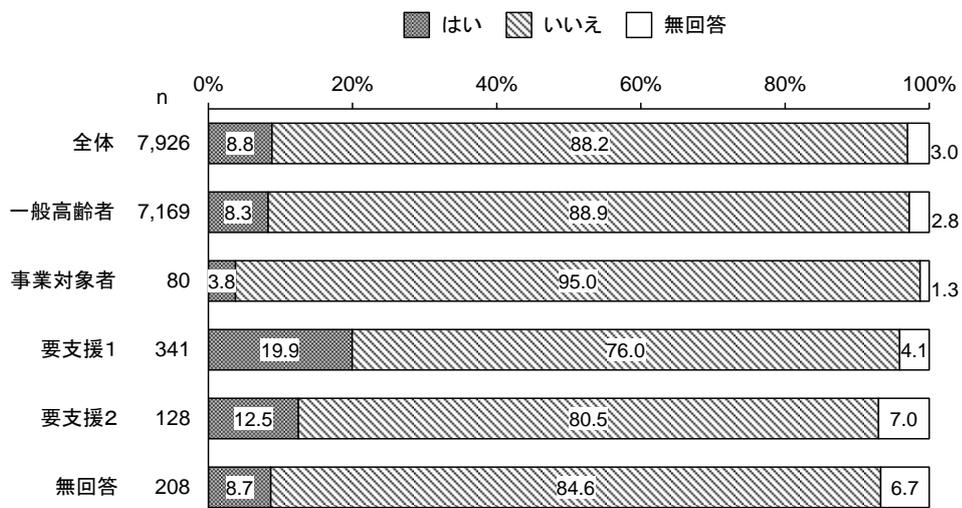


## 第2章 調査結果の分析

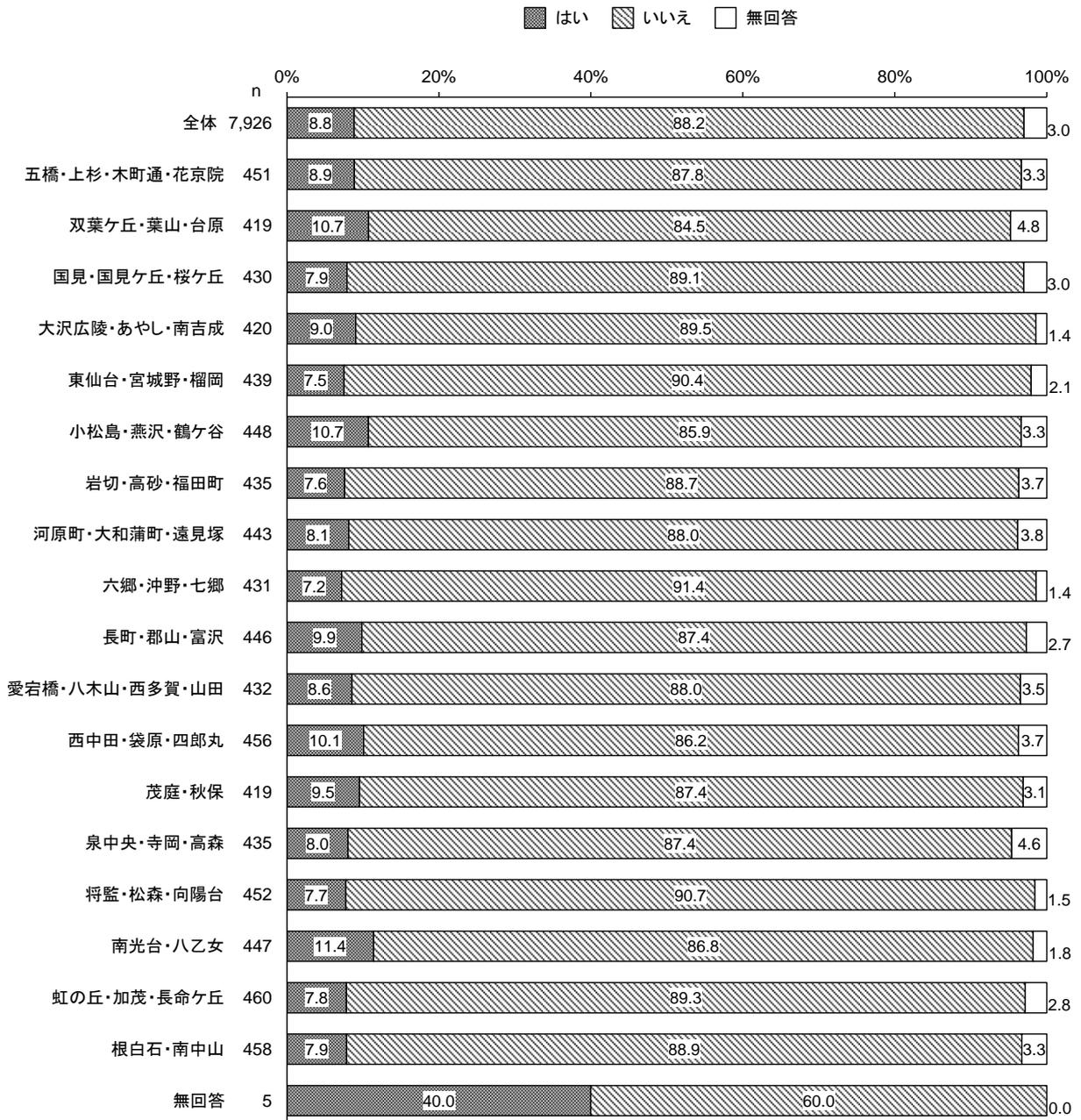
○年齢別にみると、概ね年齢が高くなるにしたがって、「はい」の割合が多くなっています。



○要支援等の認定状況別にみると、要支援1、要支援2では「はい」の割合が一般高齢者、事業対象者に比べて多くなっています。



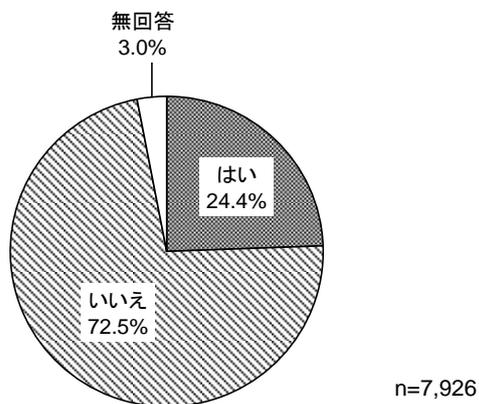
○調査区域別にみると、大きな差はみられませんでした。



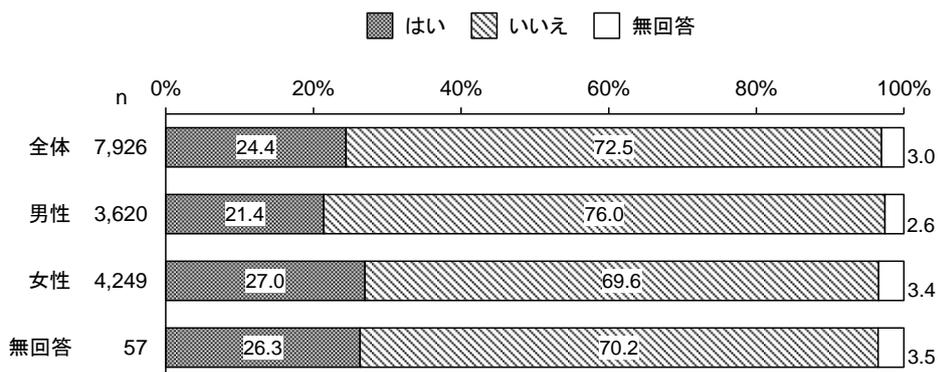
(2) 認知症に関する相談窓口を知っているか【単一回答】

問13(2) 認知症に関する相談窓口を知っていますか

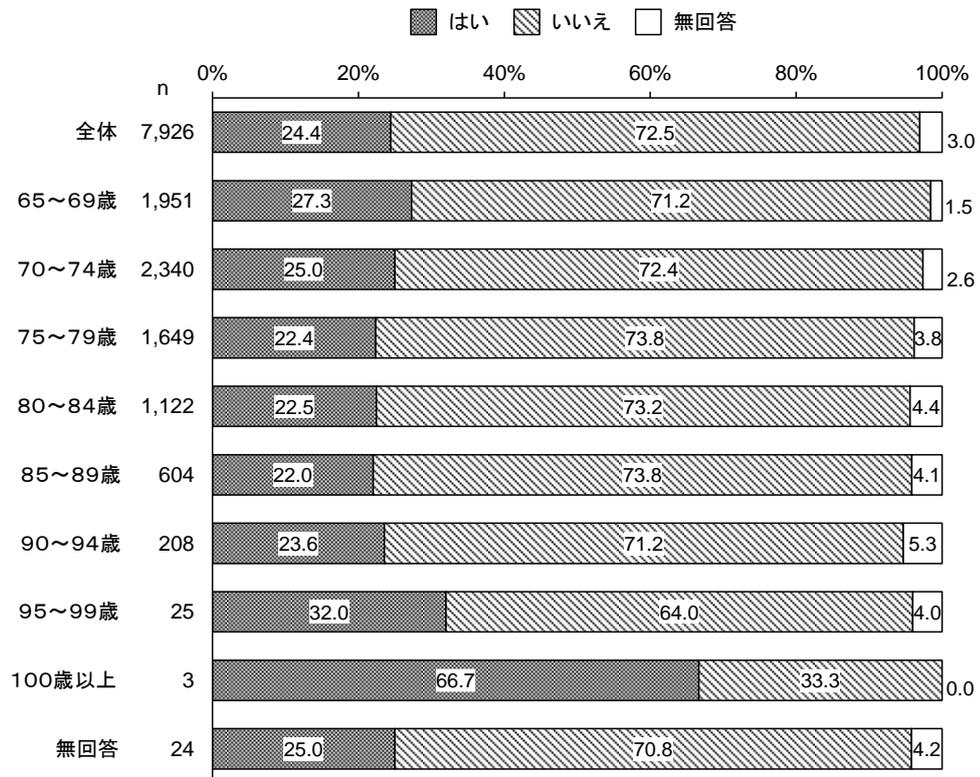
○認知症に関する相談窓口を知っているかは、「はい」(24.4%)、「いいえ」(72.5%) となっています。



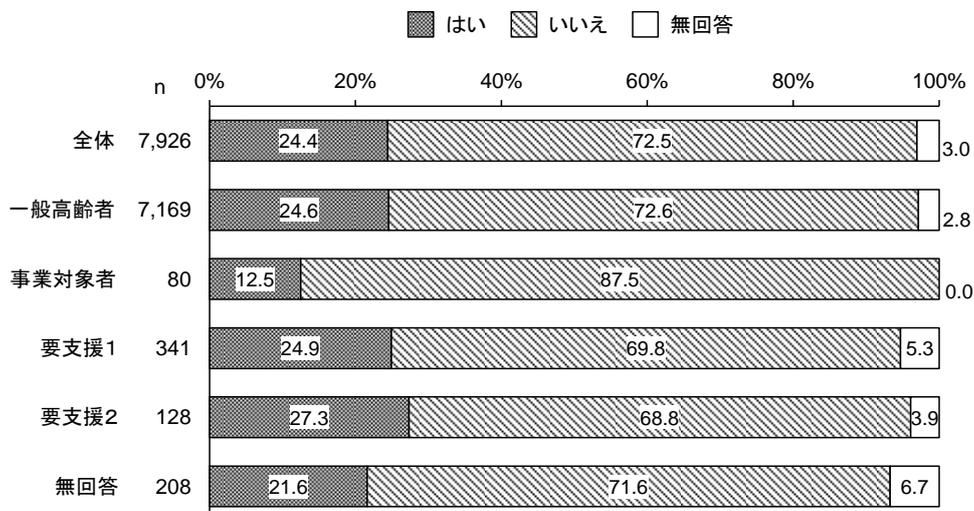
○性別にみると、大きな差はみられませんでした。



○年齢別にみると、95歳以上の年齢層では「はい」が多くなっています。

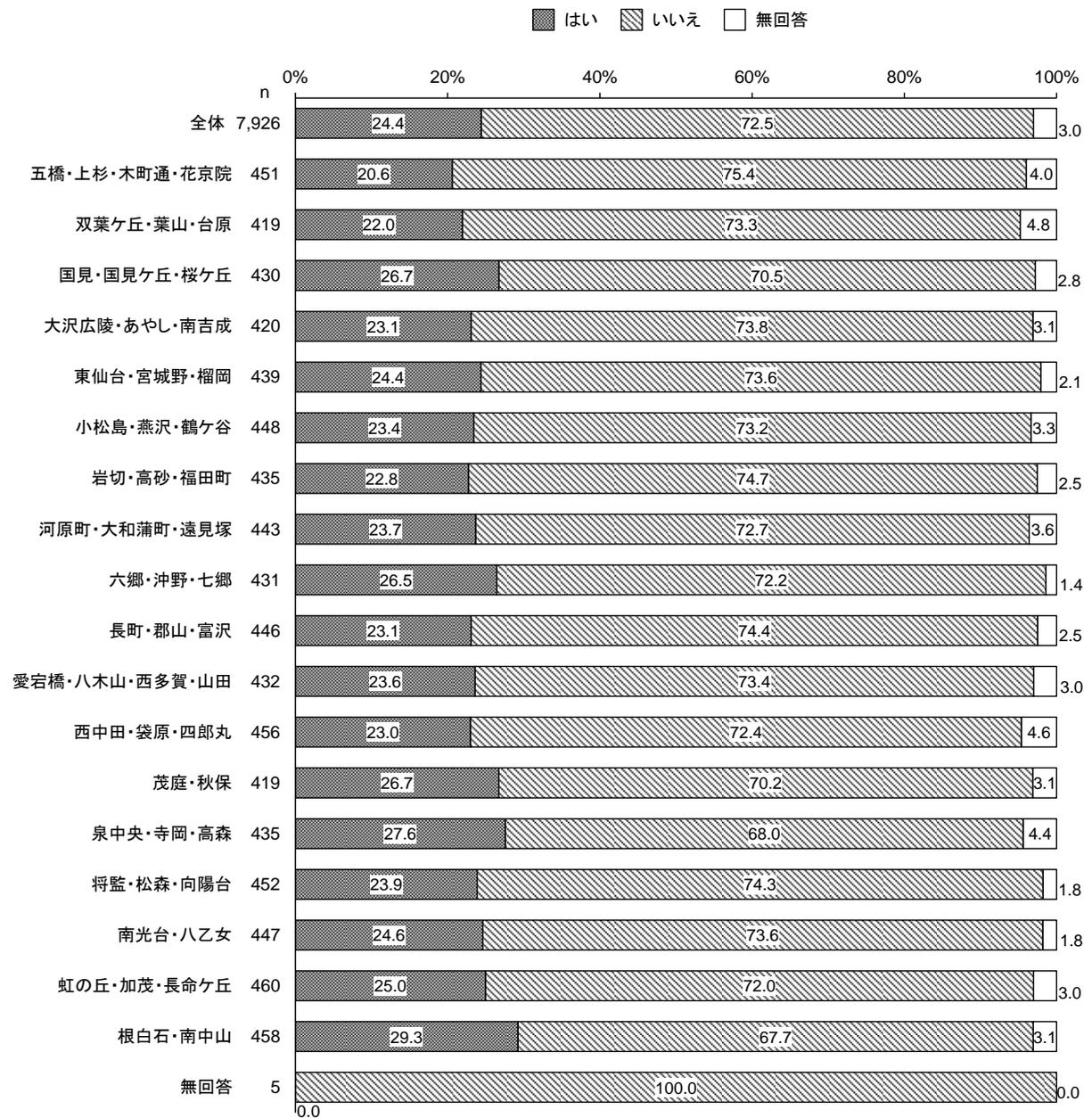


○要支援等の認定状況別にみると、事業対象者では「はい」(12.5%)が一般高齢者、要支援1、要支援2に比べて少なくなっています。



## 第2章 調査結果の分析

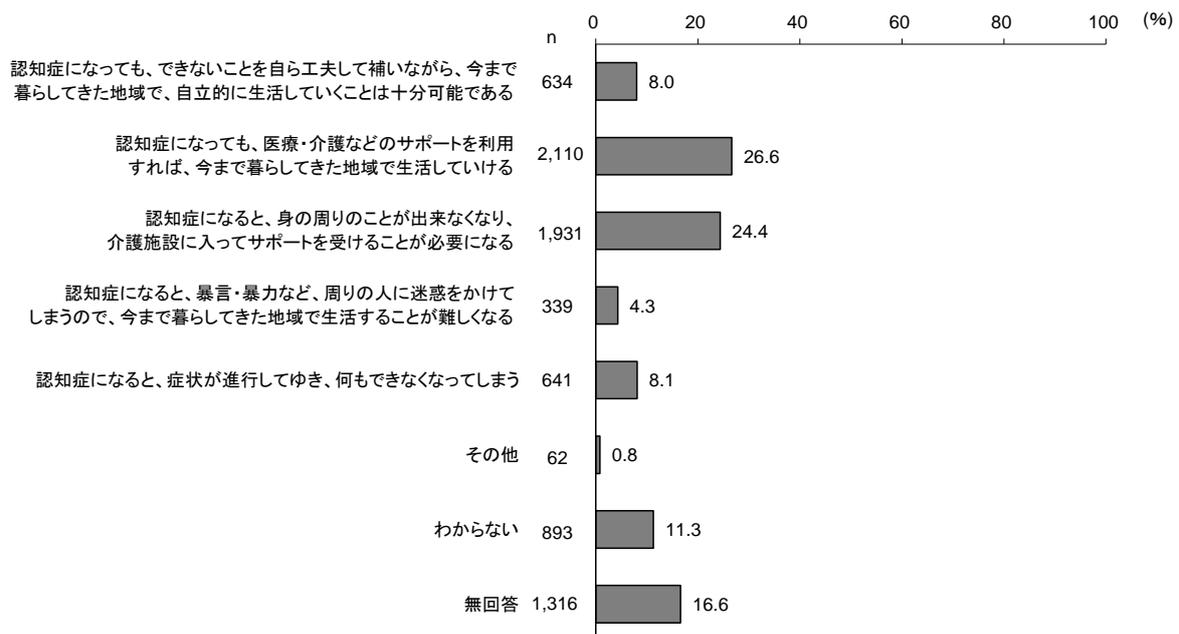
○調査区域別にみると、根白石・南中山では「はい」が29.3%と他の地域に比べて多く、最も少ない五橋・上杉・木町通・花京院（20.6%）を8.7ポイント上回っています。



## (3) 認知症に対するイメージ【単一回答】

問13(3) 認知症に対してどのようなイメージを持っていますか  
(あてはまるもの一つ)

○認知症に対するイメージは、「認知症になっても、医療・介護などのサポートを利用すれば、今まで暮らしてきた地域で生活していける」(26.6%)が最も多く、次いで、「認知症になると、身の周りのことが出来なくなり、介護施設に入ってサポートを受けることが必要になる」(24.4%)、「わからない」(11.3%)となっています。







## 第2章 調査結果の分析

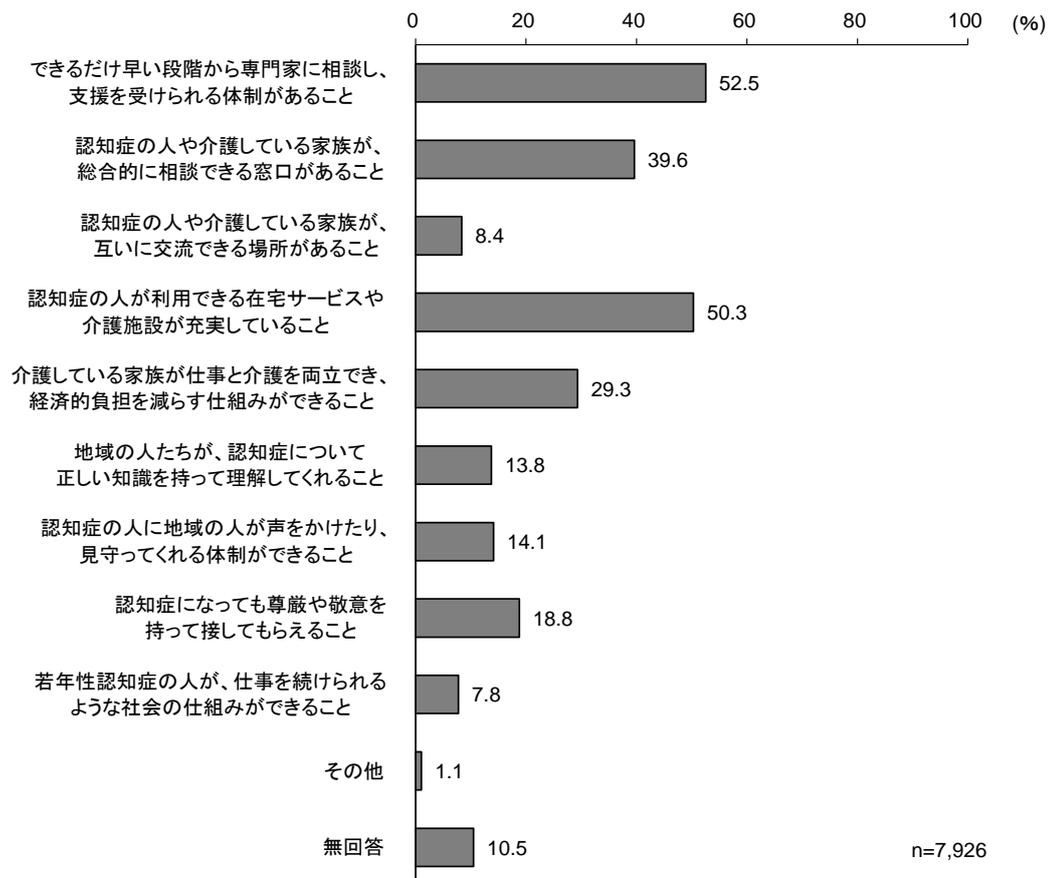
○調査区域別にみると、「認知症になっても、医療・介護などのサポートを利用すれば、今まで暮らしてきた地域で生活していける」は泉中央・寺岡・高森が30.8%と他の調査区に比べて多く、最も少ない西中田・袋原・四郎丸(20.8%)を10.0ポイント上回っています。

	調査数	可立的に生活する	今までの暮らしを工夫していきたくは十分	認知症になっても、利用できる地域で生活	認知症になっても、利用できる地域で生活	認知症になっても、利用できる地域で生活	認知症になっても、利用できる地域で生活	認知症になっても、利用できる地域で生活	その他	わからない	無回答
上段:件数 下段:%											
全体	7,926 100.0	634 8.0	2,110 26.6	1,931 24.4	339 4.3	641 8.1	62 0.8	893 11.3	1,316 16.6		
調査区域											
五橋・上杉・木町通・花京院	451 100.0	39 8.6	126 27.9	104 23.1	17 3.8	29 6.4	4 0.9	43 9.5	89 19.7		
双葉ヶ丘・葉山・台原	419 100.0	31 7.4	127 30.3	100 23.9	17 4.1	24 5.7	6 1.4	48 11.5	66 15.8		
国見・国見ヶ丘・桜ヶ丘	430 100.0	35 8.1	112 26.0	109 25.3	19 4.4	29 6.7	5 1.2	45 10.5	76 17.7		
大沢広陵・あやし・南吉成	420 100.0	28 6.7	112 26.7	100 23.8	18 4.3	35 8.3	3 0.7	55 13.1	69 16.4		
東仙台・宮城野・榴岡	439 100.0	30 6.8	118 26.9	114 26.0	19 4.3	39 8.9	2 0.5	47 10.7	70 15.9		
小松島・燕沢・鶴ヶ谷	448 100.0	42 9.4	126 28.1	103 23.0	16 3.6	33 7.4	4 0.9	51 11.4	73 16.3		
岩切・高砂・福田町	435 100.0	28 6.4	110 25.3	97 22.3	19 4.4	44 10.1	2 0.5	56 12.9	79 18.2		
河原町・大和蒲町・遠見塚	443 100.0	32 7.2	112 25.3	107 24.2	11 2.5	36 8.1	6 1.4	56 12.6	83 18.7		
六郷・沖野・七郷	431 100.0	28 6.5	112 26.0	107 24.8	14 3.2	41 9.5	1 0.2	48 11.1	80 18.6		
長町・郡山・富沢	446 100.0	35 7.8	110 24.7	121 27.1	22 4.9	48 10.8	4 0.9	40 9.0	66 14.8		
愛宕橋・八木山・西多賀・山田	432 100.0	39 9.0	98 22.7	90 20.8	17 3.9	34 7.9	2 0.5	58 13.4	94 21.8		
西中田・袋原・四郎丸	456 100.0	30 6.6	95 20.8	102 22.4	28 6.1	47 10.3	4 0.9	60 13.2	90 19.7		
茂庭・秋保	419 100.0	41 9.8	117 27.9	88 21.0	18 4.3	32 7.6	3 0.7	52 12.4	68 16.2		
泉中央・寺岡・高森	435 100.0	39 9.0	134 30.8	117 26.9	16 3.7	33 7.6	1 0.2	42 9.7	53 12.2		
将監・松森・向陽台	452 100.0	33 7.3	133 29.4	113 25.0	18 4.0	27 6.0	5 1.1	57 12.6	66 14.6		
南光台・八乙女	447 100.0	35 7.8	104 23.3	114 25.5	28 6.3	44 9.8	1 0.2	49 11.0	72 16.1		
虹の丘・加茂・長命ヶ丘	460 100.0	48 10.4	135 29.3	116 25.2	22 4.8	28 6.1	4 0.9	46 10.0	61 13.3		
根白石・南中山	458 100.0	41 9.0	129 28.2	128 27.9	20 4.4	38 8.3	5 1.1	38 8.3	59 12.9		
無回答	5 100.0	—	—	—	1 20.0	—	—	2 40.0	2 40.0		

## (4) 認知症になっても安心して生活するために必要なこと【複数回答】

問13(4) 認知症になっても安心して生活するには、どのようなことが必要と考えますか  
(あてはまるもの3つまで)

○認知症になっても安心して生活するために必要なことは、「できるだけ早い段階から専門家に相談し、支援を受けられる体制があること」(52.5%)が最も多く、次いで、「認知症の人が利用できる在宅サービスや介護施設が充実していること」(50.3%)、「認知症の人や介護している家族が、総合的に相談できる窓口があること」(39.6%)、「認知症の人や介護している家族が、互いに交流できる場所があること」(8.4%)となっています。



## 第2章 調査結果の分析

○性別にみると、男性では「認知症の人や介護している家族が、総合的に相談できる窓口があること」(42.8%)が女性(37.0%)に比べて多く、女性では、「認知症になっても尊厳や敬意を持って接してもらえること」(21.3%)が男性(15.9%)に比べて多くなっています。

	調査数	受ける専門家に相談し、段階から早期に介入できる体制があること	認知症の人や介護している家族が、総合的に相談できる窓口があること	認知症の人や介護している場所があること、互いに交流できる	認知症の人が利用できる在宅サービスや介護施設が充実していること	介護している家族が仕事と介護を両立でき、経済的負担を減らす仕組みができること	地域の人が、認知症について正しい知識を持って理解してくれていること	認知症の人に地域の人や声がかけられること、見守ってくれる体制があること	認知症になっても尊厳や敬意を持って接してもらえること	若年性認知症の人が、社会の仕組みが利用できること	その他	無回答
全体	7,926 100.0	4,162 52.5	3,138 39.6	664 8.4	3,988 50.3	2,325 29.3	1,090 13.8	1,119 14.1	1,489 18.8	616 7.8	85 1.1	833 10.5
問1 本人の性別												
男性	3,620 100.0	1,906 52.7	1,549 42.8	309 8.5	1,821 50.3	1,048 29.0	515 14.2	484 13.4	576 15.9	230 6.4	48 1.3	314 8.7
女性	4,249 100.0	2,230 52.5	1,571 37.0	348 8.2	2,142 50.4	1,262 29.7	565 13.3	626 14.7	904 21.3	382 9.0	37 0.9	511 12.0
無回答	57 100.0	26 45.6	18 31.6	7 12.3	25 43.9	15 26.3	10 17.5	9 15.8	9 15.8	4 7.0	—	8 14.0

○年齢別にみると、概ね年齢が高くなるにしたがって、「認知症の人や介護している家族が、総合的に相談できる窓口があること」、「認知症の人が利用できる在宅サービスや介護施設が充実していること」、「介護している家族が仕事と介護を両立でき、経済的負担を減らす仕組みができること」の割合が少なくなっています。

	調査数	受ける専門家に相談し、段階から早期に介入できる体制があること	認知症の人や介護している家族が、総合的に相談できる窓口があること	認知症の人や介護している場所があること、互いに交流できる	認知症の人が利用できる在宅サービスや介護施設が充実していること	介護している家族が仕事と介護を両立でき、経済的負担を減らす仕組みができること	地域の人が、認知症について正しい知識を持って理解してくれていること	認知症の人に地域の人や声がかけられること、見守ってくれる体制があること	認知症になっても尊厳や敬意を持って接してもらえること	若年性認知症の人が、社会の仕組みが利用できること	その他	無回答
全体	7,926 100.0	4,162 52.5	3,138 39.6	664 8.4	3,988 50.3	2,325 29.3	1,090 13.8	1,119 14.1	1,489 18.8	616 7.8	85 1.1	833 10.5
問2 本人の年齢												
65～69歳	1,951 100.0	1,076 55.2	865 44.3	151 7.7	1,081 55.4	730 37.4	230 11.8	237 12.1	357 18.3	166 8.5	21 1.1	122 6.3
70～74歳	2,340 100.0	1,247 53.3	974 41.6	192 8.2	1,260 53.8	746 31.9	284 12.1	335 14.3	447 19.1	184 7.9	23 1.0	215 9.2
75～79歳	1,649 100.0	846 51.3	644 39.1	145 8.8	806 48.9	439 26.6	265 16.1	252 15.3	325 19.7	136 8.2	14 0.8	175 10.6
80～84歳	1,122 100.0	551 49.1	381 34.0	95 8.5	496 44.2	254 22.6	180 16.0	168 15.0	217 19.3	81 7.2	17 1.5	164 14.6
85～89歳	604 100.0	305 50.5	192 31.8	57 9.4	247 40.9	110 18.2	90 14.9	89 14.7	100 16.6	35 5.8	5 0.8	111 18.4
90～94歳	208 100.0	115 55.3	67 32.2	18 8.7	76 36.5	36 17.3	33 15.9	29 13.9	36 17.3	11 5.3	5 2.4	34 16.3
95～99歳	25 100.0	8 32.0	8 32.0	—	9 36.0	5 20.0	4 16.0	5 20.0	3 12.0	2 8.0	—	6 24.0
100歳以上	3 100.0	1 33.3	1 33.3	—	3 100.0	1 33.3	—	2 66.7	—	—	—	—
無回答	24 100.0	13 54.2	6 25.0	6 25.0	10 41.7	4 16.7	4 16.7	2 8.3	4 16.7	1 4.2	—	6 25.0

○要支援等の認定状況別にみると、要支援1、要支援2では「認知症の人や介護している家族が、総合的に相談できる窓口があること」、「認知症の人が利用できる在宅サービスや介護施設が充実していること」、「介護している家族が仕事と介護を両立でき、経済的負担を減らす仕組みができること」の割合が少なくなっています。

	調査数	受けられる体制が、専門家に相談し、段階から受けるだけ早い体制があること	認知症の人や介護している家族が、総合的に相談できる窓口があること	認知症の人や介護している場所があること、互いに交流している	認知症の人が利用できる在宅サービスや介護施設が充実していること	介護している家族が仕事と介護を両立でき、経済的負担を減らす仕組みができること	地域の人たちが、正しい知識を持って理解してくれていること	認知症の人に地域の人がかかり、見守ってくれる体制があること	認知症になっても尊厳や敬意を持って接してもらえること	若年性認知症の社会人が、仕事を続けることができること	その他	無回答
上段: 件数 下段: %												
全体	7,926 100.0	4,162 52.5	3,138 39.6	664 8.4	3,988 50.3	2,325 29.3	1,090 13.8	1,119 14.1	1,489 18.8	616 7.8	85 1.1	833 10.5
問3 要支援等の認定状況について												
一般高齢者	7,169 100.0	3,807 53.1	2,910 40.6	591 8.2	3,669 51.2	2,160 30.1	983 13.7	1,005 14.0	1,369 19.1	566 7.9	73 1.0	690 9.6
事業対象者	80 100.0	40 50.0	24 30.0	7 8.8	41 51.3	30 37.5	15 18.8	13 16.3	10 12.5	5 6.3	1 1.3	9 11.3
要支援1	341 100.0	160 46.9	102 29.9	30 8.8	143 41.9	63 18.5	48 14.1	55 16.1	60 17.6	20 5.9	4 1.2	72 21.1
要支援2	128 100.0	56 43.8	34 26.6	8 6.3	57 44.5	24 18.8	19 14.8	18 14.1	22 17.2	8 6.3	4 3.1	23 18.0
無回答	208 100.0	99 47.6	68 32.7	28 13.5	78 37.5	48 23.1	25 12.0	28 13.5	28 13.5	17 8.2	3 1.4	39 18.8

## 第2章 調査結果の分析

○調査区域別にみると、「認知症の人や介護している家族が、総合的に相談できる窓口があること」が最も多いのは将監・松森・向陽台で 44.7%、最も少ないのは西中田・袋原・四郎丸で 34.0%となっており、10.7ポイントの差となっています。また、虹の丘・加茂・長命ヶ丘では「認知症の人が利用できる在宅サービスや介護施設が充実していること」(55.2%)が他の調査区に比べて多く、最も少ない愛宕橋・八木山・西多賀・山田(45.8%)を9.4ポイント上回っています。

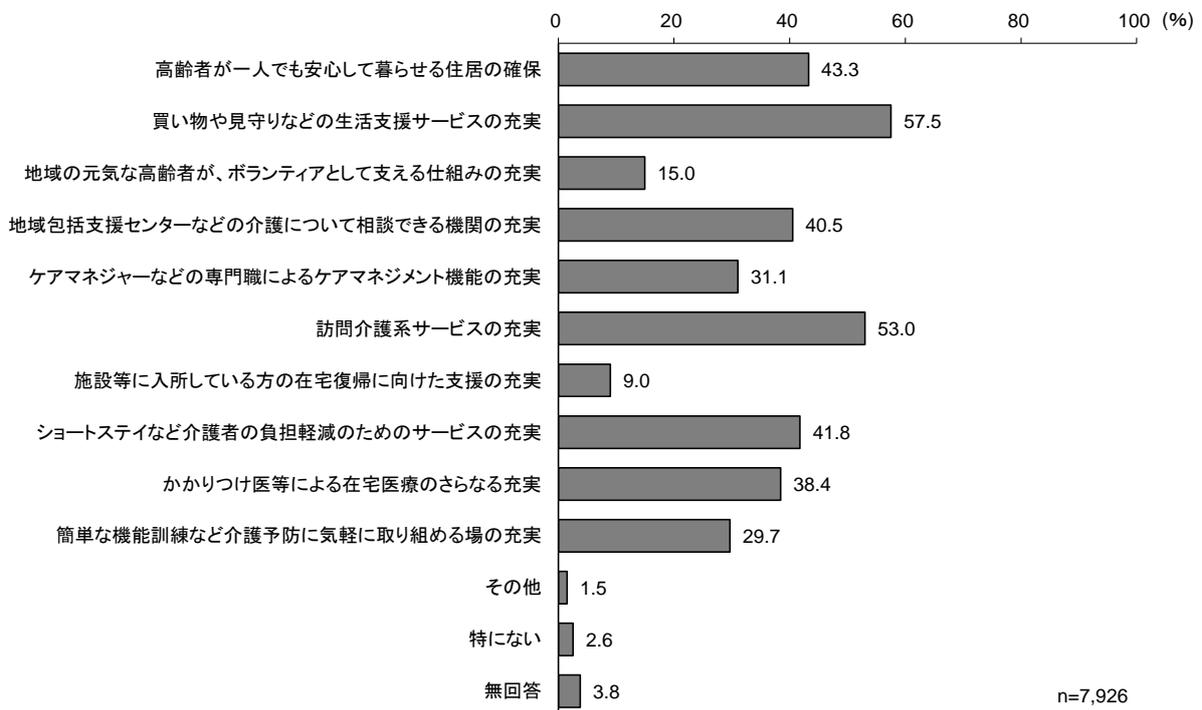
	調査数	受専門家に相談し、段階から早期に介入できる体制があること	認知症の人や介護している家族が、総合的に相談できる窓口があること	認知症の人や介護している家族が、互いに交流していること	認知症の人や介護施設が充実していること	介護している家族が仕事を減らすことができること	地域の人たちが、認知症について正しい知識を持っていること	認知症の人に地域の人がかかってくる見守り体制があること	認知症になっても尊厳や敬意を保持してもらえること	若年性認知症の人が、仕事を続けることができること	その他	無回答
上段:件数 下段:%												
全体	7,926 100.0	4,162 52.5	3,138 39.6	664 8.4	3,988 50.3	2,325 29.3	1,090 13.8	1,119 14.1	1,489 18.8	616 7.8	85 1.1	833 10.5
調査区域												
五橋・上杉・木町通・花京院	451 100.0	224 49.7	173 38.4	34 7.5	235 52.1	126 27.9	54 12.0	60 13.3	97 21.5	33 7.3	4 0.9	62 13.7
双葉ヶ丘・葉山・台原	419 100.0	207 49.4	163 38.9	31 7.4	196 46.8	116 27.7	71 16.9	58 13.8	94 22.4	40 9.5	3 0.7	43 10.3
国見・国見ヶ丘・桜ヶ丘	430 100.0	229 53.3	188 43.7	37 8.6	233 54.2	134 31.2	54 12.6	55 12.8	95 22.1	33 7.7	5 1.2	33 7.7
大沢広陵・あやし・南吉成	420 100.0	236 56.2	150 35.7	33 7.9	199 47.4	130 31.0	63 15.0	62 14.8	69 16.4	37 8.8	4 1.0	42 10.0
東仙台・宮城野・榴岡	439 100.0	236 53.8	172 39.2	31 7.1	231 52.6	134 30.5	49 11.2	56 12.8	91 20.7	35 8.0	7 1.6	42 9.6
小松島・燕沢・鶴ヶ谷	448 100.0	242 54.0	174 38.8	37 8.3	220 49.1	127 28.3	61 13.6	61 13.6	86 19.2	27 6.0	5 1.1	53 11.8
岩切・高砂・福田町	435 100.0	216 49.7	170 39.1	38 8.7	200 46.0	138 31.7	56 12.9	63 14.5	69 15.9	51 11.7	4 0.9	55 12.6
河原町・大和蒲町・遠見塚	443 100.0	246 55.5	154 34.8	33 7.4	205 46.3	114 25.7	79 17.8	61 13.8	78 17.6	38 8.6	7 1.6	53 12.0
六郷・沖野・七郷	431 100.0	225 52.2	178 41.3	31 7.2	211 49.0	126 29.2	63 14.6	68 15.8	70 16.2	33 7.7	3 0.7	53 12.3
長町・郡山・富沢	446 100.0	240 53.8	184 41.3	43 9.6	216 48.4	132 29.6	57 12.8	64 14.3	75 16.8	37 8.3	6 1.3	44 9.9
愛宕橋・八木山・西多賀・山田	432 100.0	228 52.8	181 41.9	36 8.3	198 45.8	127 29.4	58 13.4	69 16.0	83 19.2	29 6.7	4 0.9	44 10.2
西中田・袋原・四郎丸	456 100.0	230 50.4	155 34.0	38 8.3	248 54.4	150 32.9	60 13.2	68 14.9	71 15.6	31 6.8	6 1.3	54 11.8
茂庭・秋保	419 100.0	207 49.4	162 38.7	42 10.0	204 48.7	120 28.6	41 9.8	62 14.8	86 20.5	39 9.3	6 1.4	50 11.9
泉中央・寺岡・高森	435 100.0	245 56.3	168 38.6	39 9.0	235 54.0	131 30.1	72 16.6	58 13.3	89 20.5	32 7.4	1 0.2	30 6.9
将監・松森・向陽台	452 100.0	219 48.5	202 44.7	39 8.6	240 53.1	120 26.5	69 15.3	62 13.7	80 17.7	23 5.1	3 0.7	53 11.7
南光台・八乙女	447 100.0	231 51.7	182 40.7	35 7.8	223 49.9	123 27.5	56 12.5	62 13.9	82 18.3	30 6.7	8 1.8	47 10.5
虹の丘・加茂・長命ヶ丘	460 100.0	255 55.4	191 41.5	42 9.1	254 55.2	127 27.6	56 12.2	59 12.8	91 19.8	30 6.5	2 0.4	41 8.9
根白石・南中山	458 100.0	246 53.7	189 41.3	43 9.4	237 51.7	149 32.5	69 15.1	71 15.5	83 18.1	38 8.3	6 1.3	34 7.4
無回答	5 100.0	—	2 40.0	2 40.0	3 60.0	1 20.0	2 40.0	—	—	—	1 20.0	—

12. 在宅で暮らしていくために必要なことについて

(1) 在宅で暮らしていくために必要なこと【複数回答】

問14 今後、高齢者の増加にともない、介護が必要な方も増えていく中で、本人の希望に沿いながら、できるだけ在宅で暮らしていけるようになるには、どのようなことが必要だと思いますか（いくつでも）

○在宅で暮らしていくために必要なことは、「買い物や見守りなどの生活支援サービスの充実」(57.5%) が最も多く、次いで、「訪問介護系サービスの充実」(53.0%)、「高齢者が一人でも安心して暮らせる住居の確保」(43.3%) となっています。



○性別にみると、女性では「ショートステイなど介護者の負担軽減のためのサービスの充実」が47.3%と、男性(35.4%)を11.9ポイント上回っています。

	調査数	高齢者が一人でも安心して暮らせる住居の確保	買い物や見守りなどの生活支援サービスの充実	地域の元気な高齢者が、ボランティアとして支える仕組みの充実	地域包括支援センターなどの介護について相談できる機関の充実	ケアマネジャーなどの専門職によるケアマネジメント機能の充実	訪問介護系サービスの充実	施設等に入所している方の在宅復帰に向けた支援の充実	ショートステイなど介護者の負担軽減のためのサービスの充実	かかりつけ医等による在宅医療のさらなる充実	簡単な機能訓練など介護予防に気軽に取り組める場の充実	その他	特にない	無回答
全体	7,926 100.0	3,429 43.3	4,559 57.5	1,187 15.0	3,212 40.5	2,462 31.1	4,201 53.0	713 9.0	3,311 41.8	3,046 38.4	2,351 29.7	122 1.5	203 2.6	300 3.8
問1 本人の性別														
男性	3,620 100.0	1,567 43.3	1,956 54.0	536 14.8	1,376 38.0	1,066 29.4	1,912 52.8	345 9.5	1,282 35.4	1,324 36.6	903 24.9	58 1.6	108 3.0	127 3.5
女性	4,249 100.0	1,836 43.2	2,570 60.5	638 15.0	1,806 42.5	1,380 32.5	2,262 53.2	362 8.5	2,009 47.3	1,699 40.0	1,433 33.7	62 1.5	95 2.2	168 4.0
無回答	57 100.0	26 45.6	33 57.9	13 22.8	30 52.6	16 28.1	27 47.4	6 10.5	20 35.1	23 40.4	15 26.3	2 3.5	-	5 8.8

## 第2章 調査結果の分析

○年齢別にみると、年齢が高くなるにしたがって、「ショートステイなど介護者の負担軽減のためのサービスの充実」の割合が少なくなっています。

調査数	暮らさせる住居の確保	高齢者が一人でも安心して暮らせる住居の確保	買い物や見守りなどの生活支援サービスの充実	地域の元気な高齢者が、ボランティアとして支える仕組みの充実	地域の元気な高齢者が、ボランティアとして支える仕組みの充実	地域包括支援センターなどの介護に関する機関の充実	地域包括支援センターなどの介護に関する機関の充実	ケアマネジャーなどの専門職によるケアマネジャーなどの専門職	訪問介護系サービスの充実	施設等に入所している在宅復帰に向けた支援の充実	施設等に入所している在宅復帰に向けた支援の充実	負担軽減のためのサービスの充実	ショートステイなど介護者の負担軽減のためのサービスの充実	医療のさらなる充実	かかりつけ医等による在宅医療のさらなる充実	簡単な機能訓練など介護予防	簡単な機能訓練など介護予防	その他	特になし	無回答
上段:件数 下段:%																				
全体	7,926 100.0	3,429 43.3	4,559 57.5	1,187 15.0	3,212 40.5	2,462 31.1	4,201 53.0	713 9.0	3,311 41.8	3,046 38.4	2,351 29.7	122 1.5	203 2.6	300 3.8						
問2 本人の年齢																				
65～69歳	1,951 100.0	959 49.2	1,199 61.5	291 14.9	801 41.1	657 33.7	1,043 53.5	169 8.7	947 48.5	714 36.6	606 31.1	28 1.4	34 1.7	27 1.4						
70～74歳	2,340 100.0	1,050 44.9	1,353 57.8	360 15.4	929 39.7	767 32.8	1,261 53.9	193 8.2	1,035 44.2	892 38.1	686 29.3	33 1.4	53 2.3	78 3.3						
75～79歳	1,649 100.0	645 39.1	925 56.1	246 14.9	662 40.1	468 28.4	868 52.6	154 9.3	658 39.9	620 37.6	490 29.7	24 1.5	41 2.5	77 4.7						
80～84歳	1,122 100.0	458 40.8	621 55.3	174 15.5	471 42.0	330 29.4	587 52.3	104 9.3	403 35.9	460 41.0	368 32.8	25 2.2	43 3.8	47 4.2						
85～89歳	604 100.0	218 36.1	331 54.8	79 13.1	245 40.6	165 27.3	321 53.1	61 10.1	192 31.8	247 40.9	141 23.3	7 1.2	20 3.3	53 8.8						
90～94歳	208 100.0	77 37.0	98 47.1	28 13.5	84 40.4	60 28.8	98 47.1	27 13.0	63 30.3	89 42.8	53 25.5	4 1.9	11 5.3	13 6.3						
95～99歳	25 100.0	8 32.0	13 52.0	2 8.0	8 32.0	8 32.0	11 44.0	2 8.0	7 28.0	12 48.0	3 12.0	—	—	2 8.0						
100歳以上	3 100.0	2 66.7	3 100.0	2 66.7	2 66.7	2 66.7	2 66.7	—	2 66.7	2 66.7	—	—	—	—						
無回答	24 100.0	12 50.0	16 66.7	5 20.8	10 41.7	5 20.8	10 41.7	3 12.5	4 16.7	10 41.7	4 16.7	1 4.2	—	3 12.5						

○要支援等の認定状況別にみると、要支援1、要支援2では「ショートステイなど介護者の負担軽減のためのサービスの充実」の割合が一般高齢者、事業対象者に比べて少なくなっています。

調査数	暮らさせる住居の確保	高齢者が一人でも安心して暮らせる住居の確保	買い物や見守りなどの生活支援サービスの充実	地域の元気な高齢者が、ボランティアとして支える仕組みの充実	地域の元気な高齢者が、ボランティアとして支える仕組みの充実	地域包括支援センターなどの介護に関する機関の充実	地域包括支援センターなどの介護に関する機関の充実	ケアマネジャーなどの専門職によるケアマネジャーなどの専門職	訪問介護系サービスの充実	施設等に入所している在宅復帰に向けた支援の充実	施設等に入所している在宅復帰に向けた支援の充実	負担軽減のためのサービスの充実	ショートステイなど介護者の負担軽減のためのサービスの充実	医療のさらなる充実	かかりつけ医等による在宅医療のさらなる充実	簡単な機能訓練など介護予防	簡単な機能訓練など介護予防	その他	特になし	無回答
上段:件数 下段:%																				
全体	7,926 100.0	3,429 43.3	4,559 57.5	1,187 15.0	3,212 40.5	2,462 31.1	4,201 53.0	713 9.0	3,311 41.8	3,046 38.4	2,351 29.7	122 1.5	203 2.6	300 3.8						
問3 要支援等の認定状況について																				
一般高齢者	7,169 100.0	3,109 43.4	4,166 58.1	1,080 15.1	2,889 40.3	2,224 31.0	3,821 53.3	627 8.7	3,057 42.6	2,750 38.4	2,121 29.6	108 1.5	187 2.6	233 3.3						
事業対象者	80 100.0	34 42.5	40 50.0	9 11.3	22 27.5	17 21.3	43 53.8	10 12.5	33 41.3	30 37.5	20 25.0	—	2 2.5	7 8.8						
要支援1	341 100.0	136 39.9	189 55.4	47 13.8	177 51.9	131 38.4	173 50.7	44 12.9	117 34.3	143 41.9	114 33.4	6 1.8	6 1.8	23 6.7						
要支援2	128 100.0	43 33.6	65 50.8	16 12.5	48 37.5	40 31.3	60 46.9	11 8.6	40 31.3	47 36.7	42 32.8	3 2.3	4 3.1	14 10.9						
無回答	208 100.0	107 51.4	99 47.6	35 16.8	76 36.5	50 24.0	104 50.0	21 10.1	64 30.8	76 36.5	54 26.0	5 2.4	4 1.9	23 11.1						

第2章 調査結果の分析

○調査区域別にみると、「高齢者が一人でも安心して暮らせる住居の確保」は東仙台・宮城野・榴岡が48.3%と他の調査区に比べて多く、最も少ない愛宕橋・八木山・西多賀・山田(37.0%)を11.3ポイント上回っています。また、「ショートステイなど介護者の負担軽減のためのサービスの充実」は根白石・南中山が49.3%と他の調査区に比べて多く、最も少ない五橋・上杉・木町通・花京院(36.4%)を12.9ポイント上回っています。

	調査数	高齢者が一人でも安心して暮らせる住居の確保	買い物や見守りなどの生活支援サービスの充実	地域の元気な高齢者が、ボランティアとして支える仕組みの充実	地域包括支援センターなどの介護について相談できる機会の充実	ケアマネジャーなどの専門職によるケアマネジメント機能の充実	訪問介護系サービスの充実	施設等に入所している方の在宅復帰に向けた支援の充実	負担軽減のためのサービスの充実	医療のさらなる充実	に簡単な機能訓練など介護予防	その他	特になし	無回答
上段:件数 下段:%														
全体	7,926 100.0	3,429 43.3	4,559 57.5	1,187 15.0	3,212 40.5	2,462 31.1	4,201 53.0	713 9.0	3,311 41.8	3,046 38.4	2,351 29.7	122 1.5	203 2.6	300 3.8
調査区域														
五橋・上杉・木町通・花京院	451 100.0	216 47.9	258 57.2	69 15.3	174 38.6	146 32.4	233 51.7	32 7.1	164 36.4	170 37.7	148 32.8	10 2.2	10 2.2	24 5.3
双葉ヶ丘・葉山・台原	419 100.0	190 45.3	235 56.1	68 16.2	176 42.0	132 31.5	215 51.3	34 8.1	157 37.5	185 44.2	119 28.4	5 1.2	12 2.9	16 3.8
国見・国見ヶ丘・桜ヶ丘	430 100.0	181 42.1	245 57.0	53 12.3	197 45.8	153 35.6	244 56.7	35 8.1	177 41.2	171 39.8	125 29.1	7 1.6	10 2.3	15 3.5
大沢広陵・あやし・南吉成	420 100.0	180 42.9	247 58.8	67 16.0	167 39.8	120 28.6	229 54.5	37 8.8	159 37.9	167 39.8	108 25.7	10 2.4	13 3.1	11 2.6
東仙台・宮城野・榴岡	439 100.0	212 48.3	245 55.8	54 12.3	171 39.0	132 30.1	217 49.4	33 7.5	176 40.1	158 36.0	131 29.8	5 1.1	19 4.3	14 3.2
小松島・燕沢・鶴ヶ谷	448 100.0	207 46.2	266 59.4	78 17.4	172 38.4	128 28.6	241 53.8	46 10.3	174 38.8	177 39.5	136 30.4	8 1.8	9 2.0	18 4.0
岩切・高砂・福田町	435 100.0	191 43.9	233 53.6	59 13.6	159 36.6	140 32.2	240 55.2	30 6.9	192 44.1	161 37.0	124 28.5	4 0.9	8 1.8	28 6.4
河原町・大和蒲町・遠見塚	443 100.0	180 40.6	239 54.0	55 12.4	188 42.4	131 29.6	225 50.8	42 9.5	178 40.2	149 33.6	122 27.5	6 1.4	14 3.2	24 5.4
六郷・沖野・七郷	431 100.0	180 41.8	230 53.4	65 15.1	156 36.2	133 30.9	227 52.7	42 9.7	183 42.5	158 36.7	123 28.5	6 1.4	12 2.8	17 3.9
長町・郡山・富沢	446 100.0	206 46.2	269 60.3	67 15.0	183 41.0	141 31.6	235 52.7	36 8.1	196 43.9	164 36.8	147 33.0	9 2.0	14 3.1	18 4.0
愛宕橋・八木山・西多賀・山田	432 100.0	160 37.0	248 57.4	67 15.5	176 40.7	124 28.7	224 51.9	38 8.8	182 42.1	161 37.3	129 29.9	5 1.2	15 3.5	20 4.6
西中田・袋原・四郎丸	456 100.0	180 39.5	265 58.1	70 15.4	183 40.1	131 28.7	244 53.5	45 9.9	195 42.8	192 42.1	127 27.9	4 0.9	7 1.5	18 3.9
茂庭・秋保	419 100.0	191 45.6	255 60.9	69 16.5	175 41.8	115 27.4	201 48.0	47 11.2	175 41.8	157 37.5	125 29.8	7 1.7	12 2.9	12 2.9
泉中央・寺岡・高森	435 100.0	191 43.9	262 60.2	71 16.3	162 37.2	129 29.7	240 55.2	32 7.4	192 44.1	192 44.1	135 31.0	5 1.1	11 2.5	8 1.8
将監・松森・向陽台	452 100.0	204 45.1	265 58.6	72 15.9	190 42.0	169 37.4	245 54.2	51 11.3	205 45.4	178 39.4	144 31.9	5 1.1	10 2.2	8 1.8
南光台・八乙女	447 100.0	185 41.4	254 56.8	68 15.2	189 42.3	142 31.8	241 53.9	44 9.8	184 41.2	178 39.8	124 27.7	10 2.2	7 1.6	19 4.3
虹の丘・加茂・長命ヶ丘	460 100.0	184 40.0	269 58.5	63 13.7	205 44.6	161 35.0	258 56.1	53 11.5	194 42.2	186 40.4	148 32.2	8 1.7	8 1.7	13 2.8
根白石・南中山	458 100.0	187 40.8	271 59.2	72 15.7	186 40.6	133 29.0	238 52.0	36 7.9	226 49.3	153 33.4	134 29.3	7 1.5	12 2.6	17 3.7
無回答	5 100.0	4 80.0	3 60.0	—	—	3 60.0	2 40.0	4 80.0	—	2 40.0	2 40.0	2 20.0	1 —	—

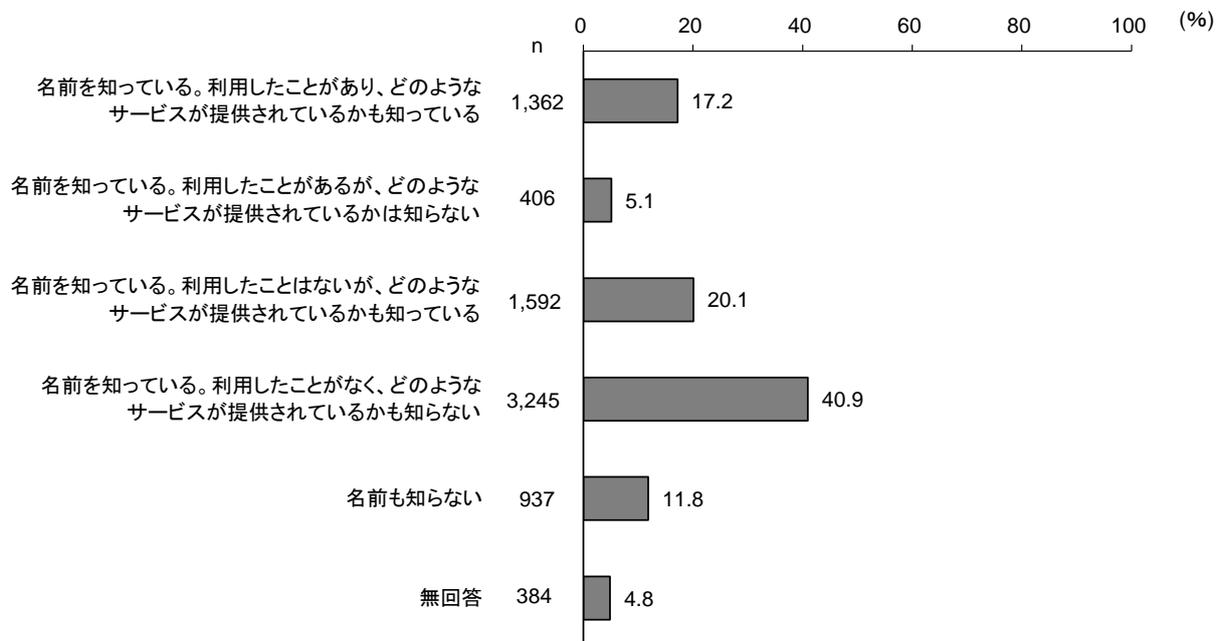
### 13. 地域包括支援センターの利用について

#### (1) 地域包括支援センターの認知度【単一回答】

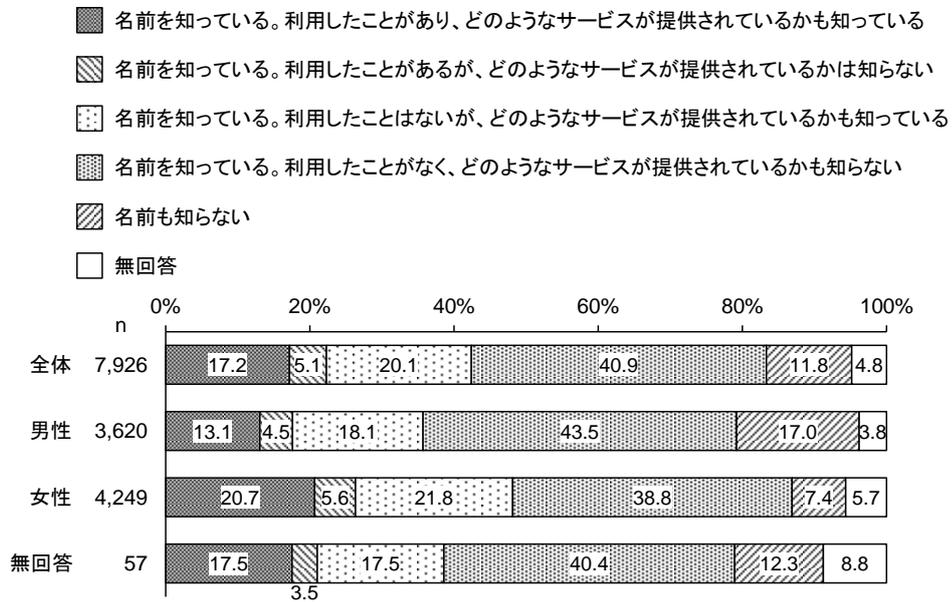
問15(1) 地域包括支援センター※についてどの程度知っていますか

※「地域包括支援センター」とは、高齢者の皆さまが地域で安心して生き生きと暮らしていけるよう、保健医療の向上や福祉の増進を支援する中核拠点として、市内 52 か所に設置しています。高齢者や家族の方からのさまざまな相談に応じるとともに、介護予防サービスの紹介や関係機関との調整、虐待防止などの権利擁護活動を行います。

○地域包括支援センターの知名度は、「名前を知っている。利用したことがなく、どのようなサービスが提供されているかも知らない」（40.9％）が最も多く、次いで、「名前を知っている。利用したことはないが、どのようなサービスが提供されているかも知っている」（20.1％）、「名前を知っている。利用したことがあり、どのようなサービスが提供されているかも知っている」（17.2％）となっています。

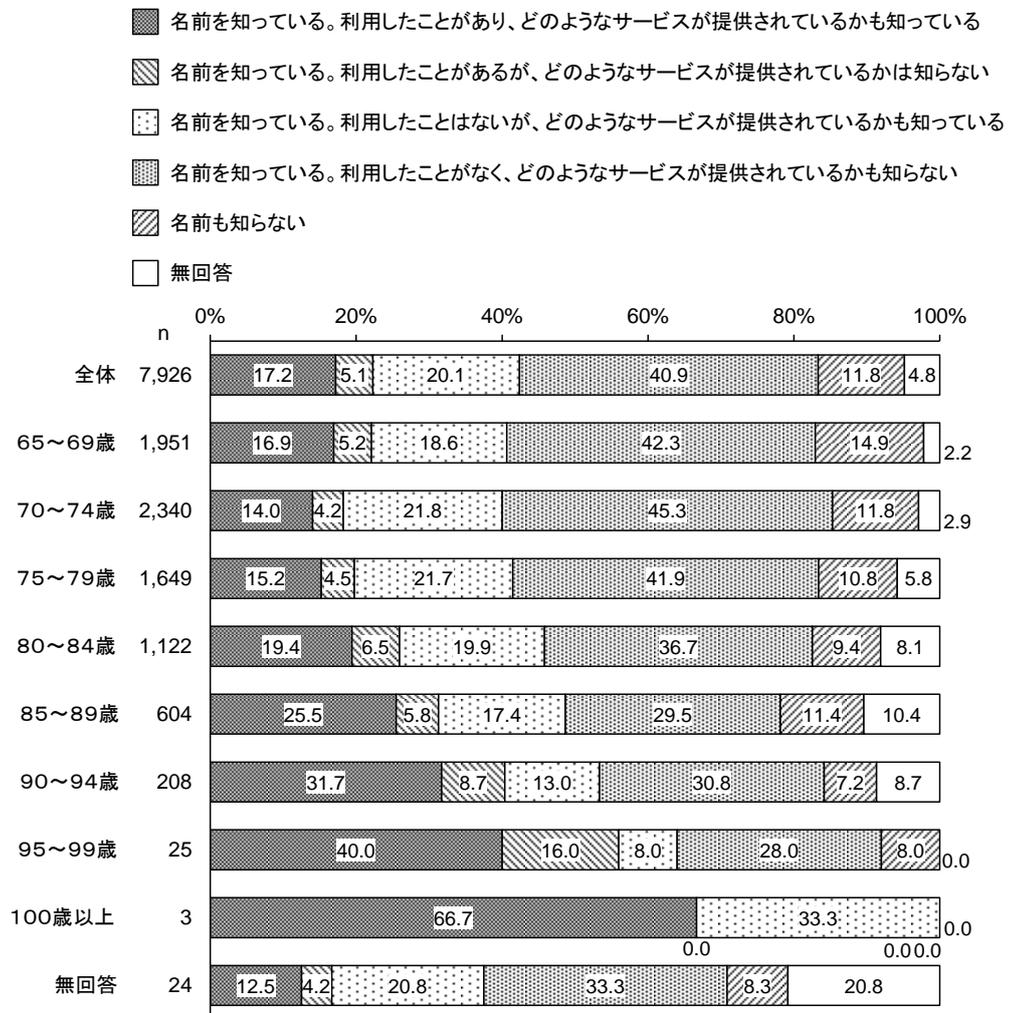


○性別にみると、女性では「名前を知っている。利用したことがあり、どのようなサービスが提供されているかも知っている」が20.7%と、男性（13.1%）を7.6ポイント上回っています。

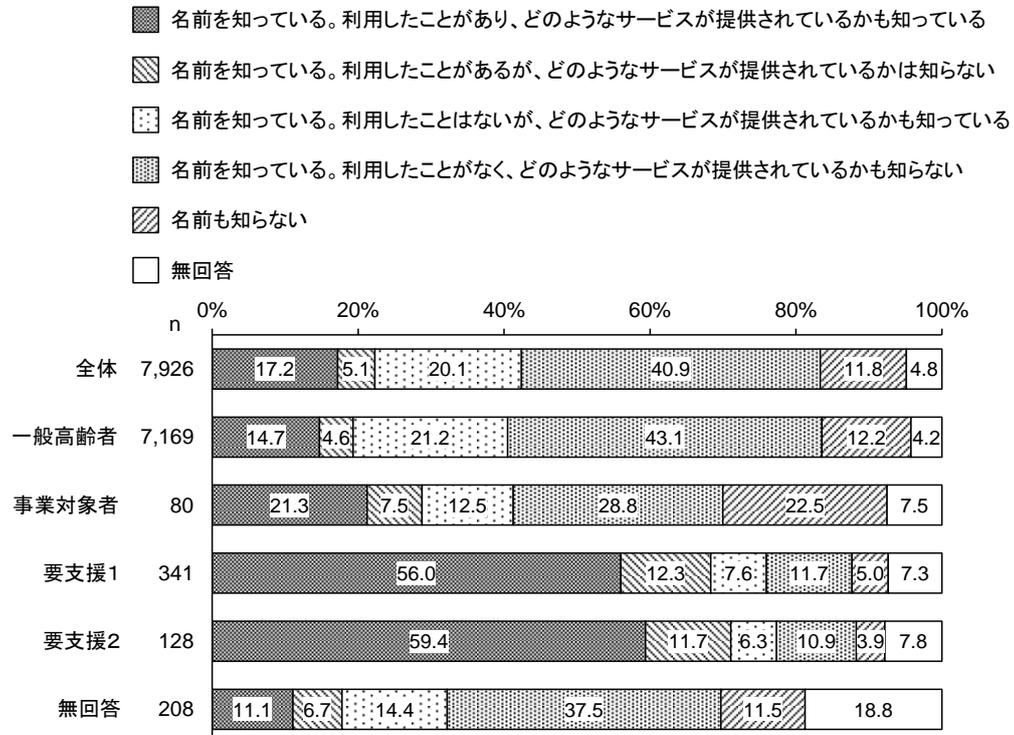


## 第2章 調査結果の分析

○年齢別にみると、概ね年齢が高くなるにしたがって、「名前を知っている。利用したことがあるが、どのようなサービスが提供されているかは知らない」、「名前を知っている。利用したことがあるが、どのようなサービスが提供されているかは知らない」の割合が多くなっています。

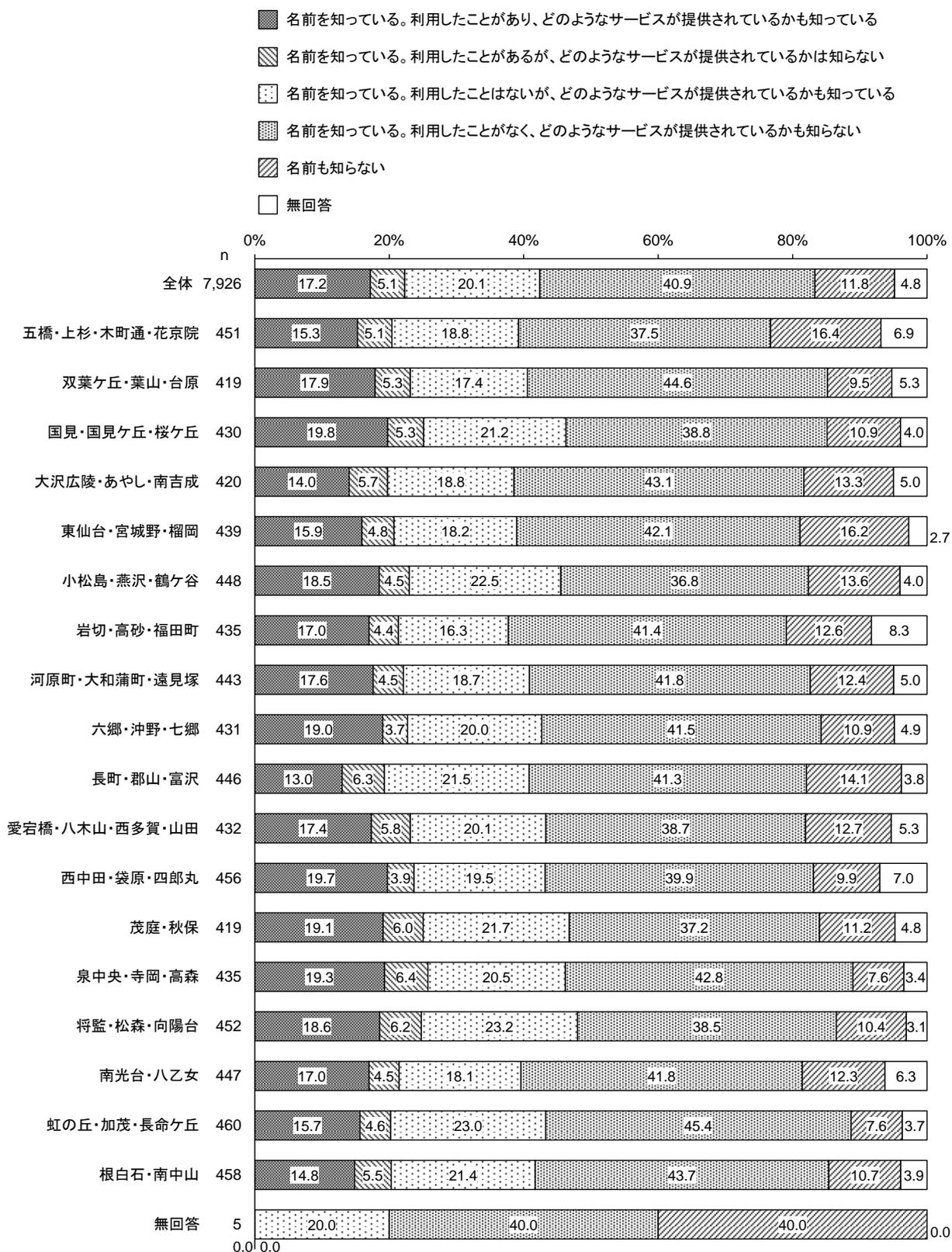


○要支援等の認定状況別にみると、要支援1、要支援2では、「名前を知っている。利用したことがあるが、どのようなサービスが提供されているかも知っている」の割合が多くなっており、一般高齢者、事業対象者を大幅に上回っています。



## 第2章 調査結果の分析

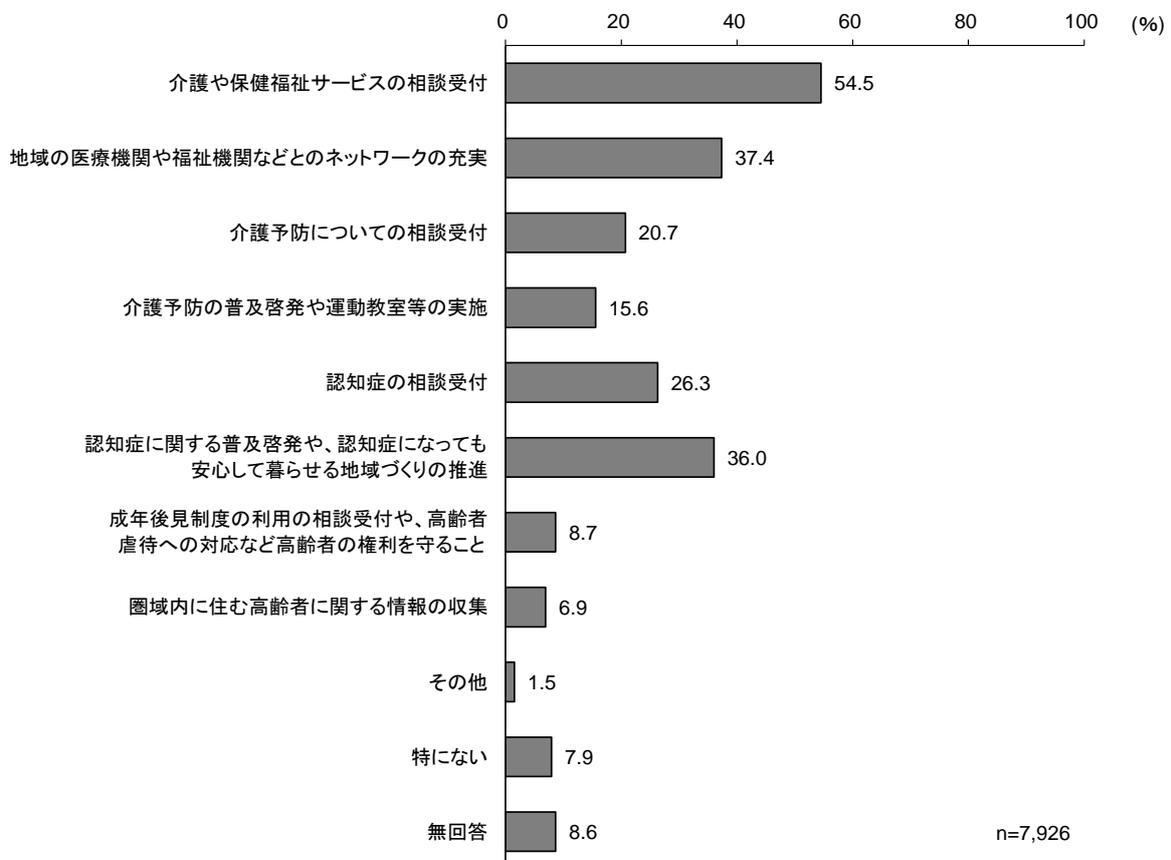
○調査区域別にみると、「名前を知っている。利用したことがあり、どのようなサービスが提供されているかも知っている」は国見・国見ヶ丘・桜ヶ丘が19.8%と、他の調査区に比べて多くなっており、最も少ない長町・郡山・富沢（13.0%）を6.8ポイント上回っています。



## (2) 地域包括支援センターに期待すること【複数回答】

問15(2) 地域包括支援センターに今後どのようなことを期待しますか  
(主なもの3つまで○)

○地域包括支援センターに期待することは、「介護や保健福祉サービスの相談受付」(54.5%)が最も多く、次いで、「地域の医療機関や福祉機関などとのネットワークの充実」(37.4%)、「認知症に関する普及啓発や、認知症になっても安心して暮らせる地域づくりの推進」(36.0%)となっています。



## 第2章 調査結果の分析

○性別にみると、大きな差はみられませんでした。

上段:件数 下段:%	調査数	介護や保健福祉サービスの相談受付	地域の医療機関や福祉機関などのネットワークの充実	介護予防についての相談受付	介護予防の普及啓発や運動教室の実施	認知症の相談受付	認知症に関する地域づくりの推進	認知症に関する普及啓発や、高齢者の権利を守ることに	付や、高齢者の権利を守ることに	成年後見制度の利用の相談受	情報域内に住む高齢者に関する	その他	特にな	無回答
全体	7,926 100.0	4,321 54.5	2,961 37.4	1,641 20.7	1,234 15.6	2,084 26.3	2,855 36.0	687 8.7	548 6.9	122 1.5	630 7.9	685 8.6		
問1 本人の性別														
男性	3,620 100.0	1,909 52.7	1,291 35.7	859 23.7	534 14.8	990 27.3	1,236 34.1	256 7.1	253 7.0	57 1.6	368 10.2	280 7.7		
女性	4,249 100.0	2,382 56.1	1,655 39.0	772 18.2	694 16.3	1,078 25.4	1,605 37.8	427 10.0	289 6.8	64 1.5	258 6.1	393 9.2		
無回答	57 100.0	30 52.6	15 26.3	10 17.5	6 10.5	16 28.1	14 24.6	4 7.0	6 10.5	1 1.8	4 7.0	12 21.1		

○年齢別にみると、概ね年齢が高くなるにしたがって、「地域の医療機関や福祉機関などのネットワークの充実」の割合が少なくなっています。

上段:件数 下段:%	調査数	介護や保健福祉サービスの相談受付	地域の医療機関や福祉機関などのネットワークの充実	介護予防についての相談受付	介護予防の普及啓発や運動教室の実施	認知症の相談受付	認知症に関する地域づくりの推進	認知症に関する普及啓発や、高齢者の権利を守ることに	付や、高齢者の権利を守ることに	成年後見制度の利用の相談受	情報域内に住む高齢者に関する	その他	特にな	無回答
全体	7,926 100.0	4,321 54.5	2,961 37.4	1,641 20.7	1,234 15.6	2,084 26.3	2,855 36.0	687 8.7	548 6.9	122 1.5	630 7.9	685 8.6		
問2 本人の年齢														
65～69歳	1,951 100.0	1,121 57.5	864 44.3	363 18.6	293 15.0	569 29.2	670 34.3	203 10.4	133 6.8	35 1.8	162 8.3	124 6.4		
70～74歳	2,340 100.0	1,323 56.5	948 40.5	440 18.8	383 16.4	645 27.6	863 36.9	240 10.3	147 6.3	38 1.6	175 7.5	157 6.7		
75～79歳	1,649 100.0	869 52.7	569 34.5	357 21.6	254 15.4	406 24.6	624 37.8	110 6.7	101 6.1	24 1.5	138 8.4	164 9.9		
80～84歳	1,122 100.0	566 50.4	330 29.4	278 24.8	195 17.4	264 23.5	400 35.7	81 7.2	85 7.6	17 1.5	82 7.3	137 12.2		
85～89歳	604 100.0	307 50.8	176 29.1	146 24.2	88 14.6	142 23.5	224 37.1	35 5.8	56 9.3	6 1.0	42 7.0	71 11.8		
90～94歳	208 100.0	109 52.4	64 30.8	47 22.6	17 8.2	44 21.2	62 29.8	15 7.2	20 9.6	2 1.0	24 11.5	24 11.5		
95～99歳	25 100.0	12 48.0	3 12.0	3 12.0	2 8.0	8 32.0	6 24.0	2 8.0	4 16.0	—	5 20.0	1 4.0		
100歳以上	3 100.0	3 100.0	2 66.7	1 33.3	—	—	—	—	—	—	—	—		
無回答	24 100.0	11 45.8	5 20.8	6 25.0	2 8.3	5 20.8	6 25.0	1 4.2	2 8.3	—	2 8.3	7 29.2		

## 第2章 調査結果の分析

○要支援等の認定状況別にみると、要支援2では「地域の医療機関や福祉機関などのネットワークの充実」が27.3%と少なくなっています。

	調査数	介護や保健福祉サービスの相談受付	地域の医療機関や福祉機関とのネットワークの充実	介護予防についての相談受付	介護予防の普及啓発や運動教室の実施	認知症の相談受付	認知症に関する地域づくりの安心推進	認知症に関する普及啓発や暮らさせる地域づくりの安心推進	付加価値の高齢者の権利を守ること	成年後見制度の利用の対応	情報収集に住民の高齢者に関する	その他	特になし	無回答
上段:件数 下段:%														
全体	7,926 100.0	4,321 54.5	2,961 37.4	1,641 20.7	1,234 15.6	2,084 26.3	2,855 36.0	687 8.7	548 6.9	122 1.5	630 7.9	685 8.6		
問3 要支援等の認定状況について														
一般高齢者	7,169 100.0	3,931 54.8	2,734 38.1	1,467 20.5	1,117 15.6	1,918 26.8	2,588 36.1	630 8.8	482 6.7	116 1.6	576 8.0	586 8.2		
事業対象者	80 100.0	37 46.3	27 33.8	18 22.5	11 13.8	16 20.0	39 48.8	5 6.3	3 3.8	1 1.3	7 8.8	11 13.8		
要支援1	341 100.0	181 53.1	115 33.7	79 23.2	56 16.4	71 20.8	115 33.7	26 7.6	42 12.3	2 0.6	18 5.3	35 10.3		
要支援2	128 100.0	69 53.9	35 27.3	24 18.8	20 15.6	28 21.9	41 32.0	11 8.6	12 9.4	2 1.6	13 10.2	10 7.8		
無回答	208 100.0	103 49.5	50 24.0	53 25.5	30 14.4	51 24.5	72 34.6	15 7.2	9 4.3	1 0.5	16 7.7	43 20.7		

## 第2章 調査結果の分析

○調査区域別にみると、「介護や保健福祉サービスの相談受付」が最も多いのは長町・郡山・富沢で58.5%、最も少ないのは双葉ヶ丘・葉山・台原で48.2%となっており、10.3ポイントの差となっています。また、国見・国見ヶ丘・桜ヶ丘では「地域の医療機関や福祉機関などのネットワークの充実」(42.6%)が他の調査区に比べて多くなっており、最も少ない小松島・燕沢・鶴ヶ谷(32.6%)を10.0ポイント上回っています。

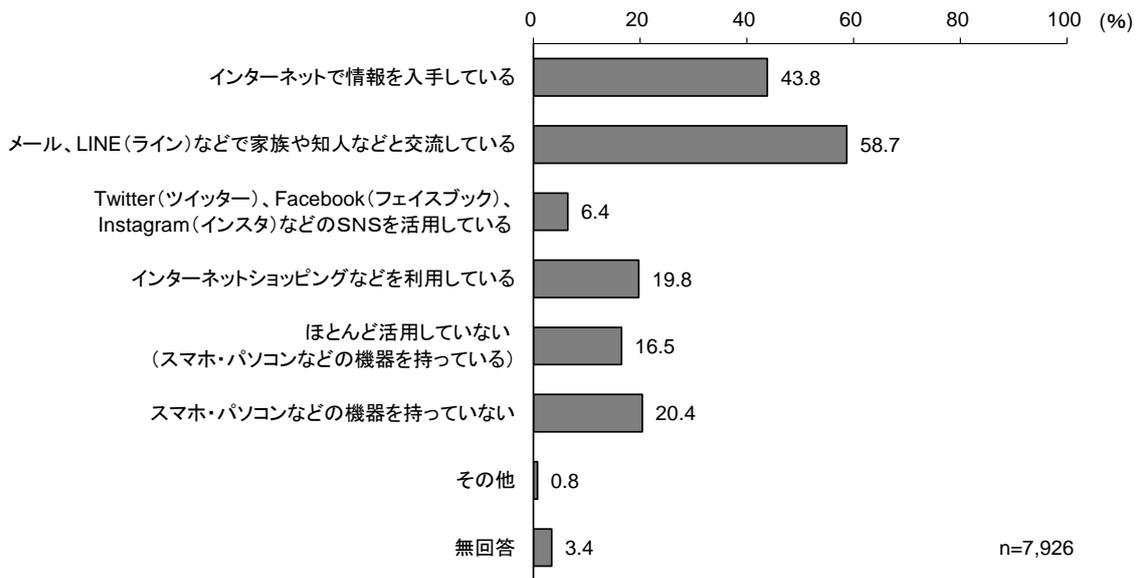
調査数	介護や保健福祉サービスの相談受付	地域の医療機関や福祉機関の充実	介護予防についての相談受付	介護の予防の普及啓発や運動教室	認知症の相談受付	認知症に関する地域づくりの推進	認知症に関する普及啓発や暮らさせる地域づくりの安心	付加価値の高齢者の権利を守る	成年後見制度の利用の対応	情報収集に住民の高齢者に関する	その他	特になし	無回答
上段: 件数 下段: %													
全体	7,926 100.0	4,321 54.5	2,961 37.4	1,641 20.7	1,234 15.6	2,084 26.3	2,855 36.0	687 8.7	548 6.9	122 1.5	630 7.9	685 8.6	
調査区域													
五橋・上杉・木町通・花京院	451 100.0	242 53.7	161 35.7	98 21.7	70 15.5	104 23.1	158 35.0	39 8.6	33 7.3	9 2.0	34 7.5	51 11.3	
双葉ヶ丘・葉山・台原	419 100.0	202 48.2	172 41.1	81 19.3	59 14.1	88 21.0	155 37.0	41 9.8	28 6.7	9 2.1	42 10.0	40 9.5	
国見・国見ヶ丘・桜ヶ丘	430 100.0	248 57.7	183 42.6	84 19.5	57 13.3	126 29.3	171 39.8	40 9.3	26 6.0	6 1.4	29 6.7	30 7.0	
大沢広陵・あやし・南吉成	420 100.0	238 56.7	153 36.4	91 21.7	57 13.6	115 27.4	148 35.2	32 7.6	31 7.4	7 1.7	31 7.4	40 9.5	
東仙台・宮城野・榴岡	439 100.0	240 54.7	158 36.0	89 20.3	65 14.8	108 24.6	139 31.7	34 7.7	27 6.2	8 1.8	45 10.3	37 8.4	
小松島・燕沢・鶴ヶ谷	448 100.0	251 56.0	146 32.6	88 19.6	74 16.5	116 25.9	157 35.0	39 8.7	34 7.6	3 0.7	32 7.1	43 9.6	
岩切・高砂・福田町	435 100.0	220 50.6	152 34.9	87 20.0	73 16.8	106 24.4	164 37.7	32 7.4	30 6.9	8 1.8	33 7.6	50 11.5	
河原町・大和蒲町・遠見塚	443 100.0	255 57.6	154 34.8	106 23.9	74 16.7	131 29.6	155 35.0	31 7.0	29 6.5	7 1.6	40 9.0	30 6.8	
六郷・沖野・七郷	431 100.0	237 55.0	146 33.9	86 20.0	67 15.5	122 28.3	152 35.3	32 7.4	32 7.4	8 1.9	28 6.5	41 9.5	
長町・郡山・富沢	446 100.0	261 58.5	177 39.7	101 22.6	70 15.7	127 28.5	164 36.8	40 9.0	32 7.2	5 1.1	30 6.7	35 7.8	
愛宕橋・八木山・西多賀・山田	432 100.0	233 53.9	150 34.7	90 20.8	76 17.6	107 24.8	152 35.2	42 9.7	25 5.8	6 1.4	38 8.8	36 8.3	
西中田・袋原・四郎丸	456 100.0	243 53.3	162 35.5	98 21.5	70 15.4	132 28.9	177 38.8	41 9.0	25 5.5	5 1.1	33 7.2	40 8.8	
茂庭・秋保	419 100.0	212 50.6	150 35.8	74 17.7	70 16.7	104 24.8	152 36.3	39 9.3	30 7.2	7 1.7	34 8.1	47 11.2	
泉中央・寺岡・高森	435 100.0	222 51.0	183 42.1	85 19.5	80 18.4	116 26.7	144 33.1	45 10.3	35 8.0	8 1.8	30 6.9	32 7.4	
将監・松森・向陽台	452 100.0	263 58.2	179 39.6	84 18.6	69 15.3	117 25.9	175 38.7	33 7.3	28 6.2	5 1.1	34 7.5	37 8.2	
南光台・八乙女	447 100.0	237 53.0	164 36.7	86 19.2	66 14.8	116 26.0	165 36.9	48 10.7	35 7.8	7 1.6	35 7.8	34 7.6	
虹の丘・加茂・長命ヶ丘	460 100.0	265 57.6	194 42.2	108 23.5	61 13.3	124 27.0	173 37.6	39 8.5	25 5.4	8 1.7	38 8.3	29 6.3	
根白石・南中山	458 100.0	249 54.4	177 38.6	104 22.7	76 16.6	122 26.6	154 33.6	38 8.3	41 9.0	5 1.1	44 9.6	33 7.2	
無回答	5 100.0	3 60.0	—	1 20.0	—	3 60.0	—	2 40.0	2 40.0	1 20.0	—	—	

14. インターネットやスマートフォン等の活用について

(1)スマートフォン、パソコンの活用状況【複数回答】

問16(1) 普段の生活でスマートフォン(スマホ)、パソコン(タブレットを含む)をどの程度活用していますか(いくつでも)

○スマートフォン、パソコンの活用状況は、「メール、LINE（ライン）などで家族や知人などと交流している」(58.7%)が最も多く、次いで、「インターネットで情報を入手している」(43.8%)、「スマホ・パソコンなどの機器を持っていない」(20.4%)となっています。



○性別にみると、男性では「インターネットで情報を入手している」(54.0%)、「インターネットショッピングなどを利用している」(25.9%)が女性に比べて多くなっています。

	調査数	インターネットで情報を入手している	メール、LINE(ライン)などで家族や知人などと交流している	Twitter(ツイッター)、Facebook(フェイスブック)、Instagram(インスタ)などのSNSを活用している	インターネットショッピングなどを利用している	ほとんど活用していない (スマホ・パソコンなどの機器を持っている)	スマホ・パソコンなどの機器を持っていない	その他	無回答
全体	7,926	3,475	4,654	511	1,567	1,310	1,618	61	272
	100.0	43.8	58.7	6.4	19.8	16.5	20.4	0.8	3.4
問1 本人の性別									
男性	3,620	1,953	2,009	304	936	699	620	29	108
	100.0	54.0	55.5	8.4	25.9	19.3	17.1	0.8	3.0
女性	4,249	1,501	2,611	202	616	602	984	32	161
	100.0	35.3	61.4	4.8	14.5	14.2	23.2	0.8	3.8
無回答	57	21	34	5	15	9	14	—	3
	100.0	36.8	59.6	8.8	26.3	15.8	24.6	—	5.3

## 第2章 調査結果の分析

○年齢別にみると、年齢が高くなるにしたがって、「スマホ・パソコンなどの機器を持っていない」の割合が多くなっています。

上段:件数 下段:%	調査数	インターネットで情報を 入手している	メール、LINE(ライン) などで家族や知人などと交流 している	Twitter(ツイッター)、 Facebook(フェイスブック)、 Instagram(インスタグラム)、 SNSを活用している	インターネットショッピングな どを利用している	ほとんど活用していない スマホ・パソコンなどの 機器を持っている	スマホ・パソコンなどの 機器を持っていない	その他	無回答
全体	7,926 100.0	3,475 43.8	4,654 58.7	511 6.4	1,567 19.8	1,310 16.5	1,618 20.4	61 0.8	272 3.4
問2 本人の年齢									
65～69歳	1,951 100.0	1,312 67.2	1,523 78.1	209 10.7	686 35.2	199 10.2	135 6.9	13 0.7	31 1.6
70～74歳	2,340 100.0	1,192 50.9	1,601 68.4	192 8.2	538 23.0	372 15.9	298 12.7	10 0.4	48 2.1
75～79歳	1,649 100.0	617 37.4	905 54.9	69 4.2	225 13.6	321 19.5	345 20.9	16 1.0	60 3.6
80～84歳	1,122 100.0	261 23.3	463 41.3	31 2.8	90 8.0	242 21.6	387 34.5	14 1.2	55 4.9
85～89歳	604 100.0	73 12.1	127 21.0	7 1.2	19 3.1	139 23.0	295 48.8	7 1.2	51 8.4
90～94歳	208 100.0	12 5.8	24 11.5	1 0.5	7 3.4	31 14.9	130 62.5	1 0.5	21 10.1
95～99歳	25 100.0	2 8.0	1 4.0	1 4.0	— —	3 12.0	18 72.0	— —	3 12.0
100歳以上	3 100.0	— —	— —	— —	— —	— —	2 66.7	— —	1 33.3
無回答	24 100.0	6 25.0	10 41.7	1 4.2	2 8.3	3 12.5	8 33.3	— —	2 8.3

○要支援等の認定状況別にみると、要支援1、要支援2では「スマホ・パソコンなどの機器を持っていない」の割合が一般高齢者、事業対象者に比べて多くなっています。

上段:件数 下段:%	調査数	インターネットで情報を 入手している	メール、LINE(ライン) などで家族や知人などと交流 している	Twitter(ツイッター)、 Facebook(フェイスブック)、 Instagram(インスタグラム)、 SNSを活用している	インターネットショッピングな どを利用している	ほとんど活用していない スマホ・パソコンなどの 機器を持っている	スマホ・パソコンなどの 機器を持っていない	その他	無回答
全体	7,926 100.0	3,475 43.8	4,654 58.7	511 6.4	1,567 19.8	1,310 16.5	1,618 20.4	61 0.8	272 3.4
問3 要支援等の認定状況について									
一般高齢者	7,169 100.0	3,333 46.5	4,394 61.3	493 6.9	1,512 21.1	1,152 16.1	1,328 18.5	55 0.8	209 2.9
事業対象者	80 100.0	27 33.8	47 58.8	4 5.0	10 12.5	17 21.3	17 21.3	— —	— —
要支援1	341 100.0	53 15.5	98 28.7	6 1.8	19 5.6	78 22.9	148 43.4	4 1.2	20 5.9
要支援2	128 100.0	10 7.8	27 21.1	— —	6 4.7	24 18.8	66 51.6	1 0.8	11 8.6
無回答	208 100.0	52 25.0	88 42.3	8 3.8	20 9.6	39 18.8	59 28.4	1 0.5	32 15.4

## 第2章 調査結果の分析

○調査区域別にみると、「インターネットで情報を入手している」、「メール、LINE（ライン）などで家族や知人などと交流している」の割合は、虹の丘・加茂・長命ヶ丘、及び根白石・南中山が他の調査区に比べて多くなっています。また、「スマホ・パソコンなどの機器を持っていない」は小松島・燕沢・鶴ヶ谷が28.8%と他の調査区に比べて多く、最も少ない根白石・南中山（12.0%）を16.8ポイント上回っています。

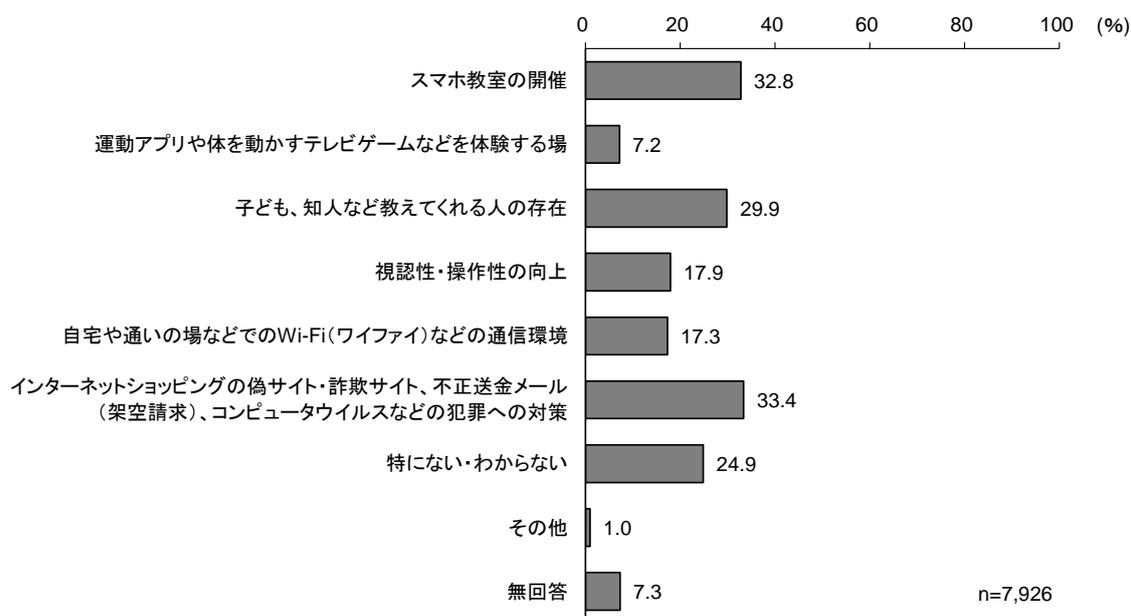
	調査数	インターネットで情報を入手している	メール、LINE（ライン）などで家族や知人などと交流している	Twitter（ツイッター）、Facebook（フェイスブック）、Instagram（インスタグラム）などのSNSを活用している	インターネットショッピングなどを利用している	ほとんど活用していない（スマホ・パソコンなどの機器を持っていない）	スマホ・パソコンなどの機器を持っていない	その他	無回答
上段：件数 下段：%									
全体	7,926 100.0	3,475 43.8	4,654 58.7	511 6.4	1,567 19.8	1,310 16.5	1,618 20.4	61 0.8	272 3.4
調査区域									
五橋・上杉・木町通・花京院	451 100.0	222 49.2	284 63.0	43 9.5	108 23.9	64 14.2	75 16.6	2 0.4	21 4.7
双葉ヶ丘・葉山・台原	419 100.0	181 43.2	239 57.0	37 8.8	71 16.9	71 16.9	82 19.6	2 0.5	19 4.5
国見・国見ヶ丘・桜ヶ丘	430 100.0	205 47.7	267 62.1	27 6.3	90 20.9	71 16.5	81 18.8	2 0.5	14 3.3
大沢広陵・あやし・南吉成	420 100.0	158 37.6	237 56.4	28 6.7	84 20.0	76 18.1	96 22.9	6 1.4	17 4.0
東仙台・宮城野・榴岡	439 100.0	189 43.1	248 56.5	20 4.6	80 18.2	81 18.5	93 21.2	2 0.5	7 1.6
小松島・燕沢・鶴ヶ谷	448 100.0	154 34.4	224 50.0	20 4.5	78 17.4	87 19.4	129 28.8	4 0.9	12 2.7
岩切・高砂・福田町	435 100.0	152 34.9	234 53.8	21 4.8	64 14.7	77 17.7	90 20.7	5 1.1	28 6.4
河原町・大和蒲町・遠見塚	443 100.0	178 40.2	245 55.3	29 6.5	64 14.4	76 17.2	116 26.2	2 0.5	13 2.9
六郷・沖野・七郷	431 100.0	161 37.4	227 52.7	21 4.9	60 13.9	78 18.1	107 24.8	6 1.4	16 3.7
長町・郡山・富沢	446 100.0	207 46.4	261 58.5	30 6.7	89 20.0	77 17.3	86 19.3	1 0.2	10 2.2
愛宕橋・八木山・西多賀・山田	432 100.0	190 44.0	259 60.0	26 6.0	93 21.5	79 18.3	80 18.5	8 1.9	19 4.4
西中田・袋原・四郎丸	456 100.0	178 39.0	246 53.9	20 4.4	89 19.5	85 18.6	104 22.8	3 0.7	18 3.9
茂庭・秋保	419 100.0	179 42.7	241 57.5	33 7.9	82 19.6	65 15.5	78 18.6	1 0.2	21 5.0
泉中央・寺岡・高森	435 100.0	210 48.3	273 62.8	31 7.1	92 21.1	62 14.3	81 18.6	2 0.5	14 3.2
将監・松森・向陽台	452 100.0	216 47.8	287 63.5	24 5.3	99 21.9	60 13.3	87 19.2	3 0.7	12 2.7
南光台・八乙女	447 100.0	192 43.0	255 57.0	26 5.8	85 19.0	76 17.0	102 22.8	6 1.3	13 2.9
虹の丘・加茂・長命ヶ丘	460 100.0	237 51.5	311 67.6	32 7.0	105 22.8	62 13.5	74 16.1	3 0.7	7 1.5
根白石・南中山	458 100.0	265 57.9	315 68.8	43 9.4	133 29.0	61 13.3	55 12.0	2 0.4	11 2.4
無回答	5 100.0	1 20.0	1 20.0	— —	1 20.0	2 40.0	2 40.0	1 20.0	— —

## 第2章 調査結果の分析

### (2)スマートフォン、パソコンを一層活用するために必要なこと【複数回答】

問16(2) スマートフォン(スマホ)、パソコン(タブレットを含む)を一層活用するために必要だと思うことは何ですか(いくつでも)

○スマートフォン、パソコンを一層活用するために必要なことは、「インターネットショッピングの偽サイト・詐欺サイト、不正送金メール(架空請求)、コンピュータウイルスなどの犯罪への対策」(33.4%)が最も多く、次いで、「スマホ教室の開催」(32.8%)、「子ども、知人など教えてくれる人の存在」(29.9%)となっています。



○性別にみると、大きな差はみられませんでした。

	調査数	スマホ教室の開催	運動アプリや体を動かすテレビゲームなどを体験する場	子ども、知人など教えてくれる人の存在	視認性・操作性の向上	自宅や通いの場などでのWi-Fi(ワイファイ)などの通信環境	インターネットショッピングの偽サイト・詐欺サイト、不正送金メール(架空請求)、コンピュータウイルスなどの犯罪への対策	特にない・わからない	その他	無回答
全体	7,926 100.0	2,600 32.8	571 7.2	2,366 29.9	1,422 17.9	1,374 17.3	2,647 33.4	1,970 24.9	78 1.0	582 7.3
問1 本人の性別										
男性	3,620 100.0	1,207 33.3	204 5.6	971 26.8	734 20.3	757 20.9	1,294 35.7	882 24.4	40 1.1	197 5.4
女性	4,249 100.0	1,377 32.4	363 8.5	1,376 32.4	673 15.8	607 14.3	1,335 31.4	1,073 25.3	38 0.9	380 8.9
無回答	57 100.0	16 28.1	4 7.0	19 33.3	15 26.3	10 17.5	18 31.6	15 26.3	—	5 8.8

## 第2章 調査結果の分析

○年齢別にみると、年齢が高くなるにしたがって回答が少なくなり、「特にない・わからない」が多くなっています。

上段:件数 下段:%	調査数	スマホ教室の開催	運動アプリや体を動かす する場	子ども、知人など教える 人存在	視認性・操作性の向上	自宅や通いの場などでの Wi-Fi(ワイファイ) などの通信環境	インターネットショッピングの 偽サイト・詐欺サイト、不正送金 メール(架空請求)、コンピュ タウイルスなどの犯罪への対策	特にない・わからない	その他	無回答
全体	7,926 100.0	2,600 32.8	571 7.2	2,366 29.9	1,422 17.9	1,374 17.3	2,647 33.4	1,970 24.9	78 1.0	582 7.3
問2 本人の年齢										
65～69歳	1,951 100.0	718 36.8	186 9.5	698 35.8	441 22.6	559 28.7	955 48.9	258 13.2	23 1.2	54 2.8
70～74歳	2,340 100.0	806 34.4	177 7.6	779 33.3	485 20.7	497 21.2	896 38.3	495 21.2	18 0.8	105 4.5
75～79歳	1,649 100.0	555 33.7	109 6.6	448 27.2	261 15.8	196 11.9	463 28.1	441 26.7	15 0.9	152 9.2
80～84歳	1,122 100.0	342 30.5	64 5.7	295 26.3	152 13.5	81 7.2	232 20.7	383 34.1	17 1.5	123 11.0
85～89歳	604 100.0	139 23.0	25 4.1	112 18.5	60 9.9	30 5.0	77 12.7	261 43.2	3 0.5	98 16.2
90～94歳	208 100.0	33 15.9	8 3.8	27 13.0	17 8.2	6 2.9	20 9.6	107 51.4	2 1.0	39 18.8
95～99歳	25 100.0	2 8.0	1 4.0	2 8.0	—	—	—	16 64.0	—	6 24.0
100歳以上	3 100.0	—	—	—	—	—	—	1 33.3	—	2 66.7
無回答	24 100.0	5 20.8	1 4.2	5 20.8	6 25.0	5 20.8	4 16.7	8 33.3	—	3 12.5

○要支援等の認定状況別にみると、要支援1、要支援2では回答が少なくなり、「特にない・わからない」の割合が一般高齢者、事業対象者に比べて多くなっています。

上段:件数 下段:%	調査数	スマホ教室の開催	運動アプリや体を動かす する場	子ども、知人など教える 人存在	視認性・操作性の向上	自宅や通いの場などでの Wi-Fi(ワイファイ) などの通信環境	インターネットショッピングの 偽サイト・詐欺サイト、不正送金 メール(架空請求)、コンピュ タウイルスなどの犯罪への対策	特にない・わからない	その他	無回答
全体	7,926 100.0	2,600 32.8	571 7.2	2,366 29.9	1,422 17.9	1,374 17.3	2,647 33.4	1,970 24.9	78 1.0	582 7.3
問3 要支援等の認定状況について										
一般高齢者	7,169 100.0	2,393 33.4	528 7.4	2,186 30.5	1,314 18.3	1,304 18.2	2,506 35.0	1,712 23.9	70 1.0	478 6.7
事業対象者	80 100.0	30 37.5	4 5.0	25 31.3	13 16.3	13 16.3	23 28.8	17 21.3	—	5 6.3
要支援1	341 100.0	100 29.3	22 6.5	83 24.3	54 15.8	27 7.9	59 17.3	123 36.1	3 0.9	42 12.3
要支援2	128 100.0	25 19.5	4 3.1	28 21.9	9 7.0	7 5.5	19 14.8	57 44.5	4 3.1	18 14.1
無回答	208 100.0	52 25.0	13 6.3	44 21.2	32 15.4	23 11.1	40 19.2	61 29.3	1 0.5	39 18.8

## 第2章 調査結果の分析

○調査区域別にみると、「子ども、知人など教えてくれる人の存在」は国見・国見ヶ丘・桜ヶ丘が35.1%と他の調査区に比べて多く、最も少ない六郷・沖野・七郷（24.4%）を10.7ポイント上回っています。また、根白石・南中山では「自宅や通いの場などでのWi-Fi（ワイファイ）などの通信環境」（24.2%）、「インターネットショッピングの偽サイト・詐欺サイト、不正送金メール（架空請求）、コンピュータウイルスなどの犯罪への対策」（41.5%）が他の調査区に比べて多くなっています。一方、六郷・沖野・七郷では「特にない・わからない」が31.8%と他の調査区に比べて多く、最も少ない根白石・南中山（19.9%）を11.9ポイント上回っています。

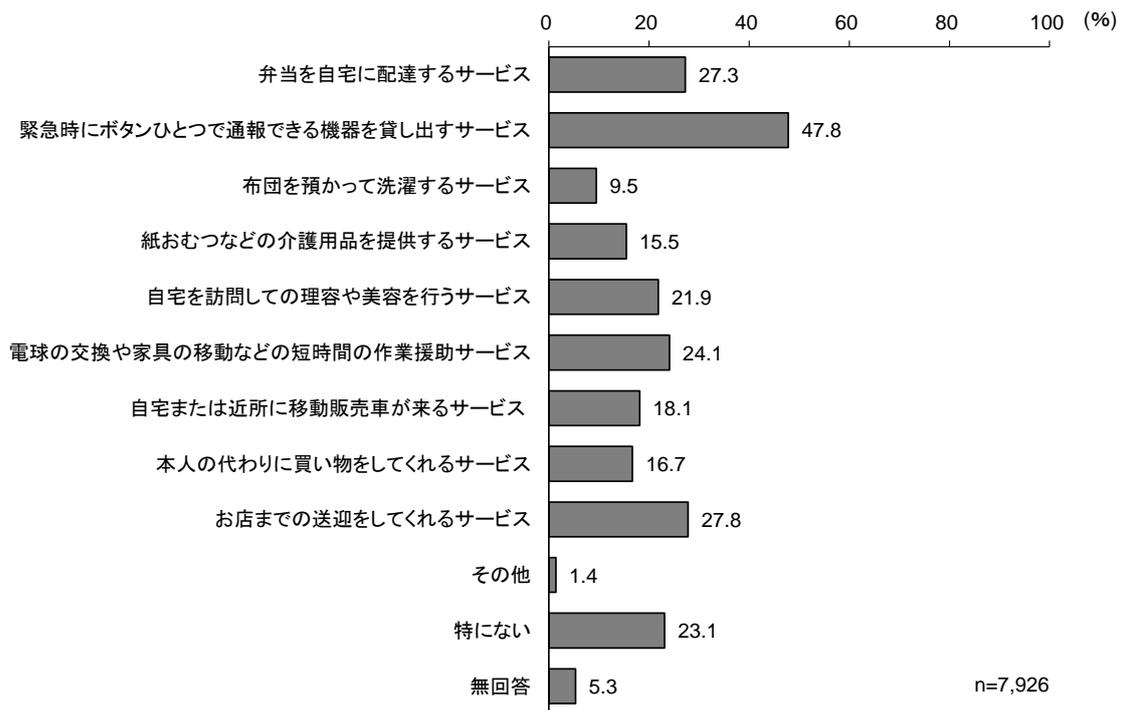
上段：件数 下段：%	調査数	スマホ教室の開催	運動アプリや体を動かす するレジャーなどを体験	子ども、知人など教えて くれる人の存在	視認性・操作性の向上	自宅や通いの場などでの Wi-Fi（ワイファイ） などの通信環境	インターネットショッピングの 偽サイト・詐欺サイト、不正送 金メール（架空請求）、コンピ ュータウイルスなどの犯罪への 対策	特にない・わからない	その他	無回答
全体	7,926 100.0	2,600 32.8	571 7.2	2,366 29.9	1,422 17.9	1,374 17.3	2,647 33.4	1,970 24.9	78 1.0	582 7.3
調査区域										
五橋・上杉・木町通・花京院	451 100.0	152 33.7	40 8.9	133 29.5	87 19.3	70 15.5	163 36.1	92 20.4	4 0.9	37 8.2
双葉ヶ丘・葉山・台原	419 100.0	120 28.6	25 6.0	122 29.1	81 19.3	67 16.0	133 31.7	103 24.6	—	36 8.6
国見・国見ヶ丘・桜ヶ丘	430 100.0	141 32.8	24 5.6	151 35.1	83 19.3	84 19.5	169 39.3	93 21.6	5 1.2	28 6.5
大沢広陵・あやし・南吉成	420 100.0	127 30.2	15 3.6	120 28.6	75 17.9	60 14.3	136 32.4	117 27.9	4 1.0	29 6.9
東仙台・宮城野・榴岡	439 100.0	152 34.6	30 6.8	126 28.7	77 17.5	76 17.3	142 32.3	118 26.9	4 0.9	25 5.7
小松島・燕沢・鶴ヶ谷	448 100.0	147 32.8	27 6.0	131 29.2	73 16.3	66 14.7	119 26.6	133 29.7	3 0.7	34 7.6
岩切・高砂・福田町	435 100.0	142 32.6	26 6.0	110 25.3	64 14.7	58 13.3	122 28.0	116 26.7	5 1.1	45 10.3
河原町・大和蒲町・遠見塚	443 100.0	155 35.0	30 6.8	148 33.4	68 15.3	75 16.9	148 33.4	115 26.0	4 0.9	34 7.7
六郷・沖野・七郷	431 100.0	144 33.4	27 6.3	105 24.4	65 15.1	72 16.7	120 27.8	137 31.8	4 0.9	30 7.0
長町・郡山・富沢	446 100.0	155 34.8	41 9.2	132 29.6	89 20.0	92 20.6	146 32.7	107 24.0	5 1.1	33 7.4
愛宕橋・八木山・西多賀・山田	432 100.0	132 30.6	35 8.1	136 31.5	65 15.0	69 16.0	144 33.3	111 25.7	4 0.9	36 8.3
西中田・袋原・四郎丸	456 100.0	157 34.4	33 7.2	123 27.0	88 19.3	60 13.2	147 32.2	118 25.9	8 1.8	34 7.5
茂庭・秋保	419 100.0	152 36.3	30 7.2	123 29.4	94 22.4	74 17.7	138 32.9	104 24.8	2 0.5	40 9.5
泉中央・寺岡・高森	435 100.0	153 35.2	44 10.1	135 31.0	74 17.0	90 20.7	143 32.9	93 21.4	5 1.1	32 7.4
将監・松森・向陽台	452 100.0	145 32.1	36 8.0	136 30.1	71 15.7	98 21.7	165 36.5	91 20.1	4 0.9	31 6.9
南光台・八乙女	447 100.0	132 29.5	36 8.1	128 28.6	83 18.6	71 15.9	148 33.1	129 28.9	4 0.9	31 6.9
虹の丘・加茂・長命ヶ丘	460 100.0	163 35.4	32 7.0	148 32.2	98 21.3	80 17.4	173 37.6	101 22.0	8 1.7	19 4.1
根白石・南中山	458 100.0	127 27.7	38 8.3	157 34.3	85 18.6	111 24.2	190 41.5	91 19.9	4 0.9	28 6.1
無回答	5 100.0	4 80.0	2 40.0	2 40.0	2 40.0	1 20.0	1 20.0	1 20.0	1 20.0	—

15. 高齢者福祉サービスの利用意向について

(1) 今後利用してみたい(引き続き利用したい)高齢者福祉サービス【複数回答】

問17 高齢者福祉サービスについて、日常生活の不便さを解消するために、今後利用してみたい(引き続き利用したい)と思うサービスはありますか(いくつでも)

○今後利用してみたい(引き続き利用したい)高齢者福祉サービスは、「緊急時にボタンひとつで通報できる機器を貸し出すサービス」(47.8%)が最も多く、次いで、「お店までの送迎をしてくれるサービス」(27.8%)、「弁当を自宅に配達するサービス」(27.3%)となっています。



○性別にみると、女性では「電球の交換や家具の移動などの短時間の作業援助サービス」(28.7%)、「お店までの送迎をしてくれるサービス」(31.9%)が男性を上回っています。

	調査数	弁当を自宅に配達するサービス	緊急時にボタンひとつで通報できる機器を貸し出すサービス	布団を預かって洗濯するサービス	紙おむつなどの介護用品を提供するサービス	自宅を訪問しての理容や美容を行うサービス	電球の交換や家具の移動などの短時間の作業援助サービス	自宅または近所に移動販売車が来るサービス	本人の代わりに買い物をしてくれるサービス	お店までの送迎をしてくれるサービス	その他	特にない	無回答
全体	7,926 100.0	2,162 27.3	3,790 47.8	753 9.5	1,226 15.5	1,733 21.9	1,911 24.1	1,438 18.1	1,324 16.7	2,205 27.8	112 1.4	1,834 23.1	424 5.3
問1 本人の性別													
男性	3,620 100.0	1,029 28.4	1,635 45.2	381 10.5	509 14.1	674 18.6	681 18.8	542 15.0	660 18.2	839 23.2	45 1.2	983 27.2	193 5.3
女性	4,249 100.0	1,117 26.3	2,131 50.2	368 8.7	712 16.8	1,047 24.6	1,220 28.7	885 20.8	657 15.5	1,354 31.9	67 1.6	840 19.8	227 5.3
無回答	57 100.0	16 28.1	24 42.1	4 7.0	5 8.8	12 21.1	10 17.5	11 19.3	7 12.3	12 21.1	—	11 19.3	4 7.0

## 第2章 調査結果の分析

○年齢別にみると、85歳以上の年齢層では、「自宅を訪問しての利用や美容を行うサービス」の割合が多くなっています。

	調査数	弁当を自宅に配達するサービス	緊急時にボタンひとつです通報できる機器を貸し出すサービス	布団を預かって洗濯するサービス	紙おむつなどの介護用品を提供するサービス	自宅を訪問しての理容や美容を行うサービス	電球の交換や家具の移動などの短時間の作業の援助サービス	自宅または近所に移動販売車	本人の代わりに買い物をしてくれるサービス	お店までの送迎をしてくれるサービス	その他	特にな	無回答
上段:件数 下段:%													
全体	7,926 100.0	2,162 27.3	3,790 47.8	753 9.5	1,226 15.5	1,733 21.9	1,911 24.1	1,438 18.1	1,324 16.7	2,205 27.8	112 1.4	1,834 23.1	424 5.3
問2 本人の年齢													
65～69歳	1,951 100.0	628 32.2	1,005 51.5	243 12.5	347 17.8	453 23.2	529 27.1	412 21.1	383 19.6	566 29.0	24 1.2	422 21.6	56 2.9
70～74歳	2,340 100.0	641 27.4	1,155 49.4	219 9.4	368 15.7	472 20.2	598 25.6	381 16.3	385 16.5	647 27.6	31 1.3	576 24.6	99 4.2
75～79歳	1,649 100.0	409 24.8	757 45.9	139 8.4	232 14.1	347 21.0	370 22.4	267 16.2	247 15.0	456 27.7	23 1.4	393 23.8	116 7.0
80～84歳	1,122 100.0	254 22.6	507 45.2	78 7.0	134 11.9	232 20.7	229 20.4	219 19.5	157 14.0	316 28.2	19 1.7	262 23.4	78 7.0
85～89歳	604 100.0	169 28.0	271 44.9	47 7.8	97 16.1	156 25.8	126 20.9	112 18.5	105 17.4	158 26.2	11 1.8	122 20.2	48 7.9
90～94歳	208 100.0	50 24.0	77 37.0	20 9.6	34 16.3	59 28.4	46 22.1	40 19.2	36 17.3	51 24.5	4 1.9	51 24.5	21 10.1
95～99歳	25 100.0	3 12.0	8 32.0	4 16.0	7 28.0	8 32.0	8 32.0	4 16.0	7 28.0	8 32.0	—	3 12.0	3 12.0
100歳以上	3 100.0	—	3 100.0	1 33.3	2 66.7	2 66.7	3 100.0	—	2 66.7	—	—	—	—
無回答	24 100.0	8 33.3	7 29.2	2 8.3	5 20.8	4 16.7	2 8.3	3 12.5	2 8.3	3 12.5	—	5 20.8	3 12.5

○要支援等の認定状況別にみると、要支援1、要支援2では「自宅を訪問しての利用や美容を行うサービス」、「お店までの送迎をしてくれるサービス」が一般高齢者、事業対象者に比べて多くなっています。

	調査数	弁当を自宅に配達するサービス	緊急時にボタンひとつです通報できる機器を貸し出すサービス	布団を預かって洗濯するサービス	紙おむつなどの介護用品を提供するサービス	自宅を訪問しての理容や美容を行うサービス	電球の交換や家具の移動などの短時間の作業の援助サービス	自宅または近所に移動販売車	本人の代わりに買い物をしてくれるサービス	お店までの送迎をしてくれるサービス	その他	特にな	無回答
上段:件数 下段:%													
全体	7,926 100.0	2,162 27.3	3,790 47.8	753 9.5	1,226 15.5	1,733 21.9	1,911 24.1	1,438 18.1	1,324 16.7	2,205 27.8	112 1.4	1,834 23.1	424 5.3
問3 要支援等の認定状況について													
一般高齢者	7,169 100.0	1,937 27.0	3,462 48.3	670 9.3	1,087 15.2	1,513 21.1	1,723 24.0	1,268 17.7	1,173 16.4	1,967 27.4	99 1.4	1,708 23.8	360 5.0
事業対象者	80 100.0	23 28.8	37 46.3	6 7.5	11 13.8	20 25.0	20 25.0	24 30.0	16 20.0	21 26.3	—	16 20.0	6 7.5
要支援1	341 100.0	116 34.0	162 47.5	38 11.1	65 19.1	99 29.0	101 29.6	74 21.7	72 21.1	112 32.8	7 2.1	50 14.7	22 6.5
要支援2	128 100.0	33 25.8	43 33.6	18 14.1	20 15.6	49 38.3	38 29.7	30 23.4	29 22.7	46 35.9	5 3.9	18 14.1	6 4.7
無回答	208 100.0	53 25.5	86 41.3	21 10.1	43 20.7	52 25.0	29 13.9	42 20.2	34 16.3	59 28.4	1 0.5	42 20.2	30 14.4

第2章 調査結果の分析

○調査区域別にみると、「電球の交換や家具の移動などの短時間の作業援助サービス」は五橋・上杉・木町通・花京院が30.8%と他の調査区に比べて多く、最も少ない六郷・沖野・七郷(16.2%)を14.6ポイント上回っています。また、「お店までの送迎をしてくれるサービス」は大沢広陵・あやし・南吉成が37.1%と他の調査区に比べて多く、最も少ない南光台・八乙女(21.3%)を15.8ポイント上回っています。

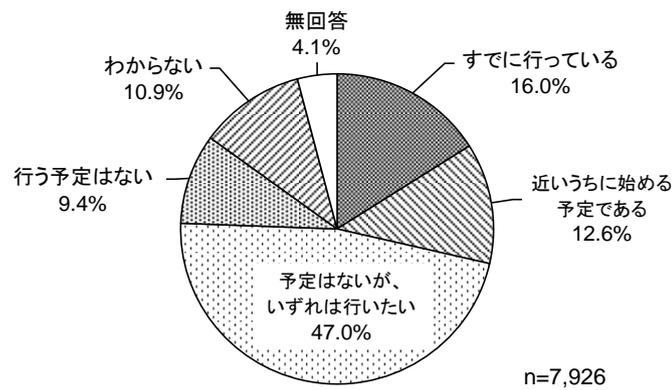
	調査数	弁当を自宅に配達するサービス	緊急時にボタンひとつです通報できる機器を貸し出すサービス	布団を預かって洗濯するサービス	紙おむつなどの介護用品を提供するサービス	美容を訪問しての理容や自宅を訪問するサービス	電球の交換や家具の移動などの短時間の作業援助サービス	自宅または近所に移動販売車が来るサービス	本人の代わりに買い物をしてくれるサービス	お店までの送迎をしてくれるサービス	その他	特にない	無回答
上段:件数 下段:%													
全体	7,926 100.0	2,162 27.3	3,790 47.8	753 9.5	1,226 15.5	1,733 21.9	1,911 24.1	1,438 18.1	1,324 16.7	2,205 27.8	112 1.4	1,834 23.1	424 5.3
調査区域													
五橋・上杉・木町通・花京院	451 100.0	115 25.5	223 49.4	48 10.6	62 13.7	94 20.8	139 30.8	55 12.2	80 17.7	118 26.2	6 1.3	103 22.8	21 4.7
双葉ヶ丘・葉山・台原	419 100.0	101 24.1	205 48.9	30 7.2	57 13.6	85 20.3	113 27.0	58 13.8	66 15.8	102 24.3	5 1.2	98 23.4	29 6.9
国見・国見ヶ丘・桜ヶ丘	430 100.0	121 28.1	225 52.3	44 10.2	63 14.7	97 22.6	114 26.5	80 18.6	83 19.3	124 28.8	3 0.7	94 21.9	20 4.7
大沢広陵・あやし・南吉成	420 100.0	106 25.2	221 52.6	40 9.5	60 14.3	92 21.9	86 20.5	95 22.6	72 17.1	156 37.1	8 1.9	82 19.5	15 3.6
東仙台・宮城野・榴岡	439 100.0	115 26.2	189 43.1	52 11.8	60 13.7	81 18.5	114 26.0	74 16.9	72 16.4	107 24.4	6 1.4	115 26.2	21 4.8
小松島・燕沢・鶴ヶ谷	448 100.0	132 29.5	216 48.2	57 12.7	76 17.0	118 26.3	100 22.3	91 20.3	83 18.5	114 25.4	9 2.0	97 21.7	30 6.7
岩切・高砂・福田町	435 100.0	113 26.0	203 46.7	28 6.4	71 16.3	91 20.9	84 19.3	73 16.8	70 16.1	126 29.0	5 1.1	106 24.4	32 7.4
河原町・大和蒲町・遠見塚	443 100.0	126 28.4	181 40.9	47 10.6	65 14.7	88 19.9	107 24.2	69 15.6	69 15.6	111 25.1	8 1.8	111 25.1	32 7.2
六郷・沖野・七郷	431 100.0	103 23.9	196 45.5	34 7.9	73 16.9	81 18.8	70 16.2	77 17.9	65 15.1	113 26.2	4 0.9	113 26.2	28 6.5
長町・郡山・富沢	446 100.0	139 31.2	213 47.8	52 11.7	88 19.7	108 24.2	127 28.5	67 15.0	81 18.2	104 23.3	8 1.8	111 24.9	20 4.5
愛宕橋・八木山・西多賀・山田	432 100.0	120 27.8	197 45.6	36 8.3	54 12.5	93 21.5	104 24.1	91 21.1	62 14.4	123 28.5	4 0.9	108 25.0	24 5.6
西中田・袋原・四郎丸	456 100.0	108 23.7	221 48.5	37 8.1	91 20.0	103 22.6	105 23.0	87 19.1	71 15.6	110 24.1	7 1.5	103 22.6	25 5.5
茂庭・秋保	419 100.0	100 23.9	190 45.3	29 6.9	62 14.8	82 19.6	91 21.7	93 22.2	68 16.2	134 32.0	5 1.2	104 24.8	31 7.4
泉中央・寺岡・高森	435 100.0	129 29.7	203 46.7	48 11.0	66 15.2	102 23.4	116 26.7	79 18.2	69 15.9	125 28.7	8 1.8	86 19.8	17 3.9
将監・松森・向陽台	452 100.0	132 29.2	217 48.0	45 10.0	75 16.6	118 26.1	108 23.9	86 19.0	84 18.6	141 31.2	3 0.7	105 23.2	17 3.8
南光台・八乙女	447 100.0	111 24.8	210 47.0	34 7.6	68 15.2	99 22.1	105 23.5	71 15.9	79 17.7	95 21.3	9 2.0	108 24.2	24 5.4
虹の丘・加茂・長命ヶ丘	460 100.0	150 32.6	251 54.6	47 10.2	71 15.4	89 19.3	109 23.7	85 18.5	70 15.2	147 32.0	10 2.2	92 20.0	17 3.7
根白石・南中山	458 100.0	139 30.3	226 49.3	43 9.4	63 13.8	110 24.0	118 25.8	105 22.9	79 17.2	152 33.2	3 0.7	96 21.0	21 4.6
無回答	5 100.0	2 40.0	3 60.0	2 40.0	1 20.0	2 40.0	1 20.0	2 40.0	1 20.0	3 60.0	1 20.0	2 40.0	—

16. 終活について

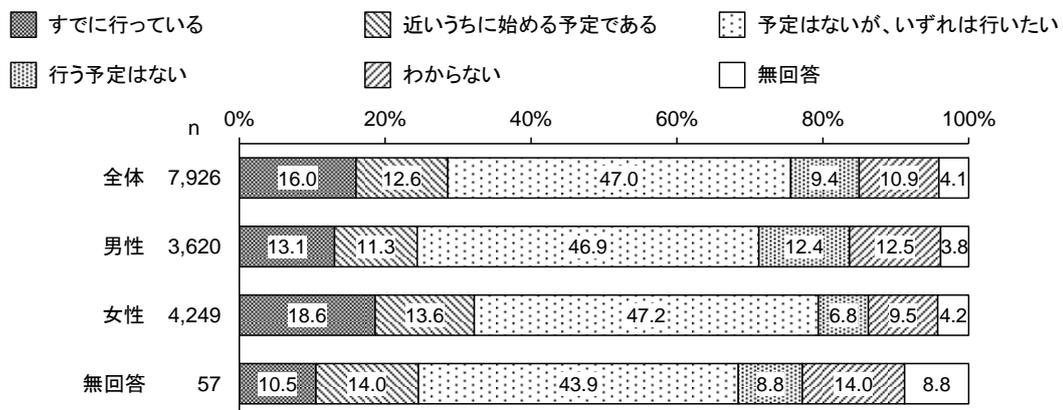
(1) 今後の「終活」について【単一回答】

問18(1) 近年、人生のエンディングに向けた準備を行う「終活」という取り組みが行われるようになっていますが、あなたは今後「終活」を行う予定がありますか

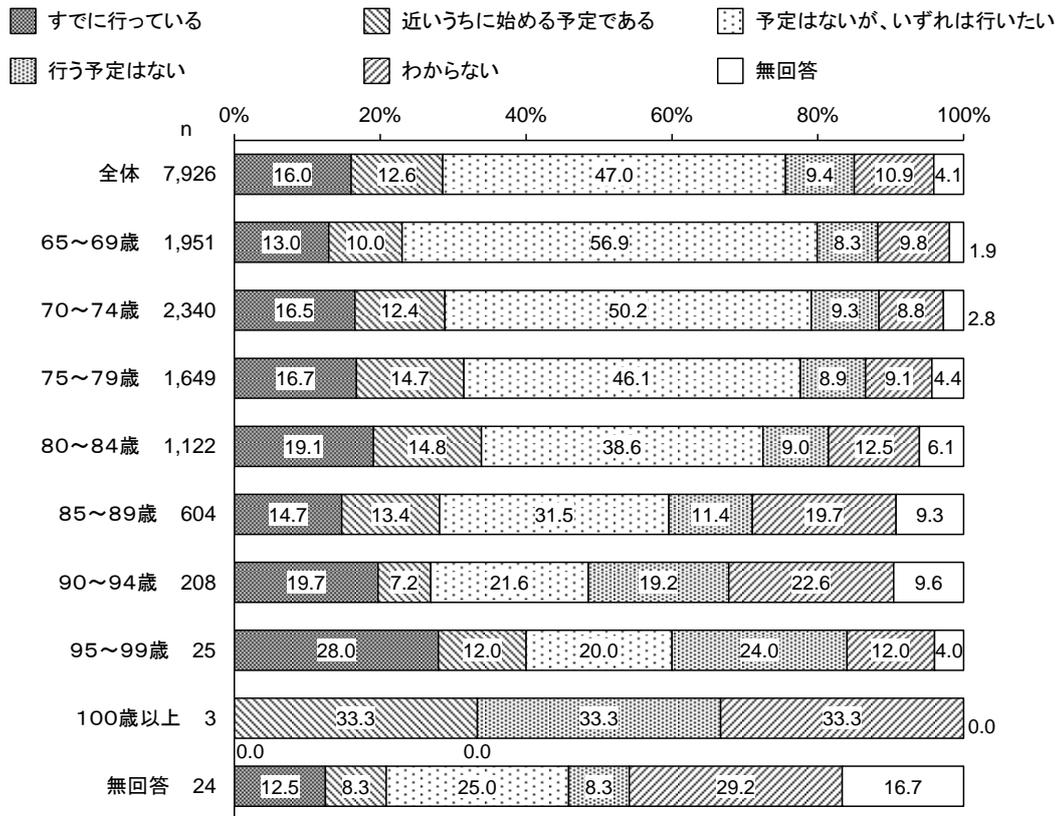
○今後の「終活」は、「予定はないが、いずれは行いたい」の割合が47.0%と最も多く、次いで、「すでに行っている」(16.0%)、「近いうちに始める予定である」(12.6%)となっています。



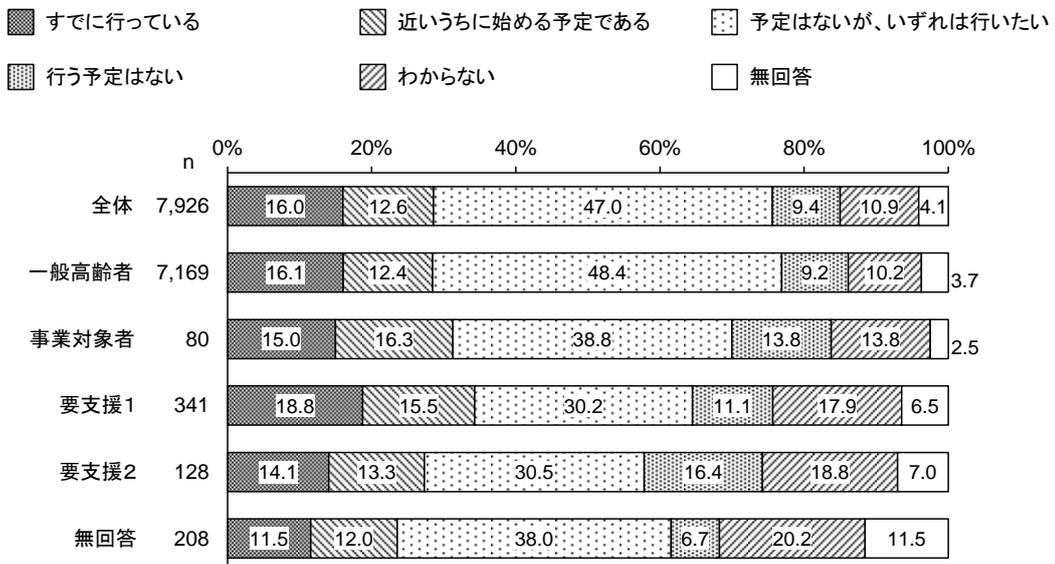
○性別にみると、男性では「行う予定はない」(12.4%)、「わからない」(12.5%)が女性に比べて多く、女性では「すでに行っている」(18.6%)が男性に比べて多くなっています。



○年齢別にみると、85歳以上の年齢層では、「行く予定はない」の割合が多くなっています。

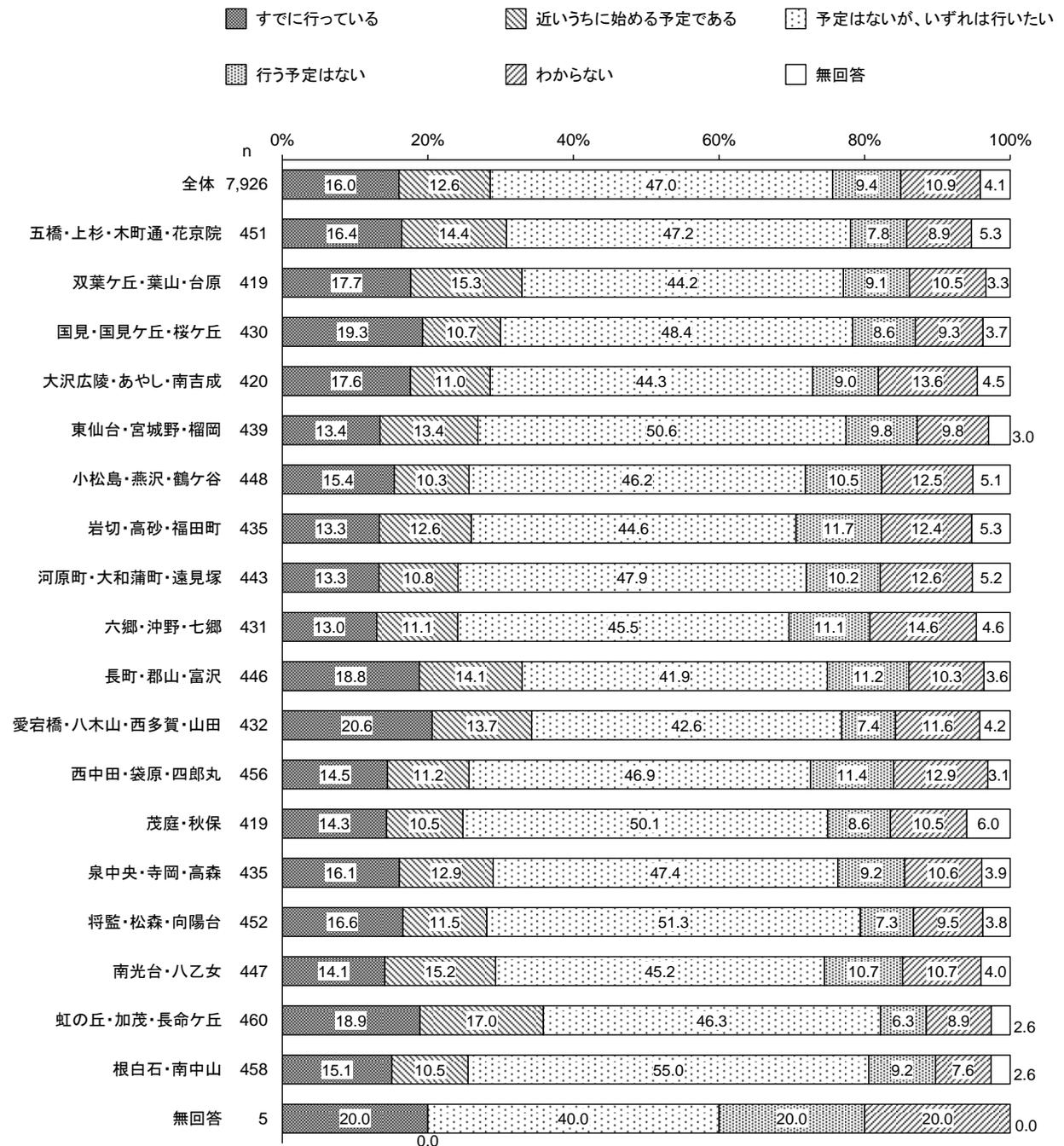


○要支援等の認定状況別にみると、要支援1、要支援2では「行く予定はない」、「わからない」が一般高齢者、事業対象者に比べて多くなっています。



## 第2章 調査結果の分析

○調査区域別にみると、「すでに行っている」は愛宕橋・八木山・西多賀・山田が20.6%、「予定はないが、いずれは行いたい」は根白石・南中山が55.0%と、それぞれ他の調査区に比べて多くなっています。

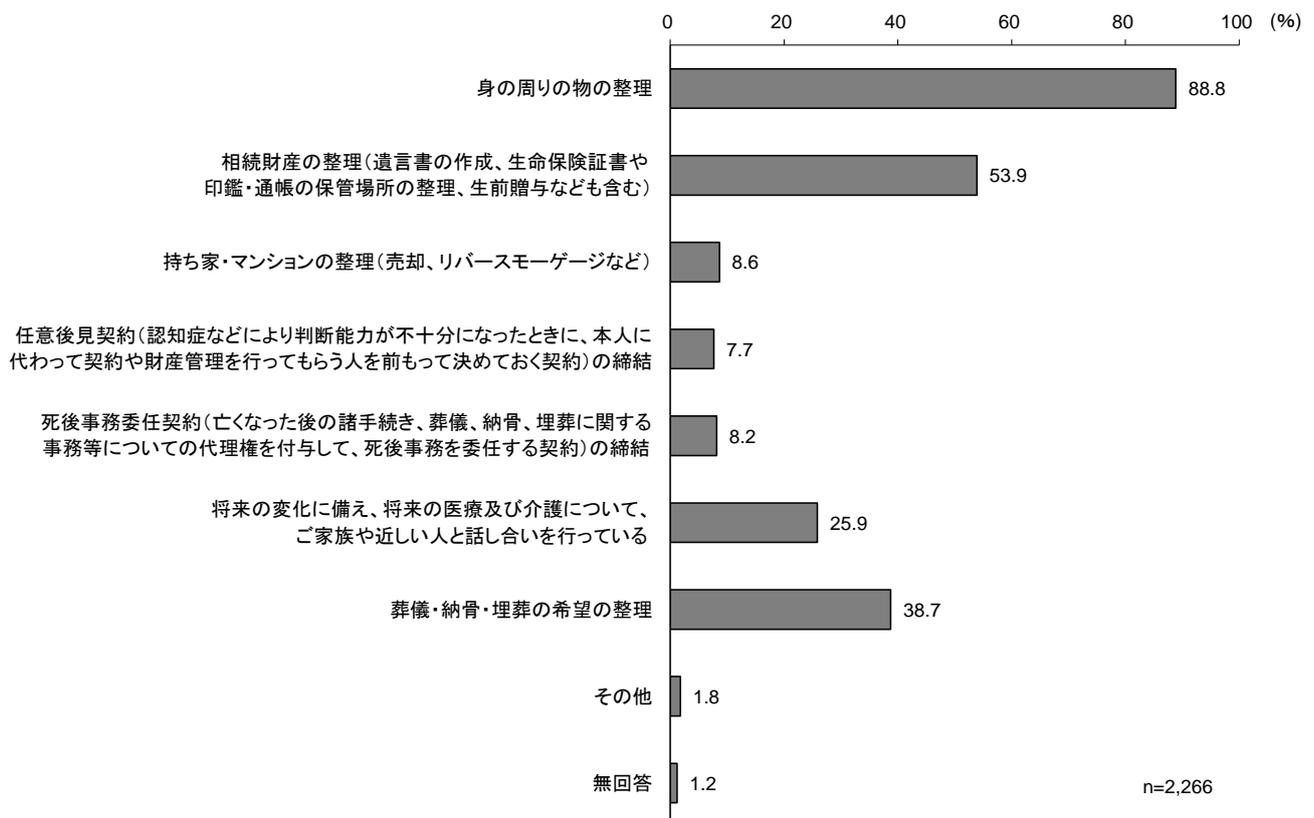


## (2) 終活の内容【複数回答】

問18(2) 【(1)で「1.すでに行っている」または「2.近いうちに始める予定である」と回答した方におたずねします】

どのような終活を行っていますか、または行う予定ですか(いくつでも)

○終活の内容は、「身の周りの物の整理」(88.8%)が最も多く、次いで、「相続財産の整理(遺言書の作成、生命保険証書や印鑑・通帳の保管場所の整理、生前贈与なども含む)」(53.9%)、「葬儀・納骨・埋葬の希望の整理」(38.7%)となっています。



## 第2章 調査結果の分析

○性別にみると、男性では「相続財産の整理（遺言書の作成、生命保険証書や印鑑・通帳の保管場所の整理、生前贈与なども含む）」(62.7%)が女性に比べて多く、女性では、「将来の変化に備え、将来の医療及び介護について、ご家族や近い人と話し合いを行っている」(30.2%)が男性に比べて多くなっています。

上段:件数 下段:%	調査数	身の周りの物の整理	相続財産の整理（遺言書の作成、生命保険証書や印鑑・通帳の保管場所の整理、生前贈与なども含む）	持ち家・マンションの整理（売却、リバース・モーゲージなど）	任意後見契約（認知症などにより判断能力が不十分になったときに、本人に代わって契約や財産管理を行う）の締結	死後事務委任契約（亡くなった後の諸手続き、葬儀・納骨、埋葬に関する事務等を委任する契約）の締結	将来の変化に備え、将来の医療及び介護について、ご家族や近い人と話し合いを行っている	葬儀・納骨・埋葬の希望の整理	その他	無回答
全体	2,266 100.0	2,013 88.8	1,221 53.9	196 8.6	174 7.7	185 8.2	586 25.9	878 38.7	40 1.8	27 1.2
問1 本人の性別										
男性	883 100.0	732 82.9	554 62.7	110 12.5	63 7.1	70 7.9	166 18.8	354 40.1	13 1.5	18 2.0
女性	1,369 100.0	1,271 92.8	659 48.1	85 6.2	110 8.0	113 8.3	413 30.2	517 37.8	27 2.0	9 0.7
無回答	14 100.0	10 71.4	8 57.1	1 7.1	1 7.1	2 14.3	7 50.0	7 50.0	—	—

## 第2章 調査結果の分析

○年齢別にみると、85歳以上の年齢層では、「持ち家・マンションの整理（売却、リバースモーゲージなど）」、「将来の変化に備え、将来の医療及び介護について、ご家族や近い人と話し合いを行っている」の割合が多くなっています。

	調査数	身の周りの物の整理	相続財産の整理（遺言書の作成、生命保険証や印章・通帳の保管、場所の整理、生前贈与なども含む）	持ち家・マンションの整理（売却、リバースモーゲージなど）	任意後見契約（認知症などにより判断能力が不十分になったときに、本人に代わって決めておく契約）の締結	死後事務委任契約（亡くなった後の諸手続につき、葬儀・納骨・埋葬に関する事務を委任する契約）の締結	将来の変化に備え、将来の医療及び介護について、ご家族や近い人と話し合いを行っている	葬儀・納骨・埋葬の希望の整理	その他	無回答
上段:件数 下段:%										
全体	2,266 100.0	2,013 88.8	1,221 53.9	196 8.6	174 7.7	185 8.2	586 25.9	878 38.7	40 1.8	27 1.2
問2 本人の年齢										
65～69歳	449 100.0	401 89.3	221 49.2	48 10.7	29 6.5	36 8.0	107 23.8	180 40.1	4 0.9	7 1.6
70～74歳	676 100.0	611 90.4	367 54.3	46 6.8	52 7.7	36 5.3	178 26.3	253 37.4	7 1.0	8 1.2
75～79歳	519 100.0	468 90.2	280 53.9	44 8.5	33 6.4	41 7.9	125 24.1	195 37.6	13 2.5	4 0.8
80～84歳	380 100.0	339 89.2	216 56.8	26 6.8	36 9.5	35 9.2	98 25.8	148 38.9	11 2.9	4 1.1
85～89歳	170 100.0	145 85.3	95 55.9	19 11.2	15 8.8	28 16.5	54 31.8	77 45.3	4 2.4	1 0.6
90～94歳	56 100.0	41 73.2	34 60.7	10 17.9	7 12.5	7 12.5	22 39.3	20 35.7	1 1.8	2 3.6
95～99歳	10 100.0	5 50.0	6 60.0	2 20.0	2 20.0	2 20.0	—	3 30.0	—	—
100歳以上	1 100.0	—	—	—	—	—	—	—	—	1 100.0
無回答	5 100.0	3 60.0	2 40.0	1 20.0	—	—	2 40.0	2 40.0	—	—

## 第2章 調査結果の分析

○要支援等の認定状況別にみると、要支援1、要支援2では「任意後見契約（認知症などにより判断能力が不十分になったときに、本人に代わって契約や財産管理を行ってもらう人を前もって決めておく契約）の締結」の割合が一般高齢者、事業対象者に比べて多くなっています。

	調査数	身の周りの物の整理	相続財産の整理（遺言書の作成、生命保険証や印鑑・通帳の保管、場所の整理、生前贈与なども含む）	持ち家・マンションの整理（売却、リバースモーゲージなど）	任意後見契約（認知症などにより判断能力が不十分になったときに、本人に代わって契約や財産管理を行ってもらう人を前もって決めておく契約）の締結	死後事務委任契約（死亡した後の諸手続につき、葬儀・納骨・埋葬に関する事務を委任する契約）の締結	将来の変化に備え、将来の医療及び介護について、ご家族や近しい人と話し合いを行って	葬儀・納骨・埋葬の希望の整理	その他	無回答
上段:件数 下段:%										
全体	2,266 100.0	2,013 88.8	1,221 53.9	196 8.6	174 7.7	185 8.2	586 25.9	878 38.7	40 1.8	27 1.2
問3 要支援等の認定状況について										
一般高齢者	2,040 100.0	1,825 89.5	1,107 54.3	170 8.3	149 7.3	153 7.5	516 25.3	786 38.5	35 1.7	23 1.1
事業対象者	25 100.0	25 100.0	12 48.0	4 16.0	1 4.0	2 8.0	6 24.0	14 56.0	—	—
要支援1	117 100.0	98 83.8	65 55.6	12 10.3	11 9.4	17 14.5	40 34.2	50 42.7	3 2.6	2 1.7
要支援2	35 100.0	27 77.1	13 37.1	5 14.3	6 17.1	4 11.4	9 25.7	13 37.1	2 5.7	1 2.9
無回答	49 100.0	38 77.6	24 49.0	5 10.2	7 14.3	9 18.4	15 30.6	15 30.6	—	1 2.0

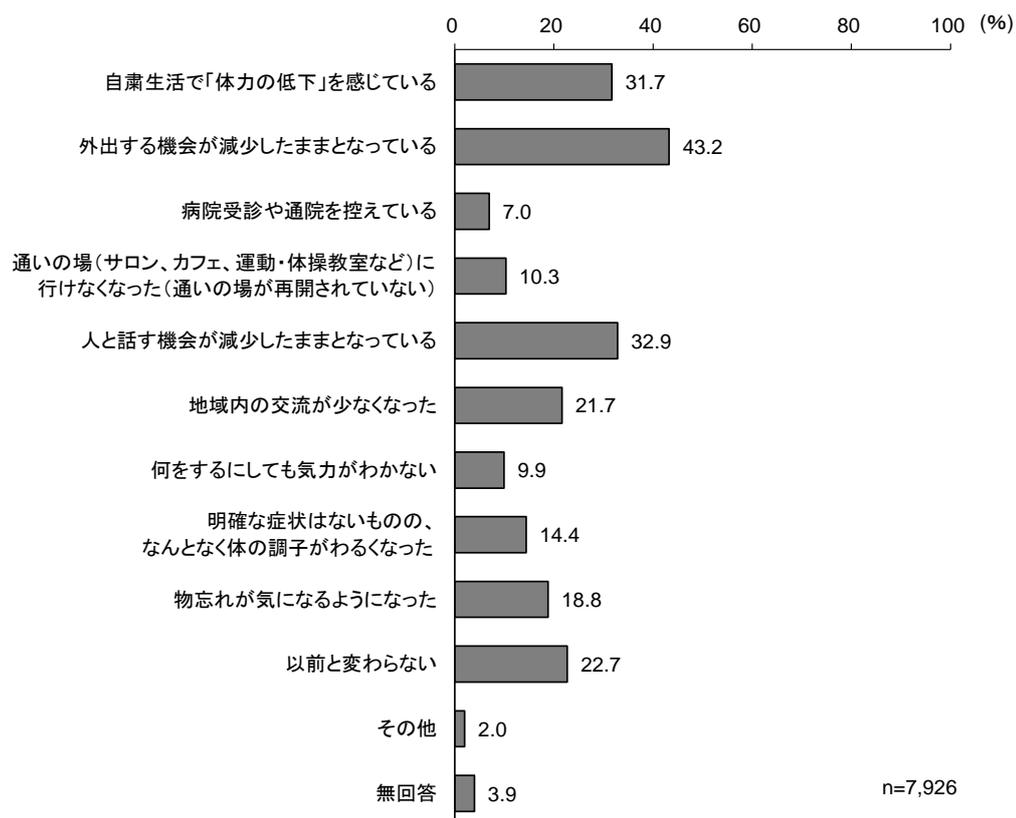


17. 新型コロナウイルス感染症による自粛期間の影響について

(1) 新型コロナウイルス感染症による自粛期間の影響【複数回答】

問19 新型コロナウイルス感染症による外出・移動などの自粛期間の影響により、あなた自身にどのような変化を感じていますか(いくつでも)

○新型コロナウイルス感染症による自粛期間の影響は、「外出する機会が減少したままとなっている」(43.2%) が最も多く、次いで、「人と話す機会が減少したままとなっている」(32.9%)、「自粛生活で「体力の低下」を感じている」(31.7%) となっています。



○性別にみると、大きな差はみられませんでした。

	調査数	自粛生活で「体力の低下」を感じている	外出する機会が減少したままとなっている	病院受診や通院を控えている	通いの場(サロン、カフェ、運動・体操教室など)に行けなくなった(通いの場が再開されていない)	人と話す機会が減少したままとなっている	地域内の交流が少なくなった	何をやるにしても気がわかない	明確な症状はないものの、なんとなく体の調子がわるくなった	物忘れが気になるようになった	以前と変わらない	その他	無回答
全体	7,926	2,511	3,426	553	816	2,604	1,716	786	1,140	1,491	1,800	158	313
上段:件数 下段:%	100.0	31.7	43.2	7.0	10.3	32.9	21.7	9.9	14.4	18.8	22.7	2.0	3.9
問1.本人の性別													
男性	3,620	1,023	1,504	200	341	1,131	736	304	457	549	916	52	142
	100.0	28.3	41.5	5.5	9.4	31.2	20.3	8.4	12.6	15.2	25.3	1.4	3.9
女性	4,249	1,467	1,897	348	472	1,456	965	477	675	926	877	106	168
	100.0	34.5	44.6	8.2	11.1	34.3	22.7	11.2	15.9	21.8	20.6	2.5	4.0
無回答	57	21	25	5	3	17	15	5	8	16	7	-	3
	100.0	36.8	43.9	8.8	5.3	29.8	26.3	8.8	14.0	28.1	12.3	-	5.3

## 第2章 調査結果の分析

○年齢別にみると、年齢が高くなるにしたがって、「外出する機会が減少したままとなっている」、「人と話す機会が減少したままとなっている」、「物忘れが気になるようになった」が多くなっています。

調査数	自粛生活で「体力の低下」を感じている	外出する機会が減少したままとなっている	病院受診や通院を控えている	通いの場（サロン、カフェ、運動・体操教室など）に行けなくなった（通いの場が再開されていない）	人と話す機会が減少したままとなっている	地域内の交流が少なくなった	何をしても気力がわかない	明らかな症状はないものの、なんとなく体の調子がわるくなった	物忘れが気になるようになった	以前と変わらない	その他	無回答	
上段:件数 下段:%													
全体	7,926 100.0	2,511 31.7	3,426 43.2	553 7.0	816 10.3	2,604 32.9	1,716 21.7	786 9.9	1,140 14.4	1,491 18.8	1,800 22.7	158 2.0	313 3.9
問2.本人の年齢													
65～69歳	1,951 100.0	520 26.7	775 39.7	167 8.6	173 8.9	571 29.3	346 17.7	159 8.1	217 11.1	247 12.7	541 27.7	47 2.4	52 2.7
70～74歳	2,340 100.0	708 30.3	1,002 42.8	146 6.2	240 10.3	754 32.2	473 20.2	218 9.3	283 12.1	367 15.7	568 24.3	37 1.6	72 3.1
75～79歳	1,649 100.0	541 32.8	727 44.1	93 5.6	185 11.2	569 34.5	405 24.6	155 9.4	258 15.6	332 20.1	330 20.0	29 1.8	78 4.7
80～84歳	1,122 100.0	402 35.8	515 45.9	70 6.2	138 12.3	394 35.1	277 24.7	124 11.1	203 18.1	277 24.7	207 18.4	31 2.8	63 5.6
85～89歳	604 100.0	244 40.4	280 46.4	52 8.6	63 10.4	225 37.3	155 25.7	90 14.9	128 21.2	192 31.8	113 18.7	8 1.3	31 5.1
90～94歳	208 100.0	80 38.5	112 53.8	19 9.1	14 6.7	81 38.9	53 25.5	37 17.8	43 20.7	68 32.7	31 14.9	6 2.9	11 5.3
95～99歳	25 100.0	5 20.0	5 20.0	3 12.0	1 4.0	3 12.0	4 16.0	1 4.0	3 12.0	3 12.0	6 24.0	—	4 16.0
100歳以上	3 100.0	1 33.3	—	—	—	—	—	—	1 33.3	1 33.3	1 33.3	—	—
無回答	24 100.0	10 41.7	10 41.7	3 12.5	2 8.3	7 29.2	3 12.5	2 8.3	4 16.7	4 16.7	3 12.5	—	2 8.3

○要支援等の認定状況別にみると、要支援1、要支援2では「自粛生活で「体力の低下」を感じている」、「何をしても気力がわかない」、「明らかな症状はないものの、なんとなく体の調子がわるくなった」、「物忘れが気になるようになった」の割合が一般高齢者、事業対象者に比べて多くなっています。

調査数	自粛生活で「体力の低下」を感じている	外出する機会が減少したままとなっている	病院受診や通院を控えている	通いの場（サロン、カフェ、運動・体操教室など）に行けなくなった（通いの場が再開されていない）	人と話す機会が減少したままとなっている	地域内の交流が少なくなった	何をしても気力がわかない	明らかな症状はないものの、なんとなく体の調子がわるくなった	物忘れが気になるようになった	以前と変わらない	その他	無回答	
上段:件数 下段:%													
全体	7,926 100.0	2,511 31.7	3,426 43.2	553 7.0	816 10.3	2,604 32.9	1,716 21.7	786 9.9	1,140 14.4	1,491 18.8	1,800 22.7	158 2.0	313 3.9
問3.要支援等の認定状況について													
一般高齢者	7,169 100.0	2,210 30.8	3,072 42.9	478 6.7	740 10.3	2,328 32.5	1,510 21.1	666 9.3	986 13.8	1,273 17.8	1,688 23.5	141 2.0	264 3.7
事業対象者	80 100.0	21 26.3	32 40.0	4 5.0	6 7.5	24 30.0	20 25.0	8 10.0	13 16.3	15 18.8	15 18.8	—	4 5.0
要支援1	341 100.0	161 47.2	177 51.9	34 10.0	32 9.4	138 40.5	100 29.3	72 21.1	82 24.0	120 35.2	36 10.6	8 2.3	15 4.4
要支援2	128 100.0	58 45.3	53 41.4	16 12.5	18 14.1	42 32.8	31 24.2	20 15.6	30 23.4	36 28.1	25 19.5	6 4.7	9 7.0
無回答	208 100.0	61 29.3	92 44.2	21 10.1	20 9.6	72 34.6	55 26.4	20 9.6	29 13.9	47 22.6	36 17.3	3 1.4	21 10.1

## 第2章 調査結果の分析

○調査区域別にみると、「外出する機会が減少したままとなっている」が最も多いのは国見・国見ヶ丘・桜ヶ丘で49.5%、最も少ないのは東仙台・宮城野・榴岡で36.9%となっており、12.6ポイントの差となっています。また、「地域内の交流が少なくなった」は茂庭・秋保が29.6%と、他の調査区に比べて多く、最も少ない五橋・上杉・木町通・花京院（14.2%）を15.4ポイント上回っています。

	調査数	自粛生活で「体力の低下」を感じている	外出する機会が減少したままとなっている	病院受診や通院を控えている	通いの場（サロン、カフェ、運動・体操教室など）に行けなくなった（通いの場が再開されていない）	人と話す機会が減少したままとなっている	地域内の交流が少なくなった	何をやるにしても気がわかかない	明確な症状はないものの、なんとなく体の調子がわるくなった	物忘れが気になるようになった	以前と変わらない	その他	無回答
全体	7,926 100.0	2,511 31.7	3,426 43.2	553 7.0	816 10.3	2,604 32.9	1,716 21.7	786 9.9	1,140 14.4	1,491 18.8	1,800 22.7	158 2.0	313 3.9
調査区域													
五橋・上杉・木町通・花京院	451 100.0	158 35.0	204 45.2	36 8.0	55 12.2	139 30.8	64 14.2	48 10.6	62 13.7	82 18.2	101 22.4	8 1.8	17 3.8
双葉ヶ丘・葉山・台原	419 100.0	139 33.2	158 37.7	18 4.3	44 10.5	143 34.1	88 21.0	49 11.7	63 15.0	89 21.2	107 25.5	10 2.4	14 3.3
国見・国見ヶ丘・桜ヶ丘	430 100.0	141 32.8	213 49.5	22 5.1	65 15.1	163 37.9	78 18.1	31 7.2	59 13.7	77 17.9	94 21.9	14 3.3	16 3.7
大沢広陵・あやし・南吉成	420 100.0	133 31.7	167 39.8	23 5.5	41 9.8	130 31.0	99 23.6	46 11.0	59 14.0	91 21.7	91 21.7	7 1.7	14 3.3
東仙台・宮城野・榴岡	439 100.0	145 33.0	162 36.9	26 5.9	45 10.3	132 30.1	76 17.3	46 10.5	70 15.9	75 17.1	104 23.7	11 2.5	16 3.6
小松島・燕沢・鶴ヶ谷	448 100.0	150 33.5	190 42.4	34 7.6	38 8.5	142 31.7	95 21.2	54 12.1	74 16.5	94 21.0	103 23.0	10 2.2	15 3.3
岩切・高砂・福田町	435 100.0	138 31.7	186 42.8	22 5.1	33 7.6	152 34.9	115 26.4	40 9.2	68 15.6	79 18.2	93 21.4	8 1.8	28 6.4
河原町・大和蒲町・遠見塚	443 100.0	137 30.9	199 44.9	32 7.2	45 10.2	154 34.8	91 20.5	47 10.6	63 14.2	80 18.1	89 20.1	12 2.7	23 5.2
六郷・沖野・七郷	431 100.0	112 26.0	173 40.1	31 7.2	36 8.4	126 29.2	91 21.1	45 10.4	66 15.3	78 18.1	102 23.7	4 0.9	23 5.3
長町・郡山・富沢	446 100.0	162 36.3	194 43.5	39 8.7	55 12.3	147 33.0	84 18.8	43 9.6	71 15.9	78 17.5	101 22.6	15 3.4	25 5.6
愛宕橋・八木山・西多賀・山田	432 100.0	144 33.3	195 45.1	27 6.3	39 9.0	134 31.0	78 18.1	38 8.8	56 13.0	100 23.1	98 22.7	8 1.9	20 4.6
西中田・袋原・四郎丸	456 100.0	140 30.7	221 48.5	43 9.4	48 10.5	151 33.1	116 25.4	46 10.1	57 12.5	67 14.7	95 20.8	13 2.9	16 3.5
茂庭・秋保	419 100.0	107 25.5	175 41.8	40 9.5	45 10.7	132 31.5	124 29.6	33 7.9	44 10.5	77 18.4	100 23.9	8 1.9	20 4.8
泉中央・寺岡・高森	435 100.0	132 30.3	187 43.0	28 6.4	41 9.4	145 33.3	111 25.5	38 8.7	68 15.6	80 18.4	99 22.8	7 1.6	7 1.6
将監・松森・向陽台	452 100.0	148 32.7	203 44.9	26 5.8	43 9.5	160 35.4	98 21.7	50 11.1	68 15.0	93 20.6	109 24.1	5 1.1	14 3.1
南光台・八乙女	447 100.0	149 33.3	184 41.2	35 7.8	45 10.1	146 32.7	72 16.1	58 13.0	77 17.2	90 20.1	103 23.0	7 1.6	16 3.6
虹の丘・加茂・長命ヶ丘	460 100.0	152 33.0	224 48.7	39 8.5	58 12.6	182 39.6	130 28.3	43 9.3	70 15.2	83 18.0	92 20.0	7 1.5	11 2.4
根白石・南中山	458 100.0	121 26.4	188 41.0	32 7.0	40 8.7	126 27.5	106 23.1	30 6.6	44 9.6	76 16.6	118 25.8	4 0.9	18 3.9
無回答	5 100.0	3 60.0	3 60.0	—	—	—	—	1 20.0	1 20.0	2 40.0	1 20.0	—	—

## 18. 仙台市への意見・要望について(自由記述)

アンケートの最後に、自由に発言していただける欄を設けたところ、1,570名の方から、2,228件の意見が寄せられました。意見内容を分類し、多い順に示した結果は下表のとおりです。

順位	項目	意見数(件)	比率(%)
1	高齢者施策全般	440	19.7
2	福祉全般について	269	12.1
3	日常生活について	227	10.2
4	経済的負担の軽減	220	9.9
5	情報提供	175	7.9
6	市政全般	172	7.7
7	介護保険制度について	144	6.5
8	相談、手続き体制	105	4.7
9	感謝	99	4.4
10	アンケートについて	83	3.7
11	施設サービスの充実	80	3.6
12	在宅サービスの充実	39	1.8
13	介護の負担	38	1.7
	その他	137	6.1
合計		2,228	100.0

以下に主な意見を抜粋し、掲載しています。

## (1) 高齢者施策全般

- ・ 元気な高齢者は子供たちともっと交流を持って、保育所等に参加することで元気の源になると思う。生きがいにもなるのでは？高齢者の為の教室やサークル、茶話会等の交流の場を増やしてほしいと思う。空き家等活用すればよいのでは。
- ・ 元気なシルバー世代のサークル活動をサポートしてほしい。たとえば、発表の場、活動の相談など。
- ・ 認知症が多く施設に入居したくても大金がかかり家族に負担がかかります。年収の少ない方には市で安く入居できる様考えてほしいです。認知症予防対策 早めの検査、ならない生活など
- ・ 単身者世帯で認知症の症状が出た場合早期に発見する社会的システムが必要と思う。
- ・ 高齢者の健康寿命がのびるような生活をおくれるような社会へ。

## 第2章 調査結果の分析

- ・ 施設への入所や通所を嫌がる高齢者への訪問による見守り（家族の有無に関係に関わらず）や相談、話し相手になるなどの施策を増やして欲しい。単発の訪問等はあったが継続的な訪問はなかった。できれば、家から離れたがらない老人への継続な支援が望まれる。
- ・ 今後は老人が増えていきますが行政の手が行き届くかどうか心配です。
- ・ 高齢者はスマホ、タブレット等を使いこなせない（持っていない人もいる）のに、色々なことが（ex. コロナ感染での連絡）音声ガイダンスで進み「分からない。追いつけない。」などの状況になり、とても大変でした。高齢でスマホ等使いこなせない人の為の対応を考えてほしいです。
- ・ スマホ講座やエンディング（終活）講座などを住居近くの市民センターを利用して開催していただきたい（中央部へ集めるのではなく、近場で参加できると参加し易い。）
- ・ 敬老乗車証をありがたく利用している。経済的にもとても助かっている。この制度を維持継続してほしい。
- ・ 90才で亡くなった母が趣味の活動で大いに利用していた敬老乗車証でした。90才になっても元気で一人であちらこちらと歩き回っていました。私も将来運転免許証を返納したら敬老乗車証を大いに利用して元気に外出したいと考えています。
- ・ バス、地下鉄の敬老乗車証ですが、現在一割負担ですが、少し優遇し過ぎではないかと思う。ますます高齢化し、財政が厳しくなり、反動で他の福祉施策に予算が回らなくなる。
- ・ 介護施設での世話をさせていただく職員に対して負担を掛ける負い目が気になっています。気楽に要求を伝えて「気にせず」にお願い出来る「介護ロボット等」の積極的な導入と利用を期待しています。「今現在の気持」ですが！
- ・ 就労する場が少ない（年齢で判断されてしまう）。短時間で健康の為体を動かす仕事が少ない。
- ・ 元気な高齢者の就労支援として埋もれている人材（各種有資格者）の活動の場を紹介、斡旋する組織の充実を図ってほしい。
- ・ 2年前にケガをして足を捻挫しました。たかが捻挫！しかしそれが原因で前にみたいに走ることは出来なく、歩くことはまあまあ普通に戻りました。介護される人はちょっとしたことから始まると思います。未病でおさえることが大切です。だれもが年をとり筋肉がおち、そこからころんだりします。その予防に力を入れるシステムをお願いします。若い人が少なく年とった人ばかり多くなります。若い人がかわいそうです。動けなくなる年よりもかわいそうです。介護をどうするかでなく、介護人をふやさないのをどうするかを考えるべきです。

## (2) 福祉全般について

- ・ 2025年問題、少子高齢時代に突入し、その真っ只中にいる自分。最後まで自立した生活をしたいと願い、食事、運動、睡眠を意識し健康的な毎日を送るよう心がけています。しかし今後自分自身もどのような経過をたどるのか分かりません。そんな時地域の包括支援センター、福祉機関、医療機関が密に連携し手厚い福祉サービスを受けられ安心した老後が送れるよう切望するところです。
- ・ 介護医療体制の一層の充実を願う。そのために、特に介護関連従事者の待遇条件改善・充実（得に給与面の増加）の実現を願う。介護・医療従事者の働きが、過重にならない方策を願う。従事者の健康を支えるため。過労による事故発生の防止のため。「高齢者が楽しく日々過ごすこと」を第一の目標として、様々な活動を企画して欲しい。障害のある高齢者及びその家族の支援の効果的な方策を一層講じて欲しい。
- ・ 後見制度を充実していただきたいと考えます。
- ・ 介護人材の充実、外国人介護者可。
- ・ 高齢者の医療負担が地方や国の財政に大きな負担をかけていて、将来若い人たちの負担ばかり大きくなっていることとても心配です。病院との連携により過度の投薬、検査ばかりの医療体制を見直してほしい。病院ばかり頼らず高齢者の自助努力を促す政策が必要だと思う。若い世代中心の財政支援が最重要だと思う。
- ・ 介護が必要になっても家族が仕事をやめなくても良いような仕組みが充実して欲しい。
- ・ 包括支援の人員の充実。訪問介護サービスの充実。在宅医師の充実…（ガンになっても自宅で介護・治療が受けられるように。）認知症になっても安心して地域の中で生活出来るような介護が受けられたら？
- ・ 近未来は必ずや年寄り社会になることはあきらかです。医学の発展により100年人生があたりまえの社会になってきている。今現在は、家族、友人にめいわくをかけず生活していますが、この先なにがおこるか不安です。行政のキメの細かい福祉が必要だと思います。私的には尊厳死（安楽死）もありの世の中になる、ようにしなければならないと思います。以上。
- ・ 高齢化が進むにつれ配偶者の死やペットの死などに直面し相当なショックを受けた際にこれが引き金となりうつ病等発症しやすいと考えられます。こうした際に身近に相談できる機関を創って欲しいと思います。精神的なケアにより孤立、孤独化を防ぐ機関や同じような境遇で悩み苦しんでいる高齢者の相談できる機関が益々必要となってくると思います。団塊世代が後期高齢化の急増に伴い、様々な不安に対応対処できる機関（精神的なケア、フレイル予防、生きがいへの指導 etc.）が身近にあれば良いと思います。
- ・ 地域包括センターの効果的運用を考えて、人員の拡充、機能強化、もっと積極的にかかわってほしい、中途半端な感じである。
- ・ 町内会の副会長を行っているが、要援護者への支援で、個人情報との壁で、物事が進まないと感じている。

## 第2章 調査結果の分析

### (3) 日常生活について

- ・ コロナで生活が一変しました。ご近所づき合い、親戚、親族、友人等淡泊になったように思います。高齢になって淋しい限りです。
- ・ コロナ禍のため、3年前からサークルが中止になり友人知人と会えないことがつらい。好きなサークルで人間関係も良好だったので残念です。
- ・ 定年退職後仙台に移住して28年になり一人生活で年齢も85才になり両親兄弟も亡くなりました。人に迷惑をかけずをモットーとし、依存心を持たず常に緊張感を保ち思考力記憶力維持のため友人との交流は手紙を書くことにしています。コロナ自粛のため、運動不足と年齢により膝関節痛で行動範囲がせまくなり、今は歩行が充分でないのが苦痛です。必要になりましたら地域包括センターに相談したく思っています。どうぞ宜しくお願い致します。
- ・ 現在は、買物は自分で車を運転して行っていますが、車の運転をしなくなった時、近所にお店がないので、その時の事を考えると、とても不安に思っています。
- ・ 私は運転免許証を返納し車も処分して、足がない状況です。徒歩以外には…。不自由な生活をしています。
- ・ 現在、本人、家族ともに健康で生活しており、不便は感じない。介護や終活についても将来どの様にするか家族と話し合っている。
- ・ 現在73才ですが仕事をする中で自分より高齢な方との接客を行っています。身体が健康である以上何でも責任のある仕事を少しでもできると明るく楽しい人生かと思えます。80才までがんばっていかうと思うのが目標です。
- ・ 毎日月～金まで孫を学校まで送っている。野菜作りはげんでいる、毎日太陽にあびて仕事している。どこも悪くないので病院にもいかないし、薬ものんでいない。いたって健康です。
- ・ 昨年主人を亡くし、近くに住む孫達の世話をしている。小学生はまだまだ手がかかり、中学生の孫娘は夕食の手伝い、そしてもろもろの相談を受けている。子供達よりも孫達といっしょにいる時間が長いせいか、若い子供の今の考え方などよくわかり、毎日忙しいけれど楽しい。高齢者と子供達、そして若い世代の交流がとても大事だと思います。高齢者＝介護ではなく、生きがいを見つける様な社会になってくれればうれしいと思います。
- ・ 今は私も元気で日常を過ごしていますが、年々身体のおとろえを感じます。この先の事を思うと不安でなりません。時間のあるかぎり趣味やサークル友達との会話を多く持つように心がけています。
- ・ シルバーセンターの催しに参加することで、老化防止を実行しています。

#### (4) 経済的負担の軽減について

- ・ 医療費窓口負担が二割になって痛い。
- ・ 子供と同居しておりますが、若い人の給料が少なく私の年金をプラスせざるをえない現実で、私の老後のお金が減り、毎月が大変です。もし、病気、ケガなどしたらと不安ばかりです。老人になっても暮らしやすい仙台にしていきたいです。宜しくお願い致します。
- ・ 介護保険料もう少し少なくしてほしい。
- ・ 介護保険費用が高すぎる。
- ・ 健康な人は介護保健料を割引に出来れば良い。
- ・ 物価が高く生活が苦しくなる一方だ。
- ・ 年金生活者には、介護保険料が高くて生活は大変だと思います。
- ・ 団塊の世代の年令で、様々な事に影響が出ているのでこれからの福祉の面にも出て来ると思われ、金銭面など心配です。次の世代の子供達の負担のことも考えると無理は言えないとも思っていますが、長生きすることに不安を感じないで元気に生き生きと、日々生活出来るような精神的、金銭面の支えをお願いしたいと感じています。

#### (5) 情報提供

- ・ 高齢者に対する情報提供(資料配布も含め)が少ない。1. 新型コロナ対策 2. 転倒予防対策 3. フレイル予防対策 4. 生活習慣病対策 5. 認知症対策。
- ・ 高齢者に対し生活、暮らし情報、提供増やして下さい。TV・ラジオ・市政面。
- ・ 自分の住んでいる所なるべく近くにどのような介護施設があるのか知りたいです。
- ・ 高齢者は、機械の操作が苦手です。インターネットとかSNSなどの様なものは無理なので、新聞、市政日より、テレビなどで情報が分かれば良いと思います。
- ・ 今後ともホームページなどで情報を入手できるよう、わかりやすい説明・手順になるようお願い致します。
- ・ 年相応に衰えを感じてはいますがまだ介護、認知症等差し迫った問題ではなかったです。この調査票を記入しながらその備えをしなければいけないと思いました。そのような情報がほしいです。
- ・ 市の業務内容がくわしくないので、書きようがありません！どのような業務を行っているのか市民にわかるようなシステムが必要と思います！
- ・ 介護保険のサービス内容をもっと解るように案内、または冊子の配布のお願い。

## 第2章 調査結果の分析

### (6) 市政全般

- ・ 公共交通（バス・地下鉄）の維持をしてほしい。将来運転免許を返納したら、外出しづらくなってしまいます。
- ・ 健康づくりをするための場所が少ない。また機会も少ない。近年盛んになってきているパークゴルフ場を新設して欲しい。
- ・ 病院までの通院が不安 今は妻がなんとか運転して通院しているが今後の事を考えると、移動バス(小型)でも走らせてもらおうとありがたい。
- ・ 何でもかんでもペーパーレスにしてほしくない。
- ・ 公園にぶら下がり機と鉄棒がほしいです。
- ・ 高齢者の多い住宅団地が増えている。補助金を出して町内会組織の活用を図る。
- ・ 高齢者が安心して過ごせる環境づくりをお願いしたい。

### (7) 介護保険制度について

- ・ 団塊の世代が高齢化して、介護保険や高齢者保健事業が圧迫されて事業の縮小や負担割合増などへの不安がある。
- ・ 所得に対しての介護保険料が高く、生活が苦しくなっていますので高額所得者での手助けで少し補うことは出来ないのでしょうか。※これからの介護や福祉をもっと充実して高齢者も安心出来る環境になりますよう期待します。
- ・ ガンバってくださいね！少額の年金のみの生活では施設にもはいれなく、待遇にも差が出てる、介護保険は豪華な箱物でなく、ソフト面にもっと活用すべき！
- ・ 介護保険料の負担割合を全世代で均一化するように政府に要望する。後期高齢者を優遇する施策をやめて、全世代で均一に受容できる制度を作る。
- ・ 介護など認定を申請しても確定するまで時間がかかりすぎるような気がします。高齢者は日に日に体力がなくなっていくます。早くしてほしいのに…と思うことがありました。
- ・ 私の知人を通して感じること。要介護2認定で一人暮らし。お金もある。だけど、介護サービスに不満があるのでサービスを受けたくない。依って、日常生活が不自由。解決策はあるのだろうか。相性とか、ハートフルな対応、難しいですね。
- ・ 少子高齢化の昨今、介護保険等に対する職員への待遇の問題が取りざたされています。もう少し充実した手厚い処遇を望みます。
- ・ 介護保険料を年間9万円も支払っているのに、何のサービスも健康に見えるだけだと受けられないのは不合理である。例えば入浴時の椅子やベッドなどのリースを活用できる方法を考えて欲しい。

### (8) 相談、手続き体制

- ・ 高齢者の多い社会になって、行政や事業所（福祉、病院）の窓口対応者のスキル不足を感じます。ゆっくりしていねいには大切ですが待つ時間が長くなって疲れてしまうこと。人手が代わって説明を繰り返すこと。事業所や区役所等に足を運べない人のために地域情報を関係機関でつなぐこと（災害対応、危機管理と同じですね）。地域民生委員の業務行使権を強く深くして行政をつないでほしい。
- ・ 終活のことについて等相談したくても、どこに相談してよいかわかりません。この地域の包括センターや、ケアマネは評判が悪く一。他の地域のセンターや、ケアマネに相談することは出来ないのでしょうか？
- ・ 自分でなるべく頑張っ生きていこうと思っっていますが、やっぱり体の事が気になります。元気なうちに相談できる体制になれば良いと思っます。
- ・ とにかく優しく接して欲しい。事務手続きにしても、ゆっくりと説明してくれてとても感謝したことがあります。よろしくお願ひ致します。
- ・ 現在、私自身も近親の者も介護・福祉の需給を受けていないため、具体的な意見・要望を持ち合わせておりませんが、ますます、高齢化の社会になるのは間違いありません。種々の手続きが、紙ベースが無くなり、スマートフォン、パソコンでとなると、将来の不安があります。日々の生活の中での福祉のきめ細かい提供を望みます。
- ・ 今現在、介護についての具体的な要望など浮かんできませんが、実際に介護を受けるようになればその状況で意見・要望などでてくるのではと思っます。気楽に相談できる窓口であってほしいです。

### (9) 感謝

- ・ 特にありませんが、このように実態調査をして頂けることに感謝申し上げます。私は医療従事者ですが、第一線を退いても、このコロナ禍で能力が必要とされ仕事ができます。コロナは困った社会状況を生み出しましたが、同年の友人たちも残存能力を活かした働きができていことに、満足を得ているように感じています。今後共事業・施策等よろしくお願ひ申し上げます。
- ・ 民生委員による安否確認してもらえことをうれしく思っています。他人に迷惑をかけないように自己管理に専心しています。
- ・ 自宅内で踏み台から転落し、肋骨にひびが入る怪我をしました。このとき包括支援センターから大変お世話になりました。とても親切に対応をして下さり大変感謝しております。高齢者保健福祉施策は充分整っていると感じました。
- ・ 義母の介護の際、地域包括支援センターを利用し保健福祉サービスの相談にて、福祉機関の紹介いただき利用することができました。大変助かりました。今後よろしくお願ひ致します。

## 第2章 調査結果の分析

- ・ 少しずつ進行している認知症の義母宅で、夫と私で交代しながらお世話をしております。ショートステイ・デイサービスを利用させてもらっていることで、母も少しは気をつかい、起きて体を動かしている時間が多くなり良いことと思っております。利用できる事、感謝しております。ありがとうございます。
- ・ この調査が参考になりました。これを機会に生活を見直したいと思えます。ありがとうございます。

### (10) アンケートについて

- ・ 私が老いてどのように生きていくかが誰かの負担感につながる事が一番の憂鬱なこと。これが、この先私の子どもたちも感じていくとしたら悲しいと思う。誰もが老いたら不安が少ない生活を送りたいに違いない。今は自立できていることが多い私もいずれ・・・間もなく・・・手助けが必要となるでしょう。このアンケート調査が生かされることを願っています。
- ・ 調査をしました！結果が出ました！でお知らせず今後の施策に生かしてください。
- ・ 実態調査をする事はとても良いと思えました。
- ・ アンケート集計の公表。
- ・ 質問事項が多すぎます。もっと簡略にねがいます。
- ・ 調査、アンケートはこれまで何度も行われて参りましたが、実体は調査を行ったというパフォーマンスで終わっていることが多く、行政には、責任感と本気度が足りなく失望している。自身を守る気持ちで、全国の見本となしてほしい。

### (11) 施設サービスの充実

- ・ これから先、一人暮らしの高齢者が、安心、安全に暮らして行ける、有料でも安く住める老人ホームがあればいいと思っています。早目に作ってほしいです。
- ・ 住宅サービスの充実よりも軽費介護施設の増設してほしい（老老介護や親子介護など介護づかれで痛ましい事件が起きているから）。
- ・ 認知症になっても尊厳や敬意を持って接してもらえる施設があるとよい。仕事の従事者のご苦労がよく分かるので、不満のないように給金を支払うような政策が出来たらよいと考えている。
- ・ デイサービスだと介護認定とれないと参加出来ないのもう少しゆるいタイプの施設がほしい。
- ・ 待機児童ゼロを目指すと同じように、介護施設入居希望の待機高齢者ゼロを目指してほしい。
- ・ 介護保険を払っている以上少ない年金でも施設等に入れるようにしてほしいです。

### (12) 在宅サービスの充実

- ・ ①自宅までの移動販売車又はお店までの送迎、②訪問介護、③ショートステイなど介護者の負担軽減、④かかりつけ医に依る在宅医療、⑤介護している家族が仕事と介護を両立でき、経済的負担の軽減、主にこの5点の充実、サービスを希望します。
- ・ 在宅介護や在宅医療サービスの更なる充実をして頂きたい。
- ・ 介護施設などには入居したくない。自宅で生活したい。ヘルパーさん、食事の宅配、警備会社などの見守りを活用したい。自宅で生活できるようにバックアップをお願いしたい。
- ・ 高齢による収入の減少で、自宅のリフォームが出来ない。リフォームの援助をお願いしたい。
- ・ 訪問介護の仕事をしています。独居の人が手厚く、そうでない人は置き去りのような気がする。高齢夫婦で主婦が入院した時なにもできない夫のことが気になり入院もゆっくりできない（自身経験あり）家族に迷惑をかけまいと我慢してしまう傾向があるのでそういう点をもっと柔軟になるとよい。サービスを受けやすい環境作りが必要だと思う。
- ・ 外出時でも家の中に居ても、何か異常があったらすぐに連絡できるシステム（110 や 119）のようなものがあれば安心ですが！！

### (13) 介護の負担

- ・ 在宅介護を推進するためには介護者の負担を軽減する施策をきめ細く実施するところが重要ではないでしょうか。
- ・ 妻はアルツハイマー型認知症（要介護Ⅱ）です。在宅介護の限界を感じています。
- ・ 今は、自分の事よりも、親の介護で苦しいです。
- ・ 老老介護にならないようにしてほしい。
- ・ 老老介護の場合は、一人暮らしの老人と同じだと思います。いつも2人暮らしですがでも夫は認知症で何も分からない。介護者に何かあった場合、認知症の夫は電話も掛けられない、誰かを呼ぶことも出来ない、救急車を呼ぶことすら出来ません、こんな事を考えた時2人でいてもいつも一人暮らしと同じです。介護される側にはケアマネが付いているいろいろしてくれます。介護者にも何か方法があれば知りたいです。近所の人とは何かあった場合の連絡はしていますが、日中は難しいです。
- ・ 今自宅で母を介護していますが、重度ではないのですが、具合が悪くなったらどうしたらよいか考えてしまいます。救急者でもなく、でも心配と言う場合とか重くないけど心配？又、介護をして見て思いますがおむつの交換とか、のどが細くなって食事の取り方とか日常生活のやり方をお教えてくれる方を紹介して頂く事がありがたいです。思いやりのある、やさしさのある介護を続けていける様にしたいです。

